

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	耐震建物01 R18
提出年月日	令和5年11月30日

設工認に係る補足説明資料

耐震設計の基本方針に関する

耐震評価対象の網羅性、

既設工認との手法の相違点の整理について

(建物・構築物，機器・配管系)

- 文書中の下線部は変更点を示す。
- 耐震建物 01 は 2023 年 11 月 7 日に「R17」を提出していたが，今回の対応において資料構成を「R16」に合わせ見直しを行ったことから，「R16」時の内容からの変更部分を下線で示している。
- 主な変更点として，添付 1-3，別紙 1-3, 1-4, 2-1, 2-2 の機電設備に係る資料について加筆，修正を行っている。

目 次

1. 概要	1
1.1 今回設工認における評価対象施設の網羅性について	5
1.2 評価対象部位の網羅性及び評価内容	6
2. 既設工認からの相違点の整理について	13
2.1 今回設工認における既設工認からの相違点の整理方針	13
2.2 評価対象施設における評価手法の相違点	15
3. 今回設工認における主な説明項目	22
3.1 建物・構築物	22
3.2 機器・配管系	35

添付－１－１ 今回設工認における主な説明項目(建物・構築物（屋外重要土木構造物以外）)

添付－１－２ 今回設工認における主な説明項目(屋外重要土木構造物)

添付－１－３ 今回設工認における主な説明項目(機器・配管系)

■については商業機密の観点から公開できません

1. 概要

本資料は、再処理施設の第1回設工認可申請(令和2年12月24日申請)及び第2回設工認可申請(令和4年12月26日申請)、MOX燃料加工施設の第1回設工認可申請(令和2年12月24日申請)及び第2回設工認可申請(令和5年2月28日申請)、廃棄物管理施設の第1回設工認可申請(令和4年12月26日申請)のうち、以下の添付書類に示す耐震設計を補足説明するものである。本資料では、再処理施設、MOX燃料加工施設、廃棄物管理施設を纏めて「当社施設」と示す。

- ・再処理施設 添付書類「IV 耐震性に関する説明書」
- ・廃棄物管理施設 添付書類「II 耐震性に関する説明書」
- ・MOX燃料加工施設 添付書類「III 耐震性に関する説明書」

本資料では、「共通 12 申請対象設備に係る具体的な設備等の設計について」(以下「共通 12」という。)の「資料1 申請対象設備リスト(設計説明分類の整理結果)」(以下「設備リスト」という。)で示す申請施設を対象に、耐震重要度分類等に基づく評価対象施設並びに評価項目・部位を網羅的に抽出した上で、これらの施設に対して既設工認との評価手法の相違点を整理する。

これらの抽出・整理にあたっては、共通 12 で分類・整理される地震による損傷の防止及びそれ以外の条文に関する既設工認からの新設・改造の内容についても考慮する。

また、建物・構築物及び機器・配管系のそれぞれに係る耐震計算のプロセスに基づき、当社施設の今回設工認おける主要な説明項目を示す。

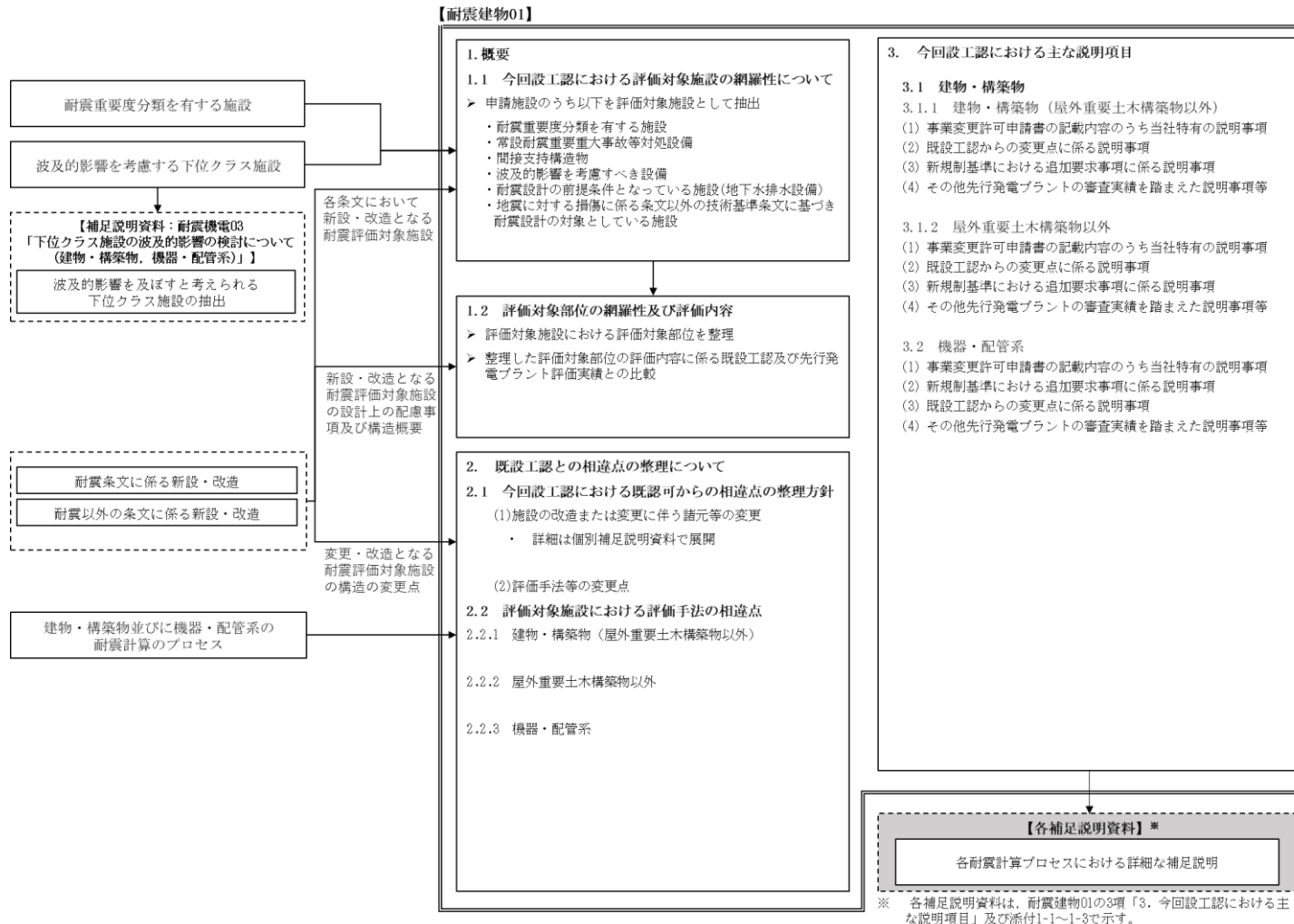
上記を踏まえた本資料における説明内容及び構成を、他補足説明資料における説明内容との関係性とあわせて第1-1図に示す。

なお、基準地震動を1.2倍した地震力を考慮した評価における評価対象施設、評価項目・部位の考え方については、当該評価に係る基本方針類、耐震計算結果及びその補足説明資料に示すことから、本資料の記載対象とはしない。

本資料においては、新規制基準施行後に認可された発電用原子炉施設の工認・設工認を「新規制基準対応設工認」と記載する。

今後申請を行う第3回以降のMOX燃料加工施設の設工認申請設備についても、本資料に基づいた整理を実施する。

「全体構成」



第 1-1 図 本資料における説明内容及び構成

【評価対象施設及び評価項目・部位の網羅性確認手順の説明】

① 評価対象施設の選定

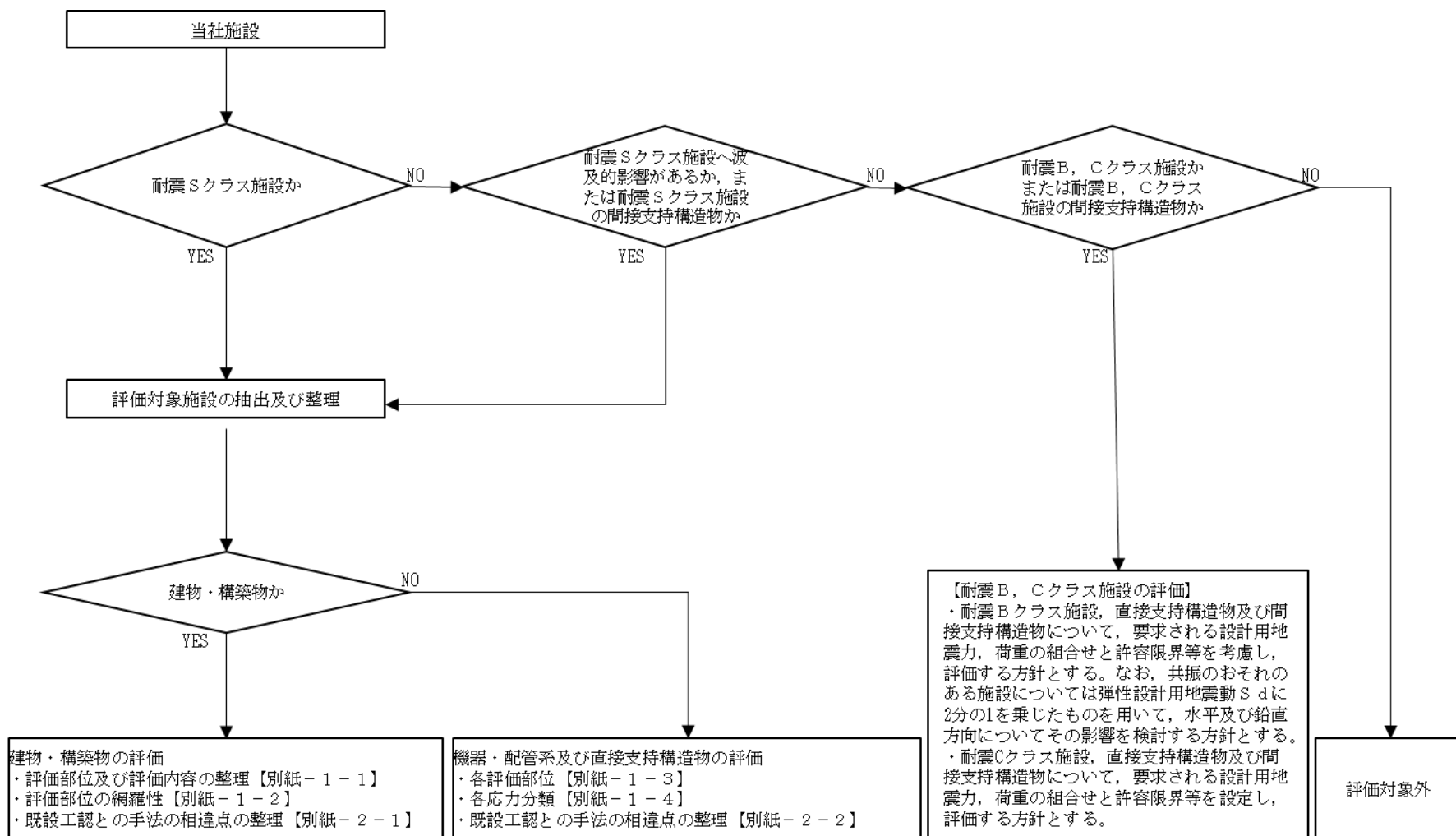
- ・ 設備リストに示す申請対象設備に対し、「重要度分類及び重大事故等対処施設の設備分類の基本方針」及び「波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針」に基づき、設計基準対象施設についてはSクラス施設、Sクラス施設の間接支持構造物及びSクラス施設への波及的影響を考慮すべき設備を抽出し、重大事故等対処施設については常設耐震重要重大事故等対処設備、常設耐震重要重大事故等対処設備の間接支持構造物及び常設耐震重要重大事故等対処設備への波及的影響を考慮すべき設備を、評価対象施設として抽出する。

また、地震に対する損傷に係る条文において耐震設計の前提条件となっている施設、地震に対する損傷に係る条文以外の技術基準条文に基づく既設施設の設計要求の変更並びに施設新設に伴い、今回設工認において耐震設計の対象となる施設についても、評価対象施設として抽出する。

② 評価部位の選定及び評価の実施

- ・ 評価対象施設のうち、Sクラス施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備について、建物・構築物に係る評価部位及び評価内容、機器・配管系に係る評価部位及び応力分類を整理する。また、建物・構築物、機器・配管系それぞれに対して、既設工認と評価手法の違いを整理する。
- ・ 評価対象施設のうち、Sクラス施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備に関連する間接支持構造物、Sクラス施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備への波及的影響を考慮すべき設備、地震に対する損傷に係る条文において耐震設計の前提条件となっている施設並びに地震に対する損傷に係る条文以外の技術基準条文に基づき耐震設計を行う施設については、基準地震動 S_s による評価を実施する。
- ・ なお、上記に該当しないB、Cクラス施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備(Sクラス施設又は常設耐震重要重大事故等対処設備への波及的影響を考慮すべき設備を除く。)については、今回設工認において評価の方針を示す。

評価対象施設及び評価項目・部位の網羅性確認手順を第 1-2 図に示す。



注記 ※1：重大事故等対処施設については、上図の「耐震Sクラス施設」を「常設耐震重要重大事故等対処設備」に、「耐震B、Cクラス施設」を「常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備」に読み替える。

※2：地震に対する損傷に係る条文において耐震設計の前提条件となっている施設並びに地震に対する損傷に係る条文以外の技術基準条文に関連する施設についても抽出し評価を行う。

第 1-2 図 評価対象施設及び評価項目・部位の網羅性の確認手順

(「重要度分類及び重大事故等対処施設の設備分類の基本方針」に基づく評価対象施設)

1.1 今回設工認における評価対象施設の網羅性について

今回設工認における評価対象施設は、以下の考え方で抽出することで、耐震評価が必要な施設を網羅する。

今回設工認における申請施設のうち、Sクラス施設、常設耐震重要重大事故等対処設備、間接支持構造物及び波及的影響を考慮すべき設備について、「重要度分類及び重大事故等対処施設の設備分類の基本方針」に基づき評価対象施設を抽出する。

ここで、波及的影響を検討すべき設備については、「波及的影響に係る基本方針」において選定した下位クラス施設を抽出する。

また、共通 12 に基づき、地震に対する損傷に係る条文において耐震設計の前提条件となっている施設並びに地震に対する損傷に係る条文以外の技術基準条文に関連する施設についても、耐震設計の対象として抽出する。以下に、これに該当する施設を示す。

(地震に対する損傷に係る条文において耐震設計の前提条件となっている施設)

- ・建物周辺の地下水位を維持するために設置している地下水排水設備

(地震に対する損傷に係る条文以外の技術基準条文に基づき耐震設計の対象としている施設)

- ・ Bクラスに分類される設備のうち、「核燃料物質の臨界防止」^{※1}にて地震に対する機能維持を要求する設備
- ・ Cクラスに分類される設備のうち、「火災等による損傷の防止」^{※2}と「再処理施設内における溢水による損傷の防止」^{※3}にて地震に対する機能維持を要求する設備

※1：MOX燃料加工施設の第4条

※2：再処理施設の第11条及び第35条，MOX燃料加工施設の第11条及び第29条

※3：再処理施設の第12条

1.2 評価対象部位の網羅性及び評価内容

1.2.1 Sクラス施設の評価

1.2.1.1 基準地震動 S_s による評価

基準地震動 S_s による評価は、耐震重要度分類におけるSクラス施設に対して実施する。なお、「1.1 今回設工認における評価対象施設の網羅性について」において整理した、地震に対する損傷に係る条文において耐震設計の前提条件となっている施設並びに地震に対する損傷に係る条文以外の技術基準条文に関連する施設についても、耐震評価の方法はSクラス施設の基準地震動 S_s による評価と同様であることから、本章以降の記載における建物・構築物及び機器・配管系の基準地震動 S_s による評価に関する説明に含まれる。

a. 建物・構築物

建物・構築物については、先行発電プラントである東海第二発電所及び柏崎刈羽原子力発電所 7 号機の新規制基準対応設工認を参照して選定した評価部位に対し、既設工認及び先行発電プラントで実績のある評価手法に基づいて評価を実施する。評価結果については、評価部位ごとに最も厳しい部位を選定し、記載する。

b. 機器・配管系

機器・配管系の評価については、準拠規格に基づく定型式及び計算機プログラムによる評価を実施し、そのうち配管系の標準支持間隔法は各建屋の配管系の仕様(口径, 板厚)ごとに支持間隔を算出し、その際に用いる床応答曲線は各建屋の複数階層包絡又は階層ごとのものを適用している。

評価部位については、JEAG4601-1987 に基づき設備ごとに設定した既設工認における評価部位に対し、先行発電プラントである東海第二発電所及び柏崎刈羽原子力発電所 7 号機の新規制基準対応設工認を参照して選定する。

評価結果については、機器・配管系は設備ごとに最も厳しい部位や設備の代表的な部位を記載し、そのうち配管系の標準支持間隔については各建屋の配管系の仕様ごと及び複数階層包絡又は階層ごとに記載する。

評価対象施設の評価部位、評価項目が網羅されていることの確認は以下のとおり行う。

(1) 評価対象施設の評価部位及び評価項目の網羅性について

a. 建物・構築物

今回設工認においては、評価対象施設ごとの評価部位及び評価方法について、既設工認と先行発電プラントである東海第二発電所及び柏崎刈羽原子力発電所7号機の新規制基準対応設工認との比較を行う。

建物・構築物の評価部位は、既設工認に基づき選定するとともに、東海第二発電所及び柏崎刈羽原子力発電所7号機の新規制基準対応設工認における建物・構築物の評価部位について参照した上で選定し、評価を行う。

評価対象施設の評価部位及び評価方法の整理結果の概要を以下に示すとともに、評価部位ごとの詳細を別紙-1-1及び別紙-1-2に示す。

建物の躯体のうち、Sクラスの機能を有する部位(以下「Sクラスの部位」という。)を構成する壁については建屋の一部であることから、構造物全体としての変形能力を層レベルで評価し、鉄筋コンクリート造耐震壁の最大せん断ひずみ度が許容限界を超えないことを確認する。

建物の躯体のうち、Sクラスの部位を構成する床・天井スラブ及びプールについては、地震力と地震力以外の荷重を組み合わせ、その結果発生する応力(又はひずみ)が許容限界を超えないことを確認する。

排気筒の構造部材のうちSクラスの部位については、地震力と地震力以外の荷重を組み合わせ、その結果発生する応力が許容限界を超えないことを確認する。

また、建物・構築物の基礎地盤の支持性能について、基準地震動 S_s による接地圧が地盤の極限支持力度に対して妥当な安全余裕を有することを確認する。

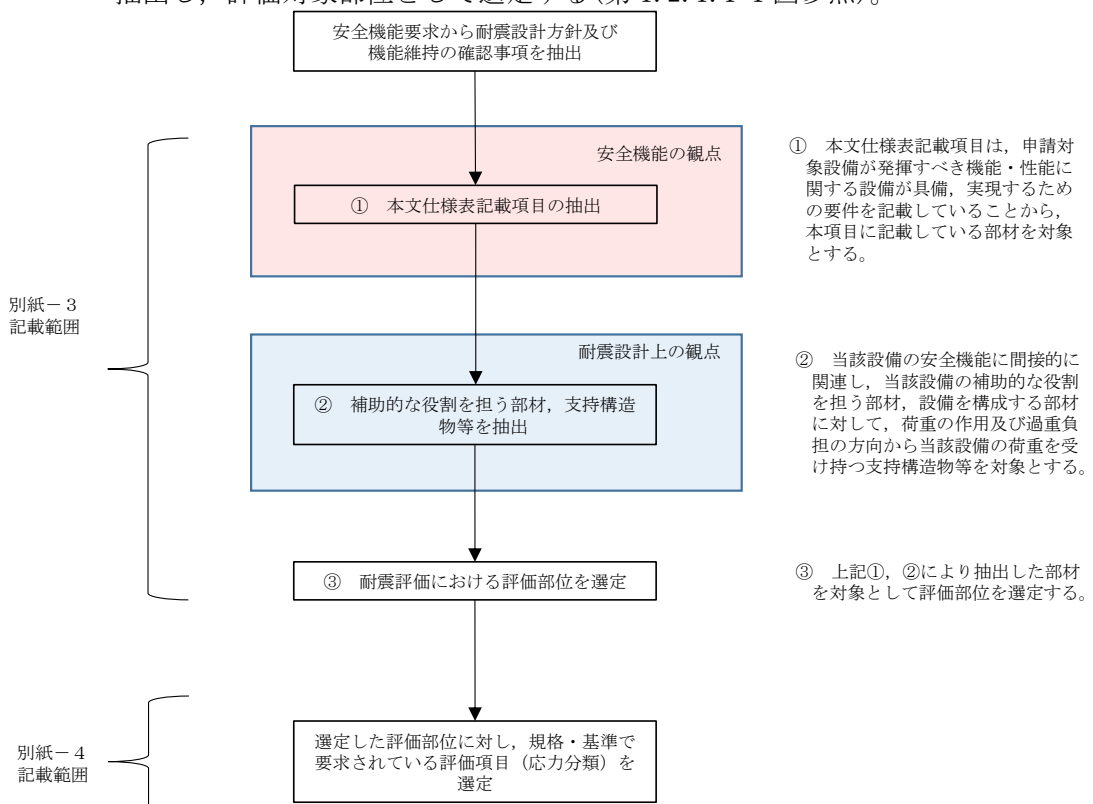
屋外重要土木構造物の構造部材については、曲げは最大層間変形角又は応答曲率、せん断は発生せん断力が許容限界を超えないことを確認する。

b. 機器・配管系

今回設工認における各設備の評価部位について、補足説明資料「耐震建物 30 耐震設計における安全機能の整理について」における「安全機能」から当該安全機能を維持するために必要な評価部位を選定する。また、耐震設計上の観点から地震荷重が作用する支持構造物等、耐震設計において健全性の確保が必要な部位を評価部位として選定する。これら耐震評価における評価対象部位の選定方針を以下に示す。

<評価対象部位選定方針>

評価対象部位の選定に当たっては、安全機能の観点から本文仕様表記載部位及び耐震設計上の観点から当該設備の支持構造物等を評価部位として抽出し、評価対象部位として選定する(第 1.2.1.1-1 図参照)。



第 1.2.1.1-1 図 機器・配管系の評価対象部位選定方針

選定した評価部位に対する評価項目(応力分類)は、JEAG4601・補-1987 等で要求されている評価項目(応力分類)とし、評価を省略する場合は、省略理由を示す。

なお、選定した評価部位については、参考として先行発電プラントの類似設備における評価部位及び既設工認の評価部位との確認を行う。評価対象施設の評価部位、評価項目(応力分類)の選定結果を別紙-1-3、別紙-1-4に示す。

1.2.1.2 弾性設計用地震動S dによる評価

(1) 建物・構築物

今回設工認においては、評価対象施設ごとの評価部位及び評価方法について、既設工認と先行発電プラントである東海第二発電所及び柏崎刈羽原子力発電所7号機の新規制基準対応設工認との比較を行う。

建物・構築物の評価部位は、既設工認に基づき選定するとともに、東海第二発電所及び柏崎刈羽原子力発電所7号機の新規制基準対応設工認における建物・構築物の評価部位について参照した上で選定し、評価を行う。

建物・構築物のSクラスの部位については、弾性設計用地震動S dによる地震力又は静的地震力のいずれか大きい方と地震力以外の荷重を組み合わせ、その結果発生する応力が許容限界を超えないことを確認する。

また、MOX燃料加工施設の事業変更許可申請書の添付書類五に示された燃料加工建屋固有の評価として、燃料加工建屋については、弾性設計用地震動S dによる地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力に対して建屋全体として概ね弾性範囲に留まることを確認する。ここで、建屋全体としては、地震力は主に耐震壁で負担する構造となっており、柱、梁、間仕切壁等が耐震壁の変形に追従することと、全体に剛性の高い構造となっており複数の耐震壁間の相対変位が小さく床スラブの変位が抑えられるため、各層の耐震壁の最大せん断ひずみ度が概ね弾性範囲に留まっていれば、建物・構築物全体として概ね弾性範囲に留まっていると考えられることから、本確認における評価対象部位は、燃料加工建屋の上部構造に対する層レベルの評価とし、弾性設計用地震動S dに対して各階の耐震壁のせん断ひずみ度が概ね弾性範囲内に留まることを確認する。ここで、基準地震動S sに対する評価において建屋の上部構造全体を支持する部位として、基礎スラブ並びに基礎地盤が挙げられるが、基準地震動S sに対する評価において、基礎地盤については基準地震動S sに対して建屋を十分に支持することが可能であることを確認することとしている。基準地震動S sに対する確認を実施することにより、より小さい地震動である弾性設計用地震動S dに対しても建屋全体を支持することの確認は可能であることから、基礎スラブ及び基礎地盤に対する弾性設計用地震動S dに対する確認は、基準地震動S sによる評価で代表する。

屋外重要土木構造物については、弾性設計用地震動S dによる地震力又は静的地震力のいずれか大きい方と地震力以外の荷重を組み合わせ、その結果発生する応力度及び接地圧が許容限界を超えないことを確認する。

(2) 機器・配管系

機器・配管系の評価対象設備が弾性設計用地震動S dに対して概ね弾性状態にあることを確認するために、弾性設計用地震動S dによる地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力と、地震力以外の荷重を組み合わせ、その結果発生する応力が許容限界を超えないことを確認する。

1.2.1.3 静的地震力による評価

(1) 建物・構築物

建物・構築物のSクラスの部位については、弾性設計用地震動S_dによる地震力又は静的地震力のいずれか大きい方と地震力以外の荷重を組み合わせ、その結果発生する応力が許容限界を超えないことを確認する。

屋外重要土木構造物については、弾性設計用地震動S_dによる地震力又は静的地震力のいずれか大きい方と地震力以外の荷重を組み合わせ、その結果発生する応力度及び接地圧が許容限界を超えないことを確認する。

(2) 機器・配管系

既設の設備については、既設工認時より「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（原子力規制委員会）で求められている現在の建築基準法に基づく静的震度(C_i)に対する評価を実施している。

今回設工認において、弾性設計用地震動S_dによる耐震評価については、弾性設計用地震動S_dによる地震力と静的地震力(3.6C_i)のいずれか大きい方の地震力を用いて評価を行う。

1.2.2 Bクラス施設の評価

Bクラス施設及び直接支持構造物については、基本方針の計算方針に基づいた計算を行い、要求される設計用地震力、荷重の組合せ、許容限界等は基本方針の耐震支持方針に基づき評価を行う方針とする。なお、共振のおそれのある設備については弾性設計用地震動S_dに2分の1を乗じたものを用いて、水平及び鉛直方向について評価する方針とする。

1.2.3 Cクラス施設の評価

Cクラス施設及び直接支持構造物については、要求される設計用地震力、荷重の組合せと許容限界等は基本方針の耐震支持方針に基づき評価を行う方針とする。

1.2.4 Sクラス施設の間接支持構造物の評価

Sクラス施設の間接支持構造物である建物・構築物については、基準地震動S_sによる評価を実施する。併せて、今回設工認について、既設工認と先行発電プラントである東海第二発電所及び柏崎刈羽原子力発電所7号機の新規制基準対応設工認との比較を行う。

Sクラス施設の間接支持構造物のうち建屋については、耐震壁の評価として、構造物全体としての変形能力を層レベルで評価し、耐震壁の最大せん断ひずみ度が許容限界を超えないことを確認する。また、建屋の基礎及び屋外機械基礎の評価として、地震力と地震力以外の荷重を組み合わせ、その結果発生する応力が許容限界を超えないこと及び接地圧が許容限界以下であることを確認する。また、建物・構築物の保有水平耐力が必要保有水平耐力に対して妥当な安全余裕を有することを確認する。

排気筒の構造部材である鉄骨造及び鉄筋コンクリート造の部位については、地

震力と地震力以外の荷重を組み合わせ、その結果発生する応力(又はひずみ)及び接地圧が許容限界を超えないことを確認する。

屋外重要土木構造物の構造部材については、曲げは最大層間変形角又は応答曲率、せん断は発生せん断力が許容限界を超えないことを確認する。また、基礎地盤の支持性能評価について、基準地震動 S_s による接地圧が地盤の極限支持力度に対して妥当な安全余裕を有することを確認する。

1.2.5 Bクラス施設の間接支持構造物の評価

Bクラス施設の間接支持構造物については、要求される設計用地震力、荷重の組合せと許容限界等を考慮し、評価する方針とする。

1.2.6 Cクラス施設の間接支持構造物の評価

Cクラス施設の間接支持構造物については、要求される設計用地震力、荷重の組み合わせと許容限界等を考慮し、評価する方針とする。

1.2.7 波及的影響を考慮すべき設備の評価

Sクラス施設への波及的影響を考慮すべき設備については、補足説明資料「耐震機電 03 下位クラス施設の波及的影響の検討について(建物・構築物、機器・配管系)」に基づき選定した下位クラス施設について、検討すべき地震動(基準地震動 S_s)を用いて評価を実施する。

波及的影響を考慮すべき設備については、「波及的影響に係る基本方針」の「3. 波及的影響を考慮した施設の設計方針」に基づく評価を行い、Sクラス施設の安全機能を損なわないことを確認する。

1.2.8 重大事故等対処施設の評価

常設耐震重要重大事故等対処設備及び常設耐震重要重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設は、基準地震動による地震力に対して重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがないように設計する。

Sクラス施設の機能を代替する常設耐震重要重大事故等対処設備については、「1.2.1.1 基準地震動 S_s による評価」、「1.2.4 Sクラス施設の間接支持構造物の評価」及び「1.2.7 波及的影響を考慮すべき設備の評価」における「Sクラス施設」を「常設耐震重要重大事故等対処設備」に読み替えて評価を行う。

常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備及び常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備が設置される重大事故等対処施設は、代替する安全機能を有する施設が属する耐震重要度に適用される地震力に十分耐えることができるように設計する。

B、Cクラス施設の機能を代替する常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備については、「1.2 設計基準対象施設の評価」における「Bクラス施設」を「Bクラス施設の機能を代替する常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備」に、「Cクラス施設」を「Cクラス施設の機能を代替する常設耐震重要重大事故等対処設備以外の常設重大事故等対処設備」に読み替えて評価を行う。

2. 既設工認からの相違点の整理について

2.1 今回設工認における既設工認からの相違点の整理方針

既設工認との手法の相違点の整理にあたり、評価対象施設に対する変更点の確認を行う。

(1) 施設の改造または変更に伴う諸元等の変更

共通 12 における「B-1：設計条件が変更になったもの」及び「B-2：設計条件が追加になったもの」において、地震による損傷の防止及びそれ以外の条文のいずれにおいても、改造又は変更を行っている施設や施設周辺の改良地盤を見込んで耐震評価を行っている施設がある。これらの改造に伴う耐震設計上の諸元等の変更点の詳細については、以下の補足説明資料にて説明する。

- ・耐震建物 31 「土木構造物の既設工認からの変更点について」
- ・耐震建物 38 「建物・構築物の地震応答解析及び応力解析における既設工認と今回設工認の解析モデル及び手法の比較について」
- ・耐震建物 39 「排気筒及び換気筒の耐震評価についての補足説明資料」
- ・耐震機電 13 「既設工認からの変更点について」

(2) 評価手法等の変更点

建物・構築物及び機器・配管系のそれぞれにおいて、今回設工認において耐震評価における手法等を変更している施設があることから、以下に、その整理の方針を示す。

評価手法等に係る変更点として、まず、各評価部位の解析手法、解析モデル、減衰定数及びその他(評価条件の変更等)について既設工認と今回設工認で比較する。

次に解析手法、解析モデル、減衰定数及びその他(評価条件の変更等)が既設工認と今回設工認で異なる場合(既設工認の記載がない場合を含む)には、先行発電プラントである東海第二発電所及び柏崎刈羽原子力発電所 7 号機の新規制基準対応設工認を参照し、左記 2 プラントにて適用例がない場合はその他プラントにおける同じ手法の適用例の有無を整理する。

加えて、同じ手法の適用例があると整理したものについては、準拠規格に基づき、プラントの仕様等によらず適用性が確認された手法は“プラント共通の適用例”，プラント個別に適用性が確認された手法は“プラント個別の適用例”として整理する。

上記の整理結果を、建物・構築物及び機器・配管系のそれぞれについて、「2.2 評価対象施設における評価手法の相違点」に示す。

2.2 評価対象施設における評価手法の相違点

2.2.1 建物・構築物（屋外重要土木構造物以外）

既設工認との相違点のうち、主な相違点を以下に示す。個別の施設に対する内容については別紙-5に示し、各建物・構築物の変更点の具体的な内容について、補足説明資料「耐震建物 38 建物・構築物の地震応答解析及び応力解析における既設工認と今回設工認の解析モデル及び手法の比較について」にて示す。

今回設工認における各解析での共通事項として、材料物性については、「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(1999年日本建築学会)」(以下「RC規準」という。)が既設工認時点から改訂されていることを踏まえ、コンクリート及び鉄筋のヤング係数並びにコンクリートのポアソン比をRC規準に基づく値に再設定する。

2.2.1.1 地震応答計算書における解析手法

地震応答計算書における解析手法について、今回設工認における建物・構築物のうち燃料加工建屋は、耐震設計審査指針改定後に認可を受けた建物であることから、既設工認において考慮している地震動がそれ以外の建物と異なるため、以下において、燃料加工建屋とそれ以外の建物・構築物に分けて整理を行った。

a. 燃料加工建屋

(a) 入力地震動

地震応答解析モデルへの地震動入力について、水平方向及び鉛直方向共に、既設工認では一次元波動論に基づき当時の基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d に対する地盤の応答として評価したものを考慮しており、今回設工認では一次元波動論に基づき、事業変更許可申請書における基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d に対する地盤の応答として評価したものをを用いる。

また、「(b)解析モデル」に示すとおり、既設工認では建屋-地盤間相互作用については基礎底面地盤との相互作用のみ考慮しており、今回設工認では基礎底面地盤に加えて建屋側面地盤との相互作用を考慮していることから、地盤の応答の評価に当たっては基礎底面地盤に加えて建屋側面地盤を考慮している。

(b) 解析モデル

地震応答解析に用いる解析モデルについて、既設工認では多質点系でモデル化しており、その考え方は今回設工認と同様であるが、既設工認時点からの階高の変更に伴う質点レベルの変更及び建屋の増床に伴う重量増加及び剛性の変更をモデルに反映している。

建屋-地盤間相互作用について、既設工認では基礎底面地盤ばねのみ考慮しており、建屋側面地盤ばねは考慮していないが、今回設工認ではNovakの方法により水平ばねを考慮する。

地盤の非線形特性について、既設工認では建屋側面地盤を考慮していないが、今回設工認では建屋側面地盤である六ヶ所層及び造成盛土のひずみ依存特性を考慮する。

b. a. に示した建物以外の建物・構築物（屋外重要土木構造物以外）

(a) 入力地震動

地震応答解析モデルへの地震動入力について、水平方向については、既設工認では一次元波動論に基づき基準地震動 S_1 及び S_2 に対する地盤の応答として評価したものを考慮しており、今回設工認では、基準地震動の変更に伴い、一次元波動論に基づき基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d に対する地盤の応答として評価したものを採用する。

鉛直方向については、既設工認では「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針(昭和56年7月 原子力安全委員会決定)」に基づき静的地震力を考慮しており、動的地震力に対する評価は行っていないが、今回設工認では一次元波動論に基づき基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d に対する地盤の応答として評価したものを採用する。

(b) 解析モデル

地震応答解析に用いる解析モデルについて、既設工認では1軸又は多軸多質点系でモデル化している。なお、一部の冷却塔においては、既設工認時点からモデルの精緻化を行い、多軸多質点系でモデル化している。

また、応答の精緻化を行うために、建屋-地盤間相互作用について、以下の変更を行っている。

既設工認では基礎底面地盤ばねのみ考慮しており、建屋側面地盤ばねは考慮していないが、今回設工認では Novak の方法、境界要素法及び有限要素法のいずれかの手法により水平ばねを考慮している。

また、基礎底面地盤の回転ばねの非線形特性について、既設工認では考慮していないが、今回設工認では、応答を精緻化するために、JEAG4601-1991 追補版に基づいて設定している。

2.2.1.2 耐震計算書における解析手法

耐震計算書における解析手法について、今回設工認における建物・構築物のうち燃料加工建屋は、重要区域の耐震重要度分類を既設工認から変更していることから、以下において、燃料加工建屋とそれ以外の建物・構築物に分けて整理を行った。

a. 燃料加工建屋

(a) 重要区域の壁及び天井・床スラブ(Sクラスの部位)

燃料加工建屋において、既設工認では重要区域については局所評価の対象としていなかったが、今回設工認において重要区域の耐震重要度分類をSクラスに変更したことを踏まえ、重要区域の壁及び天井・床スラブ

ブについて、弾性設計用地震動 S_d 及び静的地震力(Sクラス)による発生応力が短期許容応力度を超えないこと、及び基準地震動 S_s による壁の最大せん断ひずみ度及び天井・床スラブの発生応力が許容値を超えないことを確認する。

(b) 耐震壁(間接支持構造物)

今回設工認では、既設工認と同様の手法により、基準地震動 S_s による最大せん断ひずみ度が許容値を超えないことを確認する。

(c) 基礎スラブ(間接支持構造物)

今回設工認では、既設工認と同様の手法により、基準地震動 S_s による発生応力が許容値を超えないことを確認する。

b. a. に示した建物以外の建物・構築物(屋外重要土木構造物以外)

(a) セル等の壁及び床(Sクラスの部位)

既設工認では、基準地震動 S_1 及び静的地震力による壁及び床の発生応力が許容値を超えないことを確認した。

今回設工認では、地震動が変更になったことを踏まえ、弾性設計用地震動 S_d 及び静的地震力(Sクラス)による壁及び床の発生応力が短期許容応力度を超えないこと、及び基準地震動 S_s による壁の最大せん断ひずみ度及び床の発生応力が許容値を超えないことを確認する。

今回設工認にて用いた解析手法は、既設工認又は先行発電プラントにおいて適用実績がある手法である。

(b) 緊急時対策所建屋の遮蔽設備の壁及び床、緊急時対策所の壁及び床

今回設工認にて新規に追加となった耐震重要重大事故等対処施設に係る評価対象部位である。基準地震動 S_s による壁の最大せん断ひずみ度及び床の発生応力が許容値を超えないことを確認する。

今回設工認にて用いた解析手法は、先行発電プラントにおいて適用実績がある手法である。

(c) 貯蔵区域の壁及び天井(Sクラスの部位)

既設工認では、基準地震動 S_1 及び静的地震力による壁及び天井の発生応力が許容値を超えないことを確認した。

今回設工認では、地震動が変更になったことを踏まえ、弾性設計用地震動 S_d 及び静的地震力(Sクラス)による壁及び天井の発生応力が短期許容応力度を超えないこと、及び基準地震動 S_s による壁の最大せん断ひずみ度及び天井の発生応力が許容値を超えないことを確認する。

今回設工認にて用いた解析手法は、既設工認又は先行発電プラントにおいて適用実績がある手法である。

(d) プールの壁及び床 (Sクラスの部位)

既設工認では基準地震動 S_1 及び静的地震力による壁及び床の発生応力が許容値を超えないことを確認した。また、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋のプールについては A_s クラスであったことから、基準地震動 S_2 による壁及び床の発生応力が許容値を超えないことについても確認した。

今回設工認では、地震動が変更になったことを踏まえ、弾性設計用地震動 S_d 及び静的地震力(Sクラス)による壁及び床の発生応力が短期許容応力度を超えないこと、及び基準地震動 S_s による壁及び床の発生応力(又はひずみ)が許容値を超えないことを確認する。

今回設工認にて用いた解析手法は、既設工認又は先行発電プラントにおいて適用実績がある手法である。

(e) プールの天井 (Sクラスの部位)

既設工認では、基準地震動 S_1 及び静的地震力による天井の発生応力が許容値を超えないことを確認した。

今回設工認では、地震動が変更になったことを踏まえ、弾性設計用地震動 S_d 及び静的地震力(Sクラス)による天井の発生応力が許容応力度を超えないこと、及び基準地震動 S_s による天井の発生応力が許容値を超えないことを確認する。

今回設工認にて用いた解析手法は、既設工認又は先行発電プラントにおいて適用実績がある手法である。

(f) 貯水槽の壁及び床

今回設工認にて新規に追加となった耐震重要重大事故等対処施設に係る評価対象部位である。基準地震動 S_s による壁及び床の発生応力が許容値を超えないことを確認する。

今回設工認にて用いた解析手法は、先行発電プラントにおいて適用実績がある手法である。

(g) 主排気筒の筒身 (Sクラスの部位)

既設工認では、基準地震動 S_1 及び静的地震力による筒身の発生応力が許容値を超えないことを確認した。

今回設工認では、地震動が変更になったことを踏まえ、弾性設計用地震動 S_d 及び静的地震力(Sクラス)による筒身の発生応力が短期許容応力度を超えないこと、及び基準地震動 S_s による筒身の発生応力が許容値を超えないことを確認する。

今回設工認にて用いた解析手法は、既設工認又は先行発電プラントにおいて適用実績がある手法である。

(h) 耐震壁(間接支持構造物)

既設工認では、基準地震動 S_2 による耐震壁の発生応力が許容値を超

えないことを確認した。

今回設工認では、地震動が変更になったことを踏まえ、基準地震動 S_s による耐震壁の最大せん断ひずみ度が許容値を超えないことを確認する。

今回設工認にて用いた解析手法は、既設工認又は先行発電プラントにおいて適用実績がある手法である。

(i) 基礎(間接支持構造物)

既設工認では、基準地震動 S_2 による基礎の発生応力が許容値を超えないことを確認した。

今回設工認では、地震動が変更になったことを踏まえ、基準地震動 S_s による発生応力(又はひずみ)が許容値を超えないことを確認する。評価条件について、既設工認では弾性解析としていたが、今回工認では一部の建屋において、入力が増大に伴い、塑性域の挙動を適切に評価するため、弾塑性解析を用いている。

今回設工認にて用いた解析手法は、既設工認又は先行発電プラントにおいて適用実績がある手法である。

(j) 主排気筒の鉄塔(間接支持構造物)

既設工認では、基準地震動 S_1 及び静的地震力による発生応力が許容値を超えないことを確認した。

今回設工認では、地震動が変更になったことを踏まえ、基準地震動 S_s による鉄塔の発生応力が許容値を超えないことを確認する。

今回設工認にて用いた解析手法は、既設工認又は先行発電プラントにおいて適用実績がある手法である。

(k) 排気筒の筒身(波及的影響を考慮すべき施設)

今回設工認にて新規申請対象施設の、上位クラス施設に対する波及的影響を考慮すべき施設である。基準地震動 S_s による筒身の発生応力が許容値を超えないことを確認する。

今回設工認にて用いた解析手法は、先行発電プラントにおいて適用実績がある手法である。

2.2.2 屋外重要土木構造物

既設工認との相違点のうち、主な相違点を以下に示す。個別の施設に対する内容については別紙-2-1に示し、各屋外重要土木構造物の変更点の具体的な内容について、補足説明資料「耐震建物 31 土木構造物の既設工認からの変更点について」にて示す。

2.2.2.1 地震応答計算書における解析手法

(a) 入力地震動

地震応答解析モデルへの地震動入力について、水平方向については、既設工認では1次元波動論に基づき基準地震動 S_1 及び S_2 に対する地盤の応答として評価したものを考慮しており、今回設工認では、基準地震動の変更に伴い、1次元波動論に基づき基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d に対する地盤の応答として評価したものをを用いる。

鉛直方向については、既設工認では「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針(昭和56年7月 原子力安全委員会決定)」に基づき静的地震力を考慮しており、動的地震力に対する評価は行っていないが、今回設工認では1次元波動論に基づき基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d に対する地盤の応答として評価したものをを用いる。

(b) 解析モデル

地震応答解析に用いる解析モデルについて、既設工認では水平地震時の断面力算定においては、2次元FEMモデルを使用し、鉛直地震時の断面力算定においては、フレームモデルを使用している。今回設工認では、地盤と構造物の相互作用の考慮や評価手法の高度化の観点から、水平・鉛直とも2次元FEMモデルを使用し、解析モデルには、構造物の非線形性の考慮や洞道の周辺状況を踏まえた改良地盤や隣接構造物のモデル化等の変更を行う。

2.2.2.2 耐震計算書における評価手法

評価方法について、既設工認では、2次元FEMモデルにより算定した水平地震時の断面力とフレームモデルにより算定した鉛直地震時の断面力を重ね合わせて、発生応力が許容値を超えないことを確認した。

今回設工認では、2次元FEMモデルを用いた基準地震動 S_s に対する時刻歴応答解析を行い、許容限界の設定については最新知見を踏まえて限界状態設計法を採用し、曲げについては最大層間変形角又は応答曲率、せん断については発生せん断力が許容値を超えないことを確認する。また、構造部材がSクラスの場合は、これに加えて、弾性設計用地震動 S_d による発生応力度が許容値を超えない事を確認する。

2.2.3 機器・配管系

今回設工認における既設工認からの手法の相違点のうち、共通的な主な相違点を以下に示す。

- a. 屋外設備に対する自然現象による荷重の適用性について
屋外設備の評価においては、自然現象による荷重として雪及び風と地震を組合せた評価を実施している。
自然現象による荷重の評価並びに地震荷重との組合せ方法は、先行発電プラントにおいて適用実績のある手法と同じであり、適用可能なものである。
- b. 機器・配管系の応力解析への有限要素法(FEM)モデルの適用について
既設工認において、定型式、公式等による評価にて耐震計算を実施していた設備について、有限要素法(FEM)モデル、多質点モデルを適用した耐震評価を実施している。FEMモデル、多質点モデルを用いて応力評価を行う手法は、既設工認及び先行発電プラントにおいて適用実績がある手法であり、適用可能なものである。
- c. 水平方向と鉛直方向の動的地震力の二乗和平方根による組合せ
今回設工認の評価では、「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針（平成18年9月 原子力安全委員会改訂）」に伴い導入された鉛直方向の動的地震力を用いた評価を行うことから、水平方向と鉛直方向の地震力の組合せとして、絶対値和法に加え二乗和平方根(以下「SRSS」という。)法を用いる。SRSS法による荷重の組合せは、先行発電プラントにおいて適用実績のある手法と同じであり、適用可能なものである。
- d. 最新知見として得られた減衰定数の適用性について
今回設工認の評価では、既設工認可時に用いている減衰定数に加え、最新知見として得られた減衰定数を適用している。なお、適用している最新知見として得られた減衰定数は先行発電プラントにおいて適用実績のある減衰定数と同じである。
最新知見として得られた減衰定数の適用に当たっては、適用性を確認した上で用いる。

これらの手法を採用している個別の設備に対する内容について、別紙-2-2に示す。別紙-2-2で示す個別設備の名称は、設備リストの名称を記載するが、設備リストの名称が「主配管」の場合は、これに含まれる設備を明確にするため、本資料では個別設備の名称及び機器番号で記載する。

また、上記以外の項目以外に、最新の規格・基準等の適用、最新の設計図書による設備状況の反映、評価条件の精緻化等を個別の機器・配管系に対して実施している。これらの変更点の詳細については、補足説明資料「耐震機電13 既設工認からの変更点について」にて示す。

3. 今回設工認における主な説明項目

今回設工認においては、建物・構築物及び機器・配管系について、同様の設計プロセスである施設を類型化した上で、耐震評価方針及び結果を設工認添付書類に示すが、以下に示すとおり、設工認添付書類に記載の内容に加えて、その詳細な考え方や根拠を示すべき内容として主な説明項目を選定し、補足説明資料として提出する。

各補足説明資料の構成としては、主な説明項目のそれぞれに対し、各施設に対する共通的な方針等を示した上で、代表施設の内容を示す。代表施設以外の施設のうち、代表施設の内容から差分がある施設については、差分に該当する部分の内容を示す。

上記以外の施設については、代表施設並びに説明内容の差分のある施設と同様の説明となることから、社内自主管理として整理を行うこととし、今回設工認の補足説明資料における説明内容の記載としては省略する。

これらの整理結果については、建物・構築物及び機器・配管系ごとに、耐震計算のプロセスと紐づけて添付－１－１～添付－１－３に示す。

3.1 建物・構築物

建物・構築物に係る今回設工認における主な説明項目については、事業変更許可申請書の記載内容のうち当社施設特有の説明事項、既設工認からの変更点に係る説明事項、新規制基準における追加要求事項に係る説明事項及びその他先行発電プラントの審査実績を踏まえた説明事項等に分類し、整理する。

本項では、耐震設計の基本方針において示す耐震評価に係るプロセスの違いを考慮し、建物・構築物を「建物・構築物（屋外重要土木構造物以外）」と「屋外重要土木構造物」の２種に分類し、それぞれに対して主な説明項目を整理した。「建物・構築物（屋外重要土木構造物以外）」の主な説明項目を添付－１－１、「屋外重要土木構造物」の主な説明項目を添付－１－２に示す。

整理に当たっては、第１回及び第２回申請におけるＳクラス又はＳクラスの間接支持構造物の建物・構築物も含めて整理した。

説明にあたっては、今回設工認の申請対象全体を俯瞰した上で、主な説明項目を網羅できるように代表説明施設及び代表説明施設から説明内容の差分がある施設を選定し、効率的な説明を行う。

以下に、それぞれの主な説明項目について、選定の理由及び説明方針を示す。

3.1.1 建物・構築物（屋外重要土木構造物以外）

(1) 事業変更許可申請書の記載内容のうち当社施設特有の説明事項

以下に示す事項については、事業変更許可申請書においてその方針を記載した事項であることから、今回設工認における評価の考え方及び評価方法について、添付－1－1に示す各補足説明資料にて説明を行う。また、各説明事項について、設工認申請書の添付書類のうち、地震応答計算書並びに耐震性に係る計算書類(以下、本章において「添付書類」という。)に記載している部分についても併せて示す。整理結果を添付－1－1に示す。

a. 地盤モデル及び地盤物性値の設定

事業変更許可申請書では、建物・屋外機械基礎・排気筒への入力地震動の算定に当たっては、「解放基盤表面からの地震波の伝播特性を適切に考慮」し、「必要に応じて地盤の非線形応答を考慮することとし、地盤のひずみに応じた地盤物性値を用いて作成」することとされている。

上記を踏まえ、第1回設工認申請では、地盤モデル及び地盤物性値の設定について、敷地全体の地下構造との関係や建屋近傍位置での地質・速度構造を踏まえた設定方針を補足説明資料に示すとともに、燃料加工建屋及び安全冷却水B冷却塔基礎について、建屋近傍の地盤調査結果を重視した地盤モデル及び地盤物性値の設定方法及び根拠について補足説明資料の別紙にて示し、設定した地盤モデルを設工認申請書の添付書類に記載している。

また、第1回設工認申請対象のうち燃料加工建屋について、地盤のひずみの大きさに応じた解析手法の適用性に留意し、表層地盤の一部の層において、等価線形解析の一般的な適用の目安である有効せん断ひずみ 1%を大きく上回る場合があることを踏まえて、地盤の非線形特性を時々刻々と評価可能な逐次非線形解析を実施し、解析手法の相違が入力地震動の算定結果に影響を与えないことの確認結果を補足説明資料の別紙に示している。

地盤モデルの設定方法及び根拠、地盤のひずみの大きさに応じた解析手法の適用性については、第2回申請に係る施設においても、第1回申請における説明と同様の説明となることから、第1回申請施設を代表説明施設とし、第2回以降の申請に係る施設における説明内容のうち、代表説明施設からの差分について、各申請回次における補足説明資料の別紙に示す。

b. 一関東評価用地震動(鉛直)に対する影響

事業変更許可申請書では、「基準地震動 $S_s - C4$ については、水平方向のみの地震動であることから、水平成分と鉛直方向の地震力を組み合わせた影響評価を行う際には、工学的に水平方向の地震動から設定した鉛直方向の評価用地震力(以下「一関東評価用地震動(鉛直)」という。)による地震力を用いる」こととされている。

上記を踏まえ、当社施設における今回設工認では基準地震動 S_s に対する評価を記載していることから、一関東評価用地震動(鉛直)による地震

力を水平地震力と組み合わせた場合の影響評価を実施することとし、その評価方法及び評価結果を設工認申請書の添付書類に記載している。

なお、第1回申請の当初申請時においては、本評価方法及び評価結果について補足説明資料に示していたが、これらの内容については、耐震設計の基本方針の記載を踏まえ、設工認申請書の添付書類に記載することとした。このことから、補足説明資料における説明事項は無いため、補足説明資料は提出しない。

c. 地盤の支持力度

事業変更許可申請書では、建物・構築物の設置地盤については、「安全機能を有する施設は、地震力が作用した場合においても当該安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置」することとされている。

上記を踏まえ、今回設工認では、各建物・構築物について、地震力が作用した際の接地圧と地盤の支持力度の比較により、施設を十分に支持することができることの確認結果を設工認申請書の添付書類に記載している。

また、第1回設工認申請では、地盤の支持力度について、燃料加工建屋及び安全冷却水B冷却塔基礎における地盤の支持力度の考え方を補足説明資料に示している。

第2回以降の申請に係る施設においても、第1回申請において示した説明内容と同様の説明となることから、第1回申請施設を代表説明施設とし、第2回以降の申請に係る施設における説明内容の記載については省略する。

(2) 既設工認からの変更点に係る説明事項

以下に示す事項については、既設工認から地震応答解析に用いる建屋モデルを変更していることから、その変更内容について添付－１－１に示す各補足説明資料にて説明を行う。

a. 既設工認からの変更点

当社施設における今回設工認では、建物・屋外機械基礎・排気筒の地震応答解析及び応力評価に用いるモデルについて変更を行っている。また、燃料加工建屋については、既設工認段階から設計の変更がされており、その変更内容をモデルに反映している。

第1回設工認申請対象のうち、燃料加工建屋と安全冷却水B冷却塔基礎については、既設工認段階からのモデルの変更点の整理を行い、補足説明資料に示している。また、燃料加工建屋については、既認可設工認からの設計変更がされていることから、その変更内容を補足説明資料にて示している。

第2回以降の申請に係るその他の各建物・屋外機械基礎・排気筒についても、施設の改造または変更に伴う諸元等の変更や、評価手法の変更の、各建物・構築物ごとの具体的な内容を補足説明資料に示す。

また、共通12を踏まえ、施設の改造または変更に伴う諸元等の変更に関する説明として、各建物・構築物の耐震評価に用いる重量の変動の状況についても示すとともに、その重量増が建物・構築物の地震応答解析モデルに与える影響について説明する。

b. 側面地盤ばね及び地盤のひずみ依存特性の評価

「a. 既認可からの変更点」に示した当社施設における今回設工認における建物・屋外機械基礎の地震応答解析に用いるモデルの変更点として、埋め込み効果を考慮して側面地盤ばねを設定していることが挙げられる。

上記を踏まえ、当社施設における今回設工認では、建物・屋外機械基礎の地震応答解析に用いるモデルに考慮している側面地盤ばねの設定方法及び結果について、補足説明資料にて示す。

側面地盤ばねの設定の方法については当社施設全体で共通であり、また、建屋の辺長比や周辺地盤との接触状況を踏まえ、Novakばね、境界要素法(BEM)及び有限要素法(FEM)の手法を使い分けており、その考え方は当社施設全体で共通であることから、第1回設工認申請では、第2回以降の申請対象も含めた共通的な設定方針並びに設定手法の使い分けの考え方を補足説明資料に示すとともに、第1回設工認申請対象の建物・屋外機械基礎の設定結果及び設定根拠について補足説明資料の別紙に示している。

第2回以降の申請に係るその他の建物・屋外機械基礎についても、共通的な設定方針に示した手法のいずれかを用いており、説明における差分が無いことから、第1回申請施設を代表説明施設とし、第2回以降の申請に係る施設における説明内容の記載については省略する。

なお、一部建屋において、周辺地盤との接触状況の実情を考慮した評価を行っており、建屋側面と洞道の取り合い部が存在するため、建屋側面と洞道の取り合い部の影響確認結果を示す。補足説明資料「耐震建物 07 水平 2 方向及び鉛直地震力の組合せに関する影響評価方針」において地震観測記録を用いた検討を行うことから、当該建屋について代表説明建屋を選定し説明する。

(3) 新規制基準における追加要求事項に係る説明事項

以下に示す事項については、新規制基準による追加要求事項であり、既設工認では実施していない評価であることから、その評価方法及び評価結果について添付－１－１に示す各補足説明資料にて説明を行う。

a. 水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せ

本項目は、新規制基準における追加要求事項である水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する内容であり、今回設工認における添付書類のうち、「水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針」及び「建物・構築物(屋外重要土木構造物以外)の水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価」にてその評価方針及び結果を示している。

上記を踏まえ、水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価対象の抽出の考え方及びその根拠について、補足説明資料にて示す。

(a) 建物・構築物の図面(別紙１)

水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響評価部位の抽出のプロセスに用いた、建物・構築物の図面及び抽出の考え方を記載するものである。

第１回設工認申請では、申請施設である燃料加工建屋及び安全冷却塔基礎の図面及び第２回申請対象も含めた抽出の共通的な考え方を示す。

第２回以降の申請に係る施設においても、第１回申請における説明と同様の説明となることから、第１回申請施設を代表説明施設とし、第２回以降の申請に係る施設における説明内容の記載については省略する。

(b) ３次元 FEM モデルを用いた精査(別紙２)

３次元の応答特性が想定される部位を対象に、３次元 FEM モデルを用いた精査を行うことで、耐震性への影響を確認するものである。

第１回設工認申請では、「面内方向の荷重に加え、面外慣性力の影響が大きい」可能性がある部位として、燃料加工建屋のクレーン室壁及び天井についてその評価方針及び結果を示す。

第２回申請では、「加振方向以外の方向に励起される振動」が発生する可能性がある部位として、高レベル廃液ガラス固化建屋の冷却空気出口シャフトについてその評価方針及び結果を示す。

(c) ３次元 FEM 応答解析(別紙３)

建屋の３次元 FEM モデルを用いて水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せによる影響を確認することで、建屋の局所的な応答性状を確認するものである。

第１回設工認申請では、新設建屋である燃料加工建屋についてその評価方針及び結果を示す。また、観測記録シミュレーションについては、

燃料加工建屋は建設中であり、地震観測記録を有していないが、3次元 FEM モデルの作成方針は建屋ごとに共通であることから、地震計を設置している建屋のうち、偏心率の高い分離建屋のシミュレーション解析結果を用いて、燃料加工建屋の3次元 FEM モデルのモデル化方法が妥当であることを示している。

さらに、第2回申請では、地震計を設置している建屋の内、偏心率が高く、ねじれ振動等の3次元的な挙動が大きいと想定される分離建屋を代表として、その評価方針及び結果を示す。

(4) その他先行発電プラントの審査実績を踏まえた説明事項等

以下に示す事項については、先行発電プラントにおける工認審査において、補足説明資料を提出している実績があり、耐震評価の前提条件に係る考え方及びそのエビデンスを添付-1-1に示す各補足説明資料にて示しているものであることから、今回設工認において当社施設の建物・屋外機械基礎・排気筒の考え方を反映した上で、先行発電プラントと同様の補足説明資料にて説明を行う。

a. 設計用地下水位の設定

本項目は先行発電プラントの審査にて地盤の支持性能に係る内容として示されている項目である。建物・屋外機械基礎・排気筒の設計用地下水位の設定について補足説明資料に示すとともに、地下水排水設備については、設計用地下水位維持の前提となっていることから、基準地震動 S_s に対してその機能を維持する設計とする。また、設計用地下水位を地表面に設定している地下躯体を有する建物・屋外機械基礎・排気筒については、液状化による影響評価を行う。

上記を踏まえ、第1回設工認申請では、第2回以降の申請対象も含めた当社施設の敷地全体における設計用地下水位の設定方針及び設定結果、地下水排水設備の設計方針及び液状化を考慮した評価の対象選定の考え方及び評価方針について、共通的な考え方を補足説明資料に示すとともに、第1回設工認申請対象の建物・屋外機械基礎・排気筒における液状化を考慮した評価結果及び地下水排水設備の詳細な設置状況を補足説明資料に示している。

液状化を考慮した評価に係る説明については、第2回以降の申請に係る施設においても、第1回申請における説明と同様の説明となり、説明における差分が無いことから、第1回申請施設を代表説明施設とし、第2回以降の申請に係る施設における記載については省略することとする。

地下水排水設備の設計に係る説明については、第1回申請において第2回以降の申請に係る施設を含む共通的な考え方を説明したことから、当該設備の申請回次では代表説明施設を選定した上で、代表説明施設の地下水排水設備の詳細な設置状況について、補足説明資料の別紙に示す。

b. 隣接建屋の影響

本項目は先行発電プラントの審査にて補足説明資料として示されている項目である。再処理施設等の建物・屋外機械基礎・排気筒の地震応答解析は、構造ごとに独立して構築した解析モデルを用いて実施しており、隣接建屋の影響は考慮していない。このことを踏まえ、隣接建屋が評価対象建屋の建屋応答に与える影響について検討を行うことで、構造ごとに独立して構築した解析モデルを用いても安全上支障がないことを説明する。隣接建屋の影響検討にあたっては、評価対象建屋に隣接する建物・屋外機械基礎・排気筒を抽出し、FEMを用いた詳細評価を実施する。

上記を踏まえ、今回設工認では、FEM を用いた影響評価結果について、添付書類として設工認申請書に記載している。

また、FEM を用いた詳細評価の方法についての考え方及び第1回申請施設における評価方法の詳細を補足説明資料にて示している。

FEM を用いた詳細評価の方法については、第2回以降の申請に係る施設においても、第1回申請における説明と同様の説明となり、説明における差分が無いことから、第1回申請施設を代表説明施設とし、第2回以降の申請に係る施設における説明内容の記載については省略する。

c. 材料物性のばらつき

本項目は先行発電プラントの審査にて補足説明資料として示されている項目である。再処理施設等の建物・屋外機械基礎・排気筒の耐震評価においては、材料物性のばらつきを考慮した設計用地震力を考慮している。また、材料物性のばらつきのうち、地盤物性のばらつきについては、各建物・屋外機械基礎・排気筒の地震応答計算書に解析方法及び解析結果について記載している。

第1回設工認申請では、材料物性のばらつきを考慮した設計用地震力の考え方について、第2回以降の申請対象も含めた共通的な考え方を補足説明資料に示すとともに、燃料加工建屋及び安全冷却水B冷却塔基礎について、建屋物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果について補足説明資料の別紙にて示している。

材料物性のばらつきを考慮した設計用地震力の考え方については、第2回以降の申請に係る施設においても、第1回申請における説明と同様の説明となり、説明における差分が無いことから、第1回申請施設を代表説明施設とし、第2回以降の申請に係る施設における説明内容の記載については省略する。

d. スケルトンカーブの設定

e. RC 減衰定数

f. 応力解析モデルのモデル化

g. 地震荷重の入力方法

h. 組合せ係数法の適用

i. 断面の評価部位

上記 c. ～i. については、先行発電プラントの審査にて補足説明資料として示されている項目であり、地震応答解析及び応力解析におけるモデル化及び評価条件の設定根拠となるものである。

第1回設工認申請では、第2回以降の申請対象も含めたモデル化及び評価条件の共通的な考え方を補足説明資料に示すとともに、第1回設工認申請対象施設における設定根拠を補足説明資料の別紙にて示している。

地震応答解析及び応力解析におけるモデル化及び評価条件の考え方につい

ては、第2回以降の申請に係る施設においても、第1回申請における説明と同様の説明となり、説明における差分が、下記を除いて無いことから、第1回申請施設を代表説明施設とし、第2回以降の申請に係る施設における説明内容の記載については省略する。

j. 下位クラス施設の波及的影響の検討

事業変更許可申請書では、「耐震重要施設は、耐震重要度分類の下位のクラスに属する施設(以下「下位クラス施設」という。)の波及的影響によって、その安全機能が損なわれないものとする。」とされている。

上記を踏まえ、波及的影響の評価対象とする下位クラス施設の抽出結果及び波及的影響評価の結果について、各下位クラス施設の申請時に添付書類として示している。

また、上位クラス施設への波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の抽出方針及び波及的影響の評価方針を補足説明資料にて示す。

第1回設工認申請では、第2回以降の申請対象も含めた共通的な抽出方法及び評価方針を示すとともに、第1回設工認申請対象施設の建物・屋外機械基礎・排気筒に対して波及的影響を考慮する下位クラス施設の抽出に係る具体的な考え方を補足説明資料に示している。

波及的影響の評価対象とする下位クラス施設の抽出方法及び波及的影響の評価方法については、当社施設全体で共通であり、説明における差分が無いことから、第1回申請施設を代表説明施設とし、第2回以降の申請に係る施設における説明内容の記載については省略する。

なお、波及的影響の評価方法に係る説明において、第1回設工認申請対象施設のうち竜巻防護対策設備は再処理施設全体の既設工認に適用例がない有効応力を考慮した特殊な地震応答解析手法やロ形の基礎梁及び杭基礎を採用している特殊な基礎形状を採用しているため、評価方法の妥当性について、別途、補足説明資料「耐震建物 23 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設（竜巻防護対策設備）の耐震評価についての補足説明資料」にて示す。

3.1.2 屋外重要土木構造物

(1) 事業変更許可申請書の記載内容のうち当社施設特有の説明事項

以下に示す事項については、事業変更許可申請書においてその方針を記載した事項であることから、今回設工認における評価の考え方及び評価方法について、添付－1－2に示す各補足説明資料にて、説明を行う。

a. 地盤モデル及び地盤物性値の設定

事業変更許可申請書では、建物・構築物への入力地震動の算定に当たっては、「解放基盤表面からの地震波の伝播特性を適切に考慮」し、「必要に応じて地盤の非線形応答を考慮することとし、地盤のひずみに応じた地盤物性値を用いて作成」することとされている。

第2回設工認申請施設である屋外重要土木構造物については、第2回設工認申請にて、地盤モデル及び地盤物性値の設定の考え方を説明する。

b. 地盤の支持力度

事業変更許可申請書では、建物・構築物の設置地盤については、「安全機能を有する施設は、地震力が作用した場合においても当該安全機能を有する施設を十分に支持することができる地盤に設置」することとされている。

上記を踏まえ、今回設工認では、各建物・構築物について、地震力が作用した際の接地圧と地盤の支持力度の比較により、施設を十分に支持することができることの確認結果を設工認申請書の添付書類に記載している。

また、第1回設工認申請では、地盤の支持力度について、燃料加工建屋及び安全冷却水B冷却塔基礎における地盤の支持力度の考え方を補足説明資料に示している。

第2回設工認申請施設である屋外重要土木構造物についても、第1回設工認申請において示した説明内容と同様の考え方で地盤の支持力度を設定することから、第1回申請施設を代表説明施設とし、説明内容の記載については省略する。

(2) 既設工認からの変更点に係る説明事項

以下に示す事項については、既設工認から地震応答解析に用いる解析モデル及び手法を変更していることから、その変更内容について、添付－1－2に示す各補足説明資料にて説明を行う。

a. 既設工認からの変更点

今回設工認では、屋外重要土木構造物の解析モデルにおいて、構造物周辺にある耐震性向上や施工性向上を目的とした改良地盤を考慮してモデル化する。また、評価手法については、評価手法の高度化の観点から、既設工認で示した内容に対して、今回設工認で変更する内容がある。

上記を踏まえ、既設工認からの変更内容と考え方について説明を行う。

(3) 新規制基準における追加要求事項に係る説明事項

以下に示す事項については、新規制基準による追加要求事項であり、既設工認では実施していない評価であることから、その評価方法及び評価結果について、添付－１－２に示す各補足説明資料にて説明を行う。

a. 水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せ

本項目は、新規制基準における追加要求事項である水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する内容であり、今回設工認における「水平２方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針」に基づき、屋外重要土木構造物の水平２方向及び鉛直方向地震力に関する影響評価を実施する。

上記を踏まえ、屋外重要土木構造物の水平２方向及び鉛直方向地震動の組合せに関する影響評価における評価対象構造物の選定及び評価結果について説明を行う。

(4) その他先行発電プラントの審査実績を踏まえた説明事項等

以下に示す事項については、先行発電プラントにおける工認審査において、補足説明資料を提出している実績があり、耐震評価の前提条件に係る考え方及びそのエビデンスを補足説明資料にて示しているものであることから、今回設工認において当社施設の屋外重要土木構造物の考え方を反映した上で、先行発電プラントと同様に、添付－１－２に示す各補足説明資料にて説明を行う。

a. 設計用地下水位の設定

本項目は、屋外重要土木構造物の設計用地下水位の設定を踏まえた液状化による影響評価に関する内容であり、屋外重要土木構造物の液状化の影響評価方針、周囲の改良地盤の概要について補足説明資料で示すとともに、液状化による影響を評価し、その評価結果についても補足説明資料にて示す。

第１回設工認申請では、第２回設工認申請対象施設である屋外重要土木構造物も含めた当社施設の敷地全体における設計用地下水位の設定方針及び液状化による影響評価方針について、共通的な考え方を補足説明資料に示す。また、第２回設工認申請で、屋外重要土木構造物の周囲の改良地盤の概要、液状化による評価対象施設選定の考え方について説明を行う。

b. 断面選定の考え方

本項目は、屋外重要土木構造物の耐震評価における断面選定に関する内容であり、屋外重要土木構造物の耐震評価については、洞道の構造的特徴等を踏まえ代表断面を選定して行うことから、断面選定の考え方について説明を行う。

c. 材料物性のばらつき

本項目は、屋外重要土木構造物の耐震評価における物性のばらつきの影響に関する内容であり、物性のばらつきの考え方及び物性のばらつきを考慮した評価結果について説明を行う。

d. 隣接建屋の影響

本項目は、屋外重要土木構造物の耐震評価における隣接建屋の影響に関する内容であり、隣接建屋の影響の考え方及び隣接建屋を考慮した評価結果について説明を行う。

e. 耐震評価における共通事項

本項目は、屋外重要土木構造物の耐震評価における要求機能、要求機能に応じた耐震評価方針及び安全係数の考え方等に関する共通的な内容であり、当該共通事項について説明を行う。

3.2 機器・配管系

機器・配管系に係る今回設工認における主な説明項目の選定としては、事業変更許可申請書の記載内容のうち当社施設特有の説明事項、新規制基準における追加要求事項に係る説明事項、耐震評価条件等の設定に対する考え方及び既設工認からの変更点に係る説明事項及びその他先行発電プラントの審査実績を踏まえた説明事項等に対して行い、今回設工認の主な説明項目を整理した上で、添付－1－3にて説明項目及び代表設備の管理を行う。

主な説明項目に関する詳細な内容については申請に併せて補足説明資料を準備したうえで示す。

以下に、主な説明項目の概要を示す。

- (1) 事業変更許可申請書の記載内容のうち当社施設特有の説明事項
 - a. 一関東評価用地震動(鉛直)に対する影響確認
一関東評価用地震動(鉛直)地震力の機器・配管系に対する影響確認として、地震力の比較や簡易評価等設計用地震力と一関東評価用地震動(鉛直)の地震力を用いた影響確認方法について説明を行う。
影響確認方法の詳細な内容については、第1回、第2回設工認申請それぞれで示す。
- (2) 新規制基準における追加要求事項に係る説明事項
 - a. 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する設備の抽出及び考え方
新規制基準による追加要求事項として、従来の水平1方向及び鉛直方向地震力を組み合わせた耐震計算に対し、設備の構造特性から水平2方向の組み合わせによる影響の可能性のある設備の抽出、確認を行っていることから、構造強度評価、機能維持評価それぞれに対する設備の抽出結果及び考え方について説明を行う。
水平2方向影響評価を行う設備、行わない設備の確認結果を第1回設工認申請で示す。
水平2方向影響評価を行わない設備については、水平2方向影響が軽微であると判断した理由を第1回、第2回設工認申請それぞれで示す。
また、建物・構築物及び屋外重要土木構築物からの水平2方向及び鉛直地震力の組合せによる影響を踏まえた機器・配管系への影響について、第2回設工認申請で示す。
- (3) 既設工認からの変更点に係る説明事項
 - a. 既設工認からの変更点
今回の設工認申請においては、新規制基準の要求事項を踏まえ耐震設計方針の見直し、規格基準の変更等に伴う既設工認時からの評価条件の変更

に加え、地震動増大に伴い、設備の補強や解析モデルの見直し等、事業者が変更した事項が有ることから、これらの変更内容について示す。

耐震設計の基本方針等、設工認申請書 添付書類「耐震性に関する説明書」で示す基本方針類の変更点、設備の変更理由及び変更点については、各申請回次それぞれで示す。

(4) その他先行発電プラントの審査実績を踏まえた説明事項等

以下に示す説明事項については、先行発電プラントにおける工認審査において対応を実施している説明事項となっており、これらに対する当社施設の対応を示す。当社施設と先行発電プラントとで方針に差異がある場合は、差異に対する考え方を補足説明資料にて示す。

a. 鉛直方向の動的地震考慮による設備の浮き上がり等の影響

鉛直方向の動的地震力考慮による設備の浮き上がり等の影響について説明する。

第1回設工認申請では、影響確認内容及び確認結果、影響を受ける設備に対する対応方法について示す。

第2回設工認申請では、影響を受けるクレーン類の設備について、鉛直方向地震力が1Gを超える場合の影響を示す。

b. 水平方向と鉛直方向の動的地震力の二乗和平方根法による組合せ

今回設工認においては、水平方向と鉛直方向の動的地震力の組合せ方法としてSRSS法を適用していることから、SRSS法が適用可能であることの根拠、妥当性の確認方法及び確認結果について第1回設工認申請で説明を行う。

c. 新たに適用した減衰定数について

地震応答解析の基本方針に示す機器、配管系の減衰定数の設定方法、適用性について説明を行う。

新たに適用した減衰定数には、「耐震審査指針の改定に伴い追加した鉛直方向の減衰定数」と「最新知見の減衰定数」の2種類がある。

第1回設工認申請では、従来と同様の減衰定数を用いているため、耐震審査指針の改訂に伴い追加した鉛直方向の減衰定数の設定方法について示す。

第2回設工認申請では、最新知見の減衰定数に対する設定方法、適用性について示す。

d. 下位クラス施設の波及的影響の検討

波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の抽出に向け、波及的影響

の基本方針に示す「設置地盤及び地震応答性状の相違に起因する不等沈下又は相対変位による影響」，「上位クラス施設と下位クラス施設との接続部における相互影響」，「建屋内における下位クラス施設の損傷，転倒及び落下等による上位クラス施設への影響(ウォークダウン)」，「建屋外における下位クラス施設の損傷，転倒及び落下等による上位クラス施設への影響(ウォークダウン)」の観点の他に検討すべき観点の有無に対する確認結果，各観点において設計対象とする下位クラス施設の抽出方法，設計対象とする下位クラス施設の確認結果について説明を行う。

共通方針となる検討すべき観点の確認結果，設計対象とする下位クラス施設の抽出方法については第1回設工認申請で示す。

上位クラス施設に対して設計対象とする下位クラス施設の確認結果については，各申請回次それぞれで示す。

e. 耐震Sクラス設備の耐震計算書におけるS_d評価結果の記載方法

基準地震動S_sの発生値を用いて弾性設計用地震動S_dに対する健全性を示す設備の妥当性及びその場合の耐震計算書上の弾性設計用地震動S_dの評価結果の記載方法について第1回設工認申請で説明を行う。

f. 剛な設備の固有周期の算出

耐震評価において固有周期の算出を行わず固有周期を「剛」と判定している設備及び耐震計算書において，水平・鉛直の固有周期のうち評価に支配的となる片方の固有周期を記載している設備の考え方等について説明を行う。

第1回設工認申請では，安全冷却水B冷却塔の構成部材となるファン駆動部(以下「冷却塔ファン」という。)及び原動機の固有周期を「剛」と判定している考え方を示す。

第2回設工認申請では，冷却塔ファン及び原動機以外に固有周期を「剛」と判定している設備の考え方，耐震計算書において支配的とならない固有周期の記載を省略している設備の考え方について示す。

g. 配管系の評価手法(定ピッチスパン法)

配管系の耐震評価における配管の評価手法として，既設工認にて設定した標準支持間隔法(定ピッチスパン法)に対する対応内容等について説明を行う。

第1回設工認申請では，定ピッチスパン法の具体的な設計手法を説明し，第2回設工認申請では，建屋間相対変位による配管への影響確認の結果等を示す。

h. 地震応答解析における材料物性のばらつきに伴う影響確認

地震応答解析における材料物性のばらつきに伴う機器・配管系に対する影響確認として，簡易評価等の設計用地震力と材料物性のばらつきを考慮

した地震力を用いた影響確認方法について説明を行う。

影響確認方法の詳細な内容については、各申請回次それぞれで示す。

i. 動的機能維持評価手法の適用

動的機能維持が要求される設備及び動的機能維持評価の考え方、動的機能維持の評価を行うにあたり評価法検討又は加振試験(以下「評価検討」という。)が必要な設備に対する評価内容について補足説明資料で示す。また、弁等に対する機能維持評価の検討方針及び検討結果について説明を行う。

第1回設工認申請では、安全冷却水 B 冷却塔が該当するファンに対する詳細検討の内容を示し、ファン以外については、対象設備の申請回次にて示す。

j. 隣接建屋の影響に対する影響確認

隣接建屋の影響を考慮した地震力の機器・配管系に対する影響確認として、隣接建屋の影響を考慮した地震力の作成方法及び地震力の比較や簡易評価等の設計用地震力と隣接建屋の影響を考慮した地震力を用いた影響確認方法について説明を行う。

影響確認方法の詳細な内容については、各申請回次それぞれで示す。

k. 地震荷重と事故時荷重との組合せ

運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故時に生じる荷重と地震荷重との組合せの検討内容について第1回設工認申請で説明を行う。

l. 機器と配管の相対変位に対する設計上の扱い

機器と配管の取り合い部について、相対変位による過大な反力を生じさせないための設計上の考慮方法、剛な機器及び剛ではない機器との取り合いに対する相対変位の影響について説明を行う。

第1回設工認申請では、剛な機器との取り合いに対する影響を安全冷却水 B 冷却塔にて示し、剛ではない機器との取り合い部に対する影響については第2回設工認申請で示す。

m. 計算機プログラム(解析コード)の概要

耐震計算に使用する計算機プログラム(解析コード)について、原子力施設における使用実績、バージョンの違い等の確認結果については、各申請回次それぞれで示す。

n. 電氣的機能維持評価手法の適用について

電氣的機能維持が要求される設備及び電氣的機能維持評価の考え方、評価における機能確認済加速度の根拠について説明を行う。また、電気盤については、器具取付位置での応答が、水平方向入力に対し応答増幅がある

ことが確認されていることから、評価に用いる加速度の保守性に対する確認結果について説明を行う。

電氣的機能維持評価の考え方は第1回設工認申請で示す。

電氣的機能維持が要求される設備の機能確認済加速度の根拠及び評価に用いる加速度の保守性については各申請回次それぞれで示す。

o. 耐震評価における等価繰返し回数の妥当性確認

疲労評価を実施している設備について、適用する等価繰返し回数の設定方法、サイクル数のカウント方法等の妥当性について、疲労評価の評価結果を示す第2回設工認申請で説明を行う。

p. 屋内設備に対するアンカー定着部の評価について

屋内設備のコンクリート定着部が基礎ボルトより耐震性を有しており、基礎ボルトの耐震評価を実施することにより健全性を確認できることについて、屋内設備の申請を行う第2回設工認申請で説明を行う。

q. ダクト評価で用いる補正係数、安全係数の設定根拠について

ダクト評価で用いる補正係数、安全係数の設定根拠についてダクトの申請を行う第2回設工認申請で説明を行う。

r. 土木構造物の液状化に伴う機電設備の影響確認について

液状化の機器・配管系に対する影響確認として、地震力の比較や簡易評価等の設計用地震力と液状化を考慮した地震力を用いた影響確認方法について、液状化の影響を受ける設備の申請を行う第2回設工認申請で説明を行う。

影響確認方法の詳細な内容については、第2回設工認申請で示す。

s. グローブボックスの閉じ込め機能維持評価について

閉じ込め機能維持が要求される MOX 燃料加工施設のグローブボックスのうち構造強度評価により健全性が確認できない部位（窓板部、ステンレスパネル部等）の閉じ込め機能維持の考え方及び機能確認済加速度の根拠について、グローブボックスの申請を行う第2回申請で説明を行う。

(5) その他

当社施設の機器・配管系に対する代表設備の選定の考え方について、補足説明資料「耐震機電 07 機器・配管系の類型化を用いた対応について」にて説明を行う。

今回設工認における主な説明項目（建物・構築物（屋外重要土木構造物以外））

【凡例】
● ・補足説明資料を提出するもの（代表として資料を一式提出する設備。）
○ ・補足説明資料を提出するもの（上記の「●」に対する差分として、本紙又は本紙及び別紙の両方に追加事項を示す代表設備）
△ ・補足説明資料を提出するもの（上記の「●」に対する差分として、別紙に追加事項を示す代表設備）
□ ・補足説明資料を提出しないもの（共通方針、評価方法は上記の「●」、「○」、「△」と同様であることから、事業者管理とする設備）
－ ・該当なし
灰色ハッチ：当該建物・構築物において該当しない設計プロセス

Table with columns: 建物・構築物名称, 設計プロセス, 3.1 建物・構築物の地震応答解析モデル, 3.2 入力地震動の指定, 3.3 建物・構築物の地震応答解析, 3.4 配座の組合せの設定, 3.5 評価標準の設定, 3.6 各部位の耐震評価, 4. 配座性に関する影響評価. Rows list various building types like '燃料加工工場', '屋外機械基礎', etc.

注記 ※1：敷地全体の地質構造の特徴及び各建層直下又は近傍の特徴と、地盤モデル及び地盤物性値の設定における留意点ごとに代表的に説明を行う建層を選定して説明する。
※2：第1回当初申請時には当該補足説明資料にて説明していたが、設工認添付書類として記載することとしたため、補足説明資料における説明事項は無いことから、補足説明資料としては第1回並びに第2回申請ともに提出はしない。
※3-1：設計変更がある燃料加工建層が該当する。なお、設計1に係る詳細説明として二重床のディティールをあわせて示す。
※3-2：燃料加工建層における評価方法及びモデルの変更点の説明と同じ考え方に基づき取りまとめを行うことから、後次回において追加の説明内容は無い。補足説明資料番号については後次回申請時の本補足説明資料提出時に付番する。
※3-3：支持される機器等の変更点とあわせて屋外機械基礎の既設からの変更点について説明する。
※3-4：新増設の建物・構築物であるため対象外。
※4：地盤ばねの算定として、周辺地盤との接触状況の把握を考慮した評価を行っており、建層側面と洞道の取り合い部が存在するため、建層側面と洞道の取り合い部の影響を結果を示す。耐震建物7において地震履歴記録を用いた検討を行うことから、その代表説明建層との整合性の観点で、分離建層を代表として説明する。
※5：経緯のみで、局部評価を行う部位はない。（品確は、主排気筒基礎と共有しているため、主排気筒基礎として評価を実施。）
※6：建設中のため履歴記録はないが、新設であることを踏まえ参考として選定した。
※7：履歴記録を有する建層の内、偏心率が大きく、おじれ振動等の3次元的な挙動が大きいと想定し、分離建層を代表として説明する。なお、分離建層における履歴記録を用いたシミュレーション評価結果については、第1回申請において、燃料加工建層の3次元モデルの作成方法の妥当性確認のために結果を示している。
※8：後次回申請において、共通の方針からの説明の差分は無いが、当該設備の申請回次で代表説明施設を選定した上で、代表説明施設の地下排水設備の評価状況を示す。
※9：評価対象建層の基礎1と程度を目安とした範囲内の建層群を対象として選定する。
※10：RC造の屋外機械基礎については、RC造建層に適用する減衰定数5%を採用しているが、単純な構造であることを踏まえ、減衰定数を変化させた場合の影響について確認を行う。
※11：重要増加がある建物・構築物については、「共通1-2 第2回設工認申請1における新設、改造設備について」における「B-1設計条件が変更になったもの」の整理の通りを踏まえ、評価が必要な建物・構築物を当該追加する。

今回設工認における主な説明項目（屋外重要土木構造物）

【凡例】
 ●：補足説明資料を提出するもの（代表として資料を一式提出する設備。）
 ○：補足説明資料を提出するもの（上記の「●」に対する差分として、本紙又は本紙及び別紙の両方に追加事項を示す代表設備）
 △：補足説明資料を提出するもの（上記の「●」に対する差分として、別紙に追加事項を示す代表設備）
 □：補足説明資料を提出しないもの（共通方針、評価方法等は上記の「●」、「○」、「△」と同様であることから、事業者管理とする設備）
 —：該当なし
 灰色ハッチ：当該建物・構築物において該当しない設計プロセス

事業	No.	施設区分	建物・構築物名称	耐震設計プロセス	耐震設計プロセス*1*2										4. 耐震性に関する影響評価*5					耐震設計における考慮事項								
					地震応答解析				耐震評価 (3.4 荷重の組合せの設定, 3.5 許容限界の設定, 3.6 各部位の耐震評価)						水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せ	一関東評価用地震動(鉛直)	隣接建屋	液状化					重量増加					
					3.1.1 地盤モデルの設定	3.1.2 建物・構築物の地震応答解析モデル	3.2 入力地震動の算定	3.3 建物・構築物の地震応答解析	基準地震動 S s に対する耐震評価			基準地震動 S d に対する耐震評価						基礎地盤の支持性能評価	曲げ評価	せん断評価	基礎地盤の支持性能評価	液状化の評価方針		液状化の評価対象施設の選定				
									構造部材の曲げ評価	構造部材のせん断評価	基礎地盤の支持性能評価	曲げ評価	せん断評価	基礎地盤の支持性能評価														
				補足説明事項	地盤モデル及び地盤物性値の設定	-	-	材料物性のばらつき	-	-	-	-	地盤の支持力度	-	-	地盤の支持力度	水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せ	-	隣接建屋の影響	設計用地下水位の設定	-	既設工認からの変更点	断面選定の考え方	耐震評価における共通事項				
				耐震建物08	-	-	耐震建物32	-	-	-	-	耐震地盤01※3	-	-	耐震地盤01※3	耐震建物33	-	耐震建物32	耐震建物13	耐震建物32	-	耐震建物31	耐震建物32	耐震建物32				
再	2-1	屋外重要土木構造物	分離建屋/高レベル廃液ガラス固化建屋間洞道	AT06	第2回	-	-	-	-	-	-	□	-	-	□	-	-	-	□	□	-	-	□	-				
再	2-2	屋外重要土木構造物	高レベル廃液ガラス固化建屋/第1ガラス固化体貯蔵建屋間洞道	AT52	第2回	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-	□	□	-	-	□	-				
再	2-3	屋外重要土木構造物	分離建屋/精製建屋/ウラン脱硝建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋/低レベル廃液処理建屋/低レベル廃棄物処理建屋/分析建屋間洞道	AT02N	第2回	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-	□	□	-	-	□	-				
				AT05	第2回	-	-	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	□	□	-	-	□	-			
再	2-4	屋外重要土木構造物	精製建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋建屋間洞道	AT04	第2回	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	□	-				
再	2-5	屋外重要土木構造物	前処理建屋/分離建屋/精製建屋/高レベル廃液ガラス固化建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋/制御建屋/非常用電源建屋/冷却水設備の安全冷却水系/主排気筒/主排気筒管理建屋間洞道	TX40S	第2回	-	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-	□	□	-	-	□	-			
				TX51	第2回	-	-	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-	□	□	-	-	□	-		
				TX60	第2回	●※1	-	-	●※2	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	●※4	●※4	□	□	-	●※7	□	●※8
				TX70	第2回	-	-	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-	-	□	□	-	-	□	-	
				TY10E	第2回	-	-	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-	-	□	□	-	-	□	-	
				TY20	第2回	-	-	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-	-	□	□	-	-	□	-	
				TY25	第2回	-	-	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-	-	□	□	-	-	□	-	
再	2-6	屋外重要土木構造物	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋/安全冷却水系冷却塔A基礎間洞道	TY83	第2回	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-	□	□	-	-	□	-				
再	2-7	屋外重要土木構造物	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋/安全冷却水系冷却塔B基礎間洞道	TY81	第2回	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	□	-				
				TY82	第2回	-	-	-	-	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	□	-	-	-	□	-			

注記

- ※1：屋外重要土木構造物の地盤モデル及び地盤物性値の設定の考え方を説明する。
- ※2：屋外重要土木構造物の材料物性のばらつき等の考え方を説明する。
- ※3：第1回申請の建物及び屋外機械基礎において代表で説明を行っており、屋外重要土木構造物の地盤の支持力度の設定の考え方についても共通であることから事業者管理とする。
- ※4：評価対象とする屋外重要土木構造物の選定の考え方について説明する。
- ※5：第1回申請では屋外重要土木構造物の液状化の影響評価方針を示し、第2回申請で改良地盤の概要について示す。改良地盤の概要については、改良地盤種別の網羅性の観点で、TY20を代表として説明する。
- ※6：屋外重要土木構造物の周辺地盤状況、構造形式の網羅性の観点からTY20を代表として説明する。
- ※7：屋外重要土木構造物の既設工認からの変更点について、洞道周辺の改良地盤の考慮や評価手法の変更について共通的な内容を説明する。
- ※8：屋外重要土木構造物の耐震評価における要求機能、要求機能に応じた耐震評価方針及び安全係数の考え方等の共通的な考え方を説明する。

今回設工認における主な説明項目（機器・配管系）

【凡例】

- ：補足説明資料を提出するもの（代表として資料を一式提出する設備。）
- ：補足説明資料を提出するもの（上記の「●」に対する差分として、本紙又は本紙及び別紙の両方に追加事項を示す代表設備）
- △：補足説明資料を提出するもの（上記の「●」に対する差分として、別紙に追加事項を示す代表設備）
- ：補足説明資料を提出しないもの（共通方針、評価方法等は上記の「●」、「○」、「△」と同様であることから、事業者管理とする設備）
- ：該当なし

評価分類	耐震設計プロセス ^{*1}	耐震設計プロセスのうちの条件設定 ^{*3}																		耐震設計プロセスのうちの計算式の設定										耐震性に関する影響評価				耐震設計における考慮事項		
		解析モデルの設定										固有周期の算出	設計用地震力の設定				荷重の組合せの設定			許容限界の設定							各モデルの計算式	疲労評価の計算式								
		解析モデルの選定					解析モデルの設定条件						設計用地震力				減衰定数		機械的荷重	積雪荷重, 風荷重		機能維持評価における許容限界														
		質点系モデル	有限要素モデル				拘束条件		温度		圧力		比重	解析プログラム	床応答スペクトル	最大床応答加速度	時刻歴応答波	規格基準による減衰定数		試験等による減衰定数	—	機械的荷重	積雪荷重	風荷重	構造強度評価における許容限界				機能維持評価における許容限界							
			質点系モデル	はりモデル	シェルモデル	ソリッドモデル	固定式	移動式	最高使用温度	環境温度		機能確認済加速度							詳細評価																	
補足説明事項 ^{*2}	—																		—										水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価	一関東評価用地震動(鉛直)に関する影響評価	隣接建屋に関する影響評価	液化に関する影響評価				
	機器と配管の相対変位に対する設計上の扱い					鉛直方向の動的地震力考慮による設備の浮き上がり等の影響					計算機プログラム(解析コード)の概要				材料物性のばらつき		新たに適用した減衰定数		地震荷重と事故時荷重との組合せ		Sd評価結果の記載方法															
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器	第1回	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—	●	●	●	●	—	—	—	●	—	●	—	●	●	●	—	—	—	●	●	●	—	●	—	●	
標準支持間隔	第1回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●	●	□	—	—	—	□	—	—	—	—	—	●	—	—	●	●	●	—	●	—	●		
定型化された計算式による評価を行う機器	第2回	—	—	—	—	□	—	—	—	—	—	—	△	□	□	—	—	—	□	●	△ ^{*14}	□	△ ^{*9}	—	△ ^{*5*}	—	—	○ ^{*1}	△	△	—	△ ^{*4}	●	△		
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器	第2回	—	—	—	—	○ ^{*13}	○ ^{*3}	—	—	—	—	△	△	○ ^{*10}	□	—	—	—	□	△	□	● ^{*16}	—	—	—	—	—	△	△	△ ^{*12}	—	△ ^{*4}	□	△		
多質点系はりモデルを用いて評価を行う配管	第2回	—	—	—	—	□	—	—	—	—	—	△	△	□	□	—	—	—	□	—	—	△ ^{*9}	—	—	—	—	—	△	△	△	—	△ ^{*4}	—	△		
標準支持間隔	第2回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	△	○ ^{*11}	□	—	—	—	□	—	—	—	—	—	—	○ ^{*7}	● ^{*15}	—	○ ^{*2}	△	△	●	△ ^{*4}	—	△	

*1：本表における横軸の設計プロセスの項目名称については、設計方針である「標準支持間隔」以外の評価分類を基に記載を行っている。「標準支持間隔」については、項目名称の違いはあるものの、同様の設計プロセスの内容が基本方針内で示されている。

*2：補足説明事項を「—」としている設計プロセスに係る事項は、「共通12」にて説明する。

*3：耐震設計プロセスの条件設定を既設工認時より変更している設備は、「耐震機電13」にて変更点を示す。

注記 ※1：水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する設備の抽出及び考え方について、火災感知器以外の電気的機能維持が求められる設備に対する影響有無の考え方、結果等について示す。

※2：第2回申請で基本方針を示すダクトに対する水平2方向の影響確認結果を示す。

※3：鉛直方向の動的地震力考慮による設備の浮き上がり等の影響について、クレーン類に対する鉛直地震力(1G)を超過有無等、影響評価結果について示す。

※4：下位クラス施設の波及的影響の検討については、第1回申請の中で詳細を示していない「屋内設備に対する転倒落下」、「接続部」の主体に説明する。

※5：剛な設備の固有周期について、固有周期を定型化された計算式で算出している設備は支配的となる方向(水平方向又は鉛直方向)の固有周期を耐震計算書に記載しているため、支配的な方向以外の固有周期の算出方法、結果等について示す。

※6：剛な設備の固有周期について、電気盤等は打振試験により固有周期を確認しているため、試験内容、試験結果等について示す。

※7：配管系の評価手法のうち、配管の評価内容については第1回申請で説明を行っており、建屋間相対変位、ダクトについては第1回申請に該当していないため、確認結果等について示す。

※8：配管系の評価手法について、配管系には配管、ダクトが属しており、第2回申請設備であるダクトに対する標準支持間隔法の適用範囲、評価内容について示す。

※9：動的機能維持評価手法について、機能確認済加速度との比較結果を耐震計算書に示すが、機能確認済加速度を超過したもの及びJEAG型式外のものに該当するポンプ、弁は個別の評価内容について説明を行う。本対応について、それぞれの分類に属するポンプ、弁の代表で示す。

※10：クレーンに適用している減衰定数のうち、最新知見である試験・研究成果の減衰定数を適用しているため、その適用性について示す。

※11：配管に適用している減衰定数のうち、第1回申請で適用している減衰定数は既設工認と同様の減衰定数を適用しており、第2回申請では最新知見である試験・研究成果の減衰定数を適用しているため、その適用性について示す。

※12：隣接建屋の影響に対する影響確認について、時刻歴解析解析に対する隣接影響確認方法、影響確認結果を示す。

※13：機器と配管の取合に対する相対変位の影響について、第1回申請では剛な機器の影響について説明を行っており、第2回申請では剛ではない機器の影響について示す。

※14：電気的機能維持評価手法の適用について、許容限界とする機能確認済加速度の根拠(火災感知器以外)、盤内に設置されている器具等に対し設置位置を考慮した場合の水平地震力の影響について示す。

※15：当該分類に属するダクトにて、ダクト評価に用いる安全係数の根拠等を示す。

※16：閉じ込め機能維持が要求されるMOX燃料加工施設のグローブボックスについて、閉じ込め機能維持の考え方及び機能確認済加速度の根拠を示す。

別紙

耐震建物01 【耐震評価対象の網羅性, 既設工認との手法の相違点の整理について(建物・構築物, 機器・配管系)】

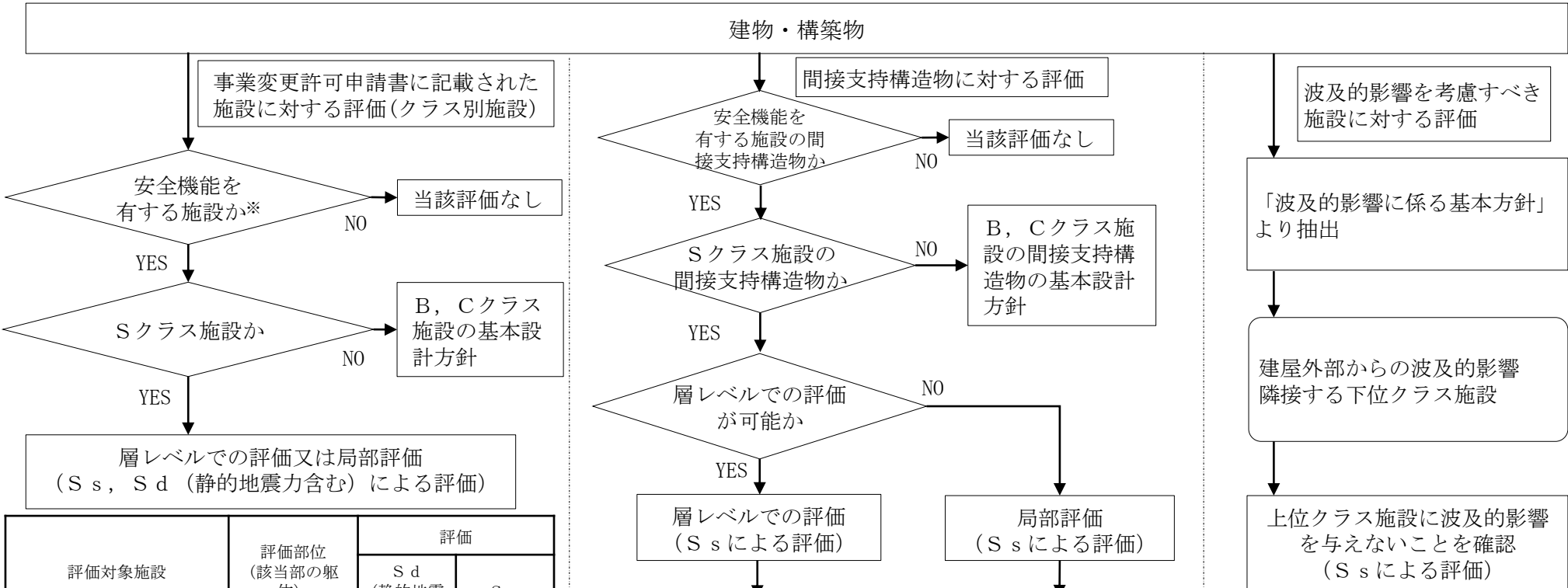
資料No.	別紙		備考
	名称	提出日	
別紙-1-1	建物・構築物に係る耐震評価フロー並びに評価対象一覧	2023年3月7日	4
別紙-1-2	建物・構築物の評価部位一覧	2023年11月30日	5
別紙-1-3	評価対象施設の評価部位の選定結果	2023年11月30日	2
別紙-1-4	評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果	2023年11月30日	3
別紙-2-1	既設工認との手法の相違点 整理一覧表(建物・構築物)	2023年11月30日	3
別紙-2-2	既設工認との手法の相違点 整理一覧表(機器・配管系)	2023年11月30日	3

令和5年3月7日 R4

別紙－1－1

建物・構築物に係る耐震評価フロー並びに評価対象一覧

建物・構築物に係る評価対象施設及び評価部位の考え方



評価対象施設	評価部位 (該当部の躯体)	評価	
		S _d (静的地震力含む)	S _s
重要区域の壁及び床	壁	◎	●
	天井・床スラブ	◎	◎
セル等の壁及び床	壁	◎	●
	床スラブ	◎	◎
緊急時対策所建屋の遮蔽設備の壁及び床* 緊急時対策所の壁及び床*	壁	△	●
	床スラブ	△	◎
貯蔵区域の壁及び天井	壁	◎	●
	天井スラブ (鉄骨ばり)	◎	◎
プールの壁及び床	壁及び床	◎	◎
プールの天井	天井	◎	◎
貯水槽の壁及び床*	壁及び床	△	◎
主排気筒	筒身	◎	◎

耐震壁部は、S_sによる層評価により、Sクラス施設と、Sクラス施設の間接支持構造物としての評価を兼ねる。

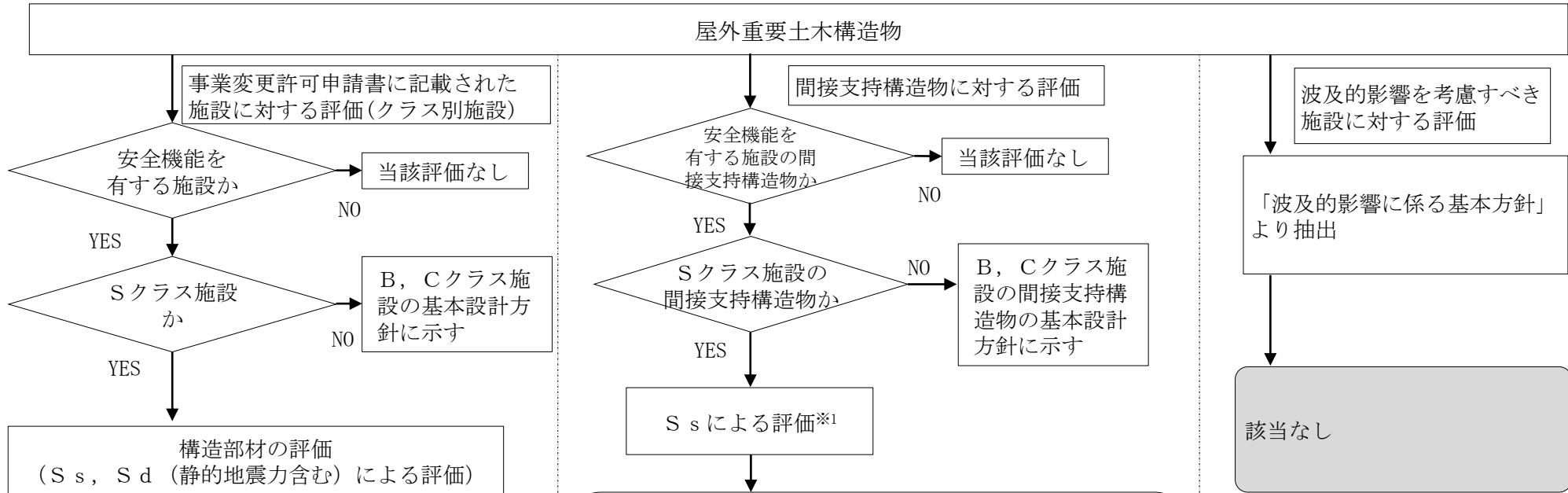
- ・耐震壁
- ・主排気筒の鉄塔
- ・基礎スラブ

注) 補足説明資料「共通12 第2回設工認申請対象設備の類型分類および構造概要について」に基づき、地震に対する損傷に係る条文において耐震設計の前提条件となっている施設並びに地震に対する損傷に係る条文以外の技術基準条文に関連する施設についても、耐震設計の対象として抽出し、評価を行う。

◎局所評価, ●層レベルで評価

※: 重要重大事故等対処施設に係る評価対象施設についてもここで示す。

屋外重要土木構造物に係る耐震評価フロー並びに評価対象一覧



評価対象施設	評価部位 (該当部の 躯体)	評価	
		S d (静的地震 力含む)	S s
分離建屋／高レベル廃液ガラス固化建屋間洞道	構造部材	○	○

- 以下に示す洞道の構造部材
- ・ 分離建屋／高レベル廃液ガラス固化建屋間洞道
 - ・ 高レベル廃液ガラス固化建屋／第1ガラス固化体貯蔵建屋間洞道
 - ・ 分離建屋／精製建屋／ウラン脱硝建屋／ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋／低レベル廃液処理建屋／低レベル廃棄物処理建屋／分析建屋間洞道
 - ・ 精製建屋／ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋建屋間洞道
 - ・ 前処理建屋／分離建屋／精製建屋／高レベル廃液ガラス固化建屋／ウランプルトニウム混合脱硝建屋／制御建屋／非常用電源建屋／冷却水設備の安全冷却水系／主排気筒／主排気筒管理建屋間洞道
 - ・ 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋／安全冷却水系冷却塔A基礎間洞道
 - ・ 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋／安全冷却水系冷却塔B基礎間洞道

別紙－1－2

建物・構築物の評価部位一覧

建物・構築物の評価部位一覧
 (「重要度分類及び重大事故等対処施設の設備分類の基本方針」に基づく評価対象施設)

■建物・構築物(Sクラス施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備)の評価概要(今回設工認)

評価対象施設 []:評価対象施設が設置される建物・構築物	評価部位	当該プラントにおける 既設工認の評価*1	先行発電プラントにおける評価 (東海第二:新規制基準対応設工認)		先行発電プラントにおける評価 (柏崎刈羽7号機:新規制基準対応設工認)		今回設工認における評価					
			Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	先行発電プラントとの相違点	記載箇所		
再処理施設 廃棄物管理施設	セル等の壁及び床 〔前処理建屋 分離建屋 精製建屋 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 高レベル廃液ガラス固化建屋 第1ガラス固化体貯蔵建屋東棟 チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋 ガラス固化体貯蔵建屋〕	壁	■	/	/	/	/	◎	●	-	再処理申請(第2回) IV-2-1-1-1-1-2 前処理建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-2-2 分離建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-3-2 精製建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-4-2 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-7-2 高レベル廃液ガラス固化建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-9-2 第1ガラス固化体貯蔵建屋東棟の耐震計算書 IV-2-1-1-1-10-2 チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋の耐震計算書	
		床スラブ	■	/	/	/	/	◎	◎	-	E施設申請 II-2-1-1-1-1-2 ガラス固化体貯蔵建屋の耐震計算書	
	緊急時対策所建屋の遮蔽設備の壁及び床 緊急時対策所の壁及び床 〔緊急時対策建屋〕	壁	/	/	/	/	/	/	◎	●	(柏崎刈羽7号機:緊急時対策所と比較) (東海第二:緊急時対策所建屋と比較)	再処理申請(第2回) IV-2-1-1-1-21-2 緊急時対策建屋の耐震計算書
		床スラブ	/	/	/	/	/	/	◎	◎	(柏崎刈羽7号機:緊急時対策所と比較) (東海第二:緊急時対策所建屋と比較)	
	貯蔵区域の壁及び天井 〔高レベル廃液ガラス固化建屋 第1ガラス固化体貯蔵建屋東棟 ガラス固化体貯蔵建屋 ガラス固化体貯蔵建屋B棟〕	壁	■	/	/	/	/	/	◎	●	-	再処理申請(第2回) IV-2-1-1-1-7-2 高レベル廃液ガラス固化建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-9-2 第1ガラス固化体貯蔵建屋東棟の耐震計算書
		天井スラブ (鉄骨はり)	■	/	/	/	/	/	◎	◎	-	E施設申請 II-2-1-1-1-1-2 ガラス固化体貯蔵建屋の耐震計算書 II-2-1-1-1-2-2 ガラス固化体貯蔵建屋B棟の耐震計算書
	プールの壁及び床 〔ハル・エンドピース貯蔵建屋 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋〕	壁及び床	■	/	/	/	/	◎	◎	◎	(東海第二及び柏崎刈羽7号機:使用済燃料 プールと比較)	再処理申請(第2回) IV-2-1-1-1-11-2 ハル・エンドピース貯蔵建屋の耐震計算書 F施設申請 IV-2-1-1-1-1-2 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋の耐震計算書
	プールの天井 〔ハル・エンドピース貯蔵建屋〕	天井	■	/	/	/	/	/	◎	◎	-	再処理申請(第2回) IV-2-1-1-1-11-2 ハル・エンドピース貯蔵建屋の耐震計算書
貯水槽の壁及び床 〔第1保管庫・貯水所 第2保管庫・貯水所〕	壁及び床	/	/	/	/	/	/	/	◎	-	再処理申請(第2回) IV-2-1-1-1-17-2 第1保管庫・貯水所の耐震計算書 IV-2-1-1-1-18-2 第2保管庫・貯水所の耐震計算書	
主排気筒 〔主排気筒〕	筒身	■	/	/	/	/	/	◎	◎	(東海第二及び柏崎刈羽7号機:主排気筒と比 較)	再処理申請(第2回) IV-2-1-1-1-8-2 主排気筒筒身及び鉄塔の耐震計算書	
MOX燃料加工施設	重要区域の壁及び床 〔燃料加工建屋〕	壁	記載なし (今回設工認においてSクラス化)	/	/	/	/	◎	●	-	III-2-1-1-1-1-2 燃料加工建屋の耐震計算書	
		天井・床スラブ	記載なし (今回設工認においてSクラス化)	/	/	/	/	◎	◎	-	III-2-1-1-1-1-2 燃料加工建屋の耐震計算書	
	燃料加工建屋の建屋全体 *3	耐震壁	記載なし (事業変更許可申請書に基づく評価事項)	/	/	/	/	●	-	-	III-2-1-1-1-1-2 燃料加工建屋の耐震計算書	

*1:建設時設工認及び改造工事認可をいう

*2:当該施設については、第1回設工認申請では評価対象施設が無く、第2回設工認申請以降において評価対象施設が記載される。

*3:Sクラス施設では無いが、事業変更許可申請書の添付書類五に示された燃料加工建屋固有の評価として、弾性設計用地震動Sdによる地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力に対して層レベルで建屋全体として概ね弾性範囲に留まることを確認する。

■:基準地震動S1又は弾性設計用地震力Sdによる地震力又は静的地震力に対して許容応力度設計での断面算定を実施。基準地震動S2又は基準地震動Ssに対して終局耐力の確認。

◎:局部評価を実施。

●:層レベルでの評価

■建物・構築物(スクラス施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備の間接支持構造物)の評価概要(今回設工認)

評価対象施設	評価部位	当該プラントにおける 既設工認の評価*1	先行発電プラントにおける評価 (東海第二:新規制基準対応設工認)		先行発電プラントにおける評価 (柏崎刈羽7号機:新規制基準対応設工認)		今回設工認における評価			
			Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	先行発電プラントとの相違点	記載箇所
再処理施設 廃棄物管理施設	耐震壁	■		●		●		●	(東海第二及び柏崎刈羽7号機:原子炉建屋と比較)	再処理申請(第2回) IV-2-1-1-1-1-2 前処理建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-2-2 分離建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-3-2 精製建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-4-2 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-5-2 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-6-2 制御建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-7-2 高レベル廃液ガラス固化建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-9-2 第1ガラス固化体貯蔵建屋東棟の耐震計算書 IV-2-1-1-1-10-2 チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-11-2 ハル・エンドピース貯蔵建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-13-2 非常用電源建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-14-2 燃料油貯蔵タンク基礎の耐震計算書 IV-2-1-1-1-15-2 第1軽油貯蔵所の耐震計算書 IV-2-1-1-1-16-2 第2軽油貯蔵所の耐震計算書 IV-2-1-1-1-17-2 第1保管庫・貯水所の耐震計算書 IV-2-1-1-1-18-2 第2保管庫・貯水所の耐震計算書 IV-2-1-1-1-21-2 緊急時対策建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-22-2 重油貯蔵所の耐震計算書 F施設申請 IV-2-1-1-1-1-2 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋の耐震計算書 IV-2-1-1-1-2-2 第1非常用ディーゼル発電設備用重油タンク室の耐震計算書 IV-2-1-1-1-4-2 安全冷却水系冷却塔B基礎の耐震計算書 E施設申請 II-2-1-1-1-1-2 ガラス固化体貯蔵建屋の耐震計算書 II-2-1-1-1-2-2 ガラス固化体貯蔵建屋B棟の耐震計算書
	鉄塔	■		◎		◎		◎	(東海第二及び柏崎刈羽7号機:主排気筒と比較)	再処理申請(第2回) IV-2-1-1-1-8-2 主排気筒筒身及び鉄塔の耐震計算書
	基礎	■			◎		◎		◎	(東海第二及び柏崎刈羽7号機:原子炉建屋と比較) (柏崎刈羽7号機:軽油タンク基礎と比較)
MOX燃料加工施設	耐震壁	■		●		●		●	(東海第二及び柏崎刈羽7号機:原子炉建屋と比較)	III-2-1-1-1-1-2 燃料加工建屋の耐震計算書
	基礎	■		◎		◎		◎	(東海第二及び柏崎刈羽7号機:原子炉建屋と比較)	

*1:建設時設工認及び改造工事認可をいう

*2:当該施設については、第1回設工認申請では評価対象施設が無く、第2回設工認申請以降において評価対象施設が記載される。

■:基準地震動S1又は基準地震動S2又は基準地震動Ssによる地震力に対して終局耐力の確認。

◎:局部評価を実施。

●:層レベルでの評価

建物・構築物の評価部位一覧(MOX燃料加工施設)
 (「重要度分類及び重大事故等対処施設の設備分類の基本方針」に基づく評価対象施設)

■建物・構築物(波及的影響を考慮すべき施設)の評価概要(今回設工認)

評価対象施設 []:評価対象施設が設置される建物・構築物		評価部位	当該プラントにおける 既設工認の評価*1	先行発電プラントにおける評価 (東海第二:新規制基準対応設工認)		先行発電プラントにおける評価 (柏崎刈羽7号機:新規制基準対応設工認)		今回設工認における評価			
				Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	先行発電プラントとの相違点	記載箇所
MOX燃料加工施設	排気筒 燃料加工建屋	筒身		◎		◎		◎	(東海第二及び柏崎刈羽7号機:主排気筒と比較)	III-2-2-2-1-1-1-2 排気筒の耐震計算書	

*1:建設時設工認及び改造工事認可をいう

*2:当該施設については、第1回設工認申請では評価対象施設が無く、第2回設工認申請以降において評価対象施設が記載される。

*3:Sクラス施設では無いが、事業変更許可申請書の添付書類五に示された燃料加工建屋固有の評価として、弾性設計用地震動Sdによる地震力又は静的地震力のいずれか大きい方の地震力に対して層レベルで建屋全体として概ね弾性範囲に留まることを確認する。

■:基準地震動S1又は弾性設計用地震力Sdによる地震力又は静的地震力に対して許容応力度設計での断面算定を実施。基準地震動S2又は基準地震動Ssに対して終局耐力の確認。

◎:局部評価を実施。

●:層レベルでの評価

屋外重要土木構造物の評価部位一覧
 (「重要度分類及び重大事故等対処施設の設備分類の基本方針」に基づく評価対象施設)

■屋外重要土木構造物(Sクラス施設)の評価概要(今回設工認)

評価対象施設	評価部位	当該プラントにおける既設工認の評価*1	先行発電プラントにおける評価 (東海第二:新規制基準対応設工認)		先行発電プラントにおける評価 (柏崎刈羽7号機:新規制基準対応設工認)		今回設工認における評価			
			Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	先行発電プラントとの相違点	記載箇所
再処理施設	分離建屋/高レベル廃液ガラス固化建屋間洞道	■	/	/	/	/	○	○	-	再処理申請(第2回) IV-2-1-1-2-2-1 分離建屋/高レベル廃液ガラス 固化建屋間洞道(AT06)の耐震計算書

*1:建設時設工認及び改造工事認可をいう

■:基準地震動S1による地震力及び静的地震力に対して、許容応力度設計での断面算定を実施。発生応力度が許容値を超えないことを確認。

○:構造部材の評価を実施

■屋外重要土木構造物(Sクラス施設の間接支持構造物)の評価概要(今回設工認)

評価対象施設	評価部位	当該プラントにおける既設工認の評価*1	先行発電プラントにおける評価 (東海第二:新規制基準対応設工認)		先行発電プラントにおける評価 (柏崎刈羽7号機:新規制基準対応設工認)		今回設工認における評価			
			Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	Sd評価 (静的地震力)	Ss評価	先行発電プラントとの相違点	記載箇所
再処理施設	分離建屋/高レベル廃液ガラス固化建屋間洞道 高レベル廃液ガラス固化建屋/第1ガラス 固化体貯蔵建屋間洞道 分離建屋/精製建屋/ウラン脱硝建屋/ウ ラン・プルトニウム混合脱硝建屋/低レ ベル廃液処理建屋/低レベル廃棄物処理建屋 /分析建屋間洞道 精製建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建 屋建屋間洞道 前処理建屋/分離建屋/精製建屋/高レ ベル廃液ガラス固化建屋/ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋/制御建屋/非常用電 源建屋/冷却水設備の安全冷却水系/主 排気筒/主排気筒管理建屋間洞道 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋/安全冷却 水系冷却塔A基礎間洞道 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋/安全冷却 水系冷却塔B基礎間洞道	■	/	/	/	○	○	○	(東海第二:取水構造物と比較) (柏崎刈羽7号機:燃料移送系配管ダクトと比較)	再処理申請(第2回) IV-2-1-1-2-2-1 分離建屋/高レベル廃液ガラス 固化建屋間洞道(AT06)の耐震計算書 IV-2-1-1-2-5-1 高レベル廃液ガラス固化建屋/ 第1ガラス固化体貯蔵建屋間洞道(AT52)の耐震計 算書 IV-2-1-1-2-3-2 分離建屋/精製建屋/ウラン脱 硝建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋/低レ ベル廃液処理建屋/低レベル廃棄物処理建屋/ 分析建屋間洞道(AT02N)の耐震計算書 IV-2-1-1-2-3-4 (同上) (AT05) IV-2-1-1-2-4-1 精製建屋/ウラン・プルトニウム混 合脱硝建屋間洞道(AT04)の耐震計算書 IV-2-1-1-2-1-2 前処理建屋/分離建屋/精製建 屋/高レベル廃液ガラス固化建屋/ウラン・プルト ニウム混合脱硝建屋/制御建屋/非常用電源建屋 /冷却水設備の安全冷却水系/主排気筒/主排 気筒管理建屋間洞道(TX40S)の耐震計算書 IV-2-1-1-2-1-4 (同上) (TX51) IV-2-1-1-2-1-6 (同上) (TX60) IV-2-1-1-2-1-8 (同上) (TX70) IV-2-1-1-2-1-10 (同上) (TY10E) IV-2-1-1-2-1-12 (同上) (TY20) IV-2-1-1-2-1-14 (同上) (TY25) IV-2-1-1-2-1-5 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋/ 安全冷却水系冷却塔A基礎間洞道(TY83)の耐震計 算書 IV-2-1-1-2-1-1 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋/ 安全冷却水系冷却塔B基礎間洞道(TY81)の耐震計 算書 IV-2-1-1-2-1-3 (同上) (TY82)

*1:建設時設工認及び改造工事認可をいう

■:基準地震動S1又は基準地震動S2による地震力に対して、許容応力度設計での断面算定を実施。発生応力度が許容値を超えないことを確認。

○:構造部材の評価を実施

別紙－1－3

評価対象施設の評価部位の選定結果

【再処理施設】

- ・安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備
- ・波及的影響の設計対象施設
- ・火災防護設備
- ・溢水対策設備

【再処理施設(使用済燃料受入れ施設及び貯蔵施設)】

- ・安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備
- ・波及的影響の設計対象施設
- ・火災防護設備
- ・溢水対策設備

【廃棄物管理施設】

- ・安全機能を有する施設
- ・波及的影響の設計対象施設

【MOX燃料加工施設】

- ・安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備
- ・波及的影響の設計対象施設
- ・火災防護設備
- ・地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備
- ・閉じ込め機能を有する設備

再処理施設

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(1/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材, 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器(四脚) 四脚たて置円筒形容器	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系, 安全冷却水系	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-
異常の発生防止機能に係る支援機能	放射性物質の閉じ込め機能を支援する施設(加熱器, 建屋給気閉止ダンパ, セル内クーラ, 凝縮器等の冷却系等)	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
							鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							管台	-	容器	○	-	-	○	-	
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-	
ソースターム制限機能	可溶性中性子吸収材緊急供給系、ガラス溶融炉の流下停止系	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
							鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							管台	-	容器	○	-	-	○	-	
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-	
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-	
ソースターム制限機能	-	代替可溶性中性子吸収材緊急供給系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-	
							鏡板	-	容器	○	-	-	-	-	
							管台	-	容器	○	-	-	-	-	
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-	
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(2/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	異常の発生防止機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内電源系統 非常用電源設備 計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の発生防止機能(PS)、異常の拡大防止機能(MS)、影響緩和機能(MS))までの配管 圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く) 蒸気供給設備 安全蒸気系	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	-	
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
異常の発生防止機能に係る支援機能	計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の発生防止機能(PS)、異常の拡大防止機能(MS)、影響緩和機能(MS))までの配管	-	フィルタ	構造強度	S	-	-	胴板	容器	○	-	○	-		
							-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-		
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-		
異常の拡大防止機能に係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸気系 計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の発生防止機能(PS)、異常の拡大防止機能(MS)、影響緩和機能(MS))までの配管 圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く)	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	-		
							鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-	
							管台	-	容器	○	-	-	○	-	
							-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
異常の拡大防止機能に係る支援機能	計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の発生防止機能(PS)、異常の拡大防止機能(MS)、影響緩和機能(MS))までの配管	-	フィルタ	構造強度	S	-	-	胴板	容器	○	-	○	-		
							-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-		
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-		

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(3/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
		DB	SA													
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	影響緩和機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内電源系統 計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の発生防止機能(PS)、異常の拡大防止機能(MS)、影響緩和機能(MS)までの配管圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く)	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								管台	-	容器	○	-	-	○	-	
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-	
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-
影響緩和機能に係る支援機能	計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の発生防止機能(PS)、異常の拡大防止機能(MS)、影響緩和機能(MS)までの配管	-	フィルタ	構造強度	S	-	-	胴板	容器	○	-	○	○	-		
							-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-	
静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類	同左	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-		
							本体 胴板	-	容器	○	-	-	○	○	-	
							下部 胴板	-	容器	○	-	-	○	○	-	
							鏡板	-	容器	○	-	-	○	○	-	
							本体 胴鏡板	-	容器	○	-	-	○	○	-	
							上部鏡板	-	容器	○	-	-	-	○	-	
							下部 胴下鏡板	-	容器	○	-	-	○	○	-	
							下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	○	-	
							冷却コイル	-	容器	○	-	-	○	○	-	
							ジャケット	-	容器	○	-	-	-	○	-	
							冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	-	○	-	
							管台	-	容器	○	-	-	-	○	-	
							-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	○	-	
-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-								

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(4/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	-	代替換気設備 廃ガス貯留設備	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								検査口平板	-	容器	○	-	-	-	
								管台	-	容器	○	-	-	-	
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
掃気機能	圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く。)	-	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	-	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	掃気機能	-	代替安全圧縮空気系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								点検口平板	-	容器	○	-	-	-	
								管台	-	容器	○	-	-	-	
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
異常の発生防止機能に係る支援機能	-	-	臨界事故時水素掃気系、代替安全圧縮空気系	容器、配管系	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								点検口平板	-	容器	○	-	-	-	
								管台	-	容器	○	-	-	-	
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(5/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	ソースターム制限機能	-	代替可溶性中性子吸収材緊急供給系、重大事故時可溶性中性子吸収材供給系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								平板	-	容器	○	-	-	-	
								管台	-	容器	○	-	-	-	
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	ソースターム制限機能	漏えい液受皿から漏えい液を回収するための系統	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	
								平板	-	容器	○	-	-	○	
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	
								管台	-	容器	○	-	-	○	
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	
静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	-	廃ガス貯留設備	-	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	-	
								管台	-	容器	○	-	-	-	
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全冷却水系 非常用電源設備	-	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	
								管台	-	容器	○	-	-	○	
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(6/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	崩壊熱等の除去機能	-	代替安全冷却水系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-
								鏡板	-	容器	○	-	○	-	-
								上部鏡板	-	容器	○	-	-	-	-
								下部鏡板	-	容器	○	-	○	-	-
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-
								管台	-	容器	○	-	-	-	-
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-
静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	-	代替換気設備	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-	
							鏡板	-	容器	○	-	○	-	-	
							上部鏡板	-	容器	○	-	-	-	-	
							下部鏡板	-	容器	○	-	○	-	-	
							冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-	
							管台	-	容器	○	-	-	-	-	
							-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-	
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-	
異常の発生防止機能に係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸気系	臨界事故時水素掃気系	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-	
							鏡板	-	容器	○	-	○	-	-	
							上部鏡板	-	容器	○	-	-	-	-	
							下部鏡板	-	容器	○	-	○	-	-	
							冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-	
							管台	-	容器	○	-	-	-	-	
							-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-	
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(7/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位
		DB	SA																		
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	核燃料物質、放射性物質の取り扱い	-	酸及び溶媒の回収施設 蒸発缶、精留塔、第1洗浄器、第2洗浄器、第3洗浄器、蒸発缶、溶媒蒸留塔等	容器、配管系	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-						
								鏡板	-	容器	○	-	○	-	-						
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-						
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 プレート式熱交換器	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全冷却水系	漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	熱交換器	構造強度	S	常設耐震重要	側板	-	容器	○	-	○	○	-						
								伝熱板	-	容器	○	-	-	○	-						
								管台	-	容器	○	-	-	○	-						
								-	底板	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-						
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	ソースターム制限機能	漏えい液受皿から漏えい液を回収するための系統	-	容器、配管系	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-						
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-						
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-						
異常の発生防止機能に係る支援機能	計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の発生防止機能(PS)、異常の拡大防止機能(MS)、影響緩和機能(MS))までの配管 電気設備 非常用所内電源系統 放射性物質の閉じ込め機能を支援する施設(加熱器、建屋給気閉止ダンパ、セル内クーラ、凝縮器等の冷却系等)	-	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-						
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-						
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-						
								管台	-	容器	○	-	-	○	-						
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-						

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(8/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	異常の拡大防止機能に係る支援機能	計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の発生防止機能(PS)、異常の拡大防止機能(MS)、影響緩和機能(MS)までの配管 蒸気供給設備 安全蒸気系	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	影響緩和機能に係る支援機能	計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の発生防止機能(PS)、異常の拡大防止機能(MS)、影響緩和機能(MS)までの配管 蒸気供給設備 安全蒸気系	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 核的制限値(寸法)の維持機能	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、ブルトニウム濃縮缶等)	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
							鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							管板	-	容器	○	-	-	○	-	
							伝熱管	-	容器	○	-	-	○	-	
							管台	-	容器	○	-	-	○	-	
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-	
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、ブルトニウム濃縮缶等)	-	-	容器	変位及び変形	S	常設耐震重要	胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(9/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○	○	○	-	○	○	○	-
		DB	SA																		
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路 の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備	代替換気設備 廃ガス貯留設備	容器 熱交換器 フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○								
								円すい胴板	-	容器	○	-	-	○	-						
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-						
								管台	-	容器	○	-	-	○	-						
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-						
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-						
崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全 冷却水系	漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-							
							鏡板	-	容器	○	-	-	○	-							
							マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-							
							管台	-	容器	○	-	-	○	-							
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-							
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-							
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	掃気機能	圧縮空気設備 安全圧 縮空気系(かくはん等 のために圧縮空気を供 給する系統は除く。)	-	熱交換器	構造強度	S	-	-	胴板	容器	○	-	○	○	-						
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-						
異常の発生防止機能に 係る支援機能	放射性物質の閉じ込め 機能を支援する施設 (加熱器、建屋給気閉 止ダンパ、セル内クー ラ、凝縮器等の冷却系 等)	圧縮空気設備 安全圧 縮空気系(かくはん等 のために圧縮空気を供 給する系統は除く。)	-	熱交換器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-						
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-						
								管側胴板	-	容器	○	-	-	○	-						
								胴側胴板	-	容器	○	-	○	○	-						
								管側平板	-	容器	○	-	-	○	-						
								平板	-	容器	○	-	-	○	-						

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(10/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	異常の発生防止機能に係る支援機能	放射性物質の閉じ込め機能を支援する施設(加熱器、建屋給気閉止ダンパ、セル内クーラ、凝縮器等の冷却系等 圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く。)	-	熱交換器	構造強度	S	-	管板	-	容器	○	-	-	○	-
								伝熱管	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-
異常の拡大防止機能に係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸気系 圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く。)	-	熱交換器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-	
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-	
影響緩和機能に係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸気系 圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く。)	-	熱交換器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-	
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備(凝縮器、加熱器、冷却器) 高レベル廃液濃縮設備の高レベル廃液濃縮缶凝縮器、減衰器	-	熱交換器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								円すい胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								管側胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								胴側胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								円すい鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管側鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								胴側鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管板	-	容器	○	-	-	○	-
伝熱管	-	容器	○	-	-	○	-								

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(11/72)

対象	評価対象設備						① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類							重大事故等対処施設の 設備分類	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路 の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス 処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備(凝縮器、 加熱器、冷却器) 高レベル廃液濃縮設備 の高レベル廃液濃縮缶 凝縮器、減衰器	代替換気設備 廃ガス貯留設備	熱交換器	構造強度	S	常設耐震重要	管台	-	容器	○	-	-	○	-
								平板	-	容器	○	-	-	○	-
								管側平板	-	容器	○	-	-	○	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路 の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス 処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備(凝縮器、 加熱器、冷却器) 高レベル廃液濃縮設備 の高レベル廃液濃縮缶 凝縮器、減衰器	代替換気設備	熱交換器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-		
							円すい胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
							管側胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
							胴側胴板	-	容器	○	-	○	-		
							円すい鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							管側鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							胴側鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							管板	-	容器	○	-	-	○	-	
							伝熱管	-	容器	○	-	-	○	-	
							管台	-	容器	○	-	-	○	-	
							平板	-	容器	○	-	-	○	-	
							管側平板	-	容器	○	-	-	○	-	
							入口分散管	-	容器	○	-	-	○	-	
							連絡管	-	容器	○	-	-	○	-	
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-		
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-		
-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-									

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(12/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							-	-	-	-	-	-	○	×
		DB	SA																		
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の放出経路の維持機能)	-	代替換気設備	熱交換器	構造強度	-	常設耐震重要	管側胴板	-	容器	○	-	○	-	-						
								管側鏡板	-	容器	○	-	-	-							
								フランジ	-	容器	○	-	-	-							
								管板	-	容器	○	-	-	-							
								伝熱管	-	容器	○	-	-	-							
								管台	-	容器	○	-	-	-							
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-							
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-							
崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全 冷却水系	-	-	熱交換器	構造強度	S	-	管側胴板	-	容器	○	-	-	○	-						
								胴側胴板	-	容器	○	-	○	○							
								管側鏡板	-	容器	○	-	○	-							
								管側平板	-	容器	○	-	○	-							
								フランジ	-	容器	○	-	○	-							
								管板	-	容器	○	-	○	-							
								伝熱管	-	容器	○	-	○	-							
								管台	-	容器	○	-	○	-							
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○							
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○							
								胴板	-	容器	○	-	○	○							
								平板	-	容器	○	-	○	-							
静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路 の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備(フィルタ)	代替換気設備	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-							
							鏡板	-	容器	○	-	-	○								
							ろ材	-	容器	○	-	○	-								
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○								
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○								

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(13/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○	○	○	-	○	○	-	○
		DB	SA																		
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類	同左	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-						
								鏡板	-	容器	○	-	○	○	-						
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-						
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-						
掃気機能	圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く。)(空気貯槽)	代替安全圧縮空気系	-	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-						
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-						
								連絡管	-	容器	○	-	-	○	-						
								管台	-	容器	○	-	-	○	-						
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-						
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器(3脚以上)	ソースターム制限機能	漏えい液受皿から漏えい液を回収するための系統	-	容器、配管系	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-						
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-						
								管台	-	容器	○	-	-	○	-						
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-						
異常の発生防止機能に係る支援機能	-	補機駆動用燃料補給設備	-	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-						
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	-						
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-						
影響緩和機能に係る支援機能	-	補機駆動用燃料補給設備	-	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-						
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	-						
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-						

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(14/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器(3脚以上)	事故時の対応操作に必要な居住性等の維持機能	-	緊急時対策建屋電源設備	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								管台	-	容器	○	-	○	-	
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 デミスタ(2脚)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	-	同左	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								円すい胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備(洗浄塔、デミスタ、シールボット)	-	代替換気設備 廃ガス貯留設備	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備(凝縮器、加熱器、冷却器)	-	代替換気設備 廃ガス貯留設備	熱交換器	構造強度	S	常設耐震重要	-	胴板	容器	○	-	-	○	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路の維持機能)	-	-	代替換気設備 廃ガス貯留設備	熱交換器	構造強度	-	常設耐震重要	管側胴板	-	容器	○	-	-	-	-
								管側鏡板	-	容器	○	-	-	-	-
								管側胴板フランジ	-	容器	○	-	-	-	-
								胴側胴板	-	容器	○	-	-	-	-
								胴側鏡板	-	容器	○	-	-	-	-
								管板	-	容器	○	-	-	-	-
								伝熱管	-	容器	○	-	-	-	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(15/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
		DB	SA													
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 デミスタ(2脚)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路 の維持機能)	-	代替換気設備 廃ガス貯留設備	熱交換器	構造強度	-	常設耐震重要	管台	-	容器	○	-	-	-	-	
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-	
	崩壊熱等の除去機能	-	代替安全冷却水系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	-	胴板	容器	○	-	-	-	-	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 デミスタ(1脚)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	-	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設 備の溶解液中間貯槽等の 塔槽類	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								管台	-	容器	○	-	-	○	-	
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
	静的な閉じ込め機能(放 射性物質の放出経路の 維持機能)	-	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備 (洗浄 塔、デミスタ、シール ポット)	容器	構造強度	S	-	-	胴板	容器	○	-	-	○	-	
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
	崩壊熱等の除去機能	-	代替安全冷却水系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	-	胴板	容器	○	-	-	-	-	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-	
	定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(長手2ラグ)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	-	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設 備の溶解液中間貯槽等の 塔槽類	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
鏡板									-	容器	○	-	-	○	-	
管台									-	容器	○	-	-	○	-	
-									ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-	
-									基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
-									取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(16/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)								
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外							
		DB	SA																			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(1ラグ)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設 備の溶解液中間貯槽等の 塔槽類 高レベル廃液ガラス固 化設備 高レベル廃液 混合槽等、高レベル廃 液の主要な流れを構成 する配管	同左	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	○	-							
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-							
								蓋板	-	容器	○	-	-	○	-							
								底板	-	容器	○	-	-	○	-							
								管台	-	容器	○	-	-	○	-							
								平板	-	容器	○	-	-	○	-							
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-							
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-							
								崩壊熱等の除去機能	-	代替安全冷却水系 漏えい抑制設備	容器	構造強度	-	常設耐震重要	-	胴板	容器	○	-	-	-	-
															-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-															
放射性物質を保持する システムの負圧維持	-	Bクラスの塔槽類の塔 槽類廃ガス処理設備 (前処理建屋、分離建 屋、精製建屋等のBク ラスの塔槽類から排風 機を経て弁までの範 囲)	容器、熱交換器、 フィルタ、配管系	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	-	-								
							-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-								
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-								
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4ラグ)	異常の発生防止機能に 係る支援機能	高レベル放射性液体廃 棄物を内蔵する系統及 び機器 放射性物質の閉じ込め 機能を支援する施設 UPu混合酸化物貯蔵設 備 粉末缶等、Puを 含む溶液又は粉末の主 要な流れを構成する配 管 高レベル廃液ガラス固 化設備 高レベル廃液 混合槽等、高レベル廃 液の主要な流れを構成 する配管	-	容器	構造強度	S	-	-	胴板	容器	○	-	○	○	-							
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-							
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-							
異常の拡大防止機能に 係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸気系	同左	容器	構造強度	S	常設耐震重要	-	胴板	容器	○	-	○	○	-								
							本体胴板	-	容器	○	-	○	○	-								
							円すい胴板	-	容器	○	-	-	○	-								
							上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-								
							上部胴 上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	72								

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(17/72)

対象	評価対象設備						① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)						
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類							重大事故等対処施設の 設備分類	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位
		DB	SA																
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4ラグ)	異常の拡大防止機能に 係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸気系	同左	容器	構造強度	S	常設耐震重要	本体胴 下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-				
								コイル	-	容器	○	-	-	○	-				
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-				
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
静的な閉じ込め機能(放 射性物質の放出経路の 維持機能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備(洗浄塔、 デミスタ、シールボッ ト)(凝縮器、加熱器、 冷却器) UPu混合酸化物貯蔵設 備 粉末缶等、Puを 含む溶液又は粉末の主 要な流れを構成する配 管 高レベル廃液ガラス固 化設備 高レベル廃液 混合槽等、高レベル廃 液の主要な流れを構成 する配管 AA,AB,AC,CA,KA建屋 換気設備のセル等及び グローボックスから の排気系 高レベル放射性液体廃 棄物を内蔵する系統及 び機器	代替換気設備 廃ガス貯留設備	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
							胴側胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
							管側胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
							本体胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
							円すい胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
							上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
							上部胴 上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-					
							本体胴 下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-					
							鏡板	-	容器	○	-	-	○	-					
							管側鏡板	-	容器	○	-	-	○	-					
上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-												

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(18/72)

対象	評価対象設備						① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類							重大事故等対処施設の 設備分類	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4ラグ)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備(洗浄塔、デミスタ、シールボット)(凝縮器、加熱器、冷却器) UPu混合酸化物貯蔵設備 粉末缶等、Puを含む溶液又は粉末の主要な流れを構成する配管 高レベル廃液ガラス固化設備 高レベル廃液混合槽等、高レベル廃液の主要な流れを構成する配管 AA,AB,AC,CA,KA建屋換気設備のセル等及びグローブボックスからの排気系 高レベル放射性液体廃棄物を内蔵する系統及び機器	代替換気設備 廃ガス貯留設備	容器	構造強度	S	常設耐震重要	下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管板	-	容器	○	-	-	○	-
								平板	-	容器	○	-	-	○	-
								フランジ	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								伝熱管	-	容器	○	-	-	○	-
								コイル	-	容器	○	-	-	○	-
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-
								ろ材	-	容器	○	-	-	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	○
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-							
-	-	代替換気設備	容器	構造強度	B	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-	
							鏡板	-	容器	○	-	-	-	-	
静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備(洗浄塔、デミスタ、シールボット)	代替換気設備 廃ガス貯留設備	容器	構造強度	S	常設耐震重要	上部胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
							円すい胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
							本体胴上部鏡板	-	容器	○	-	○	○	-	
							本体胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
							上部胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							本体胴下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							コイル	-	容器	○	-	-	○	-	
							管台	-	容器	○	-	-	○	-	
							-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	○	-
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(19/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4 ラグ)	崩壊熱等の除去機能	-	代替安全冷却水系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								上部鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								下部鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								管台	-	容器	○	-	-	-	
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4 ラグ)	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の放出経路の 維持機能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備(凝縮器、 加熱器、冷却器)	廃ガス貯留設備 代替換気設備	熱交換器	構造強度	S	常設耐震重要	胴側胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								管側鏡板	-	容器	○	-	○	○	-
								平板	-	容器	○	-	○	○	-
								上部平板	-	容器	○	-	○	○	-
								下部平板	-	容器	○	-	○	○	-
								管板	-	容器	○	-	○	○	-
								管台	-	容器	○	-	○	○	-
								伝熱管	-	容器	○	-	○	○	-
								保護管	-	容器	○	-	○	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-
静的な閉じ込め機能(放射 性物質の放出経路の 維持機能)	-	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル廃液ガラス固 化廃ガス処理設備 (フィルタ)	-	フィルタ	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								平板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(20/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4ラグ)	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の放出経路の 維持機能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル廃液ガラス固 化廃ガス処理設備 (フィルタ)	-	フィルタ	構造強度	S	-	ろ材	-	容器	○	-	-	○	-
								フランジ	-	容器	○	-	-	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
静的な閉じ込め機能(放射 性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設 備の溶解液中間貯槽等の 塔槽類 ウラン・プルトニウム 混合脱硝系 高レベル廃液貯蔵設備 U・Pu混合酸化物貯蔵 設備 粉末缶等、Pu を含む溶液又は粉末の 主要な流れを構成する 配管 高レベル廃液ガラス固 化設備 高レベル廃液 混合槽、ガラス溶融炉 原料供給機等、高レベ ル廃液の主要な流れを 構成する容器、配管	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設 備の溶解液中間貯槽等の 塔槽類 U・Pu混合酸化物貯蔵 設備 粉末缶等、Pu を含む溶液又は粉末の 主要な流れを構成する 配管 高レベル廃液ガラス固 化設備 高レベル廃液 混合槽、ガラス溶融炉 原料供給機等、高レベ ル廃液の主要な流れを 構成する容器、配管	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	○	○	-
							本体胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
							上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
							下部胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
							鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							本体胴鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							上部 胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							下部 胴下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							本体 胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							本体 胴下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
							上部 胴上部平板	-	容器	○	-	-	○	-	
							管台	-	容器	○	-	-	○	-	
							コイル	-	容器	○	-	-	○	-	
							冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-	
							胴側冷却ジャケット板	-	容器	○	-	-	○	-	
鏡側冷却ジャケット板	-	容器	○	-	-	○	-								
平板	-	容器	○	-	-	○	-								

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(21/72)

対象	評価対象設備						① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)			
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類							重大事故等対処施設の 設備分類	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
		DB	SA													
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4ラグ)	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設 備の溶解液中間貯槽等 の塔槽類 ウラン・プルトニウム 混合脱硝系 高レベル廃液貯蔵設備 U・Pu混合酸化物貯蔵 設備 粉末缶等、Pu を含む溶液又は粉末の 主要な流れを構成する 配管 高レベル廃液ガラス固 化設備 高レベル廃液 混合槽、ガラス溶融炉 原料供給機等、高レベ ル廃液の主要な流れを 構成する容器、配管	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設 備の溶解液中間貯槽等 の塔槽類 U・Pu混合酸化物貯蔵 設備 粉末缶等、Pu を含む溶液又は粉末の 主要な流れを構成する 配管 高レベル廃液ガラス固 化設備 高レベル廃液 混合槽、ガラス溶融炉 原料供給機等、高レベ ル廃液の主要な流れを 構成する容器、配管	容器	構造強度	S	常設耐震重要	外胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
								内胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
								胴上板	-	容器	○	-	-	○	-	
								胴底板	-	容器	○	-	-	○	-	
								中性子吸収材	-	容器	○	-	-	○	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4ラグ)	ソースターム制限機能	高レベル廃液貯蔵設備 漏えい液受皿から漏え い液を回収するための 系統	-	容器、配管系	構造強度	S	-	-	胴板	容器	○	-	○	○	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-
動的な閉じ込め機能(放射 性物質の排気機能)	せん断処理溶解廃ガス 処理設備、塔槽類廃ガ ス処理設備、高レベル 廃液ガラス固化廃ガス 処理設備 (洗浄塔、 デミスタ、シールボッ ト)	-	-	容器(蒸発缶)	構造強度	S	-	本体胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
								上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
								胴側胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
								管側胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
								上部胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								上部胴下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								管側鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								円すい胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
								コイル	-	容器	○	-	-	○	-	
								管台	-	容器	○	-	-	○	-	
								管板	-	容器	○	-	-	○	-	
								伝熱管	-	容器	○	-	-	○	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(22/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○	○	○	-	○	○	-	-
		DB	SA																		
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4ラグ)	動的な閉じ込め機能(放射 性物質の捕集・浄化機能)	高レベル廃液ガラス固 化廃ガス処理設備の廃 ガス洗浄器、吸収塔及 びルテニウム吸着塔 高レベル廃液ガラス固 化建屋換気設備の固 化セル換気系の洗浄塔、 ルテニウム吸着塔	-	容器	構造強度	S	-	上部胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-						
								上部胴板	-	容器	○	-	○	-							
								胴板	-	容器	○	-	○	-							
								円すい胴板	-	容器	○	-	○	-							
								本体胴板	-	容器	○	-	○	-							
								上部鏡板	-	容器	○	-	○	-							
								下部鏡板	-	容器	○	-	○	-							
								鏡板	-	容器	○	-	○	-							
								平板	-	容器	○	-	○	-							
								管台	-	容器	○	-	○	-							
								伝熱管	-	容器	○	-	○	-							
								ろ材	-	容器	○	-	○	-							
								フランジ	-	容器	○	-	○	-							
								本体胴下部鏡板	-	容器	○	-	○	-							
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-						
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-														
放射性物質を保持する 系統の負圧維持	-	Bクラスの塔槽類の塔 槽類廃ガス処理設備 (前処理建屋、分離建 屋、精製建屋等のBク ラスの塔槽類から排風 機を経て弁までの範 囲)	-	容器、熱交換器、 フィルタ、配管系	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-						
								鏡板	-	容器	○	-	○	-	-						
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-						
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-						

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(23/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
		DB	SA													
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4ラグ)	核燃料物質、放射性物 質の取り扱い	-	液体廃棄物の廃棄施設 アルカリ廃液濃縮 缶、アルカリ濃縮廃液 貯槽、低レベル廃液蒸 発缶、第1放出前貯 槽、第1海洋放出ポン プ、海洋放出管(第2 海洋放出ポンプを経て 第1海洋放出ポンプか ら導かれる海洋放出管 との合流点までの範囲 を除く)、除染ビット 等	容器、配管系	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-	
								鏡板	-	容器	○	-	○	-	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-	
動的な閉じ込め機能(放 射性物質の捕集・浄化 機能)	許可申請書 添付処理 六7.2設に粒子除去効 率を記載した気体廃棄 物の廃棄施設(建屋換 気設備を除く)の高性 能粒子フィルタ	-	-	フィルタ	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								平板	-	容器	○	-	-	○	-	
								管台	-	容器	○	-	-	○	-	
								ろ材	-	容器	○	-	-	○	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(2ラグ)	静的な閉じ込め機能(放 射性物質の放出経路の 維持機能)	-	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備(洗浄塔、 デミスタ、シールボッ ト)	代替換気設備	容器	構造強度	S	常設耐震重要	上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-
									中部胴板	-	容器	○	-	○	○	-
									下部胴板	-	容器	○	-	-	○	-
									上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
									下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
									胴板	-	容器	○	-	-	○	-
									鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
									管台	-	容器	○	-	-	○	-
									-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-
									-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(24/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(2ラグ)	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の放出経路の 維持機能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備(凝縮器、 加熱器、冷却器) AA,AB,AC,CA,KA建屋 換気設備のセル等及び グローブボックスから の排気系	廃ガス貯留設備 代替換気設備	熱交換器	構造強度	S	常設耐震重要	上部胴板	-	容器	○	-	-		
								下部胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								管側胴板	-	容器	○	-	○	-	
								胴側胴板	-	容器	○	-	○	-	
								胴板	-	容器	○	-	○	-	
								鏡板	-	容器	○	-	○	-	
								管側鏡板	-	容器	○	-	○	-	
								平板	-	容器	○	-	○	-	
								管板	-	容器	○	-	○	-	
								フランジ	-	容器	○	-	○	-	
								管台	-	容器	○	-	○	-	
								伝熱管	-	容器	○	-	○	-	
								保護管	-	容器	○	-	○	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
静的な閉じ込め機能(放射 性物質の放出経路の 維持機能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル廃液ガラス固 化廃ガス処理設備 (フィルタ) AA,AB,AC,CA,KA建屋 換気設備のセル等及び グローブボックスから の排気系	廃ガス貯留設備 代替換気設備	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-		
							上部胴板	-	容器	○	-	○	-		
							下部胴板	-	容器	○	-	○	-		
							鏡板	-	容器	○	-	○	-		
							フランジ	-	容器	○	-	○	-		
							平板	-	容器	○	-	○	-		
							フィルタユニット	-	容器	○	-	○	-		
管台	-	容器	○	-	○	-									

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(25/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(2ラグ)	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の放出経路の 維持機能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備 塔槽類廃ガス処理設備 高レベル廃液ガラス固 化廃ガス処理設備 (フィルタ) AA,AB,AC,CA,KA建屋 換気設備のセル等及び グローブボックスから の排気系	廃ガス貯留設備 代替換気設備	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	ろ材	-	容器	○	-	-	○	-
								側壁板	-	容器	○	-	○	-	
								底板	-	容器	○	-	○	-	
								保護管	-	容器	○	-	○	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
静的な閉じ込め機能(放射 性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設備 の溶解液中間貯槽等の 塔槽類	同左	容器	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	
								上部胴板	-	容器	○	-	○	-	
								下部胴板	-	容器	○	-	○	-	
								鏡板	-	容器	○	-	○	-	
								上部鏡板	-	容器	○	-	○	-	
								下部鏡板	-	容器	○	-	○	-	
								平板	-	容器	○	-	○	-	
								上部平板	-	容器	○	-	○	-	
								下部平板	-	容器	○	-	○	-	
								底板	-	容器	○	-	○	-	
								管台	-	容器	○	-	○	-	
								ジャケット	-	容器	○	-	○	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全 冷却水系	代替安全冷却水系	容器	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	
								鏡板	-	容器	○	-	○	-	
								管台	-	容器	○	-	○	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(26/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)								
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○	○	○	-	○	○	-	○	○
		DB	SA																			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(2ラグ)	ソースターム制限機能	漏えい液受皿から漏えい液を回収するための系統	-	容器	構造強度	S	-	-	胴板	容器	○	-	○	○	-							
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-							
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-							
動的な閉じ込め機能(放射 性物質の捕集・浄化 機能)	許認可申請書 添付書 類六7.2節に粒子除去 効率を記載した気体廃 棄物の廃棄施設(建屋 換気設備を除く)の高 性能粒子フィルタ せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備のよう素 フィルタ	廃ガス貯留設備 代替換気設備	フィルタ	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-							
								側壁板	-	容器	○	-	-	○	-							
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-							
								底板	-	容器	○	-	-	○	-							
								ふた板	-	容器	○	-	-	○	-							
								フランジ	-	容器	○	-	-	○	-							
								平板	-	容器	○	-	-	○	-							
								ろ材	-	容器	○	-	-	○	-							
								管台	-	容器	○	-	-	○	-							
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-							
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-							
動的な閉じ込め機能(放 射性物質の捕集・浄化 機能)	高レベル廃液ガラス固 化建屋換気設備の固 化セル換気系の洗浄塔、 ルテニウム吸着塔	代替換気設備	容器	容器	構造強度	S	常設耐震重要	上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-							
								中部胴板	-	容器	○	-	○	○	-							
								下部胴板	-	容器	○	-	-	○	-							
								上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-							
								下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-							
								管台	-	容器	○	-	-	○	-							
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-							
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-							

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(27/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(2ラグ)	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の放出経路の 維持機能)	-	代替換気設備 廃ガス貯留設備	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								管台	-	容器	○	-	-	-	
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置角形容 器(2ラグ)	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の放出経路の 維持機能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備(洗浄塔、 デミスタ、シールボッ ト)	代替換気設備 廃ガス貯留設備	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-
静的な閉じ込め機能(放射 性物質の放出経路の 維持機能) 異常の発生防止機能に 係る支援機能	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備(凝縮器、 加熱器、冷却器) 放射性物質の閉じ込め 機能を支援する施設 加熱器、建屋給気閉止 ダンパ、セル内クー ラ、凝縮器等の冷却系 等	代替換気設備 廃ガス貯留設備	熱交換器	構造強度	S	常設耐震重要	管側胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
							胴側胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
							平板	-	容器	○	-	-	○	-	
							胴側平板	-	容器	○	-	-	○	-	
							管板	-	容器	○	-	-	○	-	
							管台	-	容器	○	-	-	○	-	
							伝熱管	-	容器	○	-	-	○	-	
							ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-	
							管側ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-	
							-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(28/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置角形容器(2ラグ)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類	同左	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能)	脱硝施設の脱硝装置 高レベル廃液ガラス固化設備のガラス溶融炉等	-	機械装置、配管系	構造強度	S	-	天板1	-	容器	○	-	-	○	-
								天板2	-	容器	○	-	-	○	-
								側壁板	-	容器	○	-	-	○	-
								底板1	-	容器	○	-	-	○	-
								底板2	-	容器	○	-	-	○	-
-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-								
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形容器(フランジ)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備(凝縮器、加熱器、冷却器)	-	熱交換器	構造強度	S	-	-	胴板	容器	○	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備(ファン) AA,AB,AC,CA,KA建屋換気設備のセル等及びグローブボックスからの排気系 安全上重要な施設の固気分離器からU・Pu混合脱硝建屋換気設備のGB・セル排気系統への接続部までの系統(気送プロア)	廃ガス貯留設備 代替換気設備	ファン ファン(放出経路維持)	構造強度	S	常設耐震重要	排風機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	ポンプ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	ファン取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	排風機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(29/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○	○	○	-	○	○	○	○
		DB	SA																		
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	動的な閉じ込め機能(放射性物質の排気機能)	放射性廃棄物の廃棄施設の排風機(建屋換気設備を除く) 放射性廃棄物の廃棄施設の排風機(建屋換気設備)	廃ガス貯留設備 代替換気設備	ファン 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	排風機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								-	架台取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								-	ファン取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								-	ポンプ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								-	排風機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								動的機能維持	S	常設耐震重要	ファン	-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-		
											排風機	-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-		
											原動機	-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-		
								崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全冷却水系	漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	ポンプ 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	ポンプ	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○
ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-														
原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-														
-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-														
-	ポンプ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-														
-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-														
スクリーユ-圧縮機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○								-						
動的機能維持	S	常設耐震重要	ポンプ	-	駆動部*3	○	-								-	○	○	-			
			スクリーユ-圧縮機	-	駆動部*3	○	-								-	○	○	-			
			原動機	-	駆動部*3	○	-								-	○	○	-			
崩壊熱等の除去機能	ウラン・プルトニウム 混合酸化物貯蔵建屋換気設備	-	ファン	動的機能維持	S	-	原動機	-	駆動部*3	○	-	○	○	-							
							排風機	-	駆動部*3	○	-	○	○	-							

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(30/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考) ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外					
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類												
		DB	SA																
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	異常の発生防止機能に係る支援機能	計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の発生防止機能(PS))までの配管 放射性物質の閉じ込め機能を支援する施設 加熱器、建屋給気閉止ダンパ、セル内クーラ、凝縮器等の冷却系等 圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く。)	-	圧縮機	構造強度	S	-	圧縮機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								フレーム	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								スクリー-圧縮機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								-	圧縮機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								動的機能維持	S	-	圧縮機	-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-
								スクリー-圧縮機	-	駆動部*3	○	-	-	○	-	-	○	○	-
								原動機	-	駆動部*3	○	-	-	○	-	-	○	○	-
異常の発生防止機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内電源系統 非常用電源設備 放射性物質の閉じ込め機能を支援する施設(加熱器、建屋給気閉止ダンパ、セル内クーラ、凝縮器等の冷却系等)	-	ポンプ	構造強度	S	-	ポンプ	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	○	-				
							ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
							原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
							-	ポンプ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
							-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
							動的機能維持	S	-	ポンプ	-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-	
							原動機	-	駆動部*3	○	-	-	○	-	-	○	○	-	
異常の拡大防止機能に係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸気系	-	ファン	構造強度	S	-	-	ブロワ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-				
							-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-				
							動的機能維持	S	-	送風機	-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-	
							原動機	-	駆動部*3	○	-	-	○	-	-	○	○	-	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(31/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位
		DB	SA																		
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	異常の拡大防止機能に係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸気系	-	ポンプ	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-							
					-	-	ポンプ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-									
					-	-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-									
					動的機能維持	S	-	ポンプ	-	駆動部*3	○	-	○	-							
					-	-	原動機	-	駆動部*3	○	-	○	-								
異常の拡大防止機能に係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く。)	-	圧縮機	構造強度	S	-	圧縮機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-							
				-	-	フレーム	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
				-	-	原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
				-	-	基礎ボルト	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-								
				-	-	圧縮機取付ボルト	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-								
				-	-	原動機取付ボルト	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-								
				動的機能維持	S	-	圧縮機	-	駆動部*3	○	-	○	○	-							
				-	-	原動機	-	駆動部*3	○	-	○	○	-								
影響緩和機能に係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸気系	-	ファン	構造強度	S	-	-	ブロワ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-							
				-	-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-									
				動的機能維持	S	-	-	-	駆動部*3	○	-	○	○	-							
影響緩和機能に係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸気系 電気設備 非常用所内電源系統	-	ポンプ	構造強度	S	-	ポンプ	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-							
				-	-	ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
				-	-	原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
				-	-	基礎ボルト	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-								
				-	-	取付ボルト	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-								
				-	-	ポンプ取付ボルト	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-								
				-	-	原動機取付ボルト	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-								
				動的機能維持	S	-	ポンプ	-	駆動部*3	○	-	○	○	-							
-	-	原動機	-	駆動部*3	○	-	○	○	-												

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(32/72)

対象	評価対象設備						① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考) ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外						
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類									重大事故等対処施設の 設備分類				
		DB	SA																
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	影響緩和機能に係る支 援機能	圧縮空気設備 安全圧 縮空気系(かくはん等 のために圧縮空気を供 給する系統は除く。)	-	圧縮機	構造強度	S	-	圧縮機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								フレーム	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								-	圧縮機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
					動的機能維持	S	-	圧縮機	-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-			
					原動機	-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-						
					掃気機能	圧縮空気設備 安全圧 縮空気系(かくはん等 のために圧縮空気を供 給する系統は除く。)	-	圧縮機	構造強度	S	-	圧縮機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
												フレーム	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
												原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
												-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
-	圧縮機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-								-	○	-					
-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-								-	○	-					
動的機能維持	S	-	圧縮機	-					駆動部*3	○	-	-	○	○	-				
原動機	-	駆動部*3	○	-					-	○	○	-							
事故時の対応操作に必 要な居住性等の維持機 能	中央制御室、制御建屋 中央制御室換気設備	-	ファン	構造強度					S	-	送風機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
											ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
											原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
											-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
					-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○			-	-	○	-					
					動的機能維持	S	-	送風機			-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-	
				原動機	-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-							

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(33/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)						
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							DB	SA	動的機能維持	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA																	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	事故時の対応操作に必要な居住性等の維持機能	-	緊急時対策建屋換気設備	ファン	構造強度	-	常設耐震重要	送風機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-						
								ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-						
								原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-						
								-	送風機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-						
								-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-						
								動的機能維持	-	常設耐震重要	原動機	-	駆動部*3	○	-	○	-	-		
送風機	-	駆動部*3	○	-	○	-	-													
事故時の対応操作に必要な居住性等の維持機能	-	緊急時対策建屋換気設備	ファン	構造強度	-	常設耐震重要	-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-						
							-	排風機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-						
							-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-						
							動的機能維持	-	常設耐震重要	原動機	-	駆動部*3	○	-	○	-	-			
							排風機	-	駆動部*3	○	-	○	-	-						
事故時の対応操作に必要な居住性等の維持機能	-	緊急時対策建屋電源設備	ポンプ	構造強度	-	常設耐震重要	ポンプ	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-							
							ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-							
							原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-							
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-							
							-	ポンプ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-							
							-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-							
							動的機能維持	-	常設耐震重要	原動機	-	駆動部*3	○	-	○	-	-			

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(34/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)					
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							DB	SA	動的機能維持	重要度分類	評価対象部位	評価対象外部位
		DB	SA																
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	事故時の対応操作に必要な居住性等の維持機能	-	緊急時対策建屋電源設備	ファン	構造強度	-	常設耐震重要	送風機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-				
								ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-					
								原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-					
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-				
								-	送風機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-				
								-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-				
								動的機能維持	-	常設耐震重要	原動機	-	駆動部*3	○	-	○	-	-	-
送風機	-	駆動部*3	○	-	○	-	-												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 たて軸ポンプ	静的な閉じ込め機能(放射線物質の保持機能)	塔槽類間の溶液移送のためのポンプ類	-	ポンプ(放出経路維持)	構造強度	S	-	ポンプ	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-				
								-	ポンプ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-				
								-	原動機台取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-				
								-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-				
								管台	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-				
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-				
ソースターム制限機能	漏えい液受皿から漏えい液を回収するための系統	-	ポンプ	構造強度	S	-	ポンプ	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
							ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
							原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-					
							-	ポンプ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-					
							-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-					
							動的機能維持	S	-	ポンプ	-	駆動部*3	○	-	-	○	-		
原動機	-	駆動部*3	○	-	○	○	90												

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(35/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	
		DB	SA													○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 たて軸ポンプ	静的な閉じ込め機能(放射物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備 溶解液中間貯槽等の塔槽類	-	容器	構造強度	S	-	-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-		
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 ディーゼル機関	異常の発生防止機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内電源系統	-	ディーゼル機関	構造強度	S	-	エンジン	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								燃料	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								過給機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								调速装置	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								非常调速装置	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-
	動的機能維持	S	-	ディーゼル機関	-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-				
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 ディーゼル機関	影響緩和機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内電源系統	-	ディーゼル機関	構造強度	S	-	エンジン	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								燃料	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								過給機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								调速装置	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								非常调速装置	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-
	動的機能維持	S	-	ディーゼル機関	-	駆動部*3	○	-	-	○	○	-				
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 ディーゼル機関	事故時の対応操作に必要な居住性等の維持機能	-	緊急時対策建屋電源設備	発電機	構造強度	-	常設耐震重要	エンジン	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-	
								燃料	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-	
								過給機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-	
								调速装置	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-	
								非常调速装置	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	-
								-	本体取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	-
								-	発電機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(36/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							DB	SA	-	○	×	-	○	×
		DB	SA																		
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 ディーゼル機関	事故時の対応操作に必要な居住性等の維持機能	-	緊急時対策建屋電源設備	発電機	動的機能維持	-	常設耐震重要	ディーゼル機関	-	駆動部*3	○	-	○	-	-						
								発電機	-	駆動部*3	○	-	○	-	-						
								ガバナ	-	駆動部*3	○	-	○	-	-						
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	静的な閉じ込め機能(放射線物質の放出経路の維持機能) 動的な閉じ込め機能(放射線物質の捕集・浄化機能)	-	代替換気設備	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								胴板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								鏡板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								側壁板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								底板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								ふた板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-					
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-					
静的な閉じ込め機能(放射線物質の放出経路の維持機能)	-	代替換気設備	フィルタ	構造強度	-	常設耐震重要	ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-							
							ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-							
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	-						
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	静的な閉じ込め機能(放射線物質の放出経路の維持機能)	-	-	容器	構造強度	S	-	側壁板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								本体ふた板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								底板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								本体胴板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								上部胴板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								上部ふた板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								フランジ	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	92					

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(37/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材, 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
		DB	SA													
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	静的な閉じ込め機能(放射線物質の放出経路の維持機能)	AA,AB,AC,CA,KA建屋換気設備のセル等及びグローブボックスからの排気系	代替換気設備	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-	
	動的な閉じ込め機能(放射線物質の放出経路の維持機能)	AA,AB,AC,CA,KA建屋換気設備のセル等及びグローブボックスからの排気系	-	-	配管系	構造強度	S	-	-	ケーシング	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
									-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-
									ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
	静的な閉じ込め機能(放射線物質の放出経路の維持機能)	-	-	代替換気設備 廃ガス貯留設備	フィルタ	構造強度	-	常設耐震重要	ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
									ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
									-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	動的な閉じ込め機能(放射線物質の捕集・浄化機能)	許可申請書 添付処理六7.2設に粒子除去効率を記載した気体廃棄物の廃棄施設(建屋換気設備を除く)の高性能粒子フィルタ 許可申請書 添付処理六7.2設に粒子除去効率を記載した気体廃棄物の廃棄施設(建屋換気設備)の高性能粒子フィルタ 精製建屋換気設備 U・Pu混合脱硝設備 高性能粒子フィルタ(空気輸送)	代替換気設備	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	○	-
								管台	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	○	-
								胴板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	○	-
								鏡板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	○	-
								側壁板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	○	-
								底板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	○	-
								ふた板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-	
								動的な閉じ込め機能(放射線物質の捕集・浄化機能)	-	-	許可申請書 添付書類六7.2節に粒子除去効率を記載した気体廃棄物の廃棄施設(建屋換気設備を除く)の高性能粒子フィルタ	フィルタ	構造強度	-	常設耐震重要	ケーシング
ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-									
-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-									

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(38/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	動的な閉じ込め機能(放射 性物質の捕集・浄化機能)	高レベル廃液ガラス固 化建屋換気設備の固化 セル換気系の洗浄塔、 ルテニウム吸着塔	-	容器	構造強度	S	-	側壁板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								本体ふた板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								底板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								本体胴板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								上部胴板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								上部ふた板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								フランジ	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	異常の拡大防止機能に 係る支援機能	蒸気供給設備 安全蒸 気系	-	容器	構造強度	S	-	ラック格子	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
									基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	影響緩和機能に係る支 援機能	蒸気供給設備 安全蒸 気系	-	容器	構造強度	S	-	ラック格子	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
									基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	事故時の対応操作に必 要な居住性等の維持機 能	中央制御室、制御建屋 中央制御室換気設備	同左	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								鏡板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								遮蔽体	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	事故時の対応操作に必 要な居住性等の維持機 能	-	緊急時対策建屋換気設 備	フィルタ	構造強度	-	常設耐震重要	ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
								ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(39/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器剛体設備 フィルタユニット(遮蔽体一体型)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能) 動的な閉じ込め機能(放射性物質の捕集・浄化機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備(フィルタ) 塔槽類廃ガス処理設備 安全上重要な施設の固気分離器からU・Pu混合脱硝建屋換気設備のGB・セル排気系統への接続部までの系統 許可申請書 添付処理六7.2設に粒子除去効率を記載した気体廃棄物の廃棄施設(建屋換気設備を除く)の高性能粒子フィルタ	代替換気設備 廃ガス貯留設備	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								鏡板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								管台	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								遮蔽体	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器剛体設備 フィルタユニット(遮蔽体一体型)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備(フィルタ)	代替換気設備 廃ガス貯留設備	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								鏡板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								平板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								連絡管	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								レジャーサ	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								管台	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
定式化された計算式を用いて評価を行う機器剛体設備 フィルタユニット(遮蔽体一体型)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	AA,AB,AC,CA,KA建屋換気設備のセル等及びグローブボックスからの排気系	-	配管系	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(40/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット(遮蔽体一体型)	動的な閉じ込め機能(放射物質の捕集・浄化機能)	許可申請書 添付処理六7.2設に粒子除去効率を記載した気体廃棄物の廃棄施設(建屋換気設備を除く)の高性能粒子フィルタ 許可申請書 添付処理六7.2設に粒子除去効率を記載した気体廃棄物の廃棄施設(建屋換気設備)の高性能粒子フィルタ	代替換気設備 廃ガス貯留設備	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								鏡板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								平板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								連絡管	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								レジャーサ	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								管台	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								ろ材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								遮蔽体	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	熱的、化学的又は核的制限値等の維持機能	せん断処理施設及び溶解施設に係る計測制御設備 燃料せん断長位置異常によるせん断停止回路等 分離施設、精製施設に係る計測制御設備 Pu洗浄器アルファモニタ線検出器の係数率による警報 計測制御設備 せん断刃位置異常によるせん断停止回路、脱硝塔内部の温度低による硝酸ウラン濃縮液の供給停止回路等、せん断処理・溶解廃ガス処理設備等の系統の圧力警報、溶解槽セル等の漏えい液受皿の集液溝等の液位警報等	重大事故等供給停止回路、代替可溶性中性子吸収材緊急供給回路	計装/放管設備	構造強度	S	常設耐震重要	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
					電氣的機能維持	S	常設耐震重要	-	-	器具類*5	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	火災、爆発、臨界等に係るプロセス量等の維持機能	核的制限値を維持する計測制御設備及び動作機器 燃焼度測定装置、粉末缶MOX粉末重量確認による粉末缶払出装置の起動回路 各系統等の安全機能を維持するために必要な計測制御設備	-	計装/放管設備	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
								-	ディスク位置検出器架台取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	ドラム回転検出器架台取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	共通架台取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	ベースプレート取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	-	器具類*5	○	-	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(41/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考) ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	ソースターム制限機能	せん断処理施設及び溶解施設に係る計測制御設備 燃料せん断長位置異常によるせん断停止回路、等 漏えい液受皿から漏えい液を回収するための系統 可溶性中性子吸収材緊急供給回路及びせん断停止回路、固化セル移送台車上の質量高によるガラス流下停止回路 外部電源喪失による建屋給気閉止ダンパ(分離建屋、精製建屋)、 固化セル圧力高による固化セル隔離ダンパの閉止回路	-	計装/放管設備	構造強度	S	常設耐震重要	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
					電氣的機能維持	S	常設耐震重要	-	-	器具類*5	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	異常の発生防止機能に係る支援機能	圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く。) 計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の発生防止機能(PS))までの配管	-	計装/放管設備	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
					電氣的機能維持	S	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	異常の発生防止機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内電源系統	-	代替所内電気設備	電源盤、無停電電源装置等	構造強度	S	常設耐震重要	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-
						電氣的機能維持	S	常設耐震重要	-	-	器具類*5	○	-	○	-
						構造強度	S	-	-	溶接	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	異常の拡大防止機能に係る支援機能	圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く。) 計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(影響緩和機能(MS))までの配管	-	計装/放管設備	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
						電氣的機能維持	S	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	影響緩和機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内電源系統	-	代替所内電気設備	電源盤、無停電電源装置等	構造強度	S	常設耐震重要	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-
						電氣的機能維持	S	常設耐震重要	-	-	器具類*5	○	-	○	-
						構造強度	S	-	-	溶接	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(42/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無してであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)			
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							DB	SA	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA														
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	事故時の放射性物質の 放出量の監視機能	主排気筒の排気筒モニ タ	同左	計装/放管設備	構造強度	S	常設耐震重要	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
					電氣的機能維持	S	常設耐震重要	プラスチックシグナル検出器	-	器具類*5	○	-	○	-			
					電氣的機能維持	S	常設耐震重要	電離箱	-	器具類*5	○	-	○	-			
					動的機能維持	S	常設耐震重要	-	-	ポンプ	○	-	○	-			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	事故時の対応操作に必 要な居住性等の維持機 能	中央制御室、制御建屋 中央制御室換気設備	-	計装/放管設備	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
					電氣的機能維持	S	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	事故時の対応操作に必 要な居住性等の維持機 能	-	緊急時対策建屋電源設 備	電源盤	構造強度	-	常設耐震重要	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
					電氣的機能維持	-	常設耐震重要	-	-	器具類*5	○	-	○	-			
					構造強度	-	常設耐震重要	-	溶接	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	事故時の対応操作に必 要な居住性等の維持機 能	-	緊急時対策建屋電源設 備	無停電電源装置	構造強度	-	常設耐震重要	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
					電氣的機能維持	-	常設耐震重要	-	-	器具類*5	○	-	○	-			
					構造強度	-	常設耐震重要	-	溶接	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	事故時の対応操作に必 要な居住性等の維持機 能	-	緊急時対策建屋電源設 備	電力貯蔵装置	構造強度	-	常設耐震重要	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
					電氣的機能維持	-	常設耐震重要	-	-	器具類*5	○	-	○	-			
					構造強度	-	常設耐震重要	-	溶接	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	事故時の対応操作に必 要な居住性等の維持機 能	-	緊急時対策建屋換気設 備	計装/放管設備	構造強度	-	常設耐震重要	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
					電氣的機能維持	-	常設耐震重要	-	-	器具類*5	○	-	○	-			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	事故時の対応操作に必 要な居住性等の維持機 能	-	緊急時対策建屋情報把 握設備	計装/放管設備	構造強度	-	常設耐震重要	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
					電氣的機能維持	-	常設耐震重要	-	-	器具類*5	○	-	○	-			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	動的な閉じ込め機能(放 射性物質の排気機能)	放射性廃棄物の廃棄施 設の排風機(建屋換気 設備)	-	計装/放管設備	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
					電氣的機能維持	S	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-			
					構造強度	S	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系安全冷 却水系 使用済燃料の受入れ施 設及び貯蔵施設補給水 設備 ウラン・プルトニウム 混合酸化物貯蔵建屋換 気設備	-	計装/放管設備	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			
					電氣的機能維持	S	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-			
					構造強度	S	-	-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-			

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(43/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
		DB	SA													
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 胴部支持容器 平底たて置円筒形容器	異常の発生防止機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内 電源系統	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
								平板	-	容器	○	-	-	○	-	
								屋根板	-	容器	○	-	-	○	-	
								管台	-	容器	○	-	-	○	-	
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-
影響緩和機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内 電源系統	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-		
							平板	-	容器	○	-	-	○	-		
							屋根板	-	容器	○	-	-	○	-		
							管台	-	容器	○	-	-	○	-		
							マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-		
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-	
事故時の対応操作に必要な居住性等の維持機能	-	緊急時対策建屋電源設備	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-		
							平板	-	容器	○	-	-	-	-		
							屋根板	-	容器	○	-	-	-	-		
							管台	-	容器	○	-	-	-	-		
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	-	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(44/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 溶解槽	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分析設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類	-	容器	構造強度	S	-	本体側壁板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体底板	-	容器	○	-	-	○	-
								加熱ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-
								消泡ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-
								ふた板	-	容器	○	-	-	○	-
								バケット	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								ホイール	-	容器	○	-	-	○	-
								-	支持架構	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	ガイドピン	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	装荷ファンネル	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	ローラ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
核的制限値(寸法)の維持機能	-	形状寸法管理の機器 事業許可変更申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、ブルトニウム濃縮缶等)	-	容器	変位及び変形	S	-	本体側壁板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								本体底板	-	容器*2	○	-	-	○	-
ソースターム制限機能	-	代替可溶性中性子吸収材緊急供給系	-	容器	構造強度	-	常設耐震重要	本体側壁板	-	容器	○	-	-	-	-
								本体底板	-	容器	○	-	-	-	-
								加熱ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-
								消泡ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-
								ふた板	-	容器	○	-	-	-	-
								バケット	-	容器	○	-	-	-	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(45/72)

対象	評価対象設備						① 本文仕様記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)						
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類							重大事故等対処施設の 設備分類	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位
		DB	SA																
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 溶解槽	ソースターム制限機能	-	代替可溶性中性子吸収 材緊急供給系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	管台	-	容器	○	-	-	-	-				
								ホイール	-	容器	○	-	-	-	-				
								-	支持架構	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-				
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-				
								-	ガイドピン	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-				
								-	装荷ファンネル	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-				
								-	ローラ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-				
静的な閉じ込め機能(放 射性物質の放出経路の 維持機能)	-	-	廃ガス貯留設備	容器	構造強度	-	常設耐震重要	本体側壁板	-	容器	○	-	-	-	-				
								本体底板	-	容器	○	-	-	-	-				
								加熱ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-				
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-				
								消泡ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-				
								ふた板	-	容器	○	-	-	-	-				
								バケット	-	容器	○	-	-	-	-				
								管台	-	容器	○	-	-	-	-				
								ホイール	-	容器	○	-	-	-	-				
								-	支持架構	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-				
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-				
								-	ガイドピン	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-				
								-	装荷ファンネル	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-				
-	ローラ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-												

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(46/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 溶解槽	異常の発生防止に係る 支援機能	-	臨界事故時水素掃気系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	本体側壁板	-	容器	○	-	-	-	-
								本体底板	-	容器	○	-	-	-	-
								加熱ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-
								消泡ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-
								ふた板	-	容器	○	-	-	-	-
								バケット	-	容器	○	-	-	-	-
								管台	-	容器	○	-	-	-	-
								ホイール	-	容器	○	-	-	-	-
								-	支持架構	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
								-	ガイドピン	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-
								-	装荷ファンネル	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-
-	ローラ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-								
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の放出経路の 維持機能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備(洗浄塔、 デミスタ、シールポッ ト)	代替換気設備 廃ガス貯留設備	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分析設備 の溶解液中間貯槽等の 塔槽類	-	容器	構造強度	S	-	側壁板	-	容器	○	-	-	○	-
								ふた板	-	容器	○	-	-	○	-
								底板	-	容器	○	-	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(47/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分析設備 の溶解液中間貯槽等の 塔槽類	-	容器	構造強度	S	-	加熱ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 洗浄槽	掃気機能	圧縮空気設備 安全圧 縮空気系(かくはん等 のために圧縮空気を供 給する系統は除 く。)(空気貯槽)	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								ハル入口部	-	容器	○	-	-	○	-
								ふた内筒部	-	容器	○	-	-	○	-
								底板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	リフティングビーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	リフティングビーム取 付ボルト	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								フィルタ	-	容器	○	-	-	○	-
								-	床貫通軸	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	支持ピン	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								ソースターム制限機能	-	重大事故時可溶性中性 子吸収材供給系	-	容器	構造強度	-	常設耐震重要
ハル入口部	-	容器	○	-	-	-	-								
ふた内筒部	-	容器	○	-	-	-	-								
底板	-	容器	○	-	-	-	-								
管台	-	容器	○	-	-	-	-								
-	リフティングビーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-								
-	リフティングビーム取 付ボルト	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-								
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-								

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(48/72)

対象	評価対象設備						① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類							重大事故等対処施設の 設備分類	-	-	-	-	-	○	×
		DB	SA																	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 洗浄槽	ソースターム制限機能	-	重大事故時可溶性中性 子吸収材供給系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	フィルタ	-	容器	○	-	-	-	-					
								-	床貫通軸	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-					
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-					
								-	支持ピン	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-					
静的な閉じ込め機能(放 射性物質の放出経路の 維持機能)	-	廃ガス貯留設備	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	-	-						
							ハル入口部	-	容器	○	-	-	-	-						
							ふた内筒部	-	容器	○	-	-	-	-						
							底板	-	容器	○	-	-	-	-						
							管台	-	容器	○	-	-	-	-						
							-	リフティングビーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-						
							-	リフティングビーム取 付ボルト	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-						
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-						
							フィルタ	-	容器	○	-	-	-	-						
							-	床貫通軸	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-						
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-						
							-	支持ピン	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-						
							異常の発生防止に係る 支援機能	-	臨界事故時水素掃気系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	-
ハル入口部	-	容器	○	-	-	-								-						
ふた内筒部	-	容器	○	-	-	-								-						
底板	-	容器	○	-	-	-								-						
管台	-	容器	○	-	-	-								-						
-	リフティングビーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-								-						
-	リフティングビーム取 付ボルト	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-								-						
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-								-						
フィルタ	-	容器	○	-	-	-								-						

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(49/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 洗浄槽	異常の発生防止に係る 支援機能	-	臨界事故時水素掃気系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	-	床貫通軸	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-
								-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	
								-	支持ピン	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 遠心清澄機	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の保持機能)	-	-	容器	構造強度	S	-	ケーシング	-	容器	○	-	-	○	-
								サイホン部	-	容器	○	-	-	○	-
								プラグ	-	容器	○	-	-	○	-
								ボウル	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	ケーシング取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	駆動部取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
崩壊熱等の除去機能	-	-	代替安全冷却水系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	ケーシング	-	容器	○	-	-	-	-
								サイホン部	-	容器	○	-	-	-	-
								プラグ	-	容器	○	-	-	-	-
								ボウル	-	容器	○	-	-	-	-
								管台	-	容器	○	-	-	-	-
								-	ケーシング取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
								-	駆動部取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器(下部支持型、コイル付)	静的な閉じ込め機能(放射 性物質の保持機能)	-	同左 漏えい抑制設備	容器 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								上部 胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								下部 胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体 胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								上部 胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(50/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 容器(下部支持型、コイ ル付)	静的な閉じ込め機能(放 射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設 備の溶解液中間貯槽等の 塔槽類 U・Pu混合酸化物貯蔵 設備 粉末缶等、Pu を含む溶液又は粉末の 主要な流れを構成する 配管 高レベル廃液ガラス固 化設備 高レベル廃液 混合槽、ガラス溶融炉 原料供給機等、高レベ ル廃液の主要な流れを 構成する容器、配管	同左 漏えい抑制設備	容器 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	下部 胴下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体 胴鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体 鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								冷却コイル	-	冷却コイル	○	-	-	○	-
								-	支持梁	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
静的な閉じ込め機能(放 射性物質の放出経路の 維持機能)	-	代替換気設備	-	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								上部 胴板	-	容器	○	-	-	-	-
								下部 胴板	-	容器	○	-	-	-	-
								本体 胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	-
								上部 胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	-	-
								下部鏡板	-	容器	○	-	-	-	-
								下部 胴下部鏡板	-	容器	○	-	-	-	-
								本体 胴鏡板	-	容器	○	-	-	-	-
								本体 鏡板	-	容器	○	-	-	-	-
								管台	-	容器	○	-	-	-	-
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(51/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器(下部支持型, コイル付)	異常の発生防止に係る 支援機能	-	臨界事故時水素掃気系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	-	-
								上部 胴板	-	容器	○	-	-	-	
								下部 胴板	-	容器	○	-	-	-	
								本体 胴板	-	容器	○	-	-	○	
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								上部 胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								下部鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								下部 胴下部鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								本体 胴鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								本体 鏡板	-	容器	○	-	-	-	
								管台	-	容器	○	-	-	-	
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	
崩壊熱等の除去機能	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類 プール水冷却系、安全冷却水系 U・Pu混合酸化物貯蔵設備 粉末缶等、Puを含む溶液又は粉末の主要な流れを構成する配管 高レベル廃液ガラス固化設備 高レベル廃液混合槽、ガラス溶融炉原料供給機等、高レベル廃液の主要な流れを構成する容器、配管	同左 漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	容器 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
							上部 胴板	-	容器	○	-	-	○		
							下部 胴板	-	容器	○	-	-	○		
							本体 胴板	-	容器	○	-	-	○		
							鏡板	-	容器	○	-	-	○		
							上部 胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	○		
							上部鏡板	-	容器	○	-	-	○		
							下部鏡板	-	容器	○	-	-	○		
							下部 胴下部鏡板	-	容器	○	-	-	○		
							本体 胴鏡板	-	容器	○	-	-	○		

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(52/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器(下部支持型, コイル付)	崩壊熱等の除去機能	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類 プール水冷却系、安全冷却水系 U・Pu混合酸化物貯蔵設備 粉末缶等、Puを含む溶液又は粉末の主要な流れを構成する配管 高レベル廃液ガラス固化設備 高レベル廃液混合槽、ガラス溶融炉原料供給機等、高レベル廃液の主要な流れを構成する容器、配管	同左 漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	容器 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	本体 鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
								冷却コイル	-	冷却コイル	○	-	○	-	
								-	支持梁	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	支持構造物	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器(中間支持型, コイル付)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類 U・Pu混合酸化物貯蔵設備 粉末缶等、Puを含む溶液又は粉末の主要な流れを構成する配管 高レベル廃液ガラス固化設備 高レベル廃液混合槽、ガラス溶融炉原料供給機等、高レベル廃液の主要な流れを構成する容器、配管	同左 漏えい抑制設備	容器 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								下部胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体 胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体 胴鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
								冷却コイル	-	冷却コイル	○	-	○	-	
								-	支持梁	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
-	支持構造物	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-									

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(53/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)						
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位
		DB	SA																	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器(中間支持型、コイル付)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	-	代替換気設備	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	-	-					
								上部胴板	-	容器	○	-	-	-	-					
								下部胴板	-	容器	○	-	-	-	-					
								本体 胴板	-	容器	○	-	-	-	-					
								鏡板	-	容器	○	-	-	-	-					
								上部鏡板	-	容器	○	-	-	-	-					
								下部鏡板	-	容器	○	-	-	-	-					
								本体 胴鏡板	-	容器	○	-	-	-	-					
								管台	-	容器	○	-	-	-	-					
								ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-					
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-					
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-					
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-					
異常の発生防止に係る 支援機能	-	臨界事故時水素掃気系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	-	-						
							上部胴板	-	容器	○	-	-	-	-						
							下部胴板	-	容器	○	-	-	-	-						
							本体 胴板	-	容器	○	-	-	-	-						
							鏡板	-	容器	○	-	-	-	-						
							上部鏡板	-	容器	○	-	-	-	-						
							下部鏡板	-	容器	○	-	-	-	-						
							本体 胴鏡板	-	容器	○	-	-	-	-						
							管台	-	容器	○	-	-	-	-						
							ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-						
							冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	-	-						

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(54/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
		DB	SA													
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器(中間支持型、コイル付)	異常の発生防止に係る 支援機能	-	臨界事故時水素掃気系	容器	構造強度	-	常設耐震重要	-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器(中間支持型、コイル付)	崩壊熱等の除去機能	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類 プール水冷却系、安全冷却水系 U・Pu混合酸化物貯蔵設備 粉末缶等、Puを含む溶液又は粉末の主要な流れを構成する配管 高レベル廃液ガラス固化設備 高レベル廃液混合槽、ガラス溶融炉原料供給機等、高レベル廃液の主要な流れを構成する容器、配管	同左 漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	容器 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
								上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
								下部胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
								本体 胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								本体 胴鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								本体鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								管台	-	容器	○	-	-	○	-	
								ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-	
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	○	-
								冷却コイル	-	冷却コイル	○	-	-	○	○	-
								-	支持梁	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	○	-
-	支持構造物	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	○	-								
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器(中間支持型、コイル付)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-	
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
								平板	-	容器	○	-	-	○	-	
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(55/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)						
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位
		DB	SA																	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器(中間支持型、コイル付)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	-	容器	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-					
								冷却コイル	-	冷却コイル	○	-	-	○	-					
								-	支持構造物	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器(中間支持型、コイル付)	動的な閉じ込め機能(放射性物質の捕集・浄化機能)	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備の廃ガス洗浄器、吸収塔及びルテニウム吸着塔	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-					
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-					
								平板	-	容器	○	-	-	○	-					
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-						
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-						
								冷却コイル	-	冷却コイル	○	-	-	○	-					
								-	支持構造物	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 環状形パルスカラム	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 核的制限値(寸法)の維持機能	分離施設の抽出塔、プルトニウム分配塔等形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、プルトニウム濃縮缶等)	-	容器(パルスカラム)	構造強度	S	-	本体 外胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
								本体 内胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
								本体 ふた板	-	容器	○	-	-	○	-					
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)(支持パイプ)	○	-	-	○	-					
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)(支持棒)	○	-	-	○	-					
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム)(取付ボルト)	○	-	-	○	-					
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム)(固定金具)	○	-	-	○	-					
								本体 中性子吸収材	-	ほう素入りコンクリート被覆材補強リング	○	-	-	○	-					
								本体 中性子吸収材	-	ほう素入りコンクリートシャフト部被覆材	○	-	-	○	-					
								本体 中性子吸収材	-	ほう素入りコンクリートシャフト部緩衝材	○	-	-	○	-					
								本体 中性子吸収材	-	容器	○	-	-	○	-					
								管台	-	容器	○	-	-	○	-					
								-	パルスレグ付け根部	容器	○	-	-	○	-					
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(56/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							DB	SA
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 環状形パルスカラム	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 核的制限値(寸法)の維持機能	分離施設の抽出塔、プルトニウム分配塔等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、プルトニウム濃縮缶等)	-	容器(パルスカラム)	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								パルスレグ部	-	パルスレグ	○	-	-	○	-
								パルスレグ部 パルスレグ	-	パルスレグ	○	-	-	○	-
								パルスレグ部 中性子吸収材	-	パルスレグ	○	-	-	○	-
								パルスレグ部 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム)(取付ボルト)	○	-	-	○	-
								パルスレグ部 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム)(固定金具)	○	-	-	○	-
								本体 外胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								本体 内胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								本体 ふた板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								パルスレグ	-	容器*2	○	-	-	○	-
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)(支持パイプ)	○	-	-	○	-
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)(支持棒)	○	-	-	○	-
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム)(取付ボルト)	○	-	-	○	-
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム)(固定金具)	○	-	-	○	-
								本体 中性子吸収材	-	ほう素入りコンクリート被覆材補強リング	○	-	-	○	-
本体 中性子吸収材	-	ほう素入りコンクリートシャフト部被覆材	○	-	-	○	-								
本体 中性子吸収材	-	ほう素入りコンクリートシャフト部緩衝材	○	-	-	○	-								
パルスレグ部 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム)(取付ボルト)	○	-	-	○	-								
パルスレグ部 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム)(固定金具)	○	-	-	○	-								
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 バッファチューブ(中間支持型)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類	同左	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								平板	-	容器	○	-	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(57/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 パフファチューブ (中間支持型)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類	同左	容器	構造強度	S	常設耐震重要	平滑管	-	容器	○	-	-	○	-
								円すい胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								下部平板	-	容器	○	-	-	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 洗浄塔	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 核的制限値(寸法)の維持機能	分離施設の抽出塔、プルトニウム分配塔等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、プルトニウム濃縮缶等)	-	容器(バルスカラム)	構造強度	S	-	本体 外胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体 内胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体 胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体 ふた板	-	容器	○	-	-	○	-
								バルスレグ部	-	バルスレグ	○	-	-	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)	○	-	-	○	-
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム(取付ボルト))	○	-	-	○	-
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム(固定金具))	○	-	-	○	-
								本体 外胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								本体 内胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								本体 胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								本体 ふた板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								バルスレグ	-	容器*2	○	-	-	○	-
本体 中性子吸収材	-	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)	○	-	-	○	-								
本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム(取付ボルト))	○	-	-	○	-								
本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム(固定金具))	○	-	-	○	-								
					変位及び変形	S	-	本体 外胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								本体 内胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								本体 胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								本体 ふた板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								バルスレグ	-	容器*2	○	-	-	○	-
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)	○	-	-	○	-
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム(取付ボルト))	○	-	-	○	-
								本体 中性子吸収材	-	中性子吸収剤固定部(ステンレス被覆カドミウム(固定金具))	○	-	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(58/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)				
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外			
		DB	SA															
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 ミキサセトラ	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 核的制限値(寸法)の維持機能	分離施設のプルトニウム溶液TBP洗浄器等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、プルトニウム濃縮缶等)	-	容器(ミキサセトラ)	構造強度	S	-	側壁板	-	容器	○	-	-	○	-			
								ふた板	-	容器	○	-	-	○	-			
								底板	-	容器	○	-	-	○	-			
								本体 側壁板	-	容器	○	-	-	○	-			
								本体 ふた板	-	容器	○	-	-	○	-			
								本体 底板	-	容器	○	-	-	○	-			
								ジャケット 側壁板	-	容器	○	-	-	○	-			
								ジャケット 底板	-	容器	○	-	-	○	-			
								管台	-	容器	○	-	-	○	-			
								-	架台	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-			
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-			
								変位及び変形	S	-	中性子吸収材	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
											-	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
											中性子減速材	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
											-	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
											-	架台	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								本体 側壁板	-	容器*2	○	-	-	○	-			
本体 底板	-	容器*2	○	-	-	○	-											
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 環状形槽	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 崩壊熱等の除去機能 核的制限値(寸法)の維持機能	分配設備 分離建屋一時貯留処理設備 分離施設のプルトニウム溶液受槽等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、プルトニウム濃縮缶等) プール水冷却系、安全冷却水系 溶液系	同左 漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	容器(環状型) 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	内胴板	-	容器	○	-	-	○	-			
								外胴板	-	容器	○	-	-	○	-			
								胴上板	-	容器	○	-	-	○	-			
								胴底板	-	容器	○	-	-	○	-			
								管台	-	容器	○	-	-	○	-			
								冷却コイル	-	冷却コイル	○	-	-	○	-			
								-	内側支持胴	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-			

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(59/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							DB	SA	
		DB	SA													○：評価対象部位
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 環状形槽	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 崩壊熱等の除去機能 核的制限値(寸法)の維持機能	分配設備 分離建屋一時貯留処理設備 分離施設のプルトリウム溶液受槽等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、プルトリウム濃縮缶等) プール水冷却系、安全冷却水系 溶液系	同左 漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	容器(環状型) 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	-	外側支持胴	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-	
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
						中性子吸収材	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-			
									○	-	-	○	-			
									○	-	-	○	-			
									○	-	-	○	-			
						中性子減速材	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-			
									○	-	-	○	-			
						内胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-			
外胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-									
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 分離槽	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 核的制限値(寸法)の維持機能	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、プルトリウム濃縮缶等)	-	容器	構造強度	S	-	槽平板	-	容器	○	-	-	○	-	
								槽上板	-	容器	○	-	-	○	-	
								槽底板	-	容器	○	-	-	○	-	
						管台	-	容器	○	-	-	○	-			
						-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-			
						-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-			
						変位及び変形	S	-	槽平板	-	容器*2	○	-	-	○	-
									槽上板	-	容器*2	○	-	-	○	-
									槽底板	-	容器*2	○	-	-	○	-
						有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 バッファチューブ(片側支持型)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類 分離施設の抽出塔、プルトリウム分配塔等	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器
鏡板	-	容器	○	-	-									○	-	
管台	-	容器	○	-	-									○	-	
-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-									○	-	

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(60/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 充てん塔	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 核的制限値(寸法)の維持機能	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分離設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類 分離施設の抽出塔、ブルトニウム分配塔等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、ブルトニウム濃縮缶等)	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 三連濃縮缶	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 核的制限値(寸法)の維持機能	精製施設のブルトニウム濃縮缶等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、ブルトニウム濃縮缶等)	精製施設のブルトニウム濃縮缶等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、ブルトニウム濃縮缶等)	容器(蒸発缶)	構造強度	S	常設耐震重要	加熱部 管側 胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								加熱部 管側 鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								加熱部 胴側 胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								加熱部 胴側 鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								加熱部 管板	-	容器	○	-	-	○	-
								加熱部 伝熱管	-	容器	○	-	-	○	-
								気液分離部 上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								気液分離部 上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								気液分離部 円すい胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								気液分離部 下部胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								気液分離部 下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								連絡部 上部連絡管	-	容器	○	-	-	○	-
								連絡部 濃縮液連結管	-	容器	○	-	-	○	-
								連絡部 下部連絡管	-	容器	○	-	-	○	-
								液抜き部 胴板	-	容器	○	-	-	○	-
液抜き部 平板	-	容器	○	-	-	○	-								
液抜き部 円すい鏡板	-	容器	○	-	-	○	-								

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(61/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無してであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)						
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○	○	○	-	-	○	○
		DB	SA																	
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 三連濃縮缶	静的な閉じ込め機能(放 射性物質の保持機能) 核的制限値(寸法)の維持 機能	精製施設のプルトニウ ム濃縮缶等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の 各施設の臨界安全管理 表に寸法が記載されて いる機器(溶解槽、プ ルトニウム濃縮缶等)	精製施設のプルトニウ ム濃縮缶等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の 各施設の臨界安全管理 表に寸法が記載されて いる機器(溶解槽、プ ルトニウム濃縮缶等)	容器(蒸発缶)	構造強度	S	常設耐震重要	管台	-	容器	○	-	-	○	-					
				容器	変位及び変形	S	常設耐震重要	加熱部 管側 胴板	-	容器*2	○	-	-	-	○	-				

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(62/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○	○	○	-	-	○	○	-
		DB	SA																		
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 円筒形パルスカラム	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 核的制限値(寸法)の維持機能	分離施設の抽出塔、プルトニウム分配塔等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、プルトニウム濃縮缶等)	-	容器(パルスカラム)	構造強度	S	-	本体 外胴板	-	容器	○	-	-	○	-						
								本体 外胴板	-	容器	○	-	-	○	-						
								本体 内胴板	-	容器	○	-	-	○	-						
								本体 内胴板	-	容器	○	-	-	○	-						
								本体 胴板	-	容器	○	-	-	○	-						
								本体 ふた板	-	容器	○	-	-	○	-						
								本体 鏡板	-	容器	○	-	-	○	-						
								上部 ふた板	-	容器	○	-	-	○	-						
								下部 ふた板	-	容器	○	-	-	○	-						
								シャフト部 鏡板	-	容器	○	-	-	○	-						
								下部 鏡板	-	容器	○	-	-	○	-						
								管台	-	容器	○	-	-	○	-						
								パルスレグ	-	パルスレグ	○	-	-	○	-						
				-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-										
				本体 外胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-										
				本体 内胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-										
				本体 胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-										
				本体 ふた板	-	容器	○	-	-	○	-										
				本体 鏡板	-	容器	○	-	-	○	-										
				上部 ふた板	-	容器	○	-	-	○	-										
				下部 ふた板	-	容器	○	-	-	○	-										
				シャフト部 鏡板	-	容器	○	-	-	○	-										
				下部 鏡板	-	容器	○	-	-	○	-										
本体 中性子吸収材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-														
本体 中性子減速材	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-														

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(63/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)						
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○	○	○	-	-	○	○
		DB	SA																	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 グローブボックス	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	プルトニウムを含む溶液や高レベル放射性液体廃棄物を内蔵する系統・機器を収納するセル及びグローブボックス並びにせん断セル	-	核物質等取扱ボックス	構造強度	S	-	本体部	-	缶体	○	-	-	○	-					
								覗き窓部	-	缶体	○	-	-	○	-					
								遮蔽体	-	缶体	○	-	-	○	-					
								漏えい液受皿部	-	缶体	○	-	-	○	-					
								-	缶体支持架台	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
								-	耐震サポート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
								-	内装架台	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
								-	耐震サポート取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
								-	ステンレスパネル	ステンレスパネル部*6	○	-	-	○	-					
								-	アクリルパネル	アクリルパネル部*6	○	-	-	○	-					
								-	ラージポート	ラージポート部*6	○	-	-	○	-					
								-	スモールポート	スモールポート部*6	○	-	-	○	-					
								-	給電器	給電端子部*6	○	-	-	○	-					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 環状形槽(中間支持型)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 崩壊熱等の除去機能 核的制限値(寸法)の維持機能	分離施設のプルトニウム溶液受槽等	同左	容器(環状型)	構造強度	S	常設耐震重要	内胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
								外胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
								胴上板	-	容器	○	-	-	○	-					
								胴底板	-	容器	○	-	-	○	-					
								管台	-	容器	○	-	-	○	-					
								中性子吸収材	-	容器	○	-	-	○	-					
								冷却ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-					
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-													

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(64/72)

対象	評価対象設備						① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類							重大事故等対処施設の 設備分類	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 環状形槽(中間支持型)	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 崩壊熱等の除去機能 核的制限値(寸法)の維持機能	分離施設のプルトニウム溶液受槽等	同左	容器(環状型)	変位及び変形	S	常設耐震重要	中性子吸収材	-	カドミウム取付板	○	-	-	○	-
								中性子吸収材	-	カドミウム支持部材	○	-	-	○	-
								中性子吸収材	-	固定ボルト	○	-	-	○	-
								内胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								外胴板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								胴上板	-	容器*2	○	-	-	○	-
								胴底板	-	容器*2	○	-	-	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 貯蔵ホール	核的制限値(寸法)の維持機能	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 燃料取出しピット、燃料仮置きピット、等 形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、プルトニウム濃縮缶等)	同左	ラック/ピット/棚	構造強度	B(Ss)	-	ホール	-	ホール	○	-	-	○	-
								ホール	-	ホール	○	-	-	○	-
								ホール	-	ホール	○	-	-	○	-
								チャンネルベース	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								支持トラス	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								支持トラス	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								支持トラス	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								支持トラス	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								支持トラス	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								支持トラス	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								支持トラス	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								支持トラス	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								支持トラス	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								支持トラス	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	アンカー部基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
-	すべり支承部 基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
変位及び変形	B(Ss)	-	ホール	-	ホール*2	○	-	-	○	-					

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(65/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)						
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○	○	○	-	-	○	-
		DB	SA																	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 加熱送気缶	静的な閉じ込め機能(放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備 (洗浄塔、デミスタ、シールポット)	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
								上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
								円すい胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
								下部胴板	-	容器	○	-	-	○	-					
								上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-					
								下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-					
								ジャケット	-	容器	○	-	-	○	-					
								ジャケット平板	-	容器	○	-	-	○	-					
								-	フランジ	容器	○	-	-	○	-					
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト)	○	-	-	○	-					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 クーラ	異常の発生防止機能に係る支援機能	放射性物質の閉じ込め機能を支援する施設(加熱器、建屋給気閉止ダンパ、セル内クーラ、凝縮器等の冷却系等)	-	熱交換器	構造強度	S	-	冷却器(伝熱管)	-	伝熱管	○	-	-	○	-					
								冷却器(ヘッダ)	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
								送風機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
								原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
								-	フレーム(はり)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
								送風機	-	駆動部*3	○	-	-	○	-					
								原動機	-	駆動部*3	○	-	-	○	-					
	動的機能維持		S	-																

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(66/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 加熱濃縮缶	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能) 崩壊熱等の除去機能	U・Pu混合酸化物貯蔵設備 粉末缶等、Puを含む溶液又は粉末の主要な流れを構成する配管 高レベル廃液ガラス固化設備 高レベル廃液混合槽、ガラス溶融炉原料供給機等、高レベル廃液の主要な流れを構成する容器、配管 プール水冷却系、安全冷却水系	同左 漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	容器(蒸発缶) 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								円すい胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								下部胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								上部胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								本体胴下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								加熱・冷却コイル	-	加熱・冷却コイル	○	-	-	○	-
								加熱・冷却ジャケット胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								加熱・冷却ジャケット鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								加熱・冷却ジャケット平板	-	容器	○	-	-	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	架構	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	支柱サポート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 ガラス溶融炉	静的な閉じ込め機能(放射性物質の保持機能)	脱硝施設の脱硝装置、高レベル廃液ガラス固化設備のガラス溶融炉等	-	機械装置	構造強度	S	-	ケーシング	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								耐火物	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								電極	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								結合装置	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								原料供給器	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								保守治具入口シャッタ	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								レンガ回収治具	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								負圧維持治具	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								管台	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	ガイドピン	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 移送台車	落下・転倒防止機能	高レベル廃液ガラス固化設備(固化セル移送台車)	-	搬送設備	構造強度	S	-	本体	-	フレーム	○	-	-	○	-
								-	車輪フランジ	転倒防止機構	○	-	-	○	-
								-	車輪フランジ	転倒防止機構	○	-	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(67/72)

対象	評価対象設備						① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類							重大事故等対処施設の 設備分類	○	○	○	-	-	○	-
		DB	SA																	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 移送台車	落下・転倒防止機能	高レベル廃液ガラス固化設備(固化セル移送台車)	-	搬送設備	構造強度	S	-	-	転倒防止装置(フック)	転倒防止機構	○	-	-	○	-					
								-	転倒防止装置(ピン)	転倒防止機構	○	-	-	○	-					
								-	ピニオン	転倒防止機構	○	-	-	○	-					
								-	ラックギア溶接部	転倒防止機構	○	-	-	○	-					
								-	走行レール溶接部	レール	○	-	-	○	-					
								-	レールガード取付部	レール	○	-	-	○	-					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 貯蔵ビット	崩壊熱等の除去機能	KA建屋、KB建屋の収納管、通風管	-	ラック/ビット/棚	構造強度	S	-	収納管	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
								通風管	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
								プレナム形成板	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
								支持架構	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 遮蔽容器付台車	遮蔽機能	貯蔵区域の遮蔽設備、受入れ室の遮蔽設備、床面走行クレーンの遮蔽設備、トレンチ移送台車の遮蔽設備	-	搬送設備	構造強度	S	-	遮蔽容器	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
								-	走行台車フレーム	フレーム	○	-	-	○	-					
								-	サイドローラ軸	転倒防止機構	○	-	-	○	-					
								-	固定装置	転倒防止機構	○	-	-	○	-					
								-	レール	レール	○	-	-	×	先行発電プラント審査実績の反映					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 遮蔽容器付クレーン	遮蔽機能	貯蔵区域の遮蔽設備、受入れ室の遮蔽設備、床面走行クレーンの遮蔽設備、トレンチ移送台車の遮蔽設備	-	搬送設備	構造強度	S	-	遮蔽容器	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
								-	しゃへい容器(支持フレーム)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
								-	しゃへい容器(シアプレートの溶接部)	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
								-	しゃへい容器(取付ボルト)	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
								-	ガード	フレーム	○	-	-	○	-					
								-	クレーン脱輪防止ラグの溶接部	転倒防止機構	○	-	-	○	-					
								-	トロリ脱着防止ローラ軸	転倒防止機構	○	-	-	○	-					
								-	トロリ脱着防止ラグの溶接部	転倒防止機構	○	-	-	○	-					
								-	ガード固定装置	転倒防止機構	○	-	-	○	-					
								-	ガード中央固定装置	転倒防止機構	○	-	-	○	-					

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(68/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無してであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 遮蔽容器付クレーン	遮蔽機能	貯蔵区域の遮蔽設備、 受入れ室の遮蔽設備、 床面走行クレーンの遮 蔽設備、トレンチ移送 台車の遮蔽設備	-	搬送設備	構造強度	S	-	-	トロリ固定装置	転倒防止機構	○	-	-	○	-
								-	クレーン浮上がり防止フック	転倒防止機構	○	-	-	○	-
								-	トロリ浮上がり防止フック	転倒防止機構	○	-	-	○	-
								-	-	レール	○	-	-	-	-
								-	ワイヤロープ等	吊具(ワイヤロープ等)	○	-	-	-	-
								-	先端金具	吊具(先端金具)	○	-	-	-	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 ポンベラック	掃気機能	-	代替安全圧縮空気系	ラック/ピット/棚	構造強度	-	常設耐震重要	ポンベ	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-
								-	支持架構	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
	異常の発生防止機能に 係る支援機能	-	臨界事故時水素掃気 系、代替安全圧縮空気 系	ラック/ピット/棚	構造強度	-	常設耐震重要	ポンベ	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-
								-	支持架構	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
	事故時の対応操作に必 要な居住性等の維持機 能	-	緊急時対策建屋換気設 備	ラック/ピット/棚	構造強度	-	常設耐震重要	ポンベ	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-
								-	支持架構	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 冷却塔	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系 安全冷却水系 冷却塔	-	熱交換器	構造強度	S	-	伝熱管(内管)	-	伝熱管	○	-	-	○	-
								フィン	-	伝熱管	×	フィン自体の剛性が高く伝熱管 に取り付けられており、フィンと比較して剛性 の低い伝熱管にフィンの質量を加味した構造 強度評価にて耐震性を確認することが出来る。	-	×	フィン自体の剛性が高く伝熱管 に対し強固に取り付けられてお り、フィンと比較して剛性の低 い伝熱管にフィンの質量を加味 した構造強度評価にて耐震性を 確認することが出来る。
								ヘッダー	-	管束取付ボルト	○	-	-	○	-
								原動機	-	原動機取付ボルト	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト(減速機)	減速機取付ボルト	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト(ファンリ ングサポート)	ファンリングサポート 取付ボルト	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト(ルーバ)	ルーバ取付ボルト	○	-	-	○	-
								遮熱板	-	遮熱板取付ボルト	○	-	-	-	-
								-	支持架構(支柱)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(69/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)			
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							DB	SA	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA														
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 冷却塔	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系 安全冷却水系	-	熱交換器	構造強度	S	-	-	支持架構(床はり)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-		
								-	支持架構(2F機械台はり)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-		
								-	支持架構(立面ブレース)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-		
								-	支持架構(水平ブレース)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-		
								-	支持架構(基礎ボルト)	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-		
					動的機能維持	S	-	原動機	-	駆動部*3	○	-	-	-	○	-	
								ファン	-	駆動部*4	○	-	-	-	-	○	-
標準支持間隔	・静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	・U・Pu混合酸化物貯蔵設備 粉末缶等, Puを含む溶液又は粉末の主要な流れを構成する配管 ・高レベル廃液ガラス固化設備 高レベル廃液混合槽, ガラス溶融炉原料供給機等, 高レベル廃液の主要な流れを構成する配管	同左	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	-	配管	○	-	○	○	-		
									支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-		
								主配管	-	配管	○	-	○	○	-		
標準支持間隔	・静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路の維持機能)	・せん断処理・溶解廃ガス処理設備, 塔槽類 廃ガス処理設備, 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備(系統上の配管) ・Pu精製設備及びU・Pu混合脱硝設備の安全上重要な施設の配管を収納する二重配管の外管 ・AA,AB,AC,CA,KA建屋換気設備のセル等及びグローブボックスからの排気系 ・下記の洞道に設置する配管収納容器のうち, プルトニウムを含む溶液や高レベル放射性液体廃棄物を内蔵する配管収納容器(AB-AC間, AC-CA間, AB-KA間洞道) ・AA,AB,AC,CA,KA建屋換気設備の汚染のおそれのある区域からの排気系	同左	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	-	ダクト	○	-	○	○	-		
									支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-		

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(70/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							主配管	支持構造物	支持構造物	○	-	○	○	-
		DB	SA																		
標準支持間隔	・掃気機能	・水素掃気用安全圧縮空気系、水素掃気を必要とする機器までの配管	・代替安全圧縮空気系	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	-	配管	○	-	○	○	-						
									支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-						
	・崩壊熱等の除去機能	・プール水冷却系、安全冷却水系 ・安全圧縮空気系から高レベル廃液ガラス固化設備のガラス熔融炉の流下停止系までの冷却用空気を供給する配管	・代替安全冷却水系 ・注水設備、スプレイ設備、代替注水設備 ・漏えい抑制設備			S	常設耐震重要	主配管	-	配管	○	-	○	○	-	-					
									支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-						
						標準支持間隔	・異常の発生防止機能に係る支援機能	・圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く。) ・計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(以上の発生防止機能(PS))までの配管 ・放射性物質の閉じ込め機能を支援する施設加熱器、建屋給気閉止ダンパ、セル内クーラー、凝縮器等の冷却水等	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	-	配管	○	-	○	○	-	
														ダクト	○	-	○	○	-		
標準支持間隔	・異常の拡大防止機能に係る支援機能	・蒸気供給設備 安全蒸気系 ・圧縮空気設備 安全圧縮空気系(かくはん等のために圧縮空気を供給する系統は除く。) ・計装用安全圧縮空気系、計装用空気を必要とする計測制御設備(異常の拡大防止機能(MS))までの配管	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	-	配管	○	-	○	○	-							
								支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-							
標準支持間隔	・ソースターム制限機能	・漏えい液受皿から漏えい液を回収するための系統 ・可溶性中性子吸収材緊急供給系、ガラス熔融炉の流下停止系	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	-	配管	○	-	○	○	-							
								支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-							

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(71/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)								
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外							
		DB	SA																			
標準支持間隔	・影響緩和機能に係る 支援機能	・電気設備 非常用所 内電源系統 ・蒸気供給設備 安全 蒸気系 ・圧縮空気設備 安全 圧縮空気系 ・放射性物質の閉じ込め 機能を支援する施設 ・計装用安全圧縮空気 系、計装用空気を必要 とする計測制御設備 (影響緩和機能(MS)) までの配管	・代替電源設備、代替 所内電気設備、補機駆 動用燃料補給設備 ・臨界事故時水素掃気 系、代替安全圧縮空気 系 ・注水設備、スプレ イ設備、代替注水設備 ・圧縮空気設備	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	-	配管	○	-	○	○	-							
									支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-							
									・事故時の放射性物質 の放出量の監視機能	・主排気筒の排気筒モ ニタ	同左	S	常設耐震重要	-	-	配管	○	-	○	○	-	
	支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-															
	・事故時の対応操作に 必要な居住性等の維持 機能	・制御建屋中央制御室 換気設備 ・緊急時対策建屋電源 設備 ・同左	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	-							配管	○	-	○	○	-		
								支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-								
								多質点系はリモデル	・静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路 の保持機能)	・せん断処理・溶解廃 ガス処理設備、塔槽類 廃ガス処理設備、高レ ベル廃液ガラス固化廃 ガス処理設備(系統上 の配管) ・高レベル廃液ガラス 固化設備 高レベル廃 液混合槽、ガラス溶融 炉原料供給機等、高レ ベル廃液の主要な流れ を構成する容器、配管	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	-	配管	○	-	○	○	-
	支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-															
	弁	・静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路 の維持機能)	-	・廃ガス貯留設備	弁	動的機能維持	-									常設耐震重要	主要弁	-	駆動部	○	-	○
								支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-								
								・異常の発生防止機能 に係る支援機能	・圧縮空気設備 安全 圧縮空気系(かくはん 等のために圧縮空気を 供給する系統は除 く。)	-	S	-	主要弁 安全弁	-	駆動部			○	-	○	-	-
														支持構造物	支持構造物			○	-	○	-	-
・異常の発生防止機能 に係る支援機能	-	・臨界事故時水素掃気 系、代替安全圧縮空気 系	-	-	常設耐震重要	主要弁	-	駆動部	○	-	○	-	-									
							支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-									
・崩壊熱等の除去機能	・プール水冷却系、安 全冷却水系 ・高レベル廃液濃縮缶 の加熱蒸気と冷却水の 切替弁	-	-	S	-	主要弁	-	駆動部	○	-	○	-	-									
							支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-									

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(72/72)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外
		DB	SA												
弁	・ ソースターム制限機能	・ 可溶性中性子吸収材 緊急供給系 ・ 可溶性中性子吸収材 緊急供給系、ガラス溶 融炉の流下停止系 ・ 外部電源喪失による 建屋給気閉止ダンパ、 固化セル圧力高による 固化セル隔離ダンパ	・ 代替可溶性中性子吸 収材緊急供給系 ・ 重大事故時可溶性中 性子吸収材供給系	弁	動的機能維持	S	常設耐震重要	主要弁	-	駆動部	○	-	○		
	・ 熱的、化学的又は核 的制限値等の維持機能	・ 安全保護回路により 保護動作を行う機器及 び系統 高レベル廃液 濃縮缶加熱蒸気温度高 による加熱停止回路及 び高レベル廃液濃縮缶 凝縮器器排気出口温度 高による加熱停止回路 に係る遮断弁等	-			S	-	主要弁	-	駆動部	○	-	○	-	-
	・ 事故時の対応操作に 必要な居住性等の維持 機能	-	・ 緊急時対策建屋換気 設備			-	常設耐震重要	主要弁	-	駆動部	○	-	○	-	-
	・ 熱的、化学的又は核 的制限値等の維持機能	-	・ 重大事故時供給停止 回路			-	常設耐震重要	主要弁	-	駆動部	○	-	○	-	-
	・ 静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路 の維持機能)	-	・ 代替換気設備 ・ 廃ガス貯留設備			-	常設耐震重要	主要弁	-	駆動部	○	-	○	-	-
	・ 静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路 の維持機能)	・ AA,AB,AC,CA,KA建 屋換気設備のセル等及 びグローブボックスか らの排気系	-			S	-	主要弁	-	駆動部	○	-	○	-	-

*1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表1(2) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。
 *2：地震時の臨界安全性が要求される寸法が維持されていることを地震時の変位により確認することから、耐震評価部位は変位算出部位に読み替える。
 *3：JEAG4601適用範囲内である各機器については、JEAG4601にて耐震評価部位を選定していることから、本資料での整理対象外とする。
 *4：JEAG4601適用範囲外であるファンについては、「耐震機電14 動的機能維持評価手法の適用について」にて耐震評価部位を選定していることから、本資料での整理対象外とする。
 *5：電氣的機能が要求される機器については、各一の器具類に対する加振試験等により機能維持を確認した加速度以下であることを確認することとしているため、本資料での整理対象外とする。
 *6：閉じ込め機能が要求される設備は、地震時の応答加速度が機能確認済加速度内に収まることを確認することから、耐震評価部位は応答加速度算出部位に読み替える。

再処理施設

波及的影響の設計対象施設

波及的影響の設計対象施設(1/11)

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設					設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 －：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 －：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1									
		DB	SA											
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	分配設備 分離建屋一時貯留処理 設備 分離施設のプルトニウム 溶液受槽等	同左	容器（環状型）	構造強度	Ss	本体胴板	-	容器	○	-	○	○	-
							本体胴鏡板	-	容器	○	-	○	-	
							下部胴板	-	容器	○	-	○	-	
							下部胴下部鏡板	-	容器	○	-	○	-	
							管台	-	容器	○	-	○	-	
							-	スカート	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	
							-	基礎ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	○	-	
核的制限値（寸法）の 維持機能	形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の 各施設の臨界安全管理 表に寸法が記載されて いる機器（溶解槽、プ ルトニウム濃縮缶等）	同左	容器	変位及び変形	Ss	本体胴板	-	容器	×	核的制限値（寸法）の維持機能は波及影響評価部位に該当しない。	○	○	-	
						本体胴鏡板	-	容器	×	核的制限値（寸法）の維持機能は波及影響評価部位に該当しない。	-	○	-	
						下部胴板	-	容器	×	核的制限値（寸法）の維持機能は波及影響評価部位に該当しない。	-	○	-	
						下部胴下部鏡板	-	容器	×	核的制限値（寸法）の維持機能は波及影響評価部位に該当しない。	-	○	-	
						管台	-	容器	×	核的制限値（寸法）の維持機能は波及影響評価部位に該当しない。	-	○	-	
						-	スカート	支持構造物（ボルト以外）	×	核的制限値（寸法）の維持機能は波及影響評価部位に該当しない。	○	○	-	
						-	基礎ボルト	支持構造物（ボルト等）	×	核的制限値（寸法）の維持機能は波及影響評価部位に該当しない。	○	○	-	
崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全 冷却水系	同左	配管系	構造強度	Ss	本体胴板	-	容器	×	崩壊熱等の除去機能は波及影響評価部位に該当しない。	○	○	-	
						本体胴鏡板	-	容器	×	崩壊熱等の除去機能は波及影響評価部位に該当しない。	-	○	-	
						下部胴板	-	容器	×	崩壊熱等の除去機能は波及影響評価部位に該当しない。	-	○	-	
						下部胴下部鏡板	-	容器	×	崩壊熱等の除去機能は波及影響評価部位に該当しない。	-	○	-	
						管台	-	容器	×	崩壊熱等の除去機能は波及影響評価部位に該当しない。	-	○	-	
						-	スカート	支持構造物（ボルト以外）	×	崩壊熱等の除去機能は波及影響評価部位に該当しない。	○	○	-	
						-	基礎ボルト	支持構造物（ボルト等）	×	崩壊熱等の除去機能は波及影響評価部位に該当しない。	○	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 デミスタ(2脚)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	分離施設の抽出塔、プ ルトニウム分配塔等 溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設備 の溶解液中間貯槽等の 塔槽類	同左	容器（パルスカ ラム） 容器	構造強度	Ss	-	胴板	容器	○	-	-	○	-
							-	脚	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							-	取付ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	○	-
	核的制限値（寸法）の 維持機能	形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の 各施設の臨界安全管理 表に寸法が記載されて いる機器（溶解槽、プ ルトニウム濃縮缶等）	-	容器	変位及び変形	Ss	-	胴板	容器	○	-	-	○	-
							-	脚	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							-	取付ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 デミスタ(1脚)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設備 の溶解液中間貯槽等の 塔槽類	同左	容器	構造強度	Ss	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
							鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
							管台	-	容器	○	-	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 デミスタ(1脚)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設備 の溶解液中間貯槽等の 塔槽類	同左	容器	構造強度	Ss	-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-

波及的影響の設計対象施設(2/11)

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設					設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外									
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1																	
		DB	SA																			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(1ラグ)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能) 崩壊熱等の除去機能	分離施設の抽出塔、プ ルトニウム分配塔等 溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設備 の溶解液中間貯槽等の 塔槽類 プール水冷却系、安全 冷却水系	-	同左 漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	容器（バルスカ ラム） 容器 配管系	構造強度	Ss	胴板	-	容器	○	-	-	○	-							
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-							
								-	ラグ	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-							
								-	取付ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	○	-							
	核的制限値（寸法）の 維持機能	-	形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の 各施設の臨界安全管理 表に寸法が記載されて いる機器（溶解槽、プ ルトニウム濃縮缶等）	-	-	容器	変位及び変形	Ss	胴板	-	容器	○	-	-	○	-						
									鏡板	-	容器	○	-	-	○	-						
									平板	-	容器	○	-	-	○	-						
									-	ラグ	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-						
	-	取付ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	○	-														
	定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4ラグ)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経 路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備（洗浄塔、 デミスタ、シールボッ ト）	代替換気設備	-	容器	構造強度	Ss	本体胴板	-	容器	○	-	○	-							
本体胴鏡板									-	容器	○	-	-	○	-							
上部胴板									-	容器	○	-	-	○	-							
上部胴上部鏡板									-	容器	○	-	-	○	-							
コイル									-	容器	○	-	-	○	-							
管台									-	容器	○	-	-	○	-							
-									ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-							
-									取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-							
静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機 能)									溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設備 の溶解液中間貯槽等の 塔槽類	-	-	-	容器	構造強度	Ss	本体胴板	-	容器	○	-	○	-
																本体胴鏡板	-	容器	○	-	-	○
	下部胴板	-	容器	○	-	-	○	-														
	下部胴下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-														
	上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-														
	上部胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-														
	-	ラグ	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-														
	-	取付ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	○	-														
静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経 路の維持機能) 崩壊熱等の除去機能	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備（洗浄塔、 デミスタ、シールボッ ト） プール水冷却系、安全 冷却水系	代替換気設備 漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	-	-	容器 配管系	構造強度	Ss	本体胴板	-	容器	○	-	○	-								
								本体胴鏡板	-	容器	○	-	-	○	-							
								下部胴板	-	容器	○	-	-	○	-							
								下部胴下部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-							
								上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-							
								上部胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-							

波及的影響の設計対象施設(3/11)

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設					設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1									
		DB	SA											
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(4ラグ)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経 路の維持機能) 崩壊熱等の除去機能	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備（洗浄塔、 デミスタ、シールポッ ト） プール水冷却系、安全 冷却水系	代替換気設備 漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	容器 配管系	構造強度	Ss	-	ラグ	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	○	-
							-	取付ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	○	-	
							上部胴板	-	容器	○	-	○	-	
							上部胴上部鏡板	-	容器	○	-	○	-	
							本体胴板	-	容器	○	-	○	-	
							本体胴鏡板	-	容器	○	-	○	-	
							コイル	-	容器	○	-	○	-	
							-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-								
動的な閉じ込め機能 (放射性物質の排気機 能)	せん断処理溶解廃ガス 処理設備、塔槽類廃ガ ス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備（洗浄塔、デ ミスタ、シールポッ ト）	-	容器（蒸発缶）	構造強度	Ss	上部胴板	-	容器	○	-	-	○	-	
						上部胴上部鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
						本体胴板	-	容器	○	-	○	-		
						本体胴鏡板	-	容器	○	-	-	○	-	
						コイル	-	容器	○	-	-	○	-	
						-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-		
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-								
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形 容器(2ラグ)	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機 能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設備 の溶解液中間貯槽塔の 塔槽類	-	容器	構造強度	Ss	-	胴板	容器	○	-	○	-	
							-	ラグ	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	落下・転倒防止機能	高レベル廃液ガラス固 化設備（固化セル移送 台車）	-	機械装置	構造強度	Ss	-	取付ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 固定式搬送設備 固定式クレーン	落下・転倒防止機能	高レベル廃液ガラス固 化設備（固化セル移送 台車）	-	機械装置	構造強度	Ss	ジブ	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							-	ジブ取付ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	○	-
							-	クレーン取付ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	○	-
							-	ワイヤロープ等	吊具（ワイヤロープ）	○	-	○	-	
							-	先端金具	吊具（先端金具）	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 架構設備 昇降装置	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機 能)	脱硝施設の脱硝装置、 高レベル廃液ガラス固 化設備のガラス溶融炉 等	同左	機械装置	構造強度	Ss	-	昇降シャフト	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
							-	昇降用シリンダ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
							-	昇降機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
							-	ブラケット取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 躯体付設備 躯体付構造設備	崩壊熱等の除去機能	KA建屋、KB建屋の取 納管、通風管	-	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	-	ルーバ振れ止め	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							-	中央支持上部	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-

波及的影響の設計対象施設(4/11)

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設				設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1								機能維持の確認事項*1		
		DB	SA											
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 容器	掃気機能*2	-	-	容器	構造強度	Ss	-	胴板	容器	○	-	○	-	
							-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 円筒形バルスカラム	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機 能)	-	-	容器(バルスカラム)	構造強度	Ss	本体 外胴板	-	容器	○	-	-	○	-
							本体 外胴板	-	容器	○	-	-	○	-
							本体 内胴板	-	容器	○	-	-	○	-
							本体 内胴板	-	容器	○	-	-	○	-
							本体 胴板	-	容器	○	-	-	○	-
							本体 ふた板	-	容器	○	-	-	○	-
							バルスレグ	-	バルスレグ	○	-	-	○	-
							中性子吸収材	-	容器	○	-	-	○	-
							中性子減速材	-	容器	○	-	-	○	-
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-							
静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機 能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設備 の溶解液中間貯槽等の 塔槽類	-	-	容器	構造強度	Ss	本体 外胴板	-	容器	○	-	-	○	-
							本体 外胴板	-	容器	○	-	-	○	-
							本体 内胴板	-	容器	○	-	-	○	-
							本体 内胴板	-	容器	○	-	-	○	-
							本体 胴板	-	容器	○	-	-	○	-
							本体 ふた板	-	容器	○	-	-	○	-
							バルスレグ	-	バルスレグ	○	-	-	○	-
							中性子吸収材	-	容器	○	-	-	○	-
中性子減速材	-	容器	○	-	-	○	-							
核的制限値(寸法)の 維持機能	形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の 各施設の臨界安全管理 表に寸法が記載されて いる機器(溶解槽、プ ルトニウム濃縮缶等)	-	-	容器	変位及び変形	Ss	本体 外胴板	-	容器	○	核的制限値(寸法)の維持機能は波及影響評 価部位に該当しない。	-	○	-
							本体 外胴板	-	容器	○	核的制限値(寸法)の維持機能は波及影響評 価部位に該当しない。	-	○	-
							本体 内胴板	-	容器	○	核的制限値(寸法)の維持機能は波及影響評 価部位に該当しない。	-	○	-
							本体 内胴板	-	容器	○	核的制限値(寸法)の維持機能は波及影響評 価部位に該当しない。	-	○	-
							本体 胴板	-	容器	○	核的制限値(寸法)の維持機能は波及影響評 価部位に該当しない。	-	○	-
							本体 ふた板	-	容器	○	核的制限値(寸法)の維持機能は波及影響評 価部位に該当しない。	-	○	-
							バルスレグ	-	バルスレグ	○	核的制限値(寸法)の維持機能は波及影響評 価部位に該当しない。	-	○	-
							中性子吸収材	-	容器	○	核的制限値(寸法)の維持機能は波及影響評 価部位に該当しない。	-	○	-
							中性子減速材	-	容器	○	核的制限値(寸法)の維持機能は波及影響評 価部位に該当しない。	-	○	-
-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	核的制限値(寸法)の維持機能は波及影響評 価部位に該当しない。	-	○	-							

波及的影響の設計対象施設(5/11)

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設				設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1								機能維持の確認事項*1		
		DB	SA											
有限要素法等を用いて 評価を行う機器 グローブボックス	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機 能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設備 溶解液中間貯槽等の塔 槽類	-	容器	構造強度	Ss	本体部	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							覗き窓部	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							遮蔽体	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							漏えい液受皿部	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							-	缶体支持架台	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							-	耐震サポート	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							-	しゃへい体支持フレーム	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							-	内装架台	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
							-	耐震サポート取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
							-	アクリルパネル	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-
							-	ラージポート	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-
							-	スモールポート	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-
							-	給電器	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-
動的な閉じ込め機能 (放射性物質の捕集・ 浄化機能)	溶解設備の溶解槽、清 澄・計量設備の清澄 機、中継槽、分離設備 溶解液中間貯槽等の塔 槽類 脱硝施設の脱硝装置、 高レベル廃液ガラス固 化設備のガラス溶融炉 等	-	容器	構造強度	Ss	本体部	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
						覗き窓部	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
						遮蔽体	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
						漏えい液受皿部	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
						-	缶体支持架台	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
						-	耐震サポート	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
						-	しゃへい体支持フレーム	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
						-	内装架台	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
						-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
						-	耐震サポート取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
						-	アクリルパネル	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-	
						-	ラージポート	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-	
						-	スモールポート	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-	
						-	給電器	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-	

波及的影響の設計対象施設(6/11)

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設					設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1										
		DB	SA												
有限要素法等を用いて 評価を行う機器 グローブボックス	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機 能)	せん断処理・溶解廃ガ ス処理設備、塔槽類廃 ガス処理設備、高レベ ル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備（洗浄塔、 デミスタ、シールポッ ト）	-	熱交換器	構造強度	Ss	本体部	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
							漏えい液受皿部	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
							-	缶体支持架台	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
							-	耐震サポート	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
							-	内装架台	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
							-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
							-	耐震サポート取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
							-	アクリルパネル	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-	
							-	ラージボート	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-	
							-	スモールボート	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-	
-	給電器	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-								
有限要素法等を用いて 評価を行う機器 グローブボックス	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経 路の維持機能)	プルトニウムを含む溶 液や高レベル放射性液 体廃棄物を内蔵する系 統・機器を収納するセ ル及びグローブボック ス並びにせん断セル 溶液系 ウラン・プルトニウム 混合脱硝建屋塔槽類廃 ガス処理設備	-	核物質等取扱ボッ クス	構造強度	Ss	本体部	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
							遮蔽体	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
							漏えい液受皿部	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
							-	缶体支持架台	支持構造物（ボルト以外）	○	-	-	○	-	
							-	基礎ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	○	-	
							-	アクリルパネル部	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-	
							-	ラージボート部	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-	
							-	スモールボート部	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-	
							-	給電器部	-	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。なお、質量を加味した評価部位にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-	
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 クレーン	崩壊熱等の除去機能	使用済燃料の受入れ施 設及び貯蔵施設 燃料 取出しビット、燃料仮 置きビット、等	臨界防止設備	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	ガーダ	-	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	ブリッジ サイドローラ	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							-	ブリッジ 転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							-	トロリ サイドローラ	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							-	トロリ 転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							走行レール	-	レール	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反 映
							横行レール	-	レール	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反 映
							-	ワイヤロープ等	吊具（ワイヤロープ等）	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反 映
							-	先端金具	吊具（先端金具）	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反 映

波及的影響の設計対象施設(7/11)

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設					設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 －：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 －：既設工認対象外							
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1															
		DB	SA																	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 クレーン	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系	漏えい抑制設備	配管系	構造強度	Ss	ガーダ	－	フレーム	○	－	－	○	－						
							－	ブリッジ 転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	－	－	○	－						
							－	トロリ 転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	－	－	○	－						
							走行レール	－	レール	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
							横行レール	－	レール	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
							－	ワイヤロープ等	吊具（ワイヤロープ等）	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
							－	先端金具	吊具（先端金具）	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
	崩壊熱等の除去機能	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 補給水設備	－	配管系	構造強度	Ss	ガーダ	－	フレーム	○	－	－	○	－						
							－	ブリッジ 転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	－	－	○	－						
							－	トロリ 転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	－	－	○	－						
							走行レール	－	レール	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
							横行レール	－	レール	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
							－	ワイヤロープ等	吊具（ワイヤロープ等）	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
							－	先端金具	吊具（先端金具）	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 クレーン	遮蔽機能	燃料取出しビット、燃料 仮置きビット、燃料 貯蔵 プール、チャンネル ボックス・バーナブル ポイズン取扱ビット、 燃料移送水路、燃料送 出しビット	燃料取出しビット、燃料 仮置きビット、燃料 貯蔵 プール、チャンネル ボックス・バーナブル ポイズン取扱ビット、 燃料移送水路、燃料送 出しビット	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	ガーダ	－	フレーム	○	－	－	○	－						
							－	ブリッジ サイドローラ	転倒防止機構	○	－	－	○	－						
							－	ブリッジ 転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	－	－	○	－						
							－	トロリ サイドローラ	転倒防止機構	○	－	－	○	－						
							－	トロリ 転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	－	－	○	－						
							走行レール	－	レール	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
							横行レール	－	レール	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
							－	ワイヤロープ等	吊具（ワイヤロープ等）	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
							－	先端金具	吊具（先端金具）	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映						
							影響緩和機能に係わる 支援機能	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 補給水設備	－	配管系	構造強度	Ss	ガーダ	－	フレーム	○	－	－	○	－
													－	ブリッジ 転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	－	－	○	－
													－	トロリ 転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	－	－	○	－
													走行レール	－	レール	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映
													横行レール	－	レール	○	－	○	×	先行発電プラント審査実績の反映
－	ワイヤロープ等	吊具（ワイヤロープ等）	○	－	○	×							先行発電プラント審査実績の反映							
－	先端金具	吊具（先端金具）	○	－	○	×							先行発電プラント審査実績の反映							

波及的影響の設計対象施設(8/11)

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設					設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1										
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 クレーン	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路の維持機能)	せん断処理・溶解廃ガス処理設備、塔槽類廃ガス処理設備、高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備（凝縮器、加熱器、冷却器）	代替換気設備	熱交換器	構造強度	Ss	-	ガーダ	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	クレーン走行車輪つば	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							-	トロリ横行車輪つば	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							走行レール	-	レール	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反映
	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路の維持機能)	AA,AB,AC,CA,KA建屋換気設備のセル等及びゲロ-ボックスからの排気系	-	フィルタ	構造強度	Ss	-	ガーダ	フレーム	○	-	-	-	○	-
							-	クレーン走行輪つば	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							-	電動ホイス用サイドローラ	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							-	-	レール	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反映
	落下・転倒防止機能	バスケット仮置き架台	-	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	ガーダ	-	フレーム	○	-	-	-	○	-
							-	ブリッジ 転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							-	トロリ転倒防止金具 本体/取付ボルト	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							走行レール	-	レール	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反映
横行レール							-	レール	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反映	
-							ワイヤロープ等	吊具（ワイヤロープ等）	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反映	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 バスケット搬送機	崩壊熱等の除去機能	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 燃料取出しビット、燃料仮置きビット、等	臨界防止設備	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	走行架台	-	フレーム	○	-	-	-	○	-
							-	転倒防止金具	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							走行レール	-	レール	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反映
							-	ワイヤロープ等	吊具（ワイヤロープ等）	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反映
							-	先端金具	吊具（先端金具）	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反映
	遮蔽機能	燃料取出しビット、燃料仮置きビット、燃料貯蔵 プール、チャンネルボックス・バーナブル ボイズン取扱ビット、燃料移送水路、燃料送出しビット	燃料取出しビット、燃料仮置きビット、燃料貯蔵 プール、チャンネルボックス・バーナブル ボイズン取扱ビット、燃料移送水路、燃料送出しビット	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	走行架台	-	フレーム	○	-	-	-	○	-
							-	転倒防止金具	転倒防止機構	○	-	-	○	-	
							走行レール	-	レール	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反映
							-	ワイヤロープ等	吊具（ワイヤロープ等）	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反映
							-	先端金具	吊具（先端金具）	○	-	-	○	×	先行発電プラント審査実績の反映
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 シュート	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	溶解設備の溶解槽、清澄・計量設備の清澄機、中継槽、分析設備の溶解液中間貯槽等の塔槽類	-	容器	構造強度	Ss	-	管 上部	容器	○	-	-	-	○	-
							-	管 下部	容器	○	-	-	○	-	
							-	管	容器	○	-	-	○	-	
							-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	

波及的影響の設計対象施設(9/11)

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設					設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1										
		DB	SA												
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 シュート	核的制限値（寸法）の 維持機能	形状寸法管理の機器 事業許可変更申請書の 各施設の臨界安全管理 表に寸法が記載されて いる機器（溶解槽、プ ルトニウム濃縮缶等）	-	容器	構造強度	Ss	-	管 上部	容器	○	-	-	○	-	
							-	管 下部	容器	○	-	-	○	-	
							-	管	容器	○	-	-	○	-	
							-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-	
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-	
	ソースターム制限機能	可溶性中性子吸収材緊 急供給系、ガラス溶融 炉の流下停止系	代替可溶性中性子吸収 材緊急供給系	-	容器	構造強度	Ss	-	管 上部	容器	○	-	-	○	-
								-	管 下部	容器	○	-	-	○	-
								-	管	容器	○	-	-	○	-
								-	ラグ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 チャンネルボックス切 断装置	遮蔽機能	燃料取出しビット、燃 料仮置きビット、燃料 貯蔵プール、チャンネ ルボックス・バーナブ ルポイズン取扱ビット 、燃料移送水路、燃 料送出しビット	同左	ラック/ビット/ 棚	構造強度	Ss	フレーム	-	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	支持構造物	基礎ボルト	○	-	-	○	-	
	遮蔽機能	使用済燃料の受入れ施 設及び貯蔵施設 燃料 取出しビット、燃料仮 置きビット、等	同左	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	フレーム	-	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	支持構造物	基礎ボルト	○	-	-	○	-	
	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全 冷却水系	漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	配管系	構造強度	Ss	フレーム	-	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	支持構造物	基礎ボルト	○	-	-	○	-	
	崩壊熱等の除去機能	使用済燃料の受入れ施 設及び貯蔵施設 補給 水設備	注水設備、スプレイ設 備、代替注水設備	配管系	構造強度	Ss	フレーム	-	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	支持構造物	基礎ボルト	○	-	-	○	-	
	影響緩和機能に係わる 支援機能	使用済燃料の受入れ施 設及び貯蔵施設 補給 水設備	注水設備、スプレイ設 備、代替注水設備	容器、ポンプ	構造強度	Ss	フレーム	-	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	支持構造物	基礎ボルト	○	-	-	○	-	
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 バーナブルポイズン切 断装置	遮蔽機能	使用済燃料の受入れ施 設及び貯蔵施設 燃料 取出しビット、燃料仮 置きビット、等	臨界防止設備	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	フレーム	-	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	支持構造物	基礎ボルト	○	-	-	○	-	
	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全 冷却水系	漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	配管系	構造強度	Ss	フレーム	-	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	支持構造物	基礎ボルト	○	-	-	○	-	
	崩壊熱等の除去機能	使用済燃料の受入れ施 設及び貯蔵施設 補給 水設備	注水設備、スプレイ設 備、代替注水設備	配管系	構造強度	Ss	フレーム	-	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	支持構造物	基礎ボルト	○	-	-	○	-	
	遮蔽機能	燃料取出しビット、燃 料仮置きビット、燃料 貯蔵 プール、チャンネル ボックス・バーナブル ポイズン取扱ビット、 燃料移送水路、燃料送 出しビット	同左	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	フレーム	-	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	支持構造物	基礎ボルト	○	-	-	○	-	
	影響緩和機能に係わる 支援機能	使用済燃料の受入れ施 設及び貯蔵施設 補給 水設備	注水設備、スプレイ設 備、代替注水設備	容器、ポンプ	動的機能維持 電氣的機能維持 構造強度	Ss	フレーム	-	フレーム	○	-	-	○	-	
							-	支持構造物	基礎ボルト	○	-	-	○	-	

波及的影響の設計対象施設(10/11)

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設					設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 －：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 －：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1									
		DB	SA											
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 防護設備	動的な閉じ込め機能 (放射性物質の排気機能)	放射性廃棄物の廃棄施設 の排風機（建屋換気設備） 放射性廃棄物の廃棄施設 の排風機（建屋換気設備を除く）	-	ファン	構造強度	Ss	-	支持構造物	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-
							-	支持構造物	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-
					-		-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-	
					-		支持構造物	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-	
	動的な閉じ込め機能 (放射性物質の捕集・ 浄化機能)	放射性廃棄物の廃棄施設 の排風機（建屋換気設備） 放射性廃棄物の廃棄施設 の排風機（建屋換気設備を除く）	-	ファン	構造強度	Ss	-	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-
							-	支持構造物	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-
	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路の 維持機能)	AA,AB,AC,CA,KA建屋換気設備のセル等及びグ ローボックスからの排気系 安全上重要な施設の固 気分離器からU・Pu混 合脱硝建屋換気設備の GB・セル排気系統への 接続部までの系統（冷 却器）（気送ブローア）	-	ファン ファン (放出経路維持)	構造強度	Ss	-	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-
							-	支持構造物	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-
							-	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-
							-	支持構造物	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-
	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の放出経路の 維持機能)	-	代替換気設備 廃ガス貯留設備	配管系	構造強度	Ss	-	支柱	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-
							-	斜材	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-
-							基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-	
静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機能)	安全上重要な施設の固 気分離器からU・Pu混 合脱硝建屋換気設備の GB・セル排気系統への 接続部までの系統（冷 却器）（気送ブローア）	-	ファン (放出経路維持)	構造強度	Ss	-	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	-	
動的な閉じ込め機能 (放射性物質の排気機能)	放射性廃棄物の廃棄施設 の排風機（建屋換気設備を除く）	-	ファン	動的機能維持	Ss	-	支柱	支持構造物(ボルト以外)	○	動的な閉じ込め機能（放射性物質の排気機能）は波及影響評価部位に該当しない。	○	-	-	
						-	斜材	支持構造物(ボルト以外)	○	動的な閉じ込め機能（放射性物質の排気機能）は波及影響評価部位に該当しない。	○	-	-	
						-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	動的な閉じ込め機能（放射性物質の排気機能）は波及影響評価部位に該当しない。	○	-	-	
						-	-	支持構造物（ボルト等）	○	動的な閉じ込め機能（放射性物質の排気機能）は波及影響評価部位に該当しない。	○	-	-	
動的な閉じ込め機能 (放射性物質の排気機能)	放射性廃棄物の廃棄施設 の排風機（建屋換気設備）	-	ファン	構造強度	Ss	-	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-	
						-	-	支持構造物（ボルト等）	○	-	○	-	-	
				動的機能維持	Ss	-	支柱	支持構造物(ボルト以外)	○	動的な閉じ込め機能（放射性物質の排気機能）は波及影響評価部位に該当しない。	○	-	-	
						-	斜材	支持構造物(ボルト以外)	○	動的な閉じ込め機能（放射性物質の排気機能）は波及影響評価部位に該当しない。	○	-	-	
崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全 冷却水系	-	ポンプ	構造強度	Ss	-	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-	
						-	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-	
火災、爆発、臨界等に 係わるプロセス量等の 維持機能	各系統等の安全機能を 維持するために必要な 計測制御設備	-	計装/放管設備	構造強度 (電氣的機能維持)	Ss	-	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-	
						-	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-	
溢水防護機能	溢水防護設備（堰、防 水扉、緊急遮断弁等）	-	防水区画構造物	構造強度	Ss	-	支持構造物	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	-	
						-	-	支持構造物（ボルト等）	○	-	○	-	-	

波及的影響の設計対象施設(11/11)

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設					設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1									
		DB	SA											
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 換気ボックス	静的な閉じ込め機能 (放射性物質の保持機 能)	U・Pu混合酸化物貯蔵 設備 粉末缶等、Pu を含む溶液又は粉末の 主要な流れを構成する 配管 高レベル廃液ガラス固 化設備 高レベル廃液 混合槽、ガラス溶融炉 原料供給機等、高レベ ル廃液の主要な流れを 構成する容器、配管	同左	容器（蒸発缶）	構造強度	Ss	胴板	-	缶体	○	-	-	○	-
							本体	-	缶体	○	-	-	○	-
							窓板部	-	缶体	○	-	-	○	-
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 換気ボックス	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全 冷却水系	漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	配管系	構造強度	Ss	本体	-	缶体	○	-	-	○	-
							窓板部	-	缶体	○	-	-	○	-
							-	脚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
							-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表1(2) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。

* 2：上位クラス機器はBクラスであり安全上重要な施設に該当しないが、許可申請書 添付書類六1.6-1表に記載のとおり、溶液の放射線分解により発生する水素の爆発を適切に防止するためSクラスとしていることから、本表では掃気機能に位置付け整理した。

再処理施設
火災防護設備

火災防護設備(1/1)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							DB	SA	
		DB	SA													
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 火災防護設備 火災感知器	火災の感知機能	火災感知設備（炎感知器、煙感知器、熱感知カメラ（サーモカメラ）、熱感知器（熱電対（防爆型））、熱感知器、熱感知器（熱電対）、熱感知器（光ファイバ温度監視装置））	-	計装/放管設備	構造強度	C	-	-	-	取付ボルト*2	取付ボルト	○	-	○	-	-
					電氣的機能維持	C	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 火災防護設備 火災受信器盤	火災の感知機能	火災感知設備（火災受信機盤（火災監視盤））	-	計装/放管設備	構造強度	C	-	-	-	取付ボルト*3	取付ボルト	○	-	○	-	-
					電氣的機能維持	C	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-	-	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 火災防護設備 火災感知器	火災の感知機能	火災感知設備（炎感知器、熱感知カメラ（サーモカメラ））	-	計装/放管設備	構造強度	C	-	-	-	取付ボルト*2	取付ボルト	○	-	○	-	-
					電氣的機能維持	C	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-	-	
					構造強度	C	-	-	-	基礎ボルト*2	基礎ボルト	○	-	○	-	-
					構造強度	C	-	-	-	支持構造物*2	支持構造物	○	-	○	-	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 火災防護設備 消火設備	火災区域内の消火機能	消火設備（ケーブルトレイ消火設備、ハロゲン化物消火設備、ハロゲン化物消火設備（床下消火設備（手動）、全域：制御室床下）、ハロゲン化物消火設備（局所）、二酸化炭素消火設備、電源盤・制御盤消火設備）	-	容器	構造強度	C	-	-	容器	-	支持構造物	○	-	○	-	-
					構造強度	C	-	-	-	取付ボルト	取付ボルト	○	-	○	-	-
					構造強度	C	-	-	-	基礎ボルト	基礎ボルト	○	-	○	-	-
					動的機能維持	C	-	-	容器	-	駆動部*6	○	-	○	-	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 火災防護設備 消火設備	火災区域内の消火機能	消火設備（制御盤）	-	計装/放管設備	構造強度	C	-	-	計測装置 制御回路	基礎ボルト*4	基礎ボルト	○	-	○	-	-
					電氣的機能維持	C	-	-	計測装置 制御回路	-	器具類*5	○	-	○	-	-
標準支持間隔	火災区域内の消火機能	消火設備（主配管（消火ガス供給系）	-	配管系	構造強度	C	-	-	主配管	-	配管	○	-	○	-	-
					構造強度	C	-	-	-	支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-
構造強度を確保できることを加振試験の結果を踏まえて評価を行う機器 火災防護設備 消火設備	火災区域内の消火機能	消火設備（主配管（消火ガス供給系）	-	配管系	構造強度	C	-	-	主配管	-	配管*8	○	-	○	-	-

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表 1 (3) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。
 * 2：火災感知器の支持構造物を示す。
 * 3：火災受信器盤（火災監視盤）の支持構造物を示す。
 * 4：制御盤の支持構造物を示す。
 * 5：電氣的機能維持が要求される機器については、各々に器具類に対する加振試験等により機能維持を確認した加速度以下であることを確認しているため、本資料での整理対象外とする。
 * 6：動的機能維持が要求される容器弁については、各々に駆動部に対する加振試験等により機能維持を確認した加速度以下であることを確認しているため、本資料での整理対象外とする。
 * 7：動的機能維持が要求される選択弁については、各々に駆動部に対する加振試験等により機能維持を確認した加速度以下であることを確認しているため、本資料での整理対象外とする。
 * 8：ケーブルトレイ消火設備及び電源盤・制御盤消火設備の消火配管については、解析による評価が困難であることから加振試験により構造強度を確認した加速度以下であることを確認しているため、本資料での整理対象外とする。

再処理施設
溢水対策設備

溢水対策設備(1/2)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材, 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
防水扉	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	防水区画構造物	構造強度	C	-	板材	-	板材	○	-	-	-	-
								補強材	-	補強材	○	-	-	-	
								-	アンカーボルト	アンカーボルト	○	-	○	-	-
								-	ヒンジ板	ヒンジ板	○	-	○	-	-
								-	ヒンジピン	ヒンジピン	○	-	○	-	-
								-	ヒンジボルト	ヒンジボルト	○	-	○	-	-
								-	締付装置	締付装置	○	-	○	-	-
水密扉	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	防水区画構造物	構造強度	C	-	板材	-	板材	○	-	-	-	-
								補強材	-	補強材	○	-	-	-	
								-	アンカーボルト	アンカーボルト	○	-	○	-	-
								-	ヒンジ板	ヒンジ板	○	-	○	-	-
								-	ヒンジピン	ヒンジピン	○	-	○	-	-
								-	ヒンジボルト	ヒンジボルト	○	-	○	-	-
								-	締付装置	締付装置	○	-	○	-	-
								-	締付装置受ピン	締付装置受ピン	○	-	○	-	-
								-	締付装置受ボルト	締付装置受ボルト	○	-	○	-	-
堰	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	防水区画構造物	構造強度	C	-	板材	-	板材	○	-	○	-	-
								-	バックリブ	バックリブ	○	-	○	-	-
								-	アンカーボルト	アンカーボルト	○	-	○	-	-
床ドレン逆止弁	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	防水区画構造物	構造強度	C	-	-	弁本体	弁本体	○	-	○	-	-
								-	フロートガイド	フロートガイド	○	-	○	-	-
								-	ツバ	ツバ	○	-	○	-	-
					動的機能維持	C	-	-	-	床ドレン逆止弁	○	-	○	-	-

溢水対策設備(2/2)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材, 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	計装/放管設備	構造強度	C	-	-	取付ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	○	-	-
					電気的機能維持	C	-	-	-	-	器具類	○	-	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 防護設備	被液影響を防止する機能	溢水対策設備	-	防水区画構造物	構造強度	C	-	-	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 防護設備	被液影響を防止する機能	化学薬品対策設備	-	防水区画構造物	構造強度	C	-	-	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	-
標準支持間隔	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	配管系	構造強度	C	-	-	配管	配管	○	-	○	-	-
								-	支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-
多質点配管	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	配管系	構造強度	C	-	-	配管	配管	○	-	○	-	-
								-	支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-
弁	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	弁	動的機能維持	C	-	-	-	駆動部	○	-	○	-	-

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表1(3) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。

再処理施設(使用済燃料受入れ施設及び貯蔵施設)

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(1/4)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	異常の発生防止機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内電源系統	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系 安全冷却水系	漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	-	容器	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-
								管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	異常の発生防止機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内電源系統	-	容器 配管系	構造強度	S	常設耐震重要	胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	-
								-	スカート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	支持構造物	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	崩壊熱等の除去機能	安全冷却水系、補給水設備が、安全冷却水系冷却水循環ポンプ、プール水冷却系ポンプ	-	ポンプ	構造強度	S	-	ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	ポンプ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
異常の発生防止機能に係る支援機能	-	-	-	ポンプ	動的機能維持	S	常設耐震重要	ケーシング(ポンプ)	-	駆動部*2	○	-	-	○	-
								原動機	-	駆動部*2	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(2/4)

対象	評価対象設備							① 本文仕様記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	異常の発生防止機能に係る支援機能	-	代替所内電気設備、補機駆動用燃料補給設備	ポンプ	動的機能維持	S	常設耐震重要	-	ポンプ取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 ディーゼル機関	異常の発生防止機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内電源系統	-	ディーゼル機関	構造強度	S	-	エンジン	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								燃料	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								過給機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								调速装置	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								非常调速装置	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	異常の発生防止機能に係る支援機能	電気設備 非常用所内電源系統	-	電源盤、無停電電源装置等	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-
					電氣的機能維持	S	-	-	-	器具類*3	○	-	○	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全冷却水系 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設補給水設備	-	計装/放管設備	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-
					-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-			
					-	電氣的機能維持	S	-	-	器具類*3	○	-	○	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 胴部支持容器 平底たて置円筒形容器	異常の発生防止機能に係る支援機能	非常用電気設備 電気設備 非常用所内電源系統	-	容器	構造強度	S	-	胴板	-	容器	○	-	○	○	-
					-	マンホール平板	-	容器	○	-	-	○	○	-	
					-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 架構設備	核的制限値(寸法)の維持機能	形状寸法管理の機器 事業許可変更申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器(溶解槽、プラトニウム濃縮缶等)	同左	ラック/ビット/棚	構造強度	S	常設耐震重要	-	角パイプ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-
								-	補強板	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-
								-	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-
								-	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(3/4)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 貯蔵ラック	核的制限値（寸法）の 維持機能	形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の 各施設の臨界安全管理 表に寸法が記載されて いる機器（溶解槽、プ ルトニウム濃縮缶等）	同左	ラック/ビット/棚	構造強度	S	常設耐震重要	-	角パイプ	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	補強板	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
								-	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 仮置き架台	落下・転倒防止機能	バスケット仮置き架台 (空用、実入り用)	バスケット仮置き架台 (実入り用)	ラック/ビット/棚	構造強度	S	常設耐震重要	-	部材	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器（中間支持型、振 れ止め付）	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全 冷却水系	-	熱交換器	構造強度	S	-	管側胴板	-	容器	○	-	-	○	-
								管側鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管側フランジ	-	容器	○	-	-	○	-
								胴側胴板	-	容器	○	-	○	○	-
								胴側鏡板	-	容器	○	-	-	○	-
								管板	-	容器	○	-	-	○	-
								伝熱管	-	容器	○	-	-	○	-
								管側管台	-	容器	○	-	-	○	-
								胴側管台	-	容器	○	-	-	○	-
								-	支持構造物	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	○	-
								-	支持構造物	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	○	-
								有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 冷却塔	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系 安全冷却水系 冷却塔	-	熱交換器	構造強度	S	-
フィン	-	伝熱管	×	フィン自体の剛性が高く伝熱管に対し強固に取り付けられており、フィンと比較して剛性の低い伝熱管にフィンの質量を加味した構造強度評価にて耐震性を確認することが出来る。	-	○	-								
ヘッダー	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
-	取付ボルト(減速機)	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
-	取付ボルト(ファンリング)	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								
-	取付ボルト(ルーバ)	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-								

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(4/4)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材, 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 冷却塔	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系 安全冷却水系	-	熱交換器	構造強度	S	-	遮熱板	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-
								-	支持架構(主柱)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	支持架構(床はり)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	支持架構(3F機械台はり)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	支持架構(立面ブレース)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	支持架構(水平ブレース)	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-
								-	支持架構(基礎ボルト)	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 冷却塔	崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系 安全冷却水系	-	熱交換器	動的機能維持	S	-	原動機	原動機	駆動部*2	○	-	-	○	-
								ファン	ファン軸	駆動部*3	○	-	-	○	-
								ファン	ファン軸受 上部軸受/ 下部軸受	ファン軸受	○	-	-	○	-
								ファン	チップクリアランス	チップクリアランス	○	-	-	○	-
標準支持間隔	崩壊熱等の除去機能	・プール水冷却系、安全 冷却水系 ・使用済燃料の受入れ施 設及び貯蔵施設 補給水 設備	漏えい抑制設備 代替安全冷却水系	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	-	配管	○	-	○	○	-
								-	支持構造物	支持構造物	○	-	○	○	-
	影響緩和機能に係る支 援機能	・電気設備 非常用所内 電源系統	-	配管系	構造強度	S	-	主配管	-	配管	○	-	○	○	-
								-	支持構造物	支持構造物	○	-	○	○	-
弁	崩壊熱等の除去機能	・プール水冷却系、安全 冷却水系 ・使用済燃料の受入れ 施設及び貯蔵施設 補 給水設備	-	弁	動的機能維持	S	-	主要弁	-	駆動部	○	-	○	○	-

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表 1 (2) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。

* 2：JEAG4601適用範囲内である各機器については、JEAG4601にて耐震評価部位を選定していることから、本資料での整理対象外とする。

* 3：電氣的機能が要求される機器については、各-の器具類に対する耐震試験等により機能維持を確認した加速度以下であることを確認することとしているため、本資料での整理対象外とする。

* 4：JEAG4601適用範囲外であるファンについては、「耐震機電14 動的機能維持評価手法の適用について」にて耐震評価部位を選定していることから、本資料での整理対象外とする。

再処理施設(使用済燃料受入れ施設及び貯蔵施設)

波及的影響の設計対象施設

波及的影響の設計対象施設

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設					設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持 構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1									
		DB	SA											
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	崩壊熱等の除去機能	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 燃料取出しビット、燃料仮置きビット、等	-	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	止水板	-	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	-	-
		-	-				基礎ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	-		
	落下・転倒防止機能	バスケット仮置き架台	-	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	止水板	-	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	-	-
			-				-	基礎ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	-	
	核的制限値（寸法）の維持機能	形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器（溶解槽、プルトニウム濃縮缶等）	-	ラック/ビット/棚 (貯蔵ホール)	変位及び変形	Ss	止水板	-	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	-	-
			-				-	基礎ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	-	
	遮蔽機能	燃料取出しビット、燃料仮置きビット、燃料貯蔵プール、チャンネルボックス・バーナブルボイゾン取扱ビット、燃料移送水路、燃料送出しビット	-	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	止水板	-	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	-	-
			-				-	基礎ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	-	
	有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 クレーン	崩壊熱等の除去機能	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 燃料取出しビット、燃料仮置きビット、等	臨界防止設備	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	ガーダ	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-
								-	支持構造物	支持構造物（ボルト等）	○	-	○	-
								-	支持構造物	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-
		崩壊熱等の除去機能	プール水冷却系、安全冷却水系 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 補給水設備	同左	配管系	構造強度	Ss	ガーダ	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-
-								支持構造物	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	
-								支持構造物	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	
遮蔽機能	燃料取出しビット、燃料仮置きビット、燃料貯蔵 プール、チャンネルボックス・バーナブルボイゾン取扱ビット、燃料移送水路、燃料送出しビット	同左	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	ガーダ	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-		
						-	支持構造物	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-		
						-	支持構造物	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-		
核的制限値（寸法）の維持機能	形状寸法管理の機器 事業変更許可申請書の各施設の臨界安全管理表に寸法が記載されている機器（溶解槽、プルトニウム濃縮缶等）	同左	ラック/ビット/棚 (貯蔵ホール)	変位及び変形	Ss	ガーダ	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-		
						-	支持構造物	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-		
						-	支持構造物	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-		
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 移送台車	崩壊熱等の除去機能	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 燃料取出しビット、燃料仮置きビット、等	臨界防止設備	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	燃料移送台車（本体） (構造物フレーム)	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	
							-	転倒防止機構	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	
							-	支持構造物	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	
	遮蔽機能	燃料取出しビット、燃料仮置きビット、燃料貯蔵プール、チャンネルボックス・バーナブルボイゾン取扱ビット、燃料移送水路、燃料送出しビット	同左	ラック/ビット/棚	構造強度	Ss	燃料移送台車（本体） (構造物フレーム)	-	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	
							-	転倒防止機構	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	
							-	支持構造物	支持構造物（ボルト以外）	○	-	○	-	

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表1(2) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。

再処理施設(使用済燃料受入れ施設及び貯蔵施設)

火災防護設備

火災防護設備

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 火災防護設備 火災感知器	火災の感知機能	火災感知設備（炎感知器、炎感知器（赤外線式（防水型、防爆型））、煙感知器、熱感知器、熱感知器（熱電対（防爆型））、熱感知カメラ（サーモカメラ））	-	計装/放管設備	構造強度	C	-	-	取付ボルト*2	取付ボルト	○	-	○	-	-
					電気的機能維持	C	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 火災防護設備 火災受信器盤	火災の感知機能	火災感知設備（火災受信機盤（火災監視盤））	-	計装/放管設備	構造強度	C	-	-	取付ボルト*3	取付ボルト	○	-	○	-	-
					電気的機能維持	C	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 火災防護設備 火災感知器	火災の感知機能	火災感知設備（熱感知器、炎感知器、熱感知カメラ（サーモカメラ））	-	計装/放管設備	構造強度	C	-	-	取付ボルト*2	取付ボルト	○	-	○	-	-
					-	-	-	基礎ボルト*2	基礎ボルト	○	-	○	-	-	
					-	-	-	基礎溶接部*2	基礎溶接部	○	-	○	-	-	
					-	-	-	支持構造物*2	支持構造物	○	-	○	-	-	
					電気的機能維持	C	-	-	-	器具類*5	○	-	○	-	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 火災防護設備 消火設備	火災区域内の消火機能	消火設備（ケーブルトレイ消火設備、ハロゲン化物消火設備、二酸化炭素消火設備、ハロゲン化物消火設備（床下消火設備（手動）、全域：制御室床下））	-	容器	構造強度	C	-	-	容器	支持構造物	○	-	○	-	-
					-	-	-	取付ボルト	取付ボルト	○	-	○	-	-	
					-	-	-	基礎ボルト	基礎ボルト	○	-	○	-	-	
					動的機能維持	C	-	-	容器	駆動部*6	○	-	○	-	-
					-	-	-	駆動部*7	○	-	○	-	○	-	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 火災防護設備 消火設備	火災区域内の消火機能	消火設備（制御盤）	-	計装/放管設備	構造強度	C	-	-	計測装置 制御回路	基礎ボルト*4	基礎ボルト	○	-	○	-
					電気的機能維持	C	-	-	計測装置 制御回路	-	器具類*5	○	-	○	-
標準支持間隔	火災区域内の消火機能	消火設備（主配管（消火ガス供給系））	-	配管系	構造強度	C	-	-	主配管	-	配管	○	-	○	-
					-	-	-	支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-	
構造強度を確保できることを加振試験の結果を踏まえて評価を行う機器 火災防護設備 消火設備	火災区域内の消火機能	消火設備（主配管（消火ガス供給系））	-	配管系	構造強度	C	-	-	主配管	-	配管*8	○	-	○	-

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表 1(3) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。

* 2：火災感知器の支持構造物を示す。

* 3：火災受信器盤（火災監視盤）の支持構造物を示す。

* 4：制御盤の支持構造物を示す。

* 5：電気的機能維持が要求される機器については、各々に器具類に対する加振試験等により機能維持を確認した加速度以下であることを確認しているため、本資料での整理対象外とする。

* 6：動的機能維持が要求される容器弁については、各々に駆動部に対する加振試験等により機能維持を確認した加速度以下であることを確認しているため、本資料での整理対象外とする。

* 7：動的機能維持が要求される選択弁については、各々に駆動部に対する加振試験等により機能維持を確認した加速度以下であることを確認しているため、本資料での整理対象外とする。

* 8：ケーブルトレイ消火設備及び電源盤・制御盤消火設備の消火配管については、解析による評価が困難であることから加振試験により構造強度を確認した加速度以下であることを確認しているため、本資料での整理対象外とする。

再処理施設(使用済燃料受入れ施設及び貯蔵施設)

溢水対策設備

溢水対策設備(1/2)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
防水扉	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	防水区画構造物	構造強度	C	-	板材	-	板材	○	-	-	-	-
								補強材	-	補強材	○	-	-	-	
								-	アンカーボルト	アンカーボルト	○	-	○	-	-
								-	ヒンジ板	ヒンジ板	○	-	○	-	-
								-	ヒンジピン	ヒンジピン	○	-	○	-	-
								-	ヒンジボルト	ヒンジボルト	○	-	○	-	-
								-	締付装置	締付装置	○	-	○	-	-
水密扉	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	防水区画構造物	構造強度	C	-	板材	-	板材	○	-	-	-	-
								補強材	-	補強材	○	-	-	-	
								-	アンカーボルト	アンカーボルト	○	-	○	-	-
								-	ヒンジ板	ヒンジ板	○	-	○	-	-
								-	ヒンジピン	ヒンジピン	○	-	○	-	-
								-	ヒンジボルト	ヒンジボルト	○	-	○	-	-
								-	締付装置	締付装置	○	-	○	-	-
								-	締付装置受ピン	締付装置受ピン	○	-	○	-	-
								-	締付装置受ボルト	締付装置受ボルト	○	-	○	-	-
堰	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	防水区画構造物	構造強度	C	-	板材	-	板材	○	-	○	-	-
								-	バックリブ	バックリブ	○	-	○	-	-
								-	アンカーボルト	アンカーボルト	○	-	○	-	-
床ドレン逆止弁	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	防水区画構造物	構造強度	C	-	-	弁本体	弁本体	○	-	○	-	-
								-	フロートガイド	フロートガイド	○	-	○	-	-
								動的機能維持	C	-	-	-	床ドレン逆止弁	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	溢水量を低減する機能	溢水対策設備	-	防水区画構造物	構造強度	C	-	止水板	-	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	-	-
								-	基礎ボルト	支持構造物（ボルト等）	○	-	-	-	-

溢水対策設備(2/2)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材, 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	再処理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
標準支持間隔	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	配管系	構造強度	C	-	-	配管	配管	○	-	○	-	-
									支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-
多質点系はりモデル	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	配管系	構造強度	C	-	-	配管	配管	○	-	○	-	-
									支持構造物	支持構造物	○	-	○	-	-
弁	溢水伝播を防止する機能	溢水対策設備	-	弁	動的機能維持	C	-	-	-	駆動部	○	-	○	-	-

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表1(3) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。

廃棄物管理施設

安全機能を有する施設

安全機能を有する施設

対象	評価対象設備					① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材, 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 －：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	廃棄物管理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 －：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1	耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類								
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 貯蔵ビット	崩壊熱等の除去機能	ガラス固化体貯蔵設備 (ガラス固化体貯蔵建 屋、ガラス固化体貯蔵建 屋B棟)の収納管、通風 管	ラック/ビット/棚	構造強度	S	収納管	－	支持構造物（ボルト以外）	○	－	－	○	－
						通風管	－	支持構造物（ボルト以外）	○	－	－	○	－
						プレナム形成板	－	支持構造物（ボルト以外）	○	－	－	○	－
						支持架構	－	支持構造物（ボルト以外）	○	－	－	○	－
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 遮蔽容器付クレーン	遮蔽機能	ガラス固化体貯蔵設備の 床面走行クレーンの遮蔽 設備	搬送設備	構造強度	S	遮蔽容器	－	支持構造物（ボルト以外）	○	－	－	○	－
						－	しゃへい容器（支持フ レーム）	支持構造物（ボルト以外）	○	－	－	○	－
						－	しゃへい容器（取付ボル ト）	支持構造物(ボルト等)	○	－	－	○	－
						－	しゃへい容器（シアブ レートの溶接部）	支持構造物(ボルト等)	○	－	－	○	－
						－	東側ガーダ	フレーム	○	－	－	○	－
						－	西側ガーダ	フレーム	○	－	－	○	－
						－	クレーン脱輪防止ラグの 溶接部	転倒防止機構	○	－	－	○	－
						－	トロリ脱着防止ローラ軸	転倒防止機構	○	－	－	○	－
						－	トロリ脱着防止ラグの溶 接部	転倒防止機構	○	－	－	○	－
						－	ガーダ固定金物	転倒防止機構	○	－	－	○	－
						－	ガーダ中央固定金物	転倒防止機構	○	－	－	○	－
						－	トロリ固定金物	転倒防止機構	○	－	－	○	－
						－	クレーン転倒防止ラグ	転倒防止機構	○	－	－	○	－
						－	トロリ転倒防止ラグ	転倒防止機構	○	－	－	○	－
						－	支持構造物	レール	○	－	－	－	－
－	ワイヤロープ等	吊具(ワイヤロープ等)	○	－	－	－	－						
－	先端金具	吊具(先端金具)	○	－	－	－	－						
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 測定装置	－	－	－	－	C	－	フレーム	支持構造物（ボルト以外）	○	－	－	－	－
						－	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	－	－	－	－

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表3(2) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。

廃棄物管理施設

波及的影響の設計対象施設

安全機能を有する施設

設計対象 (下位クラス施設)	波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設				設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材, 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 －：記載無しであるが 再処理施設では評価対象	廃棄物管理施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 ×：評価対象外部位 －：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1	耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1									
定式化された計算式を 用いて評価を行う機器 躯体付設備 躯体付構造設備	崩壊熱等の除去機能	ガラス固化体貯蔵設備 (ガラス固化体貯蔵建 屋、ガラス固化体貯蔵 建屋B棟)の収納管、 通風管	ラック/ピット/棚	構造強度	Ss	－	ルーバ振れ止め	支持構造物（ボルト以外）	○	－	－	○	－
						－	中央の上固定部	支持構造物（ボルト以外）	○	－	－	○	－

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表 3(2) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。

MOX燃料加工施設

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(1/4)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持構造物等	③ 耐震評価部位*4*5	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるがMOX燃料加工施設では評価対象	MOX燃料加工施設の既設工認記載設備・部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の重要度分類	重大事故等対処施設の設備分類									
		DB	SA													
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 フィルタユニット	捕集・浄化機能	放射性廃棄物の廃棄施設の工程室排気設備・工程室排気フィルタユニット	放射性廃棄物の廃棄施設の工程室排気設備・工程室排気フィルタユニット	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	ケーシング	—	支持構造物(ボルト等)	○	—	—	—	新規申請設備のため	
								—	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	—	○	—	新規申請設備のため	
	放射性物質の放出経路の維持機能	グローブボックス排気設備のうち粉末調整工程のグローブボックス、ペレット加工工程のグローブボックス、貯蔵施設のグローブボックス及び小規模試験設備のグローブボックスの給気側のうち、グローブボックスの閉じ込め機能維持に必要な範囲	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	ケーシング	—	支持構造物(ボルト等)	○	—	—	—	新規申請設備のため	
								—	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	—	○	—	新規申請設備のため	
	捕集・浄化機能	放射性廃棄物の廃棄施設のグローブボックス排気設備・グローブボックス排気フィルタユニット (グローブボックス排気フィルタ（粉末調整工程のグローブボックス、ペレット加工工程のグローブボックス、貯蔵施設のグローブボックス及び小規模試験設備のグローブボックスに付随するもの。)	グローブボックス給気フィルタ排気フィルタユニット グローブボックス排気フィルタ	フィルタ	構造強度	S	常設耐震重要	ケーシング	—	支持構造物(ボルト等)	○	—	—	—	新規申請設備のため	
								—	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	—	○	—	新規申請設備のため	
								—	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	—	○	—	新規申請設備のため	
	定式化された計算式を用いて評価を行う機器 横軸ポンプ	排気機能	放射性廃棄物の廃棄施設のグローブボックス排気設備・グローブボックス排風機（排気機能の維持に必要な回路を含む）	—	ファン	構造強度	S	—	ケーシング	—	支持構造物(ボルト等)	○	—	—	—	新規申請設備のため
									原動機	—	支持構造物(ボルト等)	○	—	—	—	新規申請設備のため
									—	原動機台取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	—	○	—	新規申請設備のため
									—	ファン取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	—	○	—	新規申請設備のため
									—	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	—	○	—	新規申請設備のため
動的機能維持									S	—	ファン	—	駆動部*2	○	—	○
原動機					—	駆動部*2	○	—	○	—	新規申請設備のため					

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(2/4)

対象	評価対象設備							① 本文仕様記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持構造物等	③ 耐震評価部位*4*5	今回設工における評価 ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが MOX燃料加工施設では評価対象	MOX燃料加工施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外								
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							-	-	-	-	-	-	-	-	-
		DB	SA																			
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 矩形型設備	排気機能	放射性廃棄物の廃棄施設のグローブボックス排気設備 ・グローブボックス排風機（排気機能の維持に必要な回路を含む）	-	計装/放管設備	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため							
					電気的機能維持	S	-	-	器具類*3	○	-	○	-	新規申請設備のため								
	放射性物質の放出経路の維持機能* *グローブボックス火災が発生した場合の感知・消火に係る機能。	グローブボックス消火装置(粉末調整工程のグローブボックス、ベレット加工工程のグローブボックス、貯蔵施設のグローブボックス及び小規模試験設備のグローブボックスの消火に関する範囲)	-	計装/放管設備	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため							
					電気的機能維持	S	-	-	器具類*3	○	-	○	-	新規申請設備のため								
	放射性物質の閉じ込め機能* *グローブボックス火災が発生した場合の感知・消火に係る機能。	・延焼防止ダンパ(粉末調整工程のグローブボックス、ベレット加工工程のグローブボックス、貯蔵施設のグローブボックス、小規模試験設備のグローブボックスの排気系に設置地するもの。	-	計装/放管設備	構造強度	S	-	-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため							
					電気的機能維持	S	-	-	器具類*3	○	-	○	-	新規申請設備のため								
	有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 グローブボックス	放射性物質の放出経路の維持機能 グローブボックス	・貯蔵施設のグローブボックス	-	核物質等取扱ボックス	構造強度	S	-	本体	缶体	缶体	○	-	-	○	-						
									本体	本体支持架台	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-						
									本体	耐震サポート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-						
									本体	内装架台	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-						
									本体	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
									本体	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-						
本体									取付ボルト（内装架台）	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-							
本体									伸縮継手	伸縮継手	○	-	-	-	地震動増大により、評価対象部位として追加							
窓板部									窓板	窓板部	○	-	-	○	-							
窓板部									グローブポート	窓板部	○	-	-	○	-							
本体									ステンレスパネル	ステンレスパネル部	○	-	-	○	-							
本体									搬出入口（大）	搬出入口（大）	○	-	-	○	-							
本体									搬出入口（小）	搬出入口（小）	○	-	-	○	-							
本体									メンテナンスポート	メンテナンスポート	○	-	-	○	-							
本体									コネクタ部	コネクタ部（ハーメチックシールタイプ、挟み込み型）	○	-	-	○	-							
本体									磁気シールユニット	磁性流体シール	○	-	-	○	-							
本体									磁気シールユニット	磁性流体シール（グローブボックス貫通部）	○	-	-	○	-							
本体						磁気シールユニット	磁性流体シール（防火シャッター駆動貫通部）	○	-	-	○	-										

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(3/4)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持構造物等	③ 耐震評価部位*4*5	今回設工における評価 ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが MOX燃料加工施設では評価対象	MOX燃料加工施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 グローブボックス消火装置	放射性物質の閉じ込め維持機能* *グローブボックス火災が発生した場合の感知・消火に係る機能。	グローブボックス消火装置（粉末調整工程のグローブボックス、ベレット加工工程のグローブボックス、貯蔵施設のグローブボックス及び小規模試験設備のグローブボックスの消火に難する範囲）	-	容器	構造強度	S	-	グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	新規申請設備のため
								グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため
								-	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	新規申請設備のため
								-	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため
								グローブボックス消火用選択弁ユニット	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	○	-	新規申請設備のため
								グローブボックス消火用選択弁ユニット	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため
								グローブボックス消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット	容器弁	容器弁	○	-	○	-	新規申請設備のため
								グローブボックス消火用選択弁ユニット	選択弁	選択弁	○	-	○	-	新規申請設備のため
標準支持間隔	放射性物質の放出経路の維持機能（放射性物質の閉じ込め機能）	放射性廃棄物の廃棄施設のグローブボックス排気設備 ・粉末調整工程のグローブボックス、ベレット加工工程のグローブボックス、貯蔵施設のグローブボックス及び小規模試験設備のグローブボックスからグローブボックス排風機までの範囲	-	配管系	構造強度	S	-	主配管	-	配管	○	-	○	-	新規申請設備のため
									-	ダクト	○	-	○	-	新規申請設備のため
									-	支持構造物	支持構造物	(○)	-	○	-
放射性物質の閉じ込め維持機能* *グローブボックス火災が発生した場合の感知消火に係る機能。	*グローブボックス消火装置（粉末調整工程のグローブボックス、ベレット加工工程のグローブボックス、貯蔵施設のグローブボックス及び小規模試験設備のグローブボックスの消火に関する範囲）	-	配管系	構造強度	S	-	主配管	-	配管	○	-	○	-	新規申請設備のため	
								-	ダクト	○	-	○	-	新規申請設備のため	
								-	支持構造物	支持構造物	(○)	-	○	-	新規申請設備のため

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(4/4)

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持構造物等	③ 耐震評価部位*4*5	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 －：記載無しであるがMOX燃料加工施設では評価対象	MOX燃料加工施設の既設工認記載設備・部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位 －：既設工認対象外		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の重要度分類	重大事故等対処施設の設備分類									
		DB	SA													
標準支持間隔	放射性物質の放出経路の維持機能（放射性物質の過度の放出防止機能）	放射性廃棄物の廃棄施設のグローブボックス排気設備 ・粉末調整工程のグローブボックス、ペレット加工工程のグローブボックス、貯蔵施設のグローブボックス及び小規模試験設備	・グローブボックス排気ダクト	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	－	配管	○	－	○	－	新規申請設備のため	
									－	ダクト	○	－	○	－	新規申請設備のため	
									－	支持構造物	支持構造物	(○)	－	○	－	新規申請設備のため
									主配管	－	配管	○	－	○	－	新規申請設備のため
										－	ダクト	○	－	○	－	新規申請設備のため
										－	支持構造物	支持構造物	(○)	－	○	－
		グローブボックス排気設備のうち粉末調整工程のグローブボックス、ペレット加工工程のグローブボックス、貯蔵施設のグローブボックス及び小規模試験設備のグローブボックスの給気側のうち、グローブボックスの閉じ込め機能維持に必要な範囲	・工程室排気ダクト	配管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	－	配管	○	－	○	－	新規申請設備のため	
									－	ダクト	○	－	○	－	新規申請設備のため	
									－	支持構造物	支持構造物	(○)	－	○	－	新規申請設備のため
									主配管	－	配管	○	－	○	－	新規申請設備のため
										－	ダクト	○	－	○	－	新規申請設備のため
										－	支持構造物	支持構造物	(○)	－	○	－
配+E17:O19管系	構造強度	S	常設耐震重要	主配管	－	配管	○	－	○	－	新規申請設備のため					
					－	ダクト	○	－	○	－	新規申請設備のため					
					－	支持構造物	支持構造物	(○)	－	○	－	新規申請設備のため				
					主配管	－	配管	○	－	○	－	新規申請設備のため				
						－	ダクト	○	－	○	－	新規申請設備のため				
						－	支持構造物	支持構造物	(○)	－	○	－	新規申請設備のため			
弁	放射性物質の閉じ込め維持機能* *グローブボックス火災が発生した場合の感知消火に係る機能。	・延焼防止ダンパ（粉末調整工程のグローブボックス、ペレット加工工程のグローブボックス、貯蔵施設のグローブボックス及び小規模試験設備のグローブボックスの消火に関する範囲）、ピストンダンパ（粉末調整工程のグローブボックス、ペレット加工工程のグローブボックス、貯蔵施設のグローブボックス及び小規模試験設備のグローブボックスの消火に関する範囲）	－	弁	動的機能維持	S	－	主要弁	－	駆動部	○	－	×	－	新規申請設備のため	

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表2(2) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。
 * 2：JEG4601適用範囲内である各機器については、JEG4601にて耐震評価部位を選定していることから、本資料での整理対象外とする。
 * 3：電氣的機能が要求される機器については、各々の器具類に対する加振試験等により機能維持を確認した加速度以下であることを確認することとしているため、本資料での整理対象外とする。
 * 4：地震時の臨界安全性が要求される寸法が維持されていることを地震時の変位により確認することから、耐震評価部位は変位算出部位に読み替える。
 * 5：閉じ込め機能が要求される設備は、地震時の応答加速度が機能確認済加速度内に収まることを確認することから、耐震評価部位は応答加速度算出部位に読み替える。

MOX燃料加工施設
波及的影響の設計対象施設

波及的影響の設計対象施設(1/3)

設計対象 (下位クラス施設)	波及影響を受けるおそれのある上位クラス施設					設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部 材, 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○: 評価対象部位 (○): 他の部位で代替し ている部位 ×: 評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○: 記載有部位 ×: 記載無部位 -: 記載無しであるが MOX燃料加工施設では評価対象	MOX燃料加工施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考)								
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1								Ss	○	-	○	-	○	-	○	-
		DB	SA																		
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	排気機能	放射性廃棄物の廃棄施設のグローブボックス 排気設備	-	ファン	構造強度 動的機能維持	Ss	ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-	新規申請設備のため						
							原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため							
							-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため							
							-	ファン取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため							
							-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため							
放射性物質の閉じ込め 機能	・貯蔵施設のグローブ ボックス	-	核物質等取扱ボックス	構造強度 閉じ込め機能維持	Ss	粉末一時保管装置1, 12	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	-	新規申請設備のため							
						粉末一時保管装置1, 12	ファン取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						粉末一時保管装置1, 12	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						焼結ポート搬送コンベア-1~8	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						焼結ポート取扱機-1~8	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						焼結ポート昇降台-1~8	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						焼結ポート受渡装置-1~8	ガイド	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						保管容器搬送コンベア-1, -2	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						保管容器取扱機-1, -2	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						昇降台-1, -2	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						保管容器搬送コンベア-1, -2	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						スクラップ保管容器受渡装置-1, -2	ガイド	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						保管容器取扱機-1, -2	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						昇降台-1, -2	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
ベレット保管容器受渡装置-1, -2	ガイド	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため														
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 グローブボックス	放射性物質の閉じ込め 機能	・小規模試験設備のグ ローブボックス	核物質等取扱ボックス	構造強度 閉じ込め機能維持	Ss	本体	缶体	缶体	○	-	-	-	-	新規申請設備のため							
						漏えい液受け皿	-	缶体	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						本体	耐震サポート	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						本体	本体支持架台	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						本体	内装架台	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						本体	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						本体	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため								
						窓板部	-	窓板部	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。	×	-	-	新規申請設備のため							
						本体	ラージポート	ラージポート	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。	×	-	-	新規申請設備のため							
本体	スモールポート	スモールポート	×	閉じ込め機能は波及影響評価部位に該当しない。	×	-	-	新規申請設備のため													

波及的影響の設計対象施設(2/3)

設計対象 (下位クラス施設)	波及影響を受けるおそれのある上位クラス施設				設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部 材, 支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替し ている部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位(参考) ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが MOX燃料加工施設では評価対象	MOX燃料加工施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由(参考) ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1								機能維持の確認事項*1		
		DB	SA											
有限要素モデル等を用 いて評価を行う機器 ラック/ビット/棚	放射性物質の閉じ込め 機能	貯蔵施設のグローブ ボックス	-	核物質等取扱ボックス	構造強度 閉じ込め機能維持	Ss	原料MOX粉末缶一時保管装置	原料MOX粉末缶一時保 管装置	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため
							原料MOX粉末缶一時保管装置	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため
							原料MOX粉末缶一時保管装置	ガイドピン	容器落下防止機構	○	-	-	-	新規申請設備のため
							遮蔽体(ビット)	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため
							遮蔽体(遮蔽蓋1, 2)	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため
							遮蔽体(グローブボックス外)	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため
							遮蔽体(グローブボックス外)	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため
							粉末一時保管装置1~12	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため
							粉末一時保管装置1~12	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため
							粉末一時保管装置1~12	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため
							ペレット一時保管棚-1~3	ペレット一時保管棚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため
							ペレット一時保管棚-1~3	落下防止金具	容器落下防止機構	○	-	-	-	新規申請設備のため
							スクラップ貯蔵棚-1~5	スクラップ貯蔵棚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため
							スクラップ貯蔵棚-1~5	落下防止金具	容器落下防止機構	○	-	-	-	新規申請設備のため
							製品ペレット貯蔵棚-1~5	製品ペレット貯蔵棚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため
製品ペレット貯蔵棚-1~5	落下防止金具	容器落下防止機構	○	-	-	-	新規申請設備のため							

波及的影響の設計対象施設(3/3)

設計対象 (下位クラス施設)	波及影響を受けるおそれのある上位クラス施設				設計用地震動	① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 －：記載無しであるが MOX燃料加工施設では評価対象	MOX燃料加工施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位 －：既設工認対象外		
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1								機能維持の確認事項*1		
		DB	SA											
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器搬送装置	放射性物質の閉じ込め機能	・貯蔵施設のグローブボックス	－	核物質等取扱ボックス	構造強度 閉じ込め機能維持	Ss	原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	ガイド	支持構造物(ボルト等)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	チェック用ツメ	容器落下防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	サイドローラ	容器落下防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	浮き上がり防止フック	容器落下防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	ガイドピン	容器落下防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							搬送コンベア	－	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							粉末一時保管搬送装置	秤量テーブル	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							粉末一時保管搬送装置	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							粉末一時保管搬送装置	走行レール	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							粉末一時保管搬送装置	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							粉末一時保管搬送装置	把持ロック用レール	容器落下防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							粉末一時保管搬送装置	把持部	容器落下防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							粉末一時保管搬送装置	フック	容器落下防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							走行架台1～6	－	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							焼結ポート入出庫装置-1, -2	－	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							焼結ポート入出庫装置-1, -2	上部ガイドレール	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							焼結ポート入出庫装置-1, -2	下部ガイドレール	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							焼結ポート入出庫装置-1, -2	上部ガイドローラ軸	転倒防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							焼結ポート入出庫装置-1, -2	下部ガイドローラ軸	転倒防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							焼結ポート入出庫装置-1, -2	ガイドピン	容器落下防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							スクラップ保管容器入出庫装置	－	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							スクラップ保管容器入出庫装置	上部ガイドレール	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							スクラップ保管容器入出庫装置	下部ガイドレール	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							スクラップ保管容器入出庫装置	上部ガイドローラ軸	転倒防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							スクラップ保管容器入出庫装置	下部ガイドローラ軸	転倒防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							スクラップ保管容器入出庫装置	ガイドピン	容器落下防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							ベレット保管容器入出庫装置	－	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							ベレット保管容器入出庫装置	上部ガイドレール	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
ベレット保管容器入出庫装置	下部ガイドレール	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため							
ベレット保管容器入出庫装置	上部ガイドローラ軸	転倒防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため							
ベレット保管容器入出庫装置	下部ガイドローラ軸	転倒防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため							
ベレット保管容器入出庫装置	ガイドピン	容器落下防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため							
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器遮蔽設備	放射性物質の閉じ込め機能	・貯蔵施設のグローブボックス	－	核物質等取扱ボックス	構造強度 閉じ込め機能維持	Ss	遮蔽扉（ベレット一時保管設備）	支持構造物 (ベレット一時保管設備 遮蔽扉-1, -2)	支持構造物(ボルト以外)	○	－	－	－	新規申請設備のため
							－	ロック機構	転倒防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
有限要素モデルを用いて評価を行う機器防火シャッター	放射性物質の閉じ込め機能	・貯蔵施設のグローブボックス	－	核物質等取扱ボックス	構造強度 閉じ込め機能維持	Ss	－	振れ止め防止ローラ	転倒防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため
							－	浮き上がり防止フック	転倒防止機構	○	－	－	－	新規申請設備のため

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表2(2) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。

MOX燃料加工施設

火災防護設備

火災防護設備

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 －：記載無しであるが MOX燃料加工施設では評価対象	MOX燃料加工施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位 －：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 ポンベユニット	消火活動が困難となる 火災区域又は火災区画 内の消火機能	・窒素消火装置 ・二酸化炭素消火装置	—	容器	構造強度	C(Ss)	—	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット	フレーム	支持構造物 (ボルト以外)	○	—	○	—	新規申請設備のため
								非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	—	○	—	新規申請設備のため
	消火活動が困難となる 火災区域又は火災区画 内の消火機能	・窒素消火装置 ・二酸化炭素消火装置	—	弁	動的機能維持	C(Ss)	—	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット	容器弁	容器弁*2	○	—	○	—	新規申請設備のため
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 選択弁ユニット	消火活動が困難となる 火災区域又は火災区画 内の消火機能	・窒素消火装置 ・二酸化炭素消火装置	—	容器	構造強度	C(Ss)	—	窒素消火用選択弁ユニット	フレーム	支持構造物 (ボルト以外)	○	—	○	—	新規申請設備のため
								窒素消火用選択弁ユニット	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	—	○	—	新規申請設備のため
	消火活動が困難となる 火災区域又は火災区画 内の消火機能	・窒素消火装置 ・二酸化炭素消火装置	—	弁	動的機能維持	C(Ss)	—	窒素消火用選択弁ユニット	選択弁	選択弁*2	○	—	○	—	新規申請設備のため
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 制御盤	消火活動が困難となる 火災区域又は火災区画 内の消火機能	・窒素消火装置 ・二酸化炭素消火装置	—	計装/放管設備	構造強度	C(Ss)	—	—	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	—	○	—	新規申請設備のため
					電氣的機能維持	C(Ss)		—	—	器具類*3	○	—	○	—	新規申請設備のため
標準支持間隔	グローブボックス内の 消火機能	グローブボックス消火装置（Sクラス以外の範囲）	—	配管系	構造強度	C	—	主配管	—	配管	○	—	○	—	新規申請設備のため
									—	ダクト	○	—	○	—	新規申請設備のため
									—	支持構造物	支持構造物	(○)	—	○	—
	火災区域内の消火機能	・窒素ガス消火装置 ・二酸化炭素消火装置	—	配管系	構造強度	C	—	主配管	—	配管	○	—	○	—	新規申請設備のため
									—	ダクト	○	—	○	—	新規申請設備のため
									—	支持構造物	支持構造物	(○)	—	○	—

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表2(2) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。
 * 2：JEAG4601適用範囲内である各機器については、JEAG4601にて耐震評価部位を選定していることから、本資料での整理対象外とする。
 * 3：電氣的機能が要求される機器については、各々の器具類に対する加振試験等により機能維持を確認した加速度以下であることを確認することとしているため、本資料での整理対象外とする。

MOX燃料加工施設

地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備

対象	評価対象設備							① 本文仕様記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持構造物等	③ 耐震評価部位*2	今回設工における評価 ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが MOX燃料加工施設では評価対象	MOX燃料加工施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外						
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類							○	○	○	-	-	-	-
		DB	SA																	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 ラック/ビット/棚	核燃料物質等の取り扱い機能	・MOXを取り扱う貯蔵施設の貯蔵・搬送装置 (原料MOX粉末缶一時保管設備等)	-	ラック/ビット/棚	構造強度	B(Ss)	-	ガイド管 (BWR燃料集集体用)	-	ガイド管	○	-	-	-	新規申請設備のため					
								ガイド管 (PWR燃料集集体用)	-	ガイド管	○	-	-	-	新規申請設備のため					
								-	架台取付部（溶接構造）	架台溶接部	○	-	-	-	新規申請設備のため					
								一時保管ビット	-	フレーム	○	-	-	○	-					
								一時保管ビット	一時保管ビットフレーム	フレーム	○	-	-	○	-					
								一時保管ビット	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
								燃料棒貯蔵棚-1, -2	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	○	-					
								燃料棒貯蔵棚-1, -2	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
								燃料棒貯蔵棚-1, -2	取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	○	-					
								燃料棒貯蔵棚-1, -2	ガイドローラ軸	ガイドローラ軸	○	-	-	○	-					
体系の維持機能	・燃料集集体貯蔵チャンネル ・一時保管ビット、粉末一時保管装置、ペレット一時保管棚、スクラップ貯蔵棚、製品ペレット貯蔵棚、燃料棒貯蔵棚	-	ラック/ビット/棚	変位及び変形	B(Ss)	-	原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	-	原料MOX粉末缶一時保管搬送装置	○	-	-	-	-	新規申請設備のため					
							ガイド管 (BWR燃料集集体用)	-	BWR燃料集集体用ガイド管	○	-	-	-	新規申請設備のため						
							ガイド管 (PWR燃料集集体用)	-	PWR燃料集集体用ガイド管	○	-	-	-	新規申請設備のため						
							一時保管ビット	-	一時保管ビット	○	-	-	○	-						
							粉末一時保管装置-1~-12	-	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため						
							粉末一時保管装置-1~-12	フレーム	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため						
							ペレット一時保管棚-1~-3	ペレット一時保管棚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため						
							スクラップ貯蔵棚-1~-3	スクラップ貯蔵棚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため						
							製品ペレット貯蔵棚-1~-3	製品ペレット貯蔵棚	支持構造物(ボルト以外)	○	-	-	-	新規申請設備のため						
燃料棒貯蔵棚-1, -2	-	燃料棒貯蔵棚-1, -2	○	-	-	○	-													

*1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表2(2) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。

*2：地震時の臨界安全性が要求される寸法が維持されていることを地震時の変位により確認することから、耐震評価部位は変位算出部位に読み替える。

MOX燃料加工施設

閉じ込め機能を有する設備

対象	評価対象設備							① 本文仕様表記載項目	② 補助的な役割を担う部材、支持構造物等	③ 耐震評価部位	今回設工認における評価 ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位	評価対象部位の選定外理由	先行発電プラントの 工認記載設備・部位（参考） ○：記載有部位 ×：記載無部位 -：記載無しであるが MOX燃料加工施設では評価対象	MOX燃料加工施設の既設工認記載設備・ 部位との差分理由（参考） ○：評価対象部位 (○)：他の部位で代替している部位 ×：評価対象外部位 -：既設工認対象外	
	安全機能*1	対象設備*1		耐震設計評価対象*1	機能維持の確認事項*1	耐震設計上の 重要度分類	重大事故等対処施設の 設備分類								
		DB	SA												
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	放射性物質の放出経路の維持機能	窒素循環設備	—	ファン (放出経路維持)	構造強度	B(Ss)	—	ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため
								原動機	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため
								-	原動機台取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため
								-	ファン取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため
								-	原動機取付ボルト	支持構造物(ボルト等)	○	-	○	-	新規申請設備のため
				ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)		○	-	-	-	新規申請設備のため			
				-	基礎ボルト	支持構造物(ボルト等)		○	-	○	-	新規申請設備のため			
				機械装置 (放出経路維持)	構造強度	B(Ss)		ケーシング	-	支持構造物(ボルト等)	○	-	-	-	新規申請設備のため

* 1：「耐震建物30 耐震設計における安全機能の整理について」の「表 2 (2) 安全機能の分類に対する耐震設計上の機能維持方針の整理結果」に示す。

別紙－1－4

評価対象施設の評価項目（応力分類）の選定結果

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(1/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 (四脚) 四脚たて置円筒形容器	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		○	-	○	-	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-
			一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③
			一次+二次応力	○	-	○	-
一次+二次+ピーク応力			○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
支持構造物(ボルト以外)		一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
座屈			○	-	○	-	
支持構造物(ボルト等)		一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(2/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 プレート式熱交換器	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	○	-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 中間支持たて置 円筒形容器(長手2ラグ)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	○	-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(3/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器(3脚以上)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	-	○	-
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③			
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 中間支持たて置円筒形容器(1ラゲ)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	-	○	-
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③			
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(4/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器片側支持容器デミスタ(1脚)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	-	○	-
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	定式化された計算式を用いて評価を行う機器片側支持容器デミスタ(2脚)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-
一次応力(曲げ応力を含む)			○	-	○	-	
一次+二次応力			○	-	○	-	
一次+二次+ピーク応力			○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
支持構造物(ボルト以外)		一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	-	○	-
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
支持構造物(ボルト等)		一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(5/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	-	○	-
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③			
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形容器(4ラゲ)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	-	○	-
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③			
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(6/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形容器(2ラック)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	-	○	-
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
せん断			○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置角形容器(2ラック)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	-	○	-
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
せん断			○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形容器(フランジ)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
せん断			○	-	○	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(7/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にてまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にて まとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 胴部支持容器 平底円筒形容器	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 ディーゼル機関	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット (遮蔽体一体型)	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 たて軸ポンプ	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 溶解槽	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	○	-
			圧縮	(○)	-	○	-
			曲げ	(○)	-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	○	-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	-	×	③
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			曲げ	×	-	×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×	-	×	①
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	×	せん断荷重を受ける部位がないため。	×	①	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(8/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	-	○	-
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③			
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 洗浄槽	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	-	○	-
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③			
容器	一次一般膜応力	○	-	○	-		
	一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③		
	一次+二次応力	○	-	○	-		
	一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-		
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
せん断			○	-	○	-	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 遠心清澄機	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(9/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器容器(下端支持型、コイル付)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		○	-	○	-	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	冷却コイル(配管)	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
一次+二次+ピーク応力		○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-		
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器容器(中間支持型、コイル付)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	冷却コイル	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
一次+二次+ピーク応力		○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(10/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器環状バルスカラム	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	バルスレグ	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)(支持パイプ)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	×	構造としてせん断力が作用しない構造であり、せん断応力は生じないため。	×	①
			圧縮	×	構造として圧縮が作用しない構造であり、圧縮応力は生じないため。	×	①
			曲げ	×	構造として曲げが作用しない構造であり、曲げ応力は生じないため。	×	①
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	×	組み合わせる荷重が生じないため評価を省略する。	×	①	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)(支持棒)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	×	構造としてせん断力が作用しない構造であり、せん断応力は生じないため。	×	①
			圧縮	×	構造として圧縮が作用しない構造であり、圧縮応力は生じないため。	×	①
			曲げ	×	構造として曲げが作用しない構造であり、曲げ応力は生じないため。	×	①
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	×	組み合わせる荷重が生じないため評価を省略する。	×	①	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
曲げ			×	×		③	
支圧			×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
座屈	×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(11/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。
		一次応力	引張 せん断				
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 環状バルスカラム(つづき)	ほう素入りコンクリート被覆材補強リング ほう素入りコンクリートシャフト部被覆材 ほう素入りコンクリートシャフト部緩衝材	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(取付ボルト)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	×	構造としてせん断力が作用しない構造であり、せん断応力は生じないため。	×	①
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(取付金具)	一次応力	引張	×	構造として引張力を負担しない構造であり、引張力は生じないため。	×	①
			せん断	○	-	○	-
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 パツファチューブ(中間支持型)	容器	一次一般膜応力		○	-	○	-
		一次応力(曲げ応力を含む)		×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③
		一次+二次応力		○	-	○	-
		一次+二次+ピーク応力		○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	○	-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
支圧			×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
座屈	×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(12/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 洗浄塔	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	パルスレグ	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)	一次応力	引張	×	構造として引張が作用しない構造であり、引張応力は生じないため。	×	①
			せん断	○	-	○	-
			圧縮	×	構造として圧縮が作用しない構造であり、圧縮応力は生じないため。	×	①
			曲げ	×	構造として曲げが作用しない構造であり、曲げ応力は生じないため。	×	①
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	×	組み合わせる荷重が生じないため評価を省略する。	×	①
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(取付ボルト)		一次応力	引張	○	-	○	-
	せん断		×	構造としてせん断力が作用しない構造であり、せん断応力は生じないため。	×	①	
中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(固定金具)	一次応力	引張	×	構造として引張力を負担しない構造であり、引張力は生じないため。	×	①	
		せん断	○	-	○	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(13/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 ミキサセトラ	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	○	-
			せん断	(○)	-	○	-
			圧縮	(○)	-	○	-
			曲げ	(○)	-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		○	-	○	-	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
せん断			○	-	○	-	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 環状形槽	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	○	-
			せん断	(○)	-	○	-
			圧縮	(○)	-	○	-
			曲げ	(○)	-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		○	-	○	-	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	冷却コイル	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
一次+二次+ピーク応力		○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(14/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器分離槽	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×
	座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	有限要素モデル等を用いて評価を行う機器ハップファチューブ(片側支持型)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-
一次応力(曲げ応力を含む)			○	-	○	-	
一次+二次応力			○	-	○	-	
一次+二次+ピーク応力			○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
支持構造物(ボルト以外)		一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×
座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③			
容器	一次一般膜応力	○	-	○	-		
	一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③		
	一次+二次応力	○	-	○	-		
	一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-		
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(15/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 三連濃縮缶	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 円筒形バルスカラム	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-	
	バルスレグ	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 グローブボックス	缶体	一次応力	引張	(○)	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
			圧縮	(○)	-	○	-
			曲げ	(○)	-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	○	-	○	-
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
		せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
		曲げ	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
		組合せ	○	-	○	-	
支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	
		圧縮	(○)	-	○	-	
		曲げ	(○)	-	○	-	
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
		組合せ	○	-	○	-	
一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	曲げ	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
	座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	組合せ	○	-	○	-		
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-	
		せん断	○	-	○	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(16/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にてまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にて まとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器環状形槽(中間支持型)	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	○	-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	カドミウム取付板	一次応力	引張	×	構造として引張力を負担しない構造であり、引張力は生じないため。	×	①
			せん断	○	-	○	-
	カドミウム支持部材	一次応力	引張	×	構造として引張力を負担しない構造であり、引張力は生じないため。	×	①
			せん断	○	-	○	-
	固定ボルト	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	×	構造としてせん断力が作用しない構造であり、せん断応力は生じないため。	×	①

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(17/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器貯蔵ホール	ホール	一次応力	引張	(○)		-	○	-
			せん断	○		-	○	-
			圧縮	(○)		-	○	-
			曲げ	(○)		-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
	座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③			
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)		-	○	-
			せん断	○		-	○	-
			圧縮	(○)		-	○	-
			曲げ	(○)		-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
			曲げ	×		×	③	
支圧			×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③				
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		-	○	-	
		せん断	○		-	○	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(18/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器遮蔽容器付クレーン	しゃへい容器支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)		-	○	-
			せん断	(○)		-	○	-
			圧縮	(○)		-	○	-
			曲げ	(○)		-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	しゃへい容器支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		-	○	-
			せん断	×	構造としてせん断力が作用しない構造であり、せん断応力は生じないため。	×	①	
	フレーム	一次応力	引張	(○)		-	○	-
			せん断	(○)		-	○	-
			圧縮	(○)		-	○	-
			曲げ	(○)		-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
曲げ			×	×	③			
支圧			×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③				

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(19/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 遮蔽容器付クレーン(つづき)	転倒防止機構	一次応力	引張	(○)		-	○	-
			せん断	(○)		-	○	-
			圧縮	(○)		-	○	-
			曲げ	(○)		-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	レール	一次応力	引張	(○)		-	○	-
			せん断	(○)		-	○	-
			圧縮	(○)		-	○	-
			曲げ	(○)		-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
曲げ			×	×		③		
支圧			×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③				
容器	一次一般膜応力		○		-	○	-	
	一次応力(曲げ応力を含む)		×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③		
	一次+二次応力		○		-	○	-	
	一次+二次+ピーク応力		○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-		
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		-	○	-
せん断			○		-	○	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(20/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器クーラ	伝熱管	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	○	-
			せん断	(○)	-	○	-
			圧縮	(○)	-	○	-
			曲げ	(○)	-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	管束取付ボルト	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	フレーム取付ボルト	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	原動機取付ボルト	一次応力	引張	○	-	○	-
せん断			○	-	○	-	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器加熱濃縮缶	容器	一次一般膜応力	○	-	○	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	(○)	-
			せん断	(○)	-	(○)	-
			圧縮	(○)	-	(○)	-
			曲げ	(○)	-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	-	○	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	○	-
			せん断	○	-	○	-
	加熱・冷却コイル	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
一次+二次+ピーク応力		○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	-		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(21/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にてまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にて まとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 ガラス溶融炉	ケーシング	一次応力	引張	(○)		-	(○)	-
			せん断	(○)		-	(○)	-
			圧縮	(○)		-	(○)	-
			曲げ	(○)		-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		×	③	
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	ガイドピン	一次応力	引張	×	構造として引張力を負担しない構造であり、引張力は生じないため。	×	①	
			せん断	○		○	-	
	取付ボルト	一次応力	引張	○		-	○	-
			せん断	×	構造としてせん断力が作用しない構造であり、せん断応力は生じないため。	×	①	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 移送台車	フレーム	一次応力	引張	(○)		-	×	-
			せん断	○		-	○	-
			圧縮	(○)		-	×	-
			曲げ	○		-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		×	③	
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	転倒防止機構	一次応力	引張	(○)		-	×	-
			せん断	○		-	○	-
			圧縮	(○)		-	×	-
			曲げ	○		-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		×	③	
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			曲げ	×		×	③	
支圧			×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
座屈	×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③			
レール	一次応力	引張	○		-	○	-	
		せん断	×	構造としてせん断力が作用しない構造であり、せん断応力は生じないため。	×	①		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(22/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にてまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にて まとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器貯蔵ピット	(支持構造物(ボルト以外))	一次応力	引張	(○)		-	(○)	-
			せん断	(○)		-	(○)	-
			圧縮	(○)		-	(○)	-
			曲げ	(○)		-	(○)	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(23/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。
		一次応力	二次応力				
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 遮蔽容器付移送台車	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	×	構造として引張力を負担しない構造であり、引張力は生じないため。	×	①
			せん断	○	-	○	-
	フレーム	一次応力	引張	(○)	-	×	③
			せん断	(○)	-	○	-
			圧縮	(○)	-	×	③
			曲げ	(○)	-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	○	-	×	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×
	転倒防止装置	一次応力	引張	(○)	-	×	③
			せん断	(○)	-	○	-
			圧縮	(○)	-	×	③
			曲げ	(○)	-	○	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	○	-	○	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×
	レール	一次応力	引張	(○)	-	-	-
			せん断	(○)	-	-	-
			圧縮	(○)	-	-	-
			曲げ	(○)	-	-	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	-	-
			組合せ	○	-	-	-
			一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	-
		せん断		×	-		-
曲げ		×		-	-		
支圧		×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	-		-
座屈		×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	-		-
座屈		×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	-		-
座屈		×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	-		-

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(24/25)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。		
		一次応力	一次+二次応力						
有限要素法等を用いて評価を行う機器 ポンベラック	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	(引張)	(○)		-	-	-	
			(せん断)	(○)		-	-	-	
			(圧縮)	(○)		-	-	-	
			(曲げ)	(○)		-	-	-	
			組合せ	○		-	-	-	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	-	③	
			せん断	×			-	③	
			曲げ	×			-	③	
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	-	①	
			座屈	×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	-	③	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		-	-	-		
		せん断	○		-	-	-		
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 冷却塔	伝熱管	一次一般膜応力	×		一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③		
		一次応力(曲げ応力を含む)	○			○	-		
		一次+二次応力	○			○	-		
		一次+二次+ピーク応力	○*		※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	-		
	取付ボルト*2	一次応力	引張	○		-	○	-	
			せん断	○		-	○	-	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	○		-	○	-	
			せん断	○		-	○	-	
			圧縮	○		-	○	-	
			曲げ	○		-	○	-	
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
		一次+二次応力	組合せ	○			-	○	-
			引張 圧縮	×			×	③	
せん断			×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
曲げ			×			×	③		
支圧			×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		-	○	-		
		せん断	○		-	○	-		
		座屈	×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(25/25)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力にてまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にて まとめて評価を実施 -:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
標準支持間隔	配管	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合疲労評価は不要。	○	-	
	ダクト	許容座屈曲げモーメント	○	薄板構造を考慮して座屈評価を行うため、一次一般膜応力、一次応力及び一次+二次応力の評価は省略。	○	-	
	支持構造物	一次応力	引張	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
			圧縮	○	-	-	-
			曲げ	○	-	-	-
			支圧	○	-	-	-
			組合せ	○	-	-	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	(○)	-	-	-
			せん断	(○)	-	-	-
			曲げ	(○)	-	-	-
支圧			(○)	-	-	-	
座屈	(○)	-	-	-	-		
多質点系はりモデル	配管	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	-	○	-	
		一次+二次応力	○	-	○	-	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合疲労評価は不要。	○*	-	
	支持構造物	一次応力	引張	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
			圧縮	○	-	-	-
			曲げ	○	-	-	-
			支圧	○	-	-	-
			組合せ	○	-	-	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	(○)	-	-	-
			せん断	(○)	-	-	-
			曲げ	(○)	-	-	-
			支圧	(○)	-	-	-
座屈	(○)	-	-	-	-		

*1:別紙-1-3「③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(1/11)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	(○)	—	(○)	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	—	○	—
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			座屈	○	—	○	—
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
		せん断	○	—	○	—	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 中間支持たて置円筒形容器(1ラゲ)	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	○	—	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	(○)	—	(○)	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	—	○	—
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
		せん断	○	—	○	—	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(2/11)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器片側支持容器デミスタ(1脚)	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	○	—	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	(○)	—	(○)	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	—	○	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—
			せん断	○	—	○	—
	定式化された計算式を用いて評価を行う機器片側支持容器デミスタ(2脚)	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—
一次応力(曲げ応力を含む)			○	—	○	—	
一次+二次応力			○	—	○	—	
一次+二次+ピーク応力			○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
支持構造物(ボルト以外)		一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	(○)	—	(○)	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	—	○	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
座屈			×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
支持構造物(ボルト等)		一次応力	引張	○	—	○	—
			せん断	○	—	○	—

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(3/11)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置円筒形容器(4ラック)	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	○	—	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	(○)	—	(○)	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	—	○	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—
せん断			○	—	○	—	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 中間支持容器 中間支持たて置角形容器(2ラック)	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	(○)	—	(○)	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	—	○	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—
せん断			○	—	○	—	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(4/11)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
								引張
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 固定式搬送設備 固定式クレーン	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	×	構造として引張応力を負担しない構造であり、引張応力は生じないため。	×	①	
			せん断	○	—	○	—	
			圧縮	×	構造として圧縮応力を負担しない構造であり、圧縮応力は生じないため。	×	①	
			曲げ	○	—	○	—	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			座屈	×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
			せん断	○	—	○	—	
	定式化された計算式を用いて評価を行う機器 架橋設備 昇降装置	支持構造物(ボルト以外) 昇降シャフト	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
				せん断	(○)	—	(○)	—
圧縮				(○)	—	(○)	—	
曲げ				(○)	—	(○)	—	
支圧				×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
組合せ			○	—	○	—		
一次+二次応力			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。		×	③	
支持構造物(ボルト以外) 昇降用シリンダ		一次応力	引張	×	構造として引張力を負担しない構造であり、引張応力は生じないため。	×	①	
			せん断	×	構造としてせん断力を負担しない構造であり、せん断力は生じないため。	×	①	
			圧縮	○	—	○	—	
	曲げ		×	構造として曲げ応力を負担しない構造であり、曲げ応力は生じないため。	×	①		
	支圧		×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
	組合せ		×	組み合わせる荷重が生じないため評価を省略する。	×	①		
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
		せん断	×		×	③		
		曲げ	×		×	③		
		支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—		
		せん断	○	—	○	—		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(5/11)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 躯体付設備 躯体付構造設備	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	×	構造として引張力を負担しない構造であり、引張応力は生じないため。	×	①	
			せん断	○	—	○	—	
			圧縮	×	構造として圧縮力を負担しない構造であり、圧縮応力は生じないため。	×	①	
			曲げ	×	構造として曲げ応力を負担しない構造であり、曲げ応力は生じないため。	×	①	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			座屈	×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
			せん断	○	—	○	—	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
			せん断	○	—	○	—	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 容器	容器	一次一般膜応力		○	—	—	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)		○	—	—	—	
		一次+二次応力		○	—	—	—	
		一次+二次+ピーク応力		○※	※:規格基準(JEAG4601+補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	—	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	—	—	
			せん断	(○)	—	—	—	
			圧縮	(○)	—	—	—	
			曲げ	(○)	—	—	—	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①	
		一次+二次応力	組合せ	○	—	—	—	
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③	
			せん断	×		—	③	
			曲げ	×		—	③	
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。		—	③	
		支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	×	構造として引張力を負担しない構造であり、引張応力は生じないため。	—	①
	せん断			○	—	—	—	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(6/11)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にてまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器容器(中間支持型、コイル付)	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	○	—	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	(○)	—	(○)	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	○	—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—
			せん断	○	—	○	—
	冷却コイル	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	○	—	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器円筒形パルスラム	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	パルスレグ	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	○	—	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—
			せん断	○	—	○	—

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(7/11)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素法等を用いて評価を行う機器 グローブボックス	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)		—	○	—
			せん断	○		—	○	—
			圧縮	(○)		—	○	—
			曲げ	(○)		—	○	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
		せん断	×		×	③		
		曲げ	×		×	③		
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
		座屈	○		—	○	—	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		—	○	—	
		せん断	○		—	○	—	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 チャンネルボックス切断装置	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)		—	○	—
			せん断	(○)		—	○	—
			圧縮	(○)		—	(○)	—
			曲げ	(○)		—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
		せん断	×		×	③		
		曲げ	×		×	③		
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		—	○	—	
		せん断	○		—	○	—	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 パーナブルポイズン切断装置	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)		—	○	—
			せん断	(○)		—	○	—
			圧縮	(○)		—	(○)	—
			曲げ	(○)		—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
		せん断	×		×	③		
		曲げ	×		×	③		
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		—	○	—	
		せん断	○		—	○	—	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(8/11)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にてまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 クレーン	フレーム (支持構造物(ボルト以外))	一次応力	引張	(○)		—	○	—
			せん断	(○)		—	○	—
			圧縮	(○)		—	×	—
			曲げ	(○)		—	×	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		×	③	
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	転倒防止機構 (支持構造物(ボルト以外))	一次応力	引張	(○)		—	×	—
			せん断	○		—	○	—
			圧縮	(○)		—	×	—
			曲げ	(○)		—	○	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		×	③	
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	レール	一次応力	引張	(○)		—	—	—
			せん断	(○)		—	—	—
圧縮			(○)		—	—	—	
曲げ			(○)		—	—	—	
支圧			×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①		
組合せ			○		—	—	—	
一次+二次応力		引張 圧縮	×		—	③		
		せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③		
		曲げ	×		—	③		
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①		
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(9/11)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 バスケット搬送機	フレーム	一次応力	引張	(○)		—	○	—
			せん断	(○)		—	○	—
			圧縮	(○)		—	×	—
			曲げ	(○)		—	×	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		×	③	
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	転倒防止機構	一次応力	引張	(○)		—	×	—
			せん断	(○)		—	○	—
			圧縮	(○)		—	×	—
			曲げ	(○)		—	○	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		×	③	
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	レール	一次応力	引張	×	構造として引張力を負担しない構造であり、引張応力は生じないため。	—	—	①
			せん断	○		—	—	—
圧縮			×	構造として圧縮力を負担しない構造であり、圧縮応力は生じないため。	—	—	①	
曲げ			×	構造として曲げ応力を負担しない構造であり、曲げ応力は生じないため。	—	—	①	
支圧			×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	—	①	
組合せ			×	組み合わせる荷重が生じないため評価を省略する。	—	—	①	
一次+二次応力		引張 圧縮	×		—	③		
		せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③		
		曲げ	×		—	③		
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①		
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(10/11)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器シュート	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	○	—	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	(○)	—	(○)	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	○	—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—
せん断	×	構造としてせん断力が作用しない構造であり、せん断応力は生じないため。			×	③	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器防護設備	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	—	
			せん断	(○)	—	—	
			圧縮	(○)	—	—	
			曲げ	(○)	—	—	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	○	—	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
			せん断	×		—	③
			曲げ	×		—	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
			支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—
せん断	○	—			—		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(11/11)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。
		一次応力	一次+二次応力				
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器換気ボックス	缶体	一次応力	引張	(○)		—	—
			せん断	(○)		—	—
			圧縮	(○)		—	—
			曲げ	(○)		—	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	○		—	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
			せん断	×		—	③
			曲げ	×		—	③
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)		—	—
			せん断	○		—	—
			圧縮	(○)		—	—
			曲げ	(○)		—	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	○		—	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
			せん断	×		—	③
			曲げ	×		—	③
			支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		—	—	
		せん断	○		—	—	

*1:別紙-1-3「③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(火災防護設備)(1/2)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①:構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②:規格基準上、要求されていない。 ③:他の応力分類にて代表できる。
		一次応力	二次応力				
定式化された計算式を用いて行う機器 火災防護設備 火災感知器	取付ボルト	一次応力	引張	○		—	—
			せん断	○		—	—
定式化された計算式を用いて行う機器 火災防護設備 火災受信器盤	取付ボルト	一次応力	引張	○		—	—
			せん断	○		—	—
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 火災感知設備 火災感知器	取付ボルト	一次応力	引張	○		—	—
			せん断	○		—	—
	基礎ボルト	一次応力	引張	○		—	—
			せん断	○		—	—
	支持構造物	一次応力	引張	(○)		—	—
			せん断	(○)		—	—
			圧縮	(○)		—	—
			曲げ	(○)		—	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	○		—	—
	一次+二次応力	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
			せん断	×		—	③
			曲げ	×		—	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
座屈			×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 火災防護設備 消火設備	支持構造物	一次応力	引張	(○)		—	—
			せん断	(○)		—	—
			圧縮	(○)		—	—
			曲げ	(○)		—	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	○		—	—
	一次+二次応力	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
			せん断	×		—	③
			曲げ	×		—	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
	取付ボルト	一次応力	引張	○		—	—
			せん断	○		—	—
	基礎ボルト	一次応力	引張	○		—	—
せん断			○		—	—	
定式化された式を用いて評価を行う機器 消火設備	基礎ボルト	一次応力	引張	○		—	—
			せん断	○		—	—

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(火災防護設備)(2/2)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。		
標準支持間隔	配管	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	—	③		
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	—	—		
		一次+二次応力	○	—	—	—		
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合疲労評価は不要。	—	—		
	支持構造物	一次応力	引張	○	—	—	—	
			せん断	○	—	—	—	
			圧縮	○	—	—	—	
			曲げ	○	—	—	—	
			支圧	○	—	—	—	
			組合せ	○	—	—	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	(○)	—	—	—	—
			せん断	(○)	—	—	—	—
			曲げ	(○)	—	—	—	—
			支圧	(○)	—	—	—	—
		座屈	(○)	—	—	—		
構造強度を確保できることを加振試験の結果を踏まえて評価を行う機器 火災防護設備 消火設備	配管	一次一般膜応力	○	加振試験により配管の機能維持確認済加速度が、配管が設置されている箇所のFRSを上回っていることを確認している。	—	—		
		一次応力(曲げ応力を含む)	○		—	—		
		一次+二次応力	○		—	—		
		一次+二次+ピーク応力	○		—	—		

*1:別紙-1-3「③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(溢水対策設備)(1/3)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。
防水扉	板材	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
	補強材	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
	アンカーボルト	一次応力	引張	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
	ヒンジ板	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			圧縮	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
			組合せ	○	-	-	-
	ヒンジピン	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
			組合せ	○	-	-	-
	ヒンジボルト	一次応力	せん断	○	-	-	-
締付装置	一次応力	曲げ	○	-	-	-	
		せん断	○	-	-	-	
		組合せ	○	-	-	-	
水密扉	板材	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
	補強材	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
	アンカーボルト	一次応力	引張	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
	ヒンジ板	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			圧縮	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
			組合せ	○	-	-	-
	ヒンジピン	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	-
			組合せ	○	-	-	-
	ヒンジボルト	一次応力	せん断	○	-	-	-
締付装置	一次応力	曲げ	○	-	-	-	
		せん断	○	-	-	-	
		組合せ	○	-	-	-	
締付装置受けピン	一次応力	曲げ	○	-	-	-	
		せん断	○	-	-	-	
		組合せ	○	-	-	-	
締付装置受けボルト	一次応力	組合せ	○	-	-	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(溢水対策設備)(2/3)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	二次応力					
堰	板材	一次応力	曲げ	○	-	-	-	
			せん断	○	-	-	-	
	バックリブ	一次応力	圧縮	○	-	-	-	
			曲げ	○	-	-	-	
			せん断	○	-	-	-	
			組合せ	○	-	-	-	
	アンカーボルト	一次応力	引張	○	-	-	-	
			せん断	○	-	-	-	
			組合せ	○	-	-	-	
床ドレン逆止弁	弁本体	一次応力	引張	○	-	-	-	
			曲げ	○	-	-	-	
			組合せ	○	-	-	-	
	フロートガイド	一次応力	引張	○	-	-	-	
			曲げ	○	-	-	-	
			組合せ	○	-	-	-	
	ツバ	一次応力	引張	○	-	-	-	
			曲げ	○	-	-	-	
			組合せ	○	-	-	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 矩形型設備	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	-	-	
			せん断	○	-	-	-	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 防護設備	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	-	-	-	
			せん断	(○)	-	-	-	
			圧縮	(○)	-	-	-	
			曲げ	(○)	-	-	-	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	-	-	①
			組合せ	○	-	-	-	
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	-	-	③	
		せん断	×		-	-	③	
		曲げ	×		-	-	③	
		支圧	×		支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	-	-	①
		座屈	×		有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	-	-	③
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	-	-	-		
		せん断	○	-	-	-		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(溢水対策設備)(3/3)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。		
標準支持間隔	配管	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	—	③		
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	—	—		
		一次+二次応力	○	—	—	—		
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合疲労評価は不要。	—	—		
	支持構造物	一次応力	引張	○	—	—	—	
			せん断	○	—	—	—	
			圧縮	○	—	—	—	
			曲げ	○	—	—	—	
			支圧	○	—	—	—	
			組合せ	○	—	—	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	(○)	—	—	—	—
			せん断	(○)	—	—	—	—
			曲げ	(○)	—	—	—	—
			支圧	(○)	—	—	—	—
座屈	(○)	—	—	—	—			
多質点系はりモデル	配管	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	—	③		
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	—	—		
		一次+二次応力	○	—	—	—		
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合疲労評価は不要。	—	—		
	支持構造物	一次応力	引張	○	—	—	—	
			せん断	○	—	—	—	
			圧縮	○	—	—	—	
			曲げ	○	—	—	—	
			支圧	○	—	—	—	
			組合せ	○	—	—	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	(○)	—	—	—	—
			せん断	(○)	—	—	—	—
			曲げ	(○)	—	—	—	—
			支圧	(○)	—	—	—	—
座屈	(○)	—	—	—	—			

*1:別紙-1-3f「③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(1/4)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 下端支持容器 スカート支持たて置円筒形容器	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)	×	一次膜応力+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じになるため評価を省略する。	×	③	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	(○)	—	(○)	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	—	○	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		○	—	○	—	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—
せん断			○	—	○	—	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 片側支持容器 横置一胴円筒形容器	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	○	—	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	(○)	—	(○)	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	—	○	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—
せん断			○	—	○	—	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
		せん断	○	—	○	—	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
		せん断	○	—	○	—	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
		せん断	○	—	○	—	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(2/4)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 胴部支持容器 平底たて置円筒形容器	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	○	—	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	(○)	—	(○)	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		一次+二次応力	組合せ	○	—	○	—
			引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③			
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
		せん断	○	—	○	—	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 架構設備	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	○	—	○	—
			せん断	○	—	○	—
			圧縮	○	—	○	—
			曲げ	○	—	○	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 貯蔵ラック	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	○	—
			せん断	(○)	—	○	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	—	○	—	
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
		せん断	×		×	③	
		曲げ	×		×	③	
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
		せん断	○	—	○	—	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(3/4)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 仮置き架台	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)		—	○	—
			せん断	(○)		—	○	—
			圧縮	(○)		—	(○)	—
			曲げ	(○)		—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
		せん断	×		×	③		
		曲げ	×		×	③		
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		—	○	—
せん断			○		—	○	—	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 冷却塔	伝熱管(配管)	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③		
		一次応力(曲げ応力を含む)	○		—	○	—	
		一次+二次応力	○		—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○*	—		
	取付ボルト*2 (支持構造物(ボルト等))	一次応力	引張	○		—	○	—
			せん断	○		—	○	—
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	○		—	○	—
			せん断	○		—	○	—
			圧縮	○		—	○	—
			曲げ	○		—	○	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
一次+二次応力		引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
		せん断	×		×	③		
		曲げ	×		×	③		
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		—	○	—	
		せん断	○		—	○	—	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(4/4)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。		
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器環状形槽容器(中間支持型、振れ止め付)	容器	一次一般膜応力	○	—	○	—		
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	○	—		
		一次+二次応力	○	—	○	—		
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合、疲労評価は不要。	○※	—		
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—	
			せん断	(○)	—	(○)	—	
			圧縮	(○)	—	(○)	—	
			曲げ	(○)	—	(○)	—	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
		組合せ	○	—	○	—		
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
			せん断	○	—	○	—	
	標準支持間隔	配管	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
一次応力(曲げ応力を含む)			○	—	○	—		
一次+二次応力			○	—	○	—		
一次+二次+ピーク応力			○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合疲労評価は不要。	○※	—		
支持構造物		一次応力	引張	○	—	—	—	
			せん断	○	—	—	—	
			圧縮	○	—	—	—	
			曲げ	○	—	—	—	
			支圧	○	—	—	—	
		組合せ	○	—	—	—		
		一次+二次応力	引張 圧縮	(○)	—	—	—	—
			せん断	(○)	—	—	—	—
			曲げ	(○)	—	—	—	—
			支圧	(○)	—	—	—	—
座屈	(○)		—	—	—	—		

*1:別紙-1-3「③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(1/2)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 クレーン	フレーム	一次応力	引張	(○)		—	×	—
			せん断	(○)		—	○	—
			圧縮	(○)		—	×	—
			曲げ	(○)		—	○	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		×	③	
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	転倒防止機構	一次応力	引張	(○)		—	×	—
			せん断	○		—	○	—
			圧縮	(○)		—	×	—
			曲げ	(○)		—	○	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		×	③	
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	レール	一次応力	引張	(○)		—	—	—
			せん断	(○)		—	—	—
圧縮			(○)		—	—	—	
曲げ			(○)		—	—	—	
支圧			×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①		
組合せ			○		—	—	—	
一次+二次応力		引張 圧縮	×		—	③		
		せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③		
		曲げ	×		—	③		
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①		
	座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③			

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(2/2)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工記載のSe評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器移送台車	フレーム	一次応力	引張	(○)		—	○	—
			せん断	○		—	○	—
			圧縮	(○)		—	×	—
			曲げ	(○)		—	×	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		×	③	
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	転倒防止機構	一次応力	引張	(○)		—	×	—
			せん断	○		—	○	—
			圧縮	(○)		—	×	—
			曲げ	(○)		—	○	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×		×	③	
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			曲げ	×		×	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
座屈			×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
レール	一次応力	引張	○		—	○	—	
		せん断	×	構造としてせん断力が作用しない構造であり、せん断応力は生じないため。	×	①		
		(組合せ)	×	組み合わせる荷重が生じないため評価を省略する。	×	③		

*1:別紙-1-3「③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(火災防護設備)(1/2)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。
		一次応力	二次応力				
定式化された計算式を用いて行う機器 火災防護設備 火災感知器	取付ボルト	一次応力	引張	○		—	—
			せん断	○		—	—
定式化された計算式を用いて行う機器 火災防護設備 火災受信器盤	取付ボルト	一次応力	引張	○		—	—
			せん断	○		—	—
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 火災感知設備 火災感知器	取付ボルト	一次応力	引張	○		—	—
			せん断	○		—	—
	基礎ボルト	一次応力	引張	○		—	—
			せん断	○		—	—
	基礎溶接部	一次応力	引張	×	引張評価については、当該溶接部には引張応力が作用しないため省略。	—	①
			せん断	○		—	—
			圧縮	×	圧縮評価については、当該溶接部には圧縮応力が作用しないため省略。	—	①
			曲げ	×	曲げ評価については、当該溶接部には曲げ応力が作用しないため省略。	—	①
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	×	組合せ評価については、圧縮応力及び曲げ応力が作用しないため省略。	—	①
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
			せん断	×		—	③
			曲げ	×	—	③	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
	支持構造物	一次応力	引張	(○)		—	—
			せん断	(○)		—	—
			圧縮	(○)		—	—
			曲げ	(○)		—	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	○		—	—
一次+二次応力		引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③	
		せん断	×		—	③	
		曲げ	×	—	③		
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①	
座屈	座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(火災防護設備)(2/2)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①:構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②:規格基準上、要求されていない。 ③:他の応力分類にて代表できる。
		一次応力	一次+二次応力				
有限要素モデル等を用いて行う機器 火災防護設備 消火設備	支持構造物	一次応力	引張	(○)		-	-
			せん断	(○)		-	-
			圧縮	(○)		-	-
			曲げ	(○)		-	-
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	-	①
			組合せ	○		-	-
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	-	③	
		せん断	×		-	③	
		曲げ	×		-	③	
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	-	①	
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	-	③	
	取付ボルト	一次応力	引張	○		-	-
			せん断	○		-	-
	基礎ボルト	一次応力	引張	○		-	-
せん断			○		-	-	
定式化された式を用いて評価を行う機器 消火設備	基礎ボルト	一次応力	引張	○		-	-
			せん断	○		-	-
標準支持間隔	配管	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	-	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○		-	-	
		一次+二次応力	○		-	-	
		一次+二次+ピーク応力	○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合疲労評価は不要。	-	-	
	支持構造物	一次応力	引張	○		-	-
			せん断	○		-	-
			圧縮	○		-	-
			曲げ	○		-	-
			支圧	○		-	-
			組合せ	○		-	-
		一次+二次応力	引張 圧縮	(○)		-	-
			せん断	(○)		-	-
			曲げ	(○)		-	-
			支圧	(○)		-	-
座屈	(○)		-	-			
構造強度を確保できることを加振試験の結果を踏まえて評価を行う機器 火災防護設備 消火設備	配管	一次一般膜応力	○	加振試験により配管の機能維持確認済加速度が、配管が設置されている箇所のFRSを上回っていることを確認している。	-	-	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○		-	-	
		一次+二次応力	○		-	-	
		一次+二次+ピーク応力	○		-	-	

*1:別紙-1-3f③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(溢水対策設備)(1/3)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。
防水扉	板材	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			補強材	一次応力	曲げ	○	-
				せん断	○	-	-
	アンカーボルト	一次応力	引張	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	
	ヒンジ板	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			圧縮	○	-	-	
			せん断	○	-	-	
			組合せ	○	-	-	
	ヒンジピン	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	
			組合せ	○	-	-	
	ヒンジボルト	一次応力	せん断	○	-	-	-
	締付装置	一次応力	曲げ	○	-	-	-
せん断			○	-	-		
組合せ			○	-	-		
水密扉	板材	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			補強材	一次応力	曲げ	○	-
				せん断	○	-	-
	アンカーボルト	一次応力	引張	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	
	ヒンジ板	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			圧縮	○	-	-	
			せん断	○	-	-	
			組合せ	○	-	-	
	ヒンジピン	一次応力	曲げ	○	-	-	-
			せん断	○	-	-	
			組合せ	○	-	-	
	ヒンジボルト	一次応力	せん断	○	-	-	-
	締付装置	一次応力	曲げ	○	-	-	-
せん断			○	-	-		
組合せ			○	-	-		
締付装置受けピン	一次応力	曲げ	○	-	-	-	
		せん断	○	-	-		
		組合せ	○	-	-		
締付装置受けボルト	一次応力	組合せ	○	-	-	-	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(溢水対策設備)(2/3)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	二次応力					
堰	板材	一次応力	曲げ	○		-	-	
			せん断	○		-	-	
	バックリブ	一次応力	圧縮	○		-	-	
			曲げ	○		-	-	
			せん断	○		-	-	
			組合せ	○		-	-	
	アンカーボルト	一次応力	引張	○		-	-	
			せん断	○		-	-	
			組合せ	○		-	-	
床ドレン逆止弁	弁本体	一次応力	引張	○		-	-	
			曲げ	○		-	-	
			組合せ	○		-	-	
	フロートガイド	一次応力	引張	○		-	-	
			曲げ	○		-	-	
			組合せ	○		-	-	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器剛体設備フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		-	-	
			せん断	○		-	-	
標準支持間隔	配管	一次一般膜応力		×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	-	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)		○		-	-	
		一次+二次応力		○		-	-	
		一次+二次+ピーク応力		○※	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合疲労評価は不要。	-	-	
	支持構造物	一次応力	引張		○		-	-
			せん断		○		-	-
			圧縮		○		-	-
			曲げ		○		-	-
			支圧		○		-	-
			組合せ		○		-	-
		一次+二次応力	引張 圧縮		(○)		-	-
			せん断		(○)		-	-
			曲げ		(○)		-	-
			支圧		(○)		-	-
			座屈		(○)		-	-

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(溢水対策設備)(3/3)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。		
多質点系はりモデル	配管	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	—	③		
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	—	—		
		一次+二次応力	○	—	—	—		
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合疲労評価は不要。	—	—		
	支持構造物	一次応力	引張	○	—	—	—	
			せん断	○	—	—	—	
			圧縮	○	—	—	—	
			曲げ	○	—	—	—	
			支圧	○	—	—	—	
			組合せ	○	—	—	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	(○)	—	—	—	—
			せん断	(○)	—	—	—	—
			曲げ	(○)	—	—	—	—
			支圧	(○)	—	—	—	—
		座屈	(○)	—	—	—		

*1:別紙-1-3「③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設)(1/2)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「○」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①:構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②:規格基準上、要求されていない。 ③:他の応力分類にて代表できる。		
		一次応力	一次+二次応力						
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器貯蔵ピット	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)		—	(○)	—	
			せん断	(○)		—	(○)	—	
			圧縮	(○)		—	(○)	—	
			曲げ	(○)		—	(○)	—	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
			組合せ	○		—	○	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
			せん断	×		×	③		
			曲げ	×		×	③		
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器遮蔽容器付クレーン	しゃへい容器支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)		—	○	—	
			せん断	(○)		—	○	—	
			圧縮	(○)		—	○	—	
			曲げ	(○)		—	○	—	
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
			組合せ	○		—	○	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
			せん断	×		×	③		
			曲げ	×		×	③		
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①		
			座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		
	しゃへい容器支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		—	○	—	
			せん断	×	構造としてせん断力が作用しない構造であり、せん断応力は生じないため。	×	①		
		フレーム	一次応力	引張	(○)		—	○	—
				せん断	(○)		—	○	—
				圧縮	(○)		—	○	—
曲げ	(○)				—	○	—		
支圧	×			支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①			
組合せ	○				—	○	—		
一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③				
	せん断	×		×	③				
	曲げ	×		×	③				
	支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①				
	座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③				

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設)(2/2)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「○」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力	一次+二次応力					
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 遮蔽容器付クレーン(つづき)	転倒防止機構	一次応力	引張	(○)		—	○	—
			せん断	(○)		—	○	—
			圧縮	(○)		—	○	—
			曲げ	(○)		—	○	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
			曲げ	×	×	③		
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
	レール	一次応力	引張	(○)		—	○	—
			せん断	(○)		—	○	—
			圧縮	(○)		—	○	—
			曲げ	(○)		—	○	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 測定装置	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)		—	○	—
			せん断	(○)		—	○	—
			圧縮	(○)		—	○	—
			曲げ	(○)		—	○	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
			組合せ	○		—	○	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
			せん断	×		×	③	
			曲げ	×	×	③		
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○		—	—	—	
		せん断	○		—	—	—	

*1:別紙-1-3f③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(1/1)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「○」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既設工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。
		一次応力	一次+二次応力				
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 躯体付設備 躯体付構造設備	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	×	構造として引張力を負担しない構造であり、引張応力は生じないため。	×	①
			せん断	○	—	○	—
			圧縮	×	構造として圧縮力を負担しない構造であり、圧縮応力は生じないため。	×	①
			曲げ	×	構造として曲げ応力を負担しない構造であり、曲げ応力は生じないため。	×	①
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
			組合せ	×	組み合わせる荷重が生じないため評価を省略する。	×	①
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×		×	③
			曲げ	×		×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	

*1:別紙-1-3「③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故対処設備)(1/1)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
		一次応力						
定式化された計算式を用いて評価を行う機器剛体設備 フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—	
			せん断	○	—	—	—	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器剛体設備 横軸ポンプ	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—	
			せん断	○	—	—	—	
定式化された計算式を用いて評価を行う機器剛体設備 矩形型設備	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—	
			せん断	○	—	—	—	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 グローブボックス	缶体	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—	
			せん断	○	—	○	—	
			圧縮	(○)	—	(○)	—	
			曲げ	(○)	—	(○)	—	
			組合せ	○	—	○	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—	
			せん断	○	—	○	—	
			圧縮	(○)	—	(○)	—	
			曲げ	(○)	—	(○)	—	
			組合せ	○	—	○	—	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—	
			せん断	○	—	○	—	
	有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 グローブボックス消火装置	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	—	—
				せん断	(○)	—	—	—
				圧縮	(○)	—	—	—
曲げ				(○)	—	—	—	
組合せ				○	—	—	—	
支持構造物(ボルト等)		一次応力	引張	○	—	—	—	
			せん断	○	—	—	—	
標準支持間隔		配管	一次一般膜応力	×	—	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	—	③
			一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	—	—	—
			一次+二次応力	○	—	—	—	—
	一次+二次+ピーク応力		○*	—	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合疲労評価は不要。	—	—	
	ダクト	許容座屈曲げモーメント	引張	○	—	薄板構造としての特異性を考慮して座屈評価を行うため、一次一般膜応力、一次応力及び一次+二次応力の評価は省略。(記載は要検討)	—	—
			せん断	○	—	—	—	
	支持構造物	一次応力	引張	○	—	—	—	—
			せん断	○	—	—	—	—
			圧縮	○	—	—	—	—
			曲げ	○	—	—	—	—
			支圧	○	—	—	—	—
			組合せ	○	—	—	—	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	(○)	—	—	—	—
せん断			(○)	—	—	—	—	
曲げ			(○)	—	—	—	—	
		支圧	(○)	—	—	—		
		座屈	(○)	—	—	—		

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(1/3)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (股工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にてまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にてまとめて評価を実施 —:既工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。
		一次応力	一次+二次応力				
定式化された計算式を用いて評価を行う機器剛体設備 横軸ポンプ	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 グローブボックス	缶体	一次応力	引張	(○)	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
			圧縮	(○)	—	—	—
			曲げ	(○)	—	—	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	○	—	—	—
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③	
		せん断	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③	
		曲げ	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③	
		支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①	
		座屈	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③	
		組合せ	○	—	—	—	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
圧縮			(○)	—	—	—	
曲げ			(○)	—	—	—	
支圧			×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①	
組合せ			○	—	—	—	
一次+二次応力	引張 圧縮	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③		
	せん断	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③		
	曲げ	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③		
	支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①		
	座屈	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③		
支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—	
		せん断	○	—	—	—	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(2/3)

対象	耐震評価部位 ^{*1}	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか？ (既工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。
		一次応力	一次+二次応力				
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 ラック/ピット/柵	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
			圧縮	○	—	—	—
			曲げ	○	—	—	—
			支圧	×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	○	—	—	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			せん断	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			曲げ	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			支圧	×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
	容器落下防止機構	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	①
			圧縮	×	構造として圧縮が作用しない構造であり、圧縮応力は生じないため	—	—
			曲げ	○	—	—	—
			支圧	×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	×	組み合わせる荷重が生じないため評価を省略する。	—	①
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
			せん断	×		—	③
曲げ			×	—		③	
支圧			×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。		—	①
		座屈	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③	

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(波及的影響を考慮する施設)(3/3)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (股工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器搬送装置	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
			圧縮	○	—	—	—
			曲げ	○	—	—	—
			支圧	×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	○	—	—	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			せん断	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			曲げ	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			支圧	×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
	座屈		×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
	転倒防止機構	一次応力	曲げ	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
容器落下防止機構	一次応力	引張	○	—	—	—	
		せん断	○	—	—	①	
		圧縮	×	構造として圧縮が作用しない構造であり、圧縮応力は生じないため	—	—	
		曲げ	○	—	—	—	
		支圧	×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①	
		組合せ	×	組み合わせる荷重が生じないため評価を省略する。	—	①	
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③	
		せん断	×		—	③	
		曲げ	×		—	③	
		支圧	×		支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。		—	③	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器遮蔽設備	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
			圧縮	○	—	—	—
			曲げ	○	—	—	—
			支圧	×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	○	—	—	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			せん断	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			曲げ	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			支圧	×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
	座屈		×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③	
転倒防止機構	一次応力	曲げ	○	—	—	—	
		せん断	○	—	—	—	
防火シャッター							

*1:別紙-1-3「③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(火災防護設備)(1/1)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 ポンプユニット	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	—	—
			せん断	(○)	—	—	—
			圧縮	(○)	—	—	—
			曲げ	(○)	—	—	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
			組合せ	○	—	—	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			せん断	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			曲げ	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
	座屈		×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
	有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 選択弁ユニット	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	—
せん断				(○)	—	—	—
圧縮				(○)	—	—	—
曲げ				(○)	—	—	—
支圧				×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
組合せ				○	—	—	—
一次+二次応力			引張 圧縮	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			せん断	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			曲げ	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
		座屈	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	—	③	
支持構造物(ボルト等)		一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 制御盤		支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—
	せん断			○	—	—	—
標準支持間隔	配管	一次一般膜応力	×	一次一般膜応力より、一次応力が厳しい評価となるため、一次一般膜応力の評価は省略。	×	③	
		一次応力(曲げ応力を含む)	○	—	○	—	
		一次+二次応力	○	—	○	—	
		一次+二次+ピーク応力	○*	※:規格基準(JEAG4601・補1984)に従い、一次+二次応力で求めた応力範囲が2Sy以下であることを確認している場合疲労評価は不要。	○	—	
	ダクト	許容座屈曲げモーメント	○	薄板構造としての特殊性を考慮して座屈評価を行うため、一次一般膜応力、一次応力及び一次+二次応力の評価は省略。(記載は要検討)	○	—	
	支持構造物	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
			圧縮	○	—	—	—
			曲げ	○	—	—	—
			支圧	○	—	—	—
			組合せ	○	—	—	—
		一次+二次応力	引張 圧縮	(○)	—	—	—
			せん断	(○)	—	—	—
			曲げ	(○)	—	—	—
支圧			(○)	—	—	—	
座屈	(○)	—	—	—			

*1:別紙-1-3「③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(地震時に単一ユニット間距離の確保が必要な設備)(1/1)

対象	耐震評価部位*1	許容限界	許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にまとめて評価している場合「(○)」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にまとめて評価を実施 —:既工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。	
有限要素モデル等を用いて評価を行う機器 ラック/ビット/棚	ガイド管	一次応力	引張	(○)	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
			圧縮	(○)	—	—	—
			曲げ	(○)	—	—	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
		組合せ	○	—	—	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
			曲げ	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	—	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	—	③	
	支持構造物(ボルト以外)	一次応力	引張	(○)	—	(○)	—
			せん断	○	—	○	—
			圧縮	(○)	—	(○)	—
			曲げ	(○)	—	(○)	—
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
		組合せ	○	—	○	—	
		一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			曲げ	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③
			支圧	×	支圧評価についてはピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①
	座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	○	—
			せん断	○	—	○	—
	架台溶接部	一次応力	引張	×	引張評価については、当該溶接部には引張応力が作用し無いため省略。	—	①
			せん断	○	—	—	—
	フレーム	一次応力	引張	○	—	○	—
せん断			○	—	○	—	
圧縮			○	—	○	—	
曲げ			○	—	○	—	
支圧			×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
組合せ		○	—	○	—		
一次+二次応力		引張 圧縮	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	×	③	
		せん断	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	×	③	
		曲げ	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	×	③	
		支圧	×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
	座屈	×	自重による荷重も含めた一次応力評価に包絡されているため省略。	×	③		
ガイドローラ軸	一次応力	引張	○	—	○	—	
		せん断	○	—	○	①	
		圧縮	×	構造として圧縮が作用しない構造であり、圧縮応力は生じないため	×	—	
		曲げ	○	—	○	—	
		支圧	×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
	組合せ	×	組み合わせる荷重が生じないため評価を省略する。	×	①		
	一次+二次応力	引張 圧縮	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
		せん断	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
		曲げ	×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③	
		支圧	×	支圧評価については、ピン、すべり支承、ローラ支承等の接触部が対象となり、このような接触部がないため省略。	×	①	
座屈		×	有意な二次応力が生じず、地震のみによる一次+二次応力は、自重による応力を含む一次応力評価に包絡されるため省略。	×	③		

*1:別紙-1-3「③耐震評価部位」に示すものである。

評価対象施設の評価項目(応力分類)の選定結果
(閉じ込め機能を有する設備)(1/1)

対象	耐震評価部位*1	許容限界		許容限界に記載されている応力分類を評価しているか? (設工認記載のSs評価を対象とする。) (評価する場合「○」、省略している場合「×」、組合せ応力他にてまとめて評価している場合「○」)	左記で省略している場合、省略理由を記載	既設工認での実施の有無 ○:実施有 ×:実施無 (○):組合せ応力他にてまとめて評価を実施 —:既工認対象外	省略理由分類 ①構造上、当該応力が生じる部位がない。 ②規格基準上、要求されていない。 ③他の応力分類にて代表できる。
		一次応力					
定式化された計算式を用いて評価を行う機器 剛体設備 横軸ポンプ	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—
	支持構造物(ボルト等)	一次応力	引張	○	—	—	—
			せん断	○	—	—	—

*1:別紙-1-3「③耐震評価部位」に示すものである。

別紙－2－1

既設工認との手法の相違点 整理一覧表
(建物・構築物)

■燃料加工建屋

評価対象設備	評価部位	既設工認と今回設工認の比較												他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数				その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○: 共通適用例あり □: 個別適用例あり ×: 適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であること理由)
		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容							
		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	設工認	解析種別	内容	○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	設工認	解析種別	方向	内容	○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	設工認	解析種別	内容	○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	設工認	解析種別				
Sクラス施設	重要区域の壁	(応答解析) (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	- -	(応答解析) (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	水平 鉛直	- -	-	既設工認	応答解析 応力解析	- -	-	既設工認	応答解析 応力解析				
	重要区域の天井・床スラブ	(応答解析) (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	- -	(応答解析) (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	水平 鉛直	- -	-	既設工認	応答解析 応力解析	- -	-	既設工認	応答解析 応力解析	- -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) - (その他) -	東海第二中央制御室遮蔽、柏崎刈羽7号機中央制御室遮蔽を参照	-
間接支持構造物	耐震壁	(応答解析) (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	時刻歴応答解析(Ss) -	(応答解析) (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	水平 鉛直	多質点系SRモデル 多質点系SRモデル	○	既設工認	応答解析 応力解析	・コンクリート: 3% -	●	既設工認	応答解析 応力解析	■側面ばね ・考慮せず -	(解析手法) 時刻歴応答解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) × (その他) ○	東海第二原子炉格納施設、柏崎刈羽7号機原子炉区域(二次格納施設)を参照	○ (JEAG4601-1987では5%が慣用的な値とされているが、既設工認における設定を踏まえ、3%としている。)
	基礎スラブ	(応答解析) (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	- 静的応力解析(Ss)	(応答解析) (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	水平 鉛直	- FEMモデル(弾性応力解析)	-	既設工認	応答解析 応力解析	- -	-	既設工認	応答解析 応力解析	- -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) - (その他) -	東海第二原子炉建屋を参照	-

※1: 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

■燃料加工建屋以外の建物・構築物(屋外重要土木構造物以外)

評価対象設備	評価部位	既設工認と今回設工認の比較												他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることの理由)				
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容									
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 方向 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容								
セル等の壁	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	水平	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) ○ (その他) -	(解析手法) 時刻歴応答解析及び静的解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) 減衰定数は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (その他)	東海第二原子炉格納施設、柏崎刈羽7号機原子炉建屋原子炉区域(二次格納施設)、柏崎刈羽7号機中央制御室遮蔽を参照	○ (再処理施設及び廃棄物管理追施設における建物・構築物が、発電用原子炉施設と同様に、多数の壁を有する壁式鉄筋コンクリート造であることを踏まえ、JEA4601-1987に記載があり、発電用原子炉施設における適用実績を有する減衰定数を採用可能と判断)
			応力解析	静的応力解析(S1)			応力解析	水平	-			応力解析	-			応力解析	-				
		今回設工認	応答解析	時刻歴応答解析(Ss)	応答解析	水平	多質点系SRモデル	応答解析	鉛直	多質点系SRモデル	応答解析	鉛直	コンクリート:5%	応答解析	-	応答解析	-				
			応力解析	静的応力解析(Sd)	応力解析	水平	-	応力解析	鉛直	-	応力解析	鉛直	-	応力解析	-						
セル等の床	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	水平	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) ○ (その他) -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) (その他)	東海第二中央制御室遮蔽、柏崎刈羽7号機中央制御室遮蔽を参照	-
			応力解析	静的応力解析(S1)			応力解析	鉛直	四辺固定版、三辺固定一辺自由版、一方向版、片持ち版			応力解析	-			応力解析	-				
		今回設工認	応答解析	-	応答解析	水平	-	応答解析	鉛直	-	応答解析	鉛直	-	応答解析	-	応力解析	-				
			応力解析	静的応力解析(Ss, Sd)	応力解析	水平	-	応力解析	鉛直	四辺固定版、三辺固定一辺自由版、一方向版、片持ち版	応力解析	鉛直	-	応力解析	-						
緊急時対策所建屋の遮蔽設備の壁 緊急時対策所の壁	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	水平	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) ○ (その他) -	(解析手法) 時刻歴応答解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) 減衰定数は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (その他)	東海第二原子炉格納施設、柏崎刈羽7号機原子炉建屋原子炉区域(二次格納施設)を参照	○ (再処理施設及び廃棄物管理追施設における建物・構築物が、発電用原子炉施設と同様に、多数の壁を有する壁式鉄筋コンクリート造であることを踏まえ、JEA4601-1987に記載があり、発電用原子炉施設における適用実績を有する減衰定数を採用可能と判断)
			応力解析	-			応力解析	水平	-			応力解析	鉛直			-	応力解析				
		今回設工認	応答解析	時刻歴応答解析(Ss)	応答解析	水平	多質点系SRモデル	応答解析	鉛直	多質点系SRモデル	応答解析	鉛直	コンクリート:5%	応答解析	-	応答解析	-				
			応力解析	-	応力解析	水平	-	応力解析	鉛直	-	応力解析	鉛直	-	応力解析	-						
緊急時対策所建屋の遮蔽設備の床 緊急時対策所の床	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	水平	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) ○ (その他) -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) (その他)	東海第二中央制御室遮蔽、柏崎刈羽7号機中央制御室遮蔽を参照	-
			応力解析	-			応力解析	水平	-			応力解析	鉛直			-	応力解析				
		今回設工認	応答解析	-	応答解析	水平	-	応答解析	鉛直	-	応答解析	鉛直	-	応答解析	-	応力解析	-				
			応力解析	静的応力解析(Ss)	応力解析	水平	-	応力解析	鉛直	四辺固定版、三辺固定一辺自由版、一方向版、片持ち版	応力解析	鉛直	-	応力解析	-						

■燃料加工建屋以外の建物・構築物(屋外重要土木構造物以外)

評価対象設備	評価部位	既設工認と今回工認の比較												他プラントでの適用例								
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○: 共通適用例あり □: 個別適用例あり ×: 適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であること理由)					
		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容										
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	方向		内容	設工認					解析種別	内容	設工認	解析種別	内容
Sクラス施設または常設耐震重要重大事故等対処設備	貯蔵区域の壁	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	水平	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) ○ (その他) -	(解析手法) 時刻歴応答解析及び静的解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) 減衰定数は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (その他)	東海第二原子炉格納施設、東海第二使用済燃料プール、柏崎刈羽7号機原子炉建屋屋上炉区域(二次格納施設)、柏崎刈羽7号機使用済燃料プールを参照	○ (再処理施設及び廃棄物管理施設における建物・構築物が、発電用原子炉施設と同様に、多数の壁を有する壁式鉄筋コンクリート造であることを踏まえ、JEA4601-1987に記載があり、発電用原子炉施設における適用実績を有する減衰定数を採用可能と判断)
				応力解析	静的応力解析(S1)			応力解析	鉛直	FEMモデル(弾性応力解析)			応力解析	-			応力解析	-				
		今回工認	応答解析	時刻歴応答解析(Ss)	応答解析	水平	多質点系SRモデル	応答解析	鉛直	多質点系SRモデル	応答解析	鉛直	5%	応答解析	-	応答解析	-					
			応力解析	静的応力解析(Sd)	応力解析	鉛直	FEMモデル(弾性応力解析)	応力解析	鉛直	-	応力解析	-	応力解析	-								
貯蔵区域の天井(鉄骨ばり)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	水平	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) ○ (その他) -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数)	東海第二使用済燃料プール、柏崎刈羽7号機使用済燃料プール、柏崎刈羽7号機原子炉建屋屋上炉区域(二次格納施設)を参照	-	
			応力解析	静的応力解析(S1)			応力解析	鉛直	■温度応力 FEMモデル(弾性応力解析) ■温度応力以外 単純梁モデル			応力解析	-			応力解析	-					応力解析
		今回工認	応答解析	-	応答解析	水平	-	応答解析	鉛直	-	応答解析	-	応答解析	-	応答解析	-						
			応力解析	静的応力解析(Ss, Sd)	応力解析	鉛直	■温度応力 FEMモデル(弾性応力解析) ■温度応力以外 単純梁モデル	応力解析	鉛直	-	応力解析	-	応力解析	-								
プールの壁及び床	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	水平	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) ○ (その他) -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数)	東海第二使用済燃料プール、柏崎刈羽7号機使用済燃料プールを参照	-	
			応力解析	静的応力解析(S1, S2)			応力解析	鉛直	FEMモデル(弾性応力解析)			応力解析	-			応力解析	-					応力解析
		今回工認	応答解析	-	応答解析	水平	-	応答解析	鉛直	-	応答解析	-	応答解析	-	応答解析	-						
			応力解析	静的応力解析(Ss, Sd)	応力解析	鉛直	FEMモデル(弾性応力解析)	応力解析	鉛直	-	応力解析	-	応力解析	-								
プールの天井	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	水平	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) ○ (その他) -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数)	東海第二使用済燃料プール、柏崎刈羽7号機使用済燃料プールを参照	-	
			応力解析	静的応力解析(S1)			応力解析	鉛直	FEMモデル(弾性応力解析)			応力解析	-			応力解析	-					応力解析
		今回工認	応答解析	-	応答解析	水平	-	応答解析	鉛直	-	応答解析	-	応答解析	-	応答解析	-						
			応力解析	静的応力解析(Ss, Sd)	応力解析	鉛直	FEMモデル(弾性応力解析)	応力解析	鉛直	-	応力解析	-	応力解析	-								

■燃料加工建屋以外の建物・構築物(屋外重要土木構造物以外)

評価対象設備	評価部位	既設工認と今回工認の比較												他プラントでの適用例													
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○: 共通適用例あり □: 個別適用例あり ×: 適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であること理由)										
		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容															
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 方向 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容														
Sクラス施設または常設耐震重要重大事故等対処設備	貯水槽の壁	(応答解析) -	既設工認	応答解析	-	(応答解析) -	既設工認	応答解析	水平	-	(応答解析) -	既設工認	応答解析					-	(応答解析) -	既設工認	応答解析	-	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) - (その他) -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) - (その他) -	東海第二原子炉建屋、東海第二中央制御室遮蔽、柏崎刈羽7号機原子炉建屋原子炉区域(二次格納施設)、柏崎刈羽7号機中央制御室遮蔽を参照	-	
				応力解析	-			応力解析	鉛直	-			応力解析	-	応力解析	-											
		(応力解析) -	今回設工認	応答解析	-	(応力解析) -	今回設工認	応答解析	水平	-	(応力解析) -	今回設工認	応答解析	-	(応力解析) -	今回設工認	応答解析	-									
				応力解析	静的応力解析(Ss)			応力解析	鉛直	-			応力解析	-			応力解析	-									
		貯水槽の床	(応答解析) -	既設工認	応答解析	-	(応答解析) -	既設工認	応答解析	水平	-	(応答解析) -	既設工認	応答解析	-	(応答解析) -	既設工認	応答解析	-	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) - (その他) -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) - (その他) -	東海第二原子炉建屋、柏崎刈羽7号機原子炉建屋を参照					-
					応力解析	-			応力解析	鉛直	-			応力解析	-			応力解析	-								
	(応力解析) -		今回設工認	応答解析	-	(応力解析) -	今回設工認	応答解析	水平	-	(応力解析) -	今回設工認	応答解析	-	(応力解析) -	今回設工認	応答解析	-									
				応力解析	静的応力解析(Ss)			応力解析	鉛直	-			応力解析	FEMモデル(弾性応力解析)			-	応力解析	-								
	主排気筒の筒身		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	時刻歴応答解析(S1)	(応答解析) ● (応力解析) ○	既設工認	応答解析	水平	FEMモデル(1/4モデル)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既設工認	応答解析	筒身: 1%	(応答解析) -	既設工認	応答解析	-				(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) - (その他) -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) 減衰定数は、東海第二工認で共通適用例のある手法 (その他) -	東海第二主排気筒、柏崎刈羽7号機主排気筒を参照	○ (再処理施設における主排気筒の筒身が、発電用原子炉施設と同様に、溶接構造であることを踏まえ、JEA4601-1987に記載があり、発電用原子炉施設における適用実績を有する減衰定数を採用可能と判断)	
					応力解析	静的応力解析(S1)			応力解析	鉛直	FEMモデル(弾性応力解析)			応力解析	-			応力解析	-								
		今回設工認	応答解析	時刻歴応答解析(Ss, Sd)	今回設工認	応答解析	水平	FEMモデル(弾性応力解析)	今回設工認	応答解析	筒身: 1%	(応力解析) -	今回設工認	応答解析	-												
			応力解析	静的応力解析(Ss, Sd)		応力解析	鉛直	FEMモデル(弾性応力解析)		応力解析	-			応力解析	-												

■燃料加工建屋以外の建物・構築物(屋外重要土木構造物以外)

評価対象設備	評価部位	既設工認と今回工認の比較												他プラントでの適用例																		
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数				その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○: 共通適用例あり □: 個別適用例あり ×: 適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であること理由)											
		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容		内容																		
		既設工認	解析種別	内容	既設工認	解析種別	方向	内容	既設工認	解析種別	内容	既設工認	解析種別		内容																	
耐震壁	(応答解析) ○ (応力解析) -	既設工認	応答解析	時刻歴応答解析(S2)	既設工認	応答解析	水平	多質点系SRモデル	(応答解析) ○ (応力解析) -	既設工認	応答解析	-	コンクリート: 5%		既設工認	応答解析	■側面ばね ・考慮せず ■非線形性 ・考慮せず					(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) ○ (その他) ○	(解析手法) 時刻歴応答解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) 減衰定数は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (その他) 非線形性の考慮は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法	東海第二原子炉格納施設、柏崎刈羽7号機原子炉建屋原子炉区域(二次格納施設)を参照	○ (再処理施設及び廃棄物管理追跡施設における建物・構築物が、発電用原子炉施設と同様に、多数の壁を有する壁式鉄筋コンクリート造であることを踏まえ、JEA4601-1987に記載があり、発電用原子炉施設における適用実績を有する減衰定数を採用可能と判断)							
			応力解析	-		応力解析	鉛直	-			応力解析	鉛直	-	応力解析		-																
		今回工認	応答解析	時刻歴応答解析(Ss)	今回工認	応答解析	水平	多質点系SRモデル		今回工認	応答解析	鉛直	多質点系SRモデル	今回工認	応答解析	■側面ばね ・スウェイばねを考慮 ■非線形性 ・耐震壁の復元力特性及び基礎浮上り非線形性を考慮	今回工認	応力解析	-													
			応力解析	-		応力解析	水平	-			応力解析	鉛直	-		応力解析	-																
		間接支持構造物	(応答解析) ○ (応力解析) -	既設工認	応答解析	時刻歴応答解析(S1)	既設工認	応答解析		水平	FEMモデル(1/4モデル)	(応答解析) ● (応力解析) ○	既設工認	応答解析	鉛直	-	既設工認	応答解析	鉄塔: 1%	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) ○ (その他) -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) 減衰定数は、東海第二工認及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (その他)					東海第二主排気筒、柏崎刈羽7号機主排気筒を参照	○ (再処理施設における主排気筒の鉄塔が、発電用原子炉施設と同様に、多数の柱梁ブレースを有し、接合部がボルト接合である鉄骨造であることを踏まえ、JEA4601-1987に記載があり、発電用原子炉施設における適用実績を有する減衰定数を採用可能と判断)					
					応力解析	静的応力解析(S1)		応力解析		水平	FEMモデル(弾性応力解析)			応力解析	鉛直	-		応力解析	-													
	今回工認			応答解析	時刻歴応答解析(Ss)	今回工認	応答解析	水平	FEMモデル(弾性応力解析)	今回工認	応答解析		鉛直	鉄塔: 2%	今回工認	応答解析	-	今回工認	応力解析									-				
				応力解析	静的応力解析(Ss)		応力解析	水平	FEMモデル(弾性応力解析)		応力解析		鉛直	-		応力解析	-															
	基礎			(応答解析) ○ (応力解析) -	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	水平	-		(応答解析) ○ (応力解析) -	既設工認	応答解析	鉛直	-	既設工認	応答解析									-	(解析手法) ○ (解析モデル) ○ (減衰定数) ○ (その他) -	(解析手法) 静的応力解析は、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (解析モデル) 解析モデルは、東海第二及び柏崎刈羽7号機工認で共通適用例のある手法 (減衰定数) (その他)	東海第二原子炉建屋、柏崎刈羽7号機原子炉建屋を参照	-
						応力解析	静的応力解析(S2)		応力解析	水平	FEMモデル(弾性応力解析)				応力解析	鉛直	-		応力解析									-				
		今回工認	応答解析		-	今回工認	応答解析	水平	-	今回工認	応答解析	鉛直		-	今回工認	応答解析	-	今回工認	応力解析	-												
			応力解析		静的応力解析(Ss)		応力解析	水平	FEMモデル(弾性応力解析または弾塑性応力解析)		応力解析	鉛直		-		応力解析	-															

※1: 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2: 共通適用例あり; 規格・標準等に基づきプラントの仕様等によらずプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

■屋外重要土木構造物

評価対象設備	評価部位	既設工認と今回工認の比較										他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		※2 ○：共通適用例あり □：個別適用例あり ×：適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であること理由)		
		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし					相違内容	
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 方向 内容		設工認	内容						設工認	内容
Sクラス施設	構造部材	(応答解析) ● (応力解析) -	既設工認	応答解析	水平：地盤応答震度法(S1,S2) 鉛直：震度法(S1,S2)	既設工認	応答解析	水平 鉛直	2次元FEMモデル フレームモデル	既設工認	●	●	●	●	東海第二取水構造物、柏崎刈羽7号機燃料移送系配管ダクトを参照	○ (再処理施設における屋外重要土木構造物が、他プラントの屋外重要土木構造物と同様の鉄筋コンクリート造であることを踏まえ、JEA4601-1987に記載があり、他プラントの屋外重要土木構造物においても適用実績を有することから採用可能と判断)	
			今回工認	応答解析	時刻歴応答解析(Ss, Sd)	今回工認	応答解析	水平 鉛直	2次元FEMモデル	今回工認	●	●	●	●			
間接支持構造物	構造部材	(応答解析) ● (応力解析) -	既設工認	応答解析	水平：地盤応答震度法(S1,S2) ^{※3} 鉛直：震度法(S1,S2) ^{※3}	既設工認	応答解析	水平 鉛直	2次元FEMモデル フレームモデル	既設工認	●	●	●	●	東海第二取水構造物、柏崎刈羽7号機燃料移送系配管ダクトを参照	○ (再処理施設における屋外重要土木構造物が、他プラントの屋外重要土木構造物と同様の鉄筋コンクリート造であることを踏まえ、JEA4601-1987に記載があり、他プラントの屋外重要土木構造物においても適用実績を有することから採用可能と判断)	
			今回工認	応答解析	時刻歴応答解析(Ss, Sd)	今回工認	応答解析	水平 鉛直	2次元FEMモデル	今回工認	●	●	●	●			

※1：左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2：共通適用例あり：規格・標準類等に基づきプラントの仕様等によらずプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法
 ※3：Aクラス設備を間接支持する洞道については基準地震動S1、Asクラス設備を間接支持する洞道については基準地震動S1及びS2を対象とする。

別紙－2－2

既設工認との手法の相違点 整理一覧表
(機器・配管系)

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(1/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		相違内容			相違内容			相違内容		相違内容								
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	解析種別 内容	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	解析種別 内容	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	内容	○:同じ ●:異なる -:該当なし						既設工認	内容
可溶性中性子吸収材緊急供給槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	IV-2-2-1-1-1 (8)可溶性中性子吸収材緊急供給槽A,B の耐震計算書	-	-	-	-
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	-	○	今回設工認	-		IV-2-2-1-1-1 (8)可溶性中性子吸収材緊急供給槽A,B の耐震計算書	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-1-1-1 (8)可溶性中性子吸収材緊急供給槽A,B の耐震計算書		-	-	-
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	-	-	今回設工認	-		IV-2-2-1-1-1 (8)可溶性中性子吸収材緊急供給槽A,B の耐震計算書	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-1-1-1 (8)可溶性中性子吸収材緊急供給槽A,B の耐震計算書		-	-	-
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	-	-	今回設工認	-		IV-2-2-1-1-1 (8)可溶性中性子吸収材緊急供給槽A,B の耐震計算書	-	-	-
流下ノズル冷却用空気槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」		-	-	-
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-		第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」		-	-	-
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-		第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」		-	-	-
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-		第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(2/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	内容					
安全冷水膨張槽	容器	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
第1高レベル濃縮廃液貯槽 冷却水膨張槽	容器	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(3/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容	○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容							
			設工認	解析種別	内容		設工認	解析種別	内容		設工認		内容						設工認	内容
第2高レベル濃縮廃液貯槽 冷却水膨張槽	容器	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析		(応答解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-						
		(応答解析) ○	既設工認	応答解析		(応答解析) ○	既設工認	応答解析		既設工認	-		既設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析		-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析			(応答解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		(応答解析) ○	既設工認	応答解析			(応答解析) ○	既設工認	応答解析		既設工認	-		既設工認	-					
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析			-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析				(応答解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-				
		(応答解析) ○	既設工認	応答解析				(応答解析) ○	既設工認	応答解析		既設工認	-		既設工認	-				
安全冷却水膨張槽	容器	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-			(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析				(応答解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-				
		(応答解析) ○	既設工認	応答解析				(応答解析) ○	既設工認	応答解析		既設工認	-		既設工認	-				
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析		-		(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析				(応答解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-				
		(応答解析) ○	既設工認	応答解析				(応答解析) ○	既設工認	応答解析		既設工認	-		既設工認	-				
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析			-	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析				(応答解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-				
		(応答解析) ○	既設工認	応答解析				(応答解析) ○	既設工認	応答解析		既設工認	-		既設工認	-				

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(4/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容								
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認	内容
高レベル廃液共用貯槽冷却水膨張槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	●	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認		-						今回設工認	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	●	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認		-						今回設工認	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	●	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認		-						今回設工認	-
安全冷水冷凍機	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	●	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認		-						今回設工認	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	●	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認		-						今回設工認	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	●	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認		-						今回設工認	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(5/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容								
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容						既設工認	内容
安全冷却水膨張槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	[Redacted]	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-		今回設工認	-						
		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-		既設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	今回設工認	-							
		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	今回設工認	-							
		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-							
超音波洗浄廃液受槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	[Redacted]	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-1-2-1 (7)超音波洗浄廃液受槽の耐震計算書	-	-	-		
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-		今回設工認	-						
		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-		既設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-1-2-1 (7)超音波洗浄廃液受槽の耐震計算書	-	-	-
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	今回設工認	-							
		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-1-2-1 (7)超音波洗浄廃液受槽の耐震計算書	-	-	-
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	今回設工認	-							
		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(6/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
漏えい液希釈水供給槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-1-1-1 (9)漏えい液希釈水 供給槽の耐震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-1-1-1 (9)漏えい液希釈水 供給槽の耐震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-1-1-1 (9)漏えい液希釈水 供給槽の耐震計算書	-	-	-		
主配管(シフターA)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	●	IV-2-2-1-2-2 (9)シフター A, Bの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	●	IV-2-2-1-2-2 (9)シフター A, Bの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 解析 種別	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	●	IV-2-2-1-2-2 (9)シフター A, Bの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(7/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
設工認	解析 種別	内容	設工認	解析 種別	内容	設工認	内容	設工認	内容	設工認	内容	設工認	内容					
主配管(シフターE)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	●	既設工認 ○ 今回設工認 ○	IV-2-2-1-2-2 (9)シフター A, B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	●	既設工認 ○ 今回設工認 ○	IV-2-2-1-2-2 (9)シフター A, B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	●	既設工認 ○ 今回設工認 ○	IV-2-2-1-2-2 (9)シフター A, B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-			
中継槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	●	既設工認 ○ 今回設工認 ○	IV-2-2-1-2-2 (1)中継槽 A, B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	●	既設工認 ○ 今回設工認 ○	IV-2-2-1-2-2 (1)中継槽 A, B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 応力解析	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	●	既設工認 ○ 今回設工認 ○	IV-2-2-1-2-2 (1)中継槽 A, B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-			

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(8/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容					
不溶解残渣回収槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認 今回設工認	●	既設工認 今回設工認	IV-2-2-1-2-2 (6)不溶解残渣回収槽A, B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認 今回設工認	●	既設工認 今回設工認	IV-2-2-1-2-2 (6)不溶解残渣回収槽A, B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認 今回設工認	●	既設工認 今回設工認	IV-2-2-1-2-2 (6)不溶解残渣回収槽A, B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
フラッシュドラムA	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工認	-	既設工認 今回設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (15)フラッシュドラムA, B の耐震計算書	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工認	-	既設工認 今回設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (15)フラッシュドラムA, B の耐震計算書	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工認	-	既設工認 今回設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (15)フラッシュドラムA, B の耐震計算書	-	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(9/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容					
フラッシュドラムB	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1 -1-1 (15)フラッシュドラムA, B の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-3-2-1 -1-1 (15)フラッシュドラムA, B の耐震計算書
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1 -1-1 (15)フラッシュドラムA, B の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-3-2-1 -1-1 (15)フラッシュドラムA, B の耐震計算書
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1 -1-1 (15)フラッシュドラムA, B の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-3-2-1 -1-1 (15)フラッシュドラムA, B の耐震計算書
第7一時貯留処理槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 精製建屋一時貯留 理設備の耐震性に 関する計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 精製建屋一時貯留 理設備の耐震性に 関する計算書
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 精製建屋一時貯留 理設備の耐震性に 関する計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 精製建屋一時貯留 理設備の耐震性に 関する計算書
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 精製建屋一時貯留 理設備の耐震性に 関する計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 精製建屋一時貯留 理設備の耐震性に 関する計算書

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(10/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 (左欄にて比較した 既設工認)	※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異な し ×:構造上の差異あ り (適用可能であるこ との理由)		
		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし							相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容								設工認	内容
安全冷却水A, B膨張槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認			-							
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	-							
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認			-							
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	-							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認			-							
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	-							
空気だめ	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	○	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「IV-2-2-6-1- 1-4(8)」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析	今回設工認		-									
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	○	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「IV-2-2-6-1- 1-4(8)」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析	今回設工認		-									
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	○	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「IV-2-2-6-1- 1-4(8)」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析	今回設工認		-									

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(11/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異な し ×:構造上の差異あ り (適用可能であるこ との理由)		
		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
水素掃気用空気貯槽	容器	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認 ○ 今回設工 認	○	既設工認 ○ 今回設工 認	-	第4回設工認 添付書類IV-2-2- 3-1-1-1(4) 「水素掃気用空気貯 槽」の耐 震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認 ○ 今回設工 認	○	既設工認 ○ 今回設工 認	-	第4回設工認 添付書類IV-2-2- 3-1-1-1(4) 「水素掃気用空気貯 槽」の耐 震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認 ○ 今回設工 認	○	既設工認 ○ 今回設工 認	-	第4回設工認 添付書類IV-2-2- 3-1-1-1(4) 「水素掃気用空気貯 槽」の耐 震計算書	-	-	-		
安全空気脱湿装置(プレ フィルタ)	容器	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認 ○ 今回設工 認	○	既設工認 ○ 今回設工 認	-	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1- 1-1(2)」	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認 ○ 今回設工 認	○	既設工認 ○ 今回設工 認	-	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1- 1-1(2)」	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認 ○ 今回設工 認	○	既設工認 ○ 今回設工 認	-	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1- 1-1(2)」	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(12/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異な し ×:構造上の差異あ り (適用可能であるこ との理由)		
		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
安全空気脱湿装置(アフターフィルタ)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1-1-1(2)」	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1-1-1(2)」	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1-1-1(2)」	-	-	-	-			
安全空気脱湿装置(脱湿塔)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1-1-1(2)」	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1-1-1(2)」	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	応答解析 応力解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認 ○	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1-1-1(2)」	-	-	-	-			

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(13/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
安全冷却水1A, 1B中間熱交換器	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回設工認	-	既設工認 今回設工認	-	IV-2-2-4-2-1-1 (5)安全冷却水1A, 1B 中間熱交換器の耐震計 算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回設工認	-	既設工認 今回設工認	-	IV-2-2-4-2-1-1 (5)安全冷却水1A, 1B 中間熱交換器の耐震計 算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回設工認	-	既設工認 今回設工認	-	IV-2-2-4-2-1-1 (5)安全冷却水1A, 1B 中間熱交換器の耐震計 算書	-	-	-	-	
安全冷却水2中間熱交換器	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回設工認	-	既設工認 今回設工認	-	IV-2-2-4-2-1-1 (10)安全冷却水2中 間熱交換器の耐震計 算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回設工認	-	既設工認 今回設工認	-	IV-2-2-4-2-1-1 (10)安全冷却水2中 間熱交換器の耐震計 算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回設工認	-	既設工認 今回設工認	-	IV-2-2-4-2-1-1 (10)安全冷却水2中 間熱交換器の耐震計 算書	-	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(14/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)				
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容			
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認	内容
安全冷却水1A, 1B中間熱交換器	容器	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	内容	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (4)安全冷却水1A, 1B 中間熱交換器 の耐震計算書	-	-	-				
			応力解析			応答解析			応力解析											
		今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	内容	-	今回設工認	-								
			応力解析			応力解析														
	支持構造物(ボルト以外)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	内容	-	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (4)安全冷却水1A, 1B 中間熱交換器 の耐震計算書	-	-	-
			応力解析			応答解析			応力解析											
		今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	内容	-	今回設工認	-								
			応力解析			応力解析														
	支持構造物(ボルト等)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	内容	-	既設工認	-								
応力解析			応答解析			応力解析														
今回設工認		応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	内容	-	今回設工認	-									
		応力解析			応力解析															
安全冷却水2中間熱交換器	容器	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	内容	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (4)安全冷却水2中間 熱交換器 の耐震計算書	-	-	-				
			応力解析			応答解析			応力解析											
		今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	内容	-	今回設工認	-								
			応力解析			応力解析														
	支持構造物(ボルト以外)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	内容	-	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (4)安全冷却水2中間 熱交換器 の耐震計算書	-	-	-
			応力解析			応答解析			応力解析											
		今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	内容	-	今回設工認	-								
			応力解析			応力解析														
	支持構造物(ボルト等)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	内容	-	既設工認	-								
応力解析			応答解析			応力解析														
今回設工認		応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	内容	-	今回設工認	-									
		応力解析			応力解析															

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(15/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容								
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容							
安全冷却水中間熱交換器 A, B	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認							-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-		第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認								-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-			第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認								
安全冷却水中間熱交換器C	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」			(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認								
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-		第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」		(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認								
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-			第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認								

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(16/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
第1高レベル濃縮廃液貯槽 冷却水中間熱交換器	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析									
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析									
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析									
第2高レベル濃縮廃液貯槽 冷却水中間熱交換器	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析									
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析									
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析									

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(17/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
安全冷却水中間熱交換器	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-
高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(18/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
安全冷却水中間熱交換器	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	○	既設工認	-	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」					-	-
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	○	既設工認	-	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」					-	-
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	○	既設工認	-	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」					-	-
廃ガス冷却器	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (10)廃ガス冷却器 A, B, Cの耐震 計算書	-	-	-		
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (10)廃ガス冷却器 A, B, Cの耐震 計算書					-	-
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (10)廃ガス冷却器 A, B, Cの耐震 計算書	-	-	-		
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (10)廃ガス冷却器 A, B, Cの耐震 計算書					-	-
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (10)廃ガス冷却器 A, B, Cの耐震 計算書	-	-	-		
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (10)廃ガス冷却器 A, B, Cの耐震 計算書					-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(19/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例													
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)										
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容									
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容	設工認	内容						
主配管(フィルタ)	容器	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-2-1 (11)フィルタ の耐震計算 書	-	-	-									
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認									応答 解析 応力 解析	今回設工認	-						
		既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	今回設工認	-													
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	-	既設工認					-	IV-2-2-3-1-2-1 (11)フィルタ の耐震計算 書	-	-	-				
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認														応答 解析 応力 解析	今回設工認	-	
		既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	今回設工認	-													
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	-	既設工認					-					IV-2-2-3-1-2-1 (11)フィルタ の耐震計算 書	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認																	
		既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	今回設工認	-													
よう素フィルタ第1,第2 加熱器	容器	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-2-1 (5)よう素フィルタ 第1,第2加熱器 の耐震計算書	-	-	-									
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認									応答 解析 応力 解析								
		既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	今回設工認	-													
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	-	既設工認					-	IV-2-2-3-1-2-1 (5)よう素フィルタ 第1,第2加熱器 の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認																	
		既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	今回設工認	-													
支持構造物(ボルト等)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-2-1 (5)よう素フィルタ 第1,第2加熱器 の耐震計算書	-	-	-									
		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認										応答 解析 応力 解析					今回設工認	-		
	既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	今回設工認	-														

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(20/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容								
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容		既設工認	内容						既設工認	内容
水バッファ槽	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	●	既設工認	○	IV-2-2-1-2-1 (1)水バッファ槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-		
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認			応答 解析								
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析											
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	●	既設工認	○		IV-2-2-1-2-1 (1)水バッファ槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認			応答 解析								
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析											
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	●	既設工認	○			IV-2-2-1-2-1 (1)水バッファ槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認			応答 解析								
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析											
安全冷却水1A, 1B, 2膨張槽	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	-	既設工認	-	IV-2-2-4-2-1 -1 (7)安全冷却水 1A, 1B, 2膨張槽 の耐震計算書			-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認			応答 解析								
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析											
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	-	既設工認	-		IV-2-2-4-2-1 -1 (7)安全冷却水 1A, 1B, 2膨張槽 の耐震計算書		-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認			応答 解析								
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析											
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	-	既設工認	-			IV-2-2-4-2-1 -1 (7)安全冷却水 1A, 1B, 2膨張槽 の耐震計算書	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認			応答 解析								
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析	今回設工認	応力 解析											

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(21/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例																	
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)														
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容													
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容												
第1一時貯留処理槽シール槽	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (41)第1一時貯留処理槽シール槽 の耐震計算書	-	-	-													
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																	
		支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認					-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (41)第1一時貯留処理槽シール槽 の耐震計算書	-	-	-								
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	
	支持構造物(ボルト等)		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認					-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (41)第1一時貯留処理槽シール槽 の耐震計算書	-	-	-				
		今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	
		第8一時貯留処理槽ブレイクポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-					既設工認									-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (18)第8一時貯留処理槽ブレイクポット の耐震計算書	-	-
	今回設工認				応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認						-												
	支持構造物(ボルト以外)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-					既設工認									-			
今回設工認			応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																		
支持構造物(ボルト等)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (18)第8一時貯留処理槽ブレイクポット の耐震計算書	-	-	-												
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(22/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
第8一時貯留処理槽シール槽	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (17)第8一時貯留処理槽シール槽の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認					-
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (17)第8一時貯留処理槽シール槽の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-						
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (17)第8一時貯留処理槽シール槽の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-						
よう素フィルタ第1加熱器	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (7)よう素フィルタ第1,第2加熱器の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (7)よう素フィルタ第1,第2加熱器の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-						
支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (7)よう素フィルタ第1,第2加熱器の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-						
	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(23/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容									
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容								
よう素フィルタ第2加熱器	容器	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (7)よう素フィルタ 第1,第2加熱器 の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-								
	○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (7)よう素フィルタ 第1,第2加熱器 の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-								
	○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-								
今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-									
○		既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-									
○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-										
主配管(よう素フィルタ後置フィルタ)	容器	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (12)よう素フィルタ 後置フィルタ の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-								
	○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (12)よう素フィルタ 後置フィルタ の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-								
	○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-								
今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-									
○		既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-									
○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-										

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(24/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例															
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)												
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容																		
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容																	
高レベル廃液濃縮缶凝縮器A	容器	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (9)高レベル廃液濃縮缶凝縮器Aの耐震計算書	-	-	-													
			今回設工認	○		○	○		○	○		○	○																	
		支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認					-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (9)高レベル廃液濃縮缶凝縮器Aの耐震計算書	-	-	-								
	今回設工認			○	○		○	○		○	○																			
	支持構造物(ボルト等)		○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認					-					第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (9)高レベル廃液濃縮缶凝縮器Aの耐震計算書	-	-	-				
		今回設工認		○	○		○	○		○	○																			
		第1エジェクタ凝縮器	容器	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-					既設工認									-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (11)第1エジェクタ凝縮器の耐震計算書	-	-
	今回設工認				○	○		○	○		○	○																		
	支持構造物(ボルト以外)			○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-					既設工認									-			
今回設工認			○		○	○		○	○		○																			
支持構造物(ボルト等)			○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (11)第1エジェクタ凝縮器の耐震計算書	-	-	-												
	今回設工認			○	○		○	○		○	○																			

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(25/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容							
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	内容						設工認
漏えい液希釈溶液供給槽	容器	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (16)漏えい液希釈溶 液供給槽 の耐震計算書	-	-	-	-	
		○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (16)漏えい液希釈溶 液供給槽 の耐震計算書	-	-	-	-
		○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (16)漏えい液希釈溶 液供給槽 の耐震計算書	-	-	-	-
		○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						
主配管(第2エジェクタ凝縮器)	容器	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (12)第2エジェクタ 凝縮器 の耐震計算書	-	-	-	-	
		○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (12)第2エジェクタ 凝縮器 の耐震計算書	-	-	-	-
		○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (12)第2エジェクタ 凝縮器 の耐震計算書	-	-	-	-
		○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	○	今回設工認	応答 解析 - 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(26/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容							
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容						
主配管(高レベル廃液濃縮缶凝縮器)	容器	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (8)高レベル廃液濃縮缶凝縮器の耐震計算書	-	-	-	-	
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						
		(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (8)高レベル廃液濃縮缶凝縮器の耐震計算書	-	-	-	-
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						
		(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (8)高レベル廃液濃縮缶凝縮器の耐震計算書	-	-	-	-
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						
		(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-						
安全冷却水1A, 1B, 2膨張槽	容器	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1-1 (6)安全冷却水1A, 1B, 2膨張槽の耐震計算書	-	-	-	-	
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1-1 (6)安全冷却水1A, 1B, 2膨張槽の耐震計算書	-	-	-	-
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1-1 (6)安全冷却水1A, 1B, 2膨張槽の耐震計算書	-	-	-	-
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-						

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり: 規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(27/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
中間熱交換器	容器	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1-1 (2)中間熱交換器 A.F.の耐震計算書	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1-1 (2)中間熱交換器 A.F.の耐震計算書	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1-1 (2)中間熱交換器 A.F.の耐震計算書	-	-	-	-
よう素フィルタ第1加熱器	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工認	-	●	既設工認 今回設工認	-	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工認	-	●	既設工認 今回設工認	-	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工認	-	●	既設工認 今回設工認	-	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(28/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容					
よう素フィルタ第2加熱器	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
主配管(高性能粒子フィルタ第1,第2加熱器())	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(29/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容					
主配管(よう素フィルタ後 置フィルタ)	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-
		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-
		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-
		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
安全冷却水A, B, C膨張槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-
		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-
		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認						-	
	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(30/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例																	
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)														
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容													
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容	設工認	内容										
凝縮器 再処理設備本体 精製施設 「凝縮器」()	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-													
			今回設工認	応答 解析			今回設工認	応答 解析										今回設工認	内容											
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-									
			今回設工認	応答 解析			今回設工認	応答 解析														今回設工認	内容							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認									第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-					
			今回設工認	応答 解析			今回設工認	応答 解析																		今回設工認	内容			
	第1一時貯留処理槽供給槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○													既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-
				今回設工認	応答 解析			今回設工認	応答 解析																					
		支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○													既設工認				
今回設工認				応答 解析	今回設工認			応答 解析	今回設工認					内容																
支持構造物(ボルト等)		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-													
			今回設工認	応答 解析			今回設工認	応答 解析										今回設工認	内容											

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(31/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例										
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)							
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容													
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容												
第2一時貯留処理槽供給槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認										-			
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
主配管(廃ガス第1,第2電気加熱器)	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「バルセータ廃ガス 処理系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「バルセータ廃ガス 処理系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第7回設工認 添付書類 「バルセータ廃ガス 処理系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(32/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例								
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)					
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容				
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容	既設工認	内容	
安全冷却水A, B第1中間熱 交換器	容器	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-				
			既設工認	応力 解析		既設工認	応力 解析		既設工認			-									
	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	今回設工 認	-								
		既設工認		応力 解析	今回設工 認		応力 解析	今回設工 認		-											
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第8回 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-
			既設工認	応力 解析		既設工認	応力 解析		既設工認			-									
	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	今回設工 認	-								
		既設工認		応力 解析	今回設工 認		応力 解析	今回設工 認		-											
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-								
既設工認			応力 解析	既設工認		応力 解析	既設工認		-												
今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	今回設工 認	-									
	既設工認		応力 解析	今回設工 認		応力 解析	今回設工 認		-												
主配管(安全冷却水A第2 中間熱交換器)	容器	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-				
			既設工認	応力 解析		既設工認	応力 解析		既設工認			-									
	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	今回設工 認	-								
		既設工認		応力 解析	今回設工 認		応力 解析	今回設工 認		-											
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第8回 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-
			既設工認	応力 解析		既設工認	応力 解析		既設工認			-									
	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	今回設工 認	-								
		既設工認		応力 解析	今回設工 認		応力 解析	今回設工 認		-											
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-								
既設工認			応力 解析	既設工認		応力 解析	既設工認		-												
今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	今回設工 認	-									
	既設工認		応力 解析	今回設工 認		応力 解析	今回設工 認		-												

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(33/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例								
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)					
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容				
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容	既設工認	内容	
主配管(安全冷却水B第2 中間熱交換器)	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-				
			既設工認	応力 解析	-	既設工認	応力 解析	-	既設工認	-											
		今回工認	応答 解析	-	今回工認	応答 解析	-	今回工認	-	今回工認	-										
	今回工認	応力 解析	-	今回工認	応力 解析	-	今回工認	-	今回工認	-											
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第8回 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-
			既設工認	応力 解析	-	既設工認	応力 解析	-	既設工認	-											
		今回工認	応答 解析	-	今回工認	応答 解析	-	今回工認	-	今回工認	-										
	今回工認	応力 解析	-	今回工認	応力 解析	-	今回工認	-	今回工認	-											
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-				
既設工認			応力 解析	-	既設工認	応力 解析	-	既設工認	-												
今回工認		応答 解析	-	今回工認	応答 解析	-	今回工認	-	今回工認	-											
今回工認	応力 解析	-	今回工認	応力 解析	-	今回工認	-	今回工認	-												
主配管(混合廃ガス凝縮 器)	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第8回 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋塔 槽類廃ガス処理設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-
			既設工認	応力 解析	-	既設工認	応力 解析	-	既設工認	-											
		今回工認	応答 解析	-	今回工認	応答 解析	-	今回工認	-	今回工認	-										
	今回工認	応力 解析	-	今回工認	応力 解析	-	今回工認	-	今回工認	-											
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋塔 槽類廃ガス処理設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-				
			既設工認	応力 解析	-	既設工認	応力 解析	-	既設工認	-											
		今回工認	応答 解析	-	今回工認	応答 解析	-	今回工認	-	今回工認	-										
	今回工認	応力 解析	-	今回工認	応力 解析	-	今回工認	-	今回工認	-											
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第8回 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋塔 槽類廃ガス処理設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-
既設工認			応力 解析	-	既設工認	応力 解析	-	既設工認	-												
今回工認		応答 解析	-	今回工認	応答 解析	-	今回工認	-	今回工認	-											
今回工認	応力 解析	-	今回工認	応力 解析	-	今回工認	-	今回工認	-												

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(34/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
第1加熱器	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
第2加熱器	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(35/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容									
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認	内容	
第1加熱器	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液廃 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-										
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-											
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液廃 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-										
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-											
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液廃 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-				
今回設工認			応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認		-	今回設工認		-									
既設工認		応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-											
今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-												
第2加熱器	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液廃 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-										
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-											
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液廃 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-										
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-											
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液廃 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-
今回設工認			応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認		-	今回設工認		-									
既設工認		応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-											
今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-												

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(36/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例								
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)					
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容				
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容	設工認	内容	
純水中間貯槽	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析								
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析								
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析								
安全冷水冷凍機	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析								
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析								
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析								

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(37/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
安全冷水冷凍機	容器	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
安全冷水冷却器	容器	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(38/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
計測制御用空気貯槽	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第4回設工認 添付書類IV-2-2-3-1-1-1(1) 「計測制御用空気貯槽 の耐震計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-									
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第4回設工認 添付書類IV-2-2-3-1-1-1(1) 「計測制御用空気貯槽 の耐震計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第4回設工認 添付書類IV-2-2-3-1-1(1) 「計測制御用空気貯槽 の耐震計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-									
安全空気圧縮装置(後置冷却器)	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1-1-1(3)」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1-1-1(3)」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1-1-1(3)」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-											

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(39/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容
安全冷却水膨張槽	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類IV-2-2-4-2-1-1(4) 「安全冷却水A,B補助冷却器」の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	第5回設工認 添付書類IV-2-2-4-2-1-1(4) 「安全冷却水A,B補助冷却器」の耐震計算書								
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類IV-2-2-4-2-1-1(4) 「安全冷却水A,B補助冷却器」の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	第5回設工認 添付書類IV-2-2-4-2-1-1(4) 「安全冷却水A,B補助冷却器」の耐震計算書								
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類IV-2-2-4-2-1-1(4) 「安全冷却水A,B補助冷却器」の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	第5回設工認 添付書類IV-2-2-4-2-1-1(4) 「安全冷却水A,B補助冷却器」の耐震計算書								
ボイラ供給水槽	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2-1-1」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2-1-1」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2-1-1」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(40/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
安全蒸気ボイラ(ボイラ本 体)	容器	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2- 2-1(2)」	-	-	-		
			今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	応答 解析		今回設工 認		-							
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2- 2-1(2)」	-	-	-		
			今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	応答 解析		今回設工 認		-							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2- 2-1(2)」	-	-	-		
			今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	応答 解析		今回設工 認		-							
	洗浄廃液受槽	容器	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-1-2-1 (8)洗浄廃液受槽 の耐震 計算書	-	-	-	
				今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	応答 解析		今回設工 認		-						
		支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-1-2-1 (8)洗浄廃液受槽 の耐震 計算書	-	-	-	
今回設工 認				応答 解析	今回設工 認		応答 解析	今回設工 認		-								
支持構造物(ボルト等)		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-1-2-1 (8)洗浄廃液受槽 の耐震 計算書	-	-	-		
			今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	応答 解析		今回設工 認		-							

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(41/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容
燃料油貯蔵タンク	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「IV-2-2-6-1-1-4(5)」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-							
		支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認					-	第7回工認 添付書類 「IV-2-2-6-1-1-4(5)」
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-								
	支持構造物(ボルト等)		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「IV-2-2-6-1-1-4(5)」	-	-	-	
		今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-								
		中間ボットA,Bエアリフト 分離ボット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認					-
	今回設工認				応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-							
	支持構造物(ボルト以外)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-1-1-1-1 (6)中間ボットA,Bエ アリフト分離ボットの 耐震計算書	-	-	-
今回設工認			応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-									
支持構造物(ボルト等)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-1-1-1-1 (6)中間ボットA,Bエ アリフト分離ボットの 耐震計算書				
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-								

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(42/361)

別紙2-2 既設工認との手法の整理一覧表(機器・配管系の構造強度評価) 再処理施設

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例										
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)							
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容					
主配管(リサイクル槽A) デミスタ	容器	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○	○ ○	○	○ ○	○ ○	○ ○	○	○	○	○	○					
				○ ○			○ ○												○ ○	○	○ ○	○ ○	○ ○
				○ ○																			
	支持構造物(ボルト以外)	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○	○ ○	○	○	○ ○	○ ○	○ ○	○	○	○	○	○				
				○ ○			○ ○													○ ○	○	○ ○	○ ○
				○ ○																			
	支持構造物(ボルト等)	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○	○ ○	○	○	○ ○	○ ○	○ ○	○	○	○	○	○				
				○ ○			○ ○													○ ○	○	○ ○	○ ○
				○ ○																			
主配管(リサイクル槽B) デミスタ	容器	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○	○ ○	○	○ ○	○ ○	○ ○	○	○	○	○	○					
				○ ○			○ ○												○ ○	○	○ ○	○ ○	
				○ ○																			
	支持構造物(ボルト以外)	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○	○ ○	○	○	○ ○	○ ○	○ ○	○	○	○	○	○				
				○ ○			○ ○													○ ○	○	○ ○	○ ○
				○ ○																			
	支持構造物(ボルト等)	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	既設工認 ○ ○	○ ○	○	○ ○	○	○	○ ○	○ ○	○ ○	○	○	○	○	○				
				○ ○			○ ○													○ ○	○	○ ○	○ ○
				○ ○																			

※1 上記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(43/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容					
主配管(計量前中間貯槽デ ミスタ)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (15)計量前中間貯槽 Aデミスタの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (15)計量前中間貯槽 Aデミスタの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (15)計量前中間貯槽 Aデミスタの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (16)計量前中間貯槽 Bデミスタ 計量後中間貯槽デミスタ 及び計量補助槽デミスタ の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (16)計量前中間貯槽 Bデミスタ 計量後中間貯槽デミスタ 及び計量補助槽デミスタ の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (16)計量前中間貯槽 Bデミスタ 計量後中間貯槽デミスタ 及び計量補助槽デミスタ の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(44/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容					
主配管(計量補助槽デミス)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (16)計量前中間貯槽Bデミス 計量後中間貯槽デミス 及び計量補助槽デミス の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-				
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (16)計量前中間貯槽Bデミス 計量後中間貯槽デミス 及び計量補助槽デミス の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-				
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (16)計量前中間貯槽Bデミス 計量後中間貯槽デミス 及び計量補助槽デミス の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-				
主配管(計量後中間貯槽デミス)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (16)計量前中間貯槽Bデミス 計量後中間貯槽デミス 及び計量補助槽デミス の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-				
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (16)計量前中間貯槽Bデミス 計量後中間貯槽デミス 及び計量補助槽デミス の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-				
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-3-1-2-1 (16)計量前中間貯槽Bデミス 計量後中間貯槽デミス 及び計量補助槽デミス の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-				

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(45/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認						内容
デミスタ	容器	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	○	既設工認 -	○	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 -1 (4)デミスタの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	○	既設工認 -	○	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 -1 (4)デミスタの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物 (ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	○	既設工認 -	○	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 -1 (4)デミスタの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	主配管(溶解液中間貯槽デミスタ)	容器	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	○	既設工認 -	○	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 -1-1 (18)溶解液中間貯槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-	
		支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	○	既設工認 -	○	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 -1-1 (18)溶解液中間貯槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-	
		支持構造物 (ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	○	既設工認 -	○	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 -1-1 (18)溶解液中間貯槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(46/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
主配管(溶解液供給槽デミスタ)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (19)溶解液供給槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (19)溶解液供給槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (19)溶解液供給槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (19)溶解液供給槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (19)溶解液供給槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (19)溶解液供給槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			
主配管(抽出廃液受槽デミスタ)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (29)抽出廃液受槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (29)抽出廃液受槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (29)抽出廃液受槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (29)抽出廃液受槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (29)抽出廃液受槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			
		(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (29)抽出廃液受槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-			

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(47/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
主配管(抽出廃液供給槽A デミスタ)	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (30)抽出廃液供給槽 Aデミスタの耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (30)抽出廃液供給槽 Aデミスタの耐震計算書	-	-	-	
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-					
	支持構造物(ボルト等)		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (30)抽出廃液供給槽 Aデミスタの耐震計算書	-	-	-	
		今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-					
		主配管(第6一時貯留処理 槽デミスタ)	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (34)第6一時貯留処理 槽デミスタの耐震計算 書	-	-	-
	今回設工認				応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-				
	支持構造物(ボルト以外)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (34)第6一時貯留処理 槽デミスタの耐震計算 書	-	-	-
今回設工認			応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-						
支持構造物(ボルト等)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (34)第6一時貯留処理 槽デミスタの耐震計算 書	-	-	-	
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-					

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(48/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例																	
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)														
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容													
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容												
主配管(第3一時貯留処理槽デミスタ)	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1-1 (33)第3一時貯留処理槽デミスタの耐震計算書	-	-	-													
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-												
		支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1-1 (33)第3一時貯留処理槽デミスタの耐震計算書	-	-	-								
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	
	支持構造物(ボルト等)		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-					第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1-1 (33)第3一時貯留処理槽デミスタの耐震計算書	-	-	-				
		今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	
		主配管(膨張ボットデミスタ)	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○					既設工認									-	第7回設工認 添付書類 「バルセータ廃ガス処理系の耐震性に関する計算書」	-	-
	今回設工認				応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認						-												
	支持構造物(ボルト以外)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○					既設工認									-			
今回設工認			応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																		
支持構造物(ボルト等)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「バルセータ廃ガス処理系の耐震性に関する計算書」	-	-	-												
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(49/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容		既設工認	内容	既設工認	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績	
デミス	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり: 規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(50/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例												
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)									
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容								
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容	設工認	内容					
主配管(廃ガス第2冷却器 [REDACTED])	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	水平:- 鉛直:-	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋塔 槽類廃ガス処理設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	水平:- 鉛直:-								今回設工認	-						
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	水平:- 鉛直:-	既設工認	-	既設工認	-														
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	水平:- 鉛直:-	○	既設工認	-					第8回 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋塔 槽類廃ガス処理設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	水平:- 鉛直:-												今回設工認	-		
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	水平:- 鉛直:-	既設工認	-	今回設工認	-														
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	水平:- 鉛直:-	○	既設工認	-									第8回 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋塔 槽類廃ガス処理設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	水平:- 鉛直:-															
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	水平:- 鉛直:-	既設工認	-	今回設工認	-														
デミスタ	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-															
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-														
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-															
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-														
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-															
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	今回設工認	-														

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(51/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
デミスタ	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液廃 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-		第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液廃 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-			第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液廃 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-
主配管(高レベル廃液混合 槽凝縮器)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-		-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-		第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」		-	-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(52/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
主配管(供給槽凝縮器)	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
抽出塔エアリフトポンプA 分離ポット	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (10)抽出塔エアリフ トポンプA分離ポッ ト、第1洗浄塔エア リフトポンプA分離 ポットの耐震 計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (10)抽出塔エアリフ トポンプA分離ポッ ト、第1洗浄塔エア リフトポンプA分離 ポットの耐震 計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (10)抽出塔エアリフ トポンプA分離ポッ ト、第1洗浄塔エア リフトポンプA分離 ポットの耐震 計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(53/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例										
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)							
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容													
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容												
第1洗浄塔エアリフトポンプA分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (10)抽出塔エアリフトポンプA分離ポット、第1洗浄塔エアリフトポンプA分離ポット の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (10)抽出塔エアリフトポンプA分離ポット、第1洗浄塔エアリフトポンプA分離ポット の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認										-			
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (10)抽出塔エアリフトポンプA分離ポット、第1洗浄塔エアリフトポンプA分離ポット の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
TBP洗浄塔エアリフトポンプA分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (29)TBP洗浄塔エアリフトポンプA分離ポットの耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (29)TBP洗浄塔エアリフトポンプA分離ポットの耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (29)TBP洗浄塔エアリフトポンプA分離ポットの耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(54/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例																	
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)														
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容													
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容												
第2洗浄塔エアリフトポンプA分離ボット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (24)第2洗浄塔エアリフトポンプ分離ボットの耐震計算書	-	-	-													
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-												
		支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (24)第2洗浄塔エアリフトポンプ分離ボットの耐震計算書	-	-	-								
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	
	支持構造物(ボルト等)		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (24)第2洗浄塔エアリフトポンプ分離ボットの耐震計算書	-	-	-				
		今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	
		ウラン洗浄塔エアリフトポンプA分離ボット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○					既設工認									-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (7)ウラン洗浄塔エアリフトポンプ分離ボットの耐震計算書	-	-
	今回設工認				応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認						-												
	支持構造物(ボルト以外)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○					既設工認									-			
今回設工認			応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																		
支持構造物(ボルト等)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (7)ウラン洗浄塔エアリフトポンプ分離ボットの耐震計算書	-	-	-												
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(55/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容		
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容	設工認
主配管(バルセータ廃ガス デミスタ)	容器	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1- -1-2 (1)バルセータ廃ガ スデミスタの耐震計算書	-	-	-	-		
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認						-	
			応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析							応力 解析	
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-3-1-1- -1-2 (1)バルセータ廃ガ スデミスタの耐震計算書	-	-	-	-	
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認							-
			応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析								応力 解析
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認			第6回設工認 IV-2-2-3-1-1- -1-2 (1)バルセータ廃ガ スデミスタの耐震計算書	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認							
			応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析								
抽出塔流量計測ポットエ アリフトポンプ分離ポッ ト	容器	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関す る計算書」			-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認							
			応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析								
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関す る計算書」		-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認							
			応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析								
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認			第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関す る計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認							
			応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析		応力 解析								

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(56/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
核分裂生成物洗浄塔流量計測ポットエアリフトポンプ分離ポット	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					内容	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	内容									
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					内容	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	内容									
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					内容	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	内容									
ウラン洗浄塔流量計測ポットA第2エアリフトポンプ分離ポット	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					内容	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	内容									
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					内容	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	内容									
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					内容	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	内容									

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(57/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
ウラン洗浄塔流量計測ポットA第1エアリフトポンプ分離ポット	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
主配管(補助油水分離槽デミスタ())	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(60/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)				解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容							○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容	
			設工認	解析 種別	内容		設工認	解析 種別		内容	設工認							内容	設工認
第2脱ガス塔シールボット	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-		
計量・調整槽サイホン 1,2,3,4,5分離ボット 再処理設備本体 溶解施設 清澄・計量設備「計量・ 調整槽サイホン1,2,3,4,5 分離ボット」	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認		IV-2-2-1-2-2 (12)計量・調整槽サイ ホン1~5分離ボット 及び計 量・調整槽サイホン 1,2,3分離ボット の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認		IV-2-2-1-2-2 (12)計量・調整槽サイ ホン1~5分離ボット 及び計 量・調整槽サイホン 1,2,3分離ボット の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認		IV-2-2-1-2-2 (12)計量・調整槽サイ ホン1~5分離ボット 及び計 量・調整槽サイホン 1,2,3分離ボット の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる 一:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる 一:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる 一:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる 一:該当 なし	相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容					
計量・調整槽サイホン 6A, 6B分離ボット 再処理設備本体 溶解施設 清澄・計量設備「計量・ 調整槽サイホン6A, 6B分離 ボット」	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 ○	●	既設工認	○	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (13)計量・調整槽サイ ホン6A, 6B分離 ボット及び計 量・調整槽サイホン 6A, 6B分離ボット の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	—		
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 ○	●	既設工認	○	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (13)計量・調整槽サイ ホン6A, 6B分離 ボット及び計 量・調整槽サイホン 6A, 6B分離ボット の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	—		
	支持構造物 (ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 ○	●	既設工認	○	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (13)計量・調整槽サイ ホン6A, 6B分離 ボット及び計 量・調整槽サイホン 6A, 6B分離ボット の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	—		
	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 ○	●	既設工認	○	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (14)計量・調整槽サイ ホン4, 5分離ボ ットの耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	—		
		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 ○	●	既設工認	○	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (14)計量・調整槽サイ ホン4, 5分離ボ ットの耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	—		
		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 ○	●	既設工認	○	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (14)計量・調整槽サイ ホン4, 5分離ボ ットの耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	—		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(64/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例																
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析 他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1				内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であること の理由)														
		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容																		
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認					内容	設工認	内容											
溶解液供給槽流量計測 ポット	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 IV-2-2-2-1-1 (6) 溶解液供給槽流 量計測ポット, 溶解 液供給槽予備流量計 測ポット の耐震計算書	-	-	-													
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析										今回設工認	応答解析 応力解析											
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回工認 IV-2-2-2-1-1 (6) 溶解液供給槽流 量計測ポット, 溶解 液供給槽予備流量計 測ポット の耐震計算書	-	-	-									
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析														今回設工認	応答解析 応力解析							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認									第6回工認 IV-2-2-2-1-1 (6) 溶解液供給槽流 量計測ポット, 溶解 液供給槽予備流量計 測ポット の耐震計算書	-	-	-					
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析																		今回設工認	応答解析 応力解析			
	TBP洗浄塔エアリフトポン ド分離ポット	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○													既設工認	第6回工認 IV-2-2-2-1-1 (31) TBP洗浄塔エア リフトポンド分離 ポット の耐震計算書	-	-	-
				今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析																					
		支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○													既設工認				
今回設工認				応答解析 応力解析	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認					応答解析 応力解析																
支持構造物(ボルト等)		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 IV-2-2-2-1-1 (31) TBP洗浄塔エア リフトポンド分離 ポット の耐震計算書	-	-	-													
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析										今回設工認	応答解析 応力解析											

※1 上記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり: 規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(65/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例												
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)									
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容														
既設工認	解析種別	内容	既設工認	解析種別	内容	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容													
TBP洗浄塔エアリフトポンプE分離ボット	容器	○	既設工認 応答解析		○	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (32)TBP洗浄塔エア リフトポンプE分離 ボット [] の耐震計算書	-	-	-	-										
		○	今回設工認 応答解析		○	今回設工認 応答解析		今回設工認	-	○	今回設工認															
			応力解析			応力解析																				
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認 応答解析		○	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認						第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (32)TBP洗浄塔エア リフトポンプE分離 ボット [] の耐震計算書	-	-	-	-					
		○	今回設工認 応答解析		○	今回設工認 応答解析		今回設工認	-	○	今回設工認															
			応力解析			応力解析																				
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答解析		○	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認											第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (32)TBP洗浄塔エア リフトポンプE分離 ボット [] の耐震計算書	-	-	-	-
		○	今回設工認 応答解析		○	今回設工認 応答解析		今回設工認	-	○	今回設工認															
			応力解析			応力解析																				
第1洗浄塔溶液採取ボット	容器	○	既設工認 応答解析		○	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (20)第1洗浄塔溶液 採取ボット [] の耐震計算書	-	-	-	-										
		○	今回設工認 応答解析		○	今回設工認 応答解析		今回設工認	-	○	今回設工認															
			応力解析			応力解析																				
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認 応答解析		○	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認						第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (20)第1洗浄塔溶液 採取ボット [] の耐震計算書	-	-	-	-					
		○	今回設工認 応答解析		○	今回設工認 応答解析		今回設工認	-	○	今回設工認															
			応力解析			応力解析																				
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答解析		○	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認											第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (20)第1洗浄塔溶液 採取ボット [] の耐震計算書	-	-	-	-
		○	今回設工認 応答解析		○	今回設工認 応答解析		今回設工認	-	○	今回設工認															
			応力解析			応力解析																				

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(66/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例										
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)							
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容													
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認	内容					
TBP洗浄塔流量計測ポット A	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (12)抽出塔流量計測 ポット,TBP洗浄塔流 量計測ポット の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析										今回設工認	応答解析						
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (12)抽出塔流量計測 ポット,TBP洗浄塔流 量計測ポット の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析														今回設工認	応答解析		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認									第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (12)抽出塔流量計測 ポット,TBP洗浄塔流 量計測ポット の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析																	
第1洗浄塔流量計測ポット B	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (19)第1洗浄塔流量 計測ポット の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析																	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (19)第1洗浄塔流量 計測ポット の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析																	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認									第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (19)第1洗浄塔流量 計測ポット の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析																	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(67/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例										
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)							
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容													
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認	内容					
予備抽出塔エアリフトポンプB分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (11)抽出塔エアリフトポンプB分離ポット,予備抽出塔エアリフトポンプB分離ポット の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認					-							
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (11)抽出塔エアリフトポンプB分離ポット,予備抽出塔エアリフトポンプB分離ポット の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認										-			
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認									-			
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (11)抽出塔エアリフトポンプB分離ポット,予備抽出塔エアリフトポンプB分離ポット の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認												
溶解液供給槽予備ゲデオンAブライミングポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (5)溶解液供給槽ゲデオンAブライミングポット,溶解液供給槽予備ゲデオンAブライミングポット の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認												
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (5)溶解液供給槽ゲデオンAブライミングポット,溶解液供給槽予備ゲデオンAブライミングポット の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認												
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (5)溶解液供給槽ゲデオンAブライミングポット,溶解液供給槽予備ゲデオンAブライミングポット の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認												

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備 (69/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較													備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例																	
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)					解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1				※2 ○: 共通適用例あり □: 個別適用例あり ×: 適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であること の理由)														
		相違内容					相違内容			相違内容		相違内容																					
		○: 同じ ●: 異なる ー: 該当なし	設工認	解析種別	内容		○: 同じ ●: 異なる ー: 該当なし	設工認	解析種別	内容		○: 同じ ●: 異なる ー: 該当なし	設工認	内容						設工認	内容												
TBP洗浄塔流量計測ポット B	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	—	—	既設工認	—	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (12)抽出塔流量計測ポット、TBP洗浄塔流量計測ポット の耐震計算書	—	—	—	—	—												
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析				今回設工認										応答解析											
	支持構造物 (ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	—	—	既設工認	—	○	既設工認							第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (12)抽出塔流量計測ポット、TBP洗浄塔流量計測ポット の耐震計算書	—	—	—	—	—						
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析				今回設工認																応答解析					
	支持構造物 (ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	—	—	既設工認	—	○	既設工認													第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (12)抽出塔流量計測ポット、TBP洗浄塔流量計測ポット の耐震計算書	—	—	—	—	—
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析				今回設工認																					
第2洗浄塔エアリフトポンプ分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	—	—	既設工認	—	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (25)第2洗浄塔エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	—	—	—	—	—												
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析				今回設工認																					
	支持構造物 (ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	—	—	既設工認	—	○	既設工認							第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (25)第2洗浄塔エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	—	—	—	—	—						
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析				今回設工認																					
	支持構造物 (ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	—	—	—	既設工認	—	○	既設工認													第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (25)第2洗浄塔エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	—	—	—	—	—
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析				今回設工認																					

※1 上記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(70/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例																	
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)														
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容													
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認	内容										
抽出塔流量計測ポットB,C	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (12)抽出塔流量計測ポット,TBP洗浄塔流量計測ポット の耐震計算書	-	-	-													
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析										今回設工認	応答解析											
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (12)抽出塔流量計測ポット,TBP洗浄塔流量計測ポット の耐震計算書	-	-	-									
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析														今回設工認	応答解析							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認									第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (12)抽出塔流量計測ポット,TBP洗浄塔流量計測ポット の耐震計算書	-	-	-					
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析																		今回設工認	応答解析			
	抽出塔エアリフトポンプB分離ポット	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○													既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (11)抽出塔エアリフトポンプB分離ポット,予備抽出塔エアリフトポンプB分離ポット の耐震計算書	-	-	-
				今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析																					
		支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○													既設工認				
今回設工認				応答解析	今回設工認			応答解析	今回設工認					応答解析																
支持構造物(ボルト等)		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (11)抽出塔エアリフトポンプB分離ポット,予備抽出塔エアリフトポンプB分離ポット の耐震計算書	-	-	-													
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析										今回設工認	応答解析											

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(71/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例															
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)												
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容																		
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容																	
抽出塔エアリフトポンプC 分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (13)抽出塔エアリフト ポンプC分離ポットの 耐震計算書	-	-	-													
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																	
		支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (13)抽出塔エアリフト ポンプC分離ポットの 耐震計算書	-	-	-								
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	
	支持構造物(ボルト等)		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (13)抽出塔エアリフト ポンプC分離ポットの 耐震計算書	-	-	-				
		今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	
		抽出塔エアリフトポンプD 分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○					既設工認									-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (14)抽出塔エアリフト ポンプD分離ポットの 耐震計算書	-	-
	今回設工認				応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認						-												
	支持構造物(ボルト以外)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○					既設工認									-			
今回設工認			応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																		
支持構造物(ボルト等)			○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (14)抽出塔エアリフト ポンプD分離ポットの 耐震計算書	-	-	-												
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(72/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例															
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)												
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容																		
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容																	
抽出塔エアリフトポンプE分離ボット	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (15)抽出塔エアリフトポンプE分離ボットの 耐震計算書	-	-	-													
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-												
		支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (15)抽出塔エアリフトポンプE分離ボットの 耐震計算書	-	-	-								
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	
	支持構造物(ボルト等)		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (15)抽出塔エアリフトポンプE分離ボットの 耐震計算書	-	-	-				
		今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	
		第1洗浄塔エアリフトポンプB分離ボット	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○					既設工認									-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (18)第1洗浄塔エアリフトポンプB分離ボットの 耐震計算書	-	-
	今回設工認				応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認						-												
	支持構造物(ボルト以外)			○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○					既設工認									-			
今回設工認			応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																		
支持構造物(ボルト等)			○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (18)第1洗浄塔エアリフトポンプB分離ボットの 耐震計算書	-	-	-												
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-																	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(73/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例												
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)									
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容								
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容							
第1洗浄塔エアリフトポンプD分離ボット	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (21)第1洗浄塔エアリフトポンプD分離ボット の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-							
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認						第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (21)第1洗浄塔エアリフトポンプD分離ボット の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認										-			
	支持構造物 (ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認										第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (21)第1洗浄塔エアリフトポンプD分離ボット の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
TBP洗浄塔エアリフトポンプB,C分離ボット	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (30)TBP洗浄塔エアリフトポンプB,C分離ボット の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認						第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (30)TBP洗浄塔エアリフトポンプB,C分離ボット の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
	支持構造物 (ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認										第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (30)TBP洗浄塔エアリフトポンプB,C分離ボット の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(74/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例										
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)							
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容													
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	内容						設工認	内容					
ウラン洗浄塔エアリフト ポンプB分離ポット	容器	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (2)プルトニウム分 配塔エアリフトポン プB分離ポット,ウラ ン洗浄塔エアリフト ポンプB分離ポット の耐震 計算書	-	-	-								
			今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	内容		今回設工 認						内容							
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容														
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (2)プルトニウム分 配塔エアリフトポン プB分離ポット,ウラ ン洗浄塔エアリフト ポンプB分離ポット の耐震 計算書	-	-	-				
			今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	内容		今回設工 認										内容			
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容														
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (2)プルトニウム分 配塔エアリフトポン プB分離ポット,ウラ ン洗浄塔エアリフト ポンプB分離ポット の耐震 計算書	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	内容		今回設工 認													
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容														
ウラン洗浄塔流量計測 ポットB	容器	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (8)ウラン洗浄塔流 量計測ポットの耐震計 算書	-	-	-								
			今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	内容		今回設工 認													
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容														
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (8)ウラン洗浄塔流 量計測ポットの耐震計 算書	-	-	-				
			今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	内容		今回設工 認													
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容														
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (8)ウラン洗浄塔流 量計測ポットの耐震計 算書	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	応答 解析		今回設工 認	内容		今回設工 認													
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容														

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(75/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容							
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容						
ウラン洗浄塔エアリフトポンプC分離ポット	容器	○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (4)プルトリウム分配塔エアリフトポンプC分離ポット,ウラン洗浄塔エアリフトポンプC分離ポット []の耐震計算書	-	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-	
		○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析										
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (4)プルトリウム分配塔エアリフトポンプC分離ポット,ウラン洗浄塔エアリフトポンプC分離ポット []の耐震計算書	-	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							-
		○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析										
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認			第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (4)プルトリウム分配塔エアリフトポンプC分離ポット,ウラン洗浄塔エアリフトポンプC分離ポット []の耐震計算書	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							
		○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析										
プルトリウム溶液TBP洗浄器サイホンポット	容器	○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (10)プルトリウム溶液TBP洗浄器サイホンポット []の耐震計算書			-	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							
		○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析										
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (10)プルトリウム溶液TBP洗浄器サイホンポット []の耐震計算書		-	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							
		○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析										
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認			第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (10)プルトリウム溶液TBP洗浄器サイホンポット []の耐震計算書	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							
		○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析	○	応力解析										

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(76/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例										
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)							
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容													
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認	内容					
プルトニウム分配塔エアリフトポンプC分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (4)プルトニウム分配塔エアリフトポンプC分離ポット,ウラン洗浄塔エアリフトポンプC分離ポット []の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (4)プルトニウム分配塔エアリフトポンプC分離ポット,ウラン洗浄塔エアリフトポンプC分離ポット []の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認										-			
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (4)プルトニウム分配塔エアリフトポンプC分離ポット,ウラン洗浄塔エアリフトポンプC分離ポット []の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
プルトニウム溶液中間貯槽ポンプA,Bブレイクポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (15)プルトニウム溶液中間貯槽ポンプブレイクポット []の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (15)プルトニウム溶液中間貯槽ポンプブレイクポット []の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (15)プルトニウム溶液中間貯槽ポンプブレイクポット []の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(77/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容		
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容							既設工認	内容	既設工認
プルトニウム分配塔流量計測ポットB	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (3)プルトニウム分配塔流量計測ポットの耐震計算書	-	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認						応力解析	今回設工認
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (3)プルトニウム分配塔流量計測ポットの耐震計算書	-	-	-	-	
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認							-
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認							応力解析
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認			第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (3)プルトニウム分配塔流量計測ポットの耐震計算書	-	-	-	-
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認							
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認							
プルトニウム分配塔エアリフトポンプB分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (2)プルトニウム分配塔エアリフトポンプB分離ポット,ウラン洗浄塔エアリフトポンプB分離ポットの耐震計算書			-	-	-	-
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認							
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認							
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (2)プルトニウム分配塔エアリフトポンプB分離ポット,ウラン洗浄塔エアリフトポンプB分離ポットの耐震計算書		-	-	-	-
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認							
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認							
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認			第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (2)プルトニウム分配塔エアリフトポンプB分離ポット,ウラン洗浄塔エアリフトポンプB分離ポットの耐震計算書	-	-	-	-
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認							
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認							

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(78/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例												
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)									
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容								
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認	内容					
第1一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (3)第1一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (3)第1一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認										-			
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (3)第1一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
第7一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (5)第7一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (5)第7一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (5)第7一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(79/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
第2一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (9)第2一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (9)第2一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (9)第2一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	
第8一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (7)第8一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (7)第8一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (7)第8一時貯留処理槽 エアリフトポンプ分離ポット の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(80/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
第3一時貯留処理槽第1エアリフトポンプ分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (11)第3,第4一時貯留処理槽第1エアリフトポンプ分離ポットの耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析	
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (11)第3,第4一時貯留処理槽第1エアリフトポンプ分離ポットの耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析							応力解析
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認			第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (11)第3,第4一時貯留処理槽第1エアリフトポンプ分離ポットの耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析							
第3一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (12)第3一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ポット,第3一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ポット,第4一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ポット,第4一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ポットの耐震計算書			-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析							
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (12)第3一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ポット,第3一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ポット,第4一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ポット,第4一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ポットの耐震計算書		-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析							
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認			第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (12)第3一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ポット,第3一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ポット,第4一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ポット,第4一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ポットの耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(81/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例											
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)								
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容													
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認						内容	既設工認	内容					
第3一時貯留処理槽流量計測ボット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (13)第3一時貯留処理槽流量計測ボット、第3一時貯留処理槽予備流量計測ボット の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認					-							
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (13)第3一時貯留処理槽流量計測ボット、第3一時貯留処理槽予備流量計測ボット の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認										-			
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認									-			
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (13)第3一時貯留処理槽流量計測ボット、第3一時貯留処理槽予備流量計測ボット の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認												
第4一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ボット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (12)第3一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ボット、第3一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ボット、第4一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ボット、第4一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ボット の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認												
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (12)第3一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ボット、第3一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ボット、第4一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ボット、第4一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ボット の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認												
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (12)第3一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ボット、第3一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ボット、第4一時貯留処理槽第2エアリフトポンプ分離ボット、第4一時貯留処理槽予備第2エアリフトポンプ分離ボット の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-	既設工認												

※1 上記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(82/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)						解析モデル			減衰定数				その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○：共通適用例あり □：個別適用例あり ×：適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		相違内容						相違内容			相違内容				相違内容						
		○：同じ ●：異なる ―：該当なし						○：同じ ●：異なる ―：該当なし							○：同じ ●：異なる ―：該当なし						
既設工認		解析種別		内容		既設工認		解析種別	内容	既設工認		解析種別	内容	既設工認		解析種別	内容				
第4一時貯留処理槽第1エアリフトポンプ分離ボット	容器	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (11)第3,第4一時貯留処理槽第1エアリフトポンプ分離ボット の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認						応答解析 応力解析	
		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認						応答解析	
	支持構造物(ボルト以外)	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (11)第3,第4一時貯留処理槽第1エアリフトポンプ分離ボット の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認						応答解析 応力解析	
		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認						応答解析	
	支持構造物(ボルト等)	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (11)第3,第4一時貯留処理槽第1エアリフトポンプ分離ボット の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認						応答解析 応力解析	
		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認						応答解析	
第3一時貯留処理槽予備流量計測ボット	容器	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (13)第3一時貯留処理槽流量計測ボット,第3一時貯留処理槽予備流量計測ボット の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認						応答解析 応力解析	
		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認						応答解析	
	支持構造物(ボルト以外)	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (13)第3一時貯留処理槽流量計測ボット,第3一時貯留処理槽予備流量計測ボット の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認						応答解析 応力解析	
		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認						応答解析	
	支持構造物(ボルト等)	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	-	既設工認		応答解析	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (13)第3一時貯留処理槽流量計測ボット,第3一時貯留処理槽予備流量計測ボット の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析		今回設工認						応答解析 応力解析	
		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認		応答解析		既設工認						応答解析	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○：共通適用例あり □：個別適用例あり ×：適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異な し ×：構造上の差異あ り (適用可能であるこ との理由)		
		○：同じ ●：異な る 一：該当 なし	相違内容		○：同じ ●：異な る 一：該当 なし	相違内容		○：同じ ●：異な る 一：該当 なし	相違内容		○：同じ ●：異な る 一：該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
抽出塔供給流量計測ボ ットA	容器	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認	-	今回設工認		-		今回設工認	-			
		支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
	今回設工認			応答 解析 応力 解析	今回設工認		応答 解析 応力 解析	今回設工認	-	今回設工認	-		今回設工認		-			
	支持構造物(ボルト等)		○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
		今回設工認		応答 解析 応力 解析	今回設工認		応答 解析 応力 解析	今回設工認	-	今回設工認	-		今回設工認		-			
		ウラン洗浄塔供給流量計 測ボット	容器	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-
	今回設工認				応答 解析 応力 解析	今回設工認		応答 解析 応力 解析	今回設工認	-	今回設工認	-		今回設工認		-		
	支持構造物(ボルト以外)			○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-
今回設工認			応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認		-				
支持構造物(ボルト等)			○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
	今回設工認			応答 解析 応力 解析	今回設工認		応答 解析 応力 解析	今回設工認	-	今回設工認	-		今回設工認		-			

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(85/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)				解析モデル				減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)				
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容	○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容								
			既設工認	解析 種別	内容		既設工認	解析 種別	内容		既設工認		内容					既設工認	内容		
補助油水分離槽供給流量 計測ポット	容器	○: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	●: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関す る計算書」	-	-	-					
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認					-				
	支持構造物(ボルト以外)	○: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	○: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認									
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認					-				
	支持構造物(ボルト等)	○: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	○: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認									
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認					-				
	プルトニウム溶液供給槽 エアリフトポンプA分離 ポット	容器	○: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	○: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○					既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関す る計算書」	-	-	-
				今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-						今回設工認				
		支持構造物(ボルト以外)	○: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	○: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○					既設工認				
今回設工認				応答 解析	今回設工認		応答 解析	今回設工認		-	今回設工認		-								
支持構造物(ボルト等)		○: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	○: (応答 解析) ○: (応力 解析)	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認									
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認	-								

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(88/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例											
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること理由)									
		○:同じ ●:異なる ー:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる ー:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる ー:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる ー:該当なし					相違内容								
設工認	解析種別	内容	設工認	解析種別	内容	設工認	内容	設工認	内容	設工認	内容													
希釈槽エアリフトポンプ A,B分離ボット	容器	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-									
			応力解析			応力解析																		
		今回設工認	応答解析		○	今回設工認		応答解析	-		今回設工認					-	○	今回設工認						
		応力解析																						
	支持構造物(ボルト以外)	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-					
			応力解析			応力解析																		
		今回設工認	応答解析		○	今回設工認		応答解析	-		今回設工認									-	○	今回設工認		
		応力解析																						
	支持構造物(ボルト等)	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認									第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
		応力解析			応力解析																			
今回設工認		応答解析	○		今回設工認	応答解析		-	今回設工認		-	○	今回設工認											
	応力解析																							
希釈槽第1エアリフトポン プ分離ボット	容器	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-									
			応力解析			応力解析																		
		今回設工認	応答解析		○	今回設工認		応答解析	-		今回設工認					-	○	今回設工認						
		応力解析																						
	支持構造物(ボルト以外)	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-					
			応力解析			応力解析																		
		今回設工認	応答解析		○	今回設工認		応答解析	-		今回設工認									-	○	今回設工認		
		応力解析																						
	支持構造物(ボルト等)	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認									第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
		応力解析			応力解析																			
今回設工認		応答解析	○		今回設工認	応答解析		-	今回設工認		-	○	今回設工認											
	応力解析																							

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(89/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容							
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認						内容	設工認
希釈槽第2エアリフトポン プD分離ボット	容器	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	-	-	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に關する 計算書」	-	-	-	-		
			今回設工 認	応答 解析			今回設工 認											応答 解析	今回設工 認
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析								
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	-	-	既設工認	-		第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に關する 計算書」	-	-	-	-	
			今回設工 認	応答 解析			今回設工 認												応答 解析
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析								
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	-	-	既設工認	-			第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に關する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析			今回設工 認												
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析								
プルトニウム溶液供給槽 第1エアリフトポンプB分 離ボット	容器	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	-	-	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に關する 計算書」			-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析			今回設工 認												
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析								
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	-	-	既設工認	-		第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に關する 計算書」		-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析			今回設工 認												
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析								
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	-	-	既設工認	-			第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に關する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析			今回設工 認												
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析								

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(90/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容					
プルトニウム溶液供給槽 第2エアリフトポンプB分 離ポット	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認						
		今回設工認	応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
			既設工認	応力解析			既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					
		今回設工認	応答解析	今回設工認			応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-					
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-		既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
			既設工認	応力解析			既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					
		今回設工認	応答解析	今回設工認			応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(92/361)

別紙2-2 既設工認との手法の整理一覧表(機器・配管系の構造強度評価) 再処理施設

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較													備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)				解析モデル				減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であるこ との理由)
		相違内容				相違内容				相違内容		相違内容							
		○:同じ ●:異なる —:該当 なし	設工認	解析 種別	内容	○:同じ ●:異なる —:該当 なし	設工認	解析 種別	内容	○:同じ ●:異なる —:該当 なし	設工認	内容	○:同じ ●:異なる —:該当 なし	設工認					
第1脱ガス塔第1エアリフトポンプ分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析			今回設工認	-		今回設工認					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析			今回設工認	-		今回設工認					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析			今回設工認	-		今回設工認					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析
第1脱ガス塔第2エアリフトポンプ分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析			今回設工認	-		今回設工認					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析			今回設工認	-		今回設工認					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析			今回設工認	-		今回設工認					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(94/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる ー:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる ー:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる ー:該当なし	相違内容	○:同じ ●:異なる ー:該当なし	相違内容					
			設工認	解析種別	内容		設工認	解析種別	内容		設工認		内容					
逆抽出塔エアリフトポンプA分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	● (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
			応力解析			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		● (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					
			応力解析				応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	● (応答解析) ○ (応力解析)		既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					
			応力解析				応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
油水分離槽エアリフトポンプA,B分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		● (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					
			応力解析				応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	● (応答解析) ○ (応力解析)		既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					
			応力解析				応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析		● (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					
			応力解析				応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備 (97/361)

別紙 2 - 2 既設工認との手法の整理一覧表 (機器・配管系の構造強度評価) 再処理施設

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他 (評価条件の変更等) ※1			※2 ○: 共通適用例あり □: 個別適用例あり ×: 適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容
逆抽出塔エアリフトポンプ分離ボット	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
ウラン洗浄塔エアリフトポンプA分離ボット	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり: 規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備 (98/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1				内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であることの理由)			
		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容							
設工認	解析種別	内容	設工認	解析種別	内容	設工認	内容	設工認	内容	設工認	内容	設工認	内容						
ウラン洗浄塔エアリフトポンプB分離ボット	容器	(応答解析)○	既設工認	応答解析	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認添付書類「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
		(応力解析)○		応力解析		(応力解析)○		応力解析		今回設工認	-		今回設工認						
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○	既設工認	応答解析		(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認添付書類「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
		(応力解析)○		応力解析		(応力解析)○		応力解析		今回設工認	-		今回設工認						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○	既設工認	応答解析		(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認添付書類「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
		(応力解析)○		応力解析		(応力解析)○		応力解析		今回設工認	-		今回設工認						
TBP洗浄器エアリフトポンプ分離ボット	容器	(応答解析)○	既設工認	応答解析	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認添付書類「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
		(応力解析)○		応力解析		(応力解析)○		応力解析		今回設工認	-		今回設工認						
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○	既設工認	応答解析		(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認添付書類「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
		(応力解析)○		応力解析		(応力解析)○		応力解析		今回設工認	-		今回設工認						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○	既設工認	応答解析		(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認添付書類「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
		(応力解析)○		応力解析		(応力解析)○		応力解析		今回設工認	-		今回設工認						

※ 1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※ 2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(99/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例												
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることの理由)									
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容								
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容							
補助油水分離槽ブライミングポットエアリフトポンプ分離ポット	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-							
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認										-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
第2酸化塔エアリフトポンプ分離ポット	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(103/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容		
	設工認	解析種別	内容		設工認	解析種別	内容		設工認	内容		設工認					内容		
TBP洗浄器サイホンボット 再処理設備本体 精製施設 「TBP洗浄器サイホンボット」	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認			-	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認							-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認			-	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認							-
	第2脱ガス塔ブライミング ボットB	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認			第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-
				今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認						
		支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認				-	-	-
今回設工認				応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-						
支持構造物(ボルト等)		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認		-	-		-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認							-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)					
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし					相違内容				
設工認	解析種別	内容	設工認	解析種別	内容	設工認	内容	設工認	内容	設工認	内容	設工認	内容							
油水分離槽サイホンBブラ イミングポット	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-			
			今回設工認	○(応答解析)		○(応力解析)	今回設工認		○(応答解析)	○(応力解析)								今回設工認	○(応答解析)	○(応力解析)
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	○	既設工認		-	-	-	-	-	-	
			今回設工認	○(応答解析)		○(応力解析)	今回設工認		○(応答解析)	○(応力解析)										今回設工認
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	○	既設工認		-	-	-	-	-	-	-
			今回設工認	○(応答解析)		○(応力解析)	今回設工認		○(応答解析)	○(応力解析)										
	プルトニウム濃縮缶サイ ホンA,Bブライミングポッ ト	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	○		既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-	
				今回設工認	○(応答解析)		○(応力解析)	今回設工認		○(応答解析)	○(応力解析)									今回設工認
		支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	○		既設工認		-	-	-	-	-
今回設工認				○(応答解析)	○(応力解析)		今回設工認	○(応答解析)		○(応力解析)	今回設工認		○(応答解析)							
支持構造物(ボルト等)		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	-	既設工認	○(応答解析)	○	既設工認	-	-		-	-	-	-	-
			今回設工認	○(応答解析)		○(応力解析)	今回設工認		○(応答解析)	○(応力解析)										

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(107/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異な し ×:構造上の差異あ り (適用可能であるこ との理由)		
		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
第3一時貯留処理槽第1エアリフトポンプA分離ポット	容器	○	既設工認	○	○	既設工認	○	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-		
			○	○		○	○		○	○								
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	○	○	既設工認	○	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-		
			○	○		○	○		○									
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	○	○	既設工認	○	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-		
			○	○		○	○		○									
第3一時貯留処理槽第2エアリフトポンプA分離ポット	容器	○	既設工認	○	○	既設工認	○	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-		
			○	○		○	○		○									
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	○	○	既設工認	○	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-		
			○	○		○	○		○									
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	○	○	既設工認	○	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-		
			○	○		○	○		○									

※1 上記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(110/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)				解析モデル				減衰定数			その他(評価条件の変更等) ※1		※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
既設工認	解析種別		内容	既設工認	解析種別		内容	既設工認	内容		既設工認	内容								
主配管(供給槽気液分離器)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	-		
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認	-							
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-		第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	-	
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認	-							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-			第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	-
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認	-							
廃ガス洗浄塔	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-2-1-1 -1 (2)廃ガス洗浄塔 ()の耐震 計算書			-	-	-	-
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認	-							
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-		IV-2-2-2-1-1 -1 (2)廃ガス洗浄塔 ()の耐震 計算書		-	-	-	-
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認	-							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○ (応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-			IV-2-2-2-1-1 -1 (2)廃ガス洗浄塔 ()の耐震 計算書	-	-	-	-
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	-		今回工認	-							

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(111/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
中間ボット	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	IV-2-2-1-1-1 (4)中間ボット A.F. [redacted] の耐震計算書	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	IV-2-2-1-1-1 (4)中間ボット A.F. [redacted] の耐震計算書	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	IV-2-2-1-1-1 (4)中間ボット A.F. [redacted] の耐震計算書	-	-	-	
凝縮器 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 せん断処理・溶解廃ガス処 理設備「凝縮器」	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (1)凝縮器 A.F. [redacted] の耐震計算書	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (1)凝縮器 A.F. [redacted] の耐震計算書	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (1)凝縮器 A.F. [redacted] の耐震計算書	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(114/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 (※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし)	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容
主配管(抽出塔バルセータ 廃ガスバフファ槽)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 (40)抽出塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第1洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第2洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、TBP洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 (40)抽出塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第1洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第2洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、TBP洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 (40)抽出塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第1洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第2洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、TBP洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽	-	-	-	-			
主配管(第1洗浄塔バルセータ 廃ガスバフファ槽)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 (40)抽出塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第1洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第2洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、TBP洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 (40)抽出塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第1洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第2洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、TBP洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽	-	-	-	-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1 (40)抽出塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第1洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、第2洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽、TBP洗浄塔バルセータ廃ガスバフファ槽	-	-	-	-			

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○：共通適用例あり □：個別適用例あり ×：適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であること理由)			
		○：同じ ●：異なる ―：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる ―：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる ―：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる ―：該当なし						相違内容		
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容	
第9一時貯留処理槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (13)第9一時貯留処理槽()の 耐震計算書	-	-		-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認							-
		支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認						
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-						
	支持構造物(ボルト等)		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (13)第9一時貯留処理槽()の 耐震計算書	-	-		-
		今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-						
		第10一時貯留処理槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					
	今回設工認				応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-					
	支持構造物(ボルト以外)			(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (18)第10一時貯留処理槽()の 耐震計算書	-	-	
今回設工認			応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-							
支持構造物(ボルト等)			(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (18)第10一時貯留処理槽()の 耐震計算書				
	今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-						

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(118/361)

Table with columns for equipment name, evaluation part, analysis method, analysis model, reduction coefficient, other conditions, and application examples in other plants. It compares existing and current certification methods for various components like containers and support structures.

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1		※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることの理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容				
設工認	解析種別		内容	設工認	解析種別		内容	設工認	内容		設工認	内容						
主配管(高レベル廃液濃縮缶A濃縮廃液抜出ポットB)	容器	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	第6回設工認 IV-2-3-2-1-1-1 (6)高レベル廃液濃縮缶A濃縮廃液抜出ポットA,B()の耐震計算書	-	-	-
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	第6回設工認 IV-2-3-2-1-1-1 (6)高レベル廃液濃縮缶A濃縮廃液抜出ポットA,B()の耐震計算書	-	-	-
	支持構造物 (ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	第6回設工認 IV-2-3-2-1-1-1 (6)高レベル廃液濃縮缶A濃縮廃液抜出ポットA,B()の耐震計算書	-	-	-
	容器	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (10)高レベル廃液濃縮缶凝縮器デミスタの耐震計算書	-	-	-
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (10)高レベル廃液濃縮缶凝縮器デミスタの耐震計算書	-	-	-
	支持構造物 (ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 - 今回設工認	応答解析 - 応力解析	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	既設工認 - 今回設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (10)高レベル廃液濃縮缶凝縮器デミスタの耐震計算書	-	-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(123/361)

Table with columns: 設備名称, 評価部位, 解析手法, 解析モデル, 減衰定数, その他 (評価条件の変更等) ※1, 備考, 他プラントでの適用例. The table compares existing and current seismic evaluation methods across different components like containers and support structures.

※1 左記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。
※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(130/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
廃ガス洗浄塔	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1				内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容					
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認					内容
ミストフィルタ	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-		第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-			第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-
洗浄塔	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」			-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-		第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」		-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-			第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(133/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例												
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)									
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容								
設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容															
第1吸収塔	容器	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-												
	支持構造物(ボルト以外)	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-												
	支持構造物(ボルト等)	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-												
第2吸収塔	容器	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-												
	支持構造物(ボルト以外)	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-												
	支持構造物(ボルト等)	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-												

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(138/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 (左欄にて比較した 既設工認)	※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし							相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容								設工認	内容
主配管(不溶解残渣廃液一時貯槽セル漏えい液受皿1 シールボット)	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液 貯蔵系の耐震性に係 る計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-		第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液 貯蔵系の耐震性に係 る計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-			第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液 貯蔵系の耐震性に係 る計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-						

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(140/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)		解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることの理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし					
既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容		既設工認				
第1よう素フィルタ	容器	○ ○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (7)第1よう素フィルタA1, A2, B1, B2, C1, C2 の耐震計算書	-	-	-	-	
	今回工認 応答解析 応力解析		今回工認 応答解析 応力解析		今回工認		今回工認									
	支持構造物(ボルト以外)	○ ○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (7)第1よう素フィルタA1, A2, B1, B2, C1, C2 の耐震計算書	-	-	-	-	
今回工認 応答解析 応力解析	今回工認 応答解析 応力解析		今回工認		今回工認											
支持構造物(ボルト等)	○ ○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (7)第1よう素フィルタA1, A2, B1, B2, C1, C2 の耐震計算書	-	-	-	-		
今回工認 応答解析 応力解析		今回工認 応答解析 応力解析		今回工認		今回工認										
第2よう素フィルタ	容器	○ ○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (8)第2よう素フィルタA1, A2, B1, B2, C1, C2 の耐震計算書	-	-	-	-	
	今回工認 応答解析 応力解析		今回工認 応答解析 応力解析		今回工認		今回工認									
	支持構造物(ボルト以外)	○ ○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (8)第2よう素フィルタA1, A2, B1, B2, C1, C2 の耐震計算書	-	-	-	-	
今回工認 応答解析 応力解析	今回工認 応答解析 応力解析		今回工認		今回工認											
支持構造物(ボルト等)	○ ○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-1 (8)第2よう素フィルタA1, A2, B1, B2, C1, C2 の耐震計算書	-	-	-	-		
今回工認 応答解析 応力解析		今回工認 応答解析 応力解析		今回工認		今回工認										

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(143/361)

別紙 2-2 既設工認との手法の整理一覧表(機器・配管系の構造強度評価) 再処理施設

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※ 1		内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であることの理由)	
		○: 同じ ●: 異なる ―: 該当なし	相違内容			○: 同じ ●: 異なる ―: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる ―: 該当なし	相違内容						○: 共通適用例あり □: 個別適用例あり ×: 適用例なし
既設工認	解析種別	内容		既設工認	解析種別	内容		既設工認	内容		既設工認	内容				
第1よう素追出し槽A, B堰付サイホンA, B分離ポット	容器	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	―	IV-2-2-1-1-1 (2) 溶解槽A, B堰付サイホンA分離ポット等の耐震計算書	―	―	―	―	
		○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	―		―	―	―	―	―
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	―	IV-2-2-1-1-1 (2) 溶解槽A, B堰付サイホンA分離ポット等の耐震計算書	―	―	―	―	
		○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	―		―	―	―	―	―
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	―	IV-2-2-1-1-1 (2) 溶解槽A, B堰付サイホンA分離ポット等の耐震計算書	―	―	―	―	
		○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	―		―	―	―	―	―
第2よう素追出し槽A, B堰付サイホンA, B分離ポット	容器	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	―	IV-2-2-1-1-1 (2) 溶解槽A, B堰付サイホンA分離ポット等の耐震計算書	―	―	―	―	
		○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	―		―	―	―	―	―
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	―	IV-2-2-1-1-1 (2) 溶解槽A, B堰付サイホンA分離ポット等の耐震計算書	―	―	―	―	
		○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	―		―	―	―	―	―
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	―	IV-2-2-1-1-1 (2) 溶解槽A, B堰付サイホンA分離ポット等の耐震計算書	―	―	―	―	
		○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	応答解析 応力解析	○	今回工認	―		―	―	―	―	―

※1 上記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(147/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることの理由)
		○:同じ ●:異なる 一:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる 一:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる 一:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる 一:該当なし	相違内容					
既設工認	解析種別	内容	既設工認	解析種別	内容	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容				
中継槽A,BゲデオンAブライミングポット	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2(3)中継槽A,BゲデオンAブライミングポットの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2(3)中継槽A,BゲデオンAブライミングポットの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2(3)中継槽A,BゲデオンAブライミングポットの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
主配管(パッセージポット A,B)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2(10)パッセージポットA,Bの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2(10)パッセージポットA,Bの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2(10)パッセージポットA,Bの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(151/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる ー:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる ー:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる ー:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる ー:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
主配管(抽出塔セル漏えい液受皿スチームジェットポンプシールポット)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	ー	既設工認	ー	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (1)抽出塔セル漏えい液受皿スチームジェットポンプシールポット の耐震計算書	ー	ー	ー			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	ー	既設工認	ー	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (1)抽出塔セル漏えい液受皿スチームジェットポンプシールポット の耐震計算書	ー	ー	ー		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	ー	既設工認	ー	○	既設工認			第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (1)抽出塔セル漏えい液受皿スチームジェットポンプシールポット の耐震計算書	ー	ー	ー	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(155/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることの理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし					相違内容	
			設工認	解析種別	内容		設工認	解析種別		内容	設工認							内容	設工認
硝酸プルトリウム貯槽エアリフトポンプA, B, E分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-		既設工認	-						
		今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	-							
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-		既設工認	-						
		今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	-							
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-		既設工認	-						
		今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	-							
硝酸プルトリウム貯槽エアリフトポンプC分離ポット	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-		既設工認	-						
		今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	-							
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-		既設工認	-						
		今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	-							
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-		既設工認	-						
		今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	-							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。
※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(163/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることの理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容		
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容	
主配管(定量ポットデミスタ)	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
			今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	-									
		既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-	今回設工認		応力解析	-						
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-		第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	-									
		既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-	今回設工認		応力解析	-						
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-			第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	-									
		既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-	今回設工認		応力解析	-						
主配管(混合廃ガスデミスタ)	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に関する計算書」			-	-	-
			今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	-									
		既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-	今回設工認		応力解析	-						
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-		第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に関する計算書」		-	-	-
			今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	-									
		既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-	今回設工認		応力解析	-						
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-			第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-
			今回設工認	応答解析	-	今回設工認	応答解析	-	今回設工認	-									
		既設工認	応力解析	-	既設工認	応力解析	-	既設工認	-	今回設工認		応力解析	-						

※1 上記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(168/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容					
主配管(第1排風機冷却器)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-	
第1高性能粒子フィルタ	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(170/361)

Table with 14 main columns: Equipment Name, Evaluation Part, Analysis Method, Analysis Model, Damping Coefficient, Other (Evaluation Conditions Change), Reference, Content, Referenced Equipment Name, and Reduction Coefficient Achievement. It compares existing and current recognition methods for various equipment like containers and heaters.

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(172/361)

別紙2-2 既設工認との手法の整理一覧表(機器・配管系の構造強度評価) 再処理施設

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容					
既設工認	解析 種別	内容	既設工認	解析 種別	内容	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容						
膨張槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認 -	第7回設工認 添付資料IV-2-2- 6-2-1-1 「膨張槽 A,B(8111A,B-V27) の耐震計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認 -	第7回設工認 添付資料IV-2-2- 6-2-1-1 「膨張槽 A,B(8111A,B-V27) の耐震計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認 -	第7回設工認 添付資料IV-2-2- 6-2-1-1 「膨張槽 A,B(8111A,B-V27) の耐震計算書」	-	-	-	-
凝縮器 <small>放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 前処 理建屋塔槽類廃ガス処理 設備「凝縮器」</small>	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認 -	IV-2-2-2-1-1- 1 (3)凝縮器 の耐震計算書	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認 -	IV-2-2-2-1-1- 1 (3)凝縮器 の耐震計算書	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認 -	IV-2-2-2-1-1- 1 (3)凝縮器 の耐震計算書	-	-	-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であることの理由)	
		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容					
主配管(冷却器)	容器	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (11)冷却器の耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (11)冷却器の耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (11)冷却器の耐震計算書	-	-	-	-	
主配管(プルトニウム溶液受槽デミスタ)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1-1 (26)プルトニウム溶液受槽デミスタ,第1時貯留処理槽デミスタ,第7時貯留処理槽デミスタ,第2時貯留処理槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1-1 (26)プルトニウム溶液受槽デミスタ,第1時貯留処理槽デミスタ,第7時貯留処理槽デミスタ,第2時貯留処理槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1-1 (26)プルトニウム溶液受槽デミスタ,第1時貯留処理槽デミスタ,第7時貯留処理槽デミスタ,第2時貯留処理槽デミスタの耐震計算書	-	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(177/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例								
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)				
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし							相違内容			
設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容		設工認	内容	設工認	内容						
主配管(第2一時貯留処理槽デミスタ)	容器	○ ○ ○	既設工認	応答解析	[REDACTED]	○ ○ ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回既設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (26)プルトリウム溶液受槽デミスタ,第1一時貯留処理槽デミスタ,第7一時貯留処理槽デミスタ,第2一時貯留処理槽デミスタ [REDACTED]の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-			
			応力解析			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析			応力解析		応力解析				
	支持構造物(ボルト以外)	○ ○ ○	既設工認	応答解析		[REDACTED]	○ ○ ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○		既設工認	第6回既設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (26)プルトリウム溶液受槽デミスタ,第1一時貯留処理槽デミスタ,第7一時貯留処理槽デミスタ,第2一時貯留処理槽デミスタ [REDACTED]の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析				今回設工認	応答解析		今回設工認	-			今回設工認					-	
			応力解析				応力解析		応力解析		応力解析		応力解析				応力解析		応力解析		
	支持構造物(ボルト等)	○ ○ ○	既設工認	応答解析			[REDACTED]	○ ○ ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-		○		既設工認	第6回既設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (26)プルトリウム溶液受槽デミスタ,第1一時貯留処理槽デミスタ,第7一時貯留処理槽デミスタ,第2一時貯留処理槽デミスタ [REDACTED]の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析					今回設工認	応答解析		今回設工認	-				今回設工認				
			応力解析					応力解析		応力解析		応力解析			応力解析				応力解析		応力解析

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(179/361)

別紙2-2 既設工認との手法の整理一覧表(機器・配管系の構造強度評価) 再処理施設

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例													
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)										
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容									
設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容																
第1脱ガス塔第1ライミ ングボットゲデオン	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-										
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認					応答解析 応力解析									
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認					応答解析 応力解析									
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工認	-	○ ○	既設工認 今回設工認					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-					
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工認	-	○ ○	既設工認 今回設工認					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-					
	プルトニウム濃縮缶供給 槽ゲデオン	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○					既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-					
				今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-						今回設工認					応答解析 応力解析				
			既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-					○ ○					既設工認 今回設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-
		支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工認	-	○ ○					既設工認 今回設工認					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
支持構造物(ボルト等)		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工認	-	○ ○	既設工認 今回設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-									

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(180/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
既設工認	解析種別	内容	既設工認	解析種別	内容	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容					
主配管(第1酸化塔エアリフトポンプデミスタ)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-		既設工認		第7回工認添付書類「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-		既設工認		第7回工認添付書類「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-		既設工認		第7回工認添付書類「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
主配管(プルトニウム溶液受槽デミスタ)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-		既設工認		第7回工認添付書類「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-		既設工認		第7回工認添付書類「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-		既設工認		第7回工認添付書類「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(181/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
主配管(プルトニウム溶液供給槽デミスタ)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
主配管(第1一時貯留処理槽デミスタ)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(182/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
主配管(第3一時貯留処理槽デミスタ)	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-			
		○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○	今回設工認											
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認								
		○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○	今回設工認											
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認								
		○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○	今回設工認											
主配管(プルトニウム濃縮缶供給槽デミスタ)	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-			
		○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○	今回設工認											
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認								
		○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○	今回設工認											
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認 応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認								
		○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認 応答解析	○	今回設工認											

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容		
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認
主配管(プルトニウム濃縮液一時貯槽デミス)	容器	(応答解析)○	既設工認	応答解析	(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-			
		(応力解析)○	今回設工認	応力解析	(応力解析)○	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認							
	(応答解析)○	既設工認	応答解析	(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」					-	-	-
	(応力解析)○	今回設工認	応力解析	(応力解析)○	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認								
	(応答解析)○	既設工認	応答解析	(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」					-	-	-
	(応力解析)○	今回設工認	応力解析	(応力解析)○	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認								
	(応答解析)○	既設工認	応答解析	(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-				
	(応力解析)○	今回設工認	応力解析	(応力解析)○	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認								
	主配管(第2酸化塔デミス)	容器	(応答解析)○	既設工認	応答解析	(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-	-	-		
(応力解析)○			今回設工認	応力解析	(応力解析)○	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認							
(応答解析)○		既設工認	応答解析	(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-					-	-
(応力解析)○		今回設工認	応力解析	(応力解析)○	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認								
(応答解析)○		既設工認	応答解析	(応答解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	-					-	-
(応力解析)○		今回設工認	応力解析	(応力解析)○	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認								

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(186/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる 一:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる 一:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる 一:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる 一:該当 なし						相違内容	
既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容								
主配管(プルトニウム濃縮 液計量槽デミスタ)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	既設工認	既設工認	-	既設工認	-	○	既設工認	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理 系(プルトニウム 系)の耐震性に関す る計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	既設工認	既設工認	-	既設工認	-	○	既設工認	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理 系(プルトニウム 系)の耐震性に関す る計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	既設工認	既設工認	-	既設工認	-	○	既設工認	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理 系(プルトニウム 系)の耐震性に関す る計算書」	-	-	-	-
主配管(プルトニウム濃縮 液中間貯槽デミスタ)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	既設工認	既設工認	-	既設工認	-	○	既設工認	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理 系(プルトニウム 系)の耐震性に関す る計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	既設工認	既設工認	-	既設工認	-	○	既設工認	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理 系(プルトニウム 系)の耐震性に関す る計算書」	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	既設工認	既設工認	-	既設工認	-	○	既設工認	既設工認	第7回工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理 系(プルトニウム 系)の耐震性に関す る計算書」	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(189/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
凝縮器	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「不溶解残渣廃液 廃ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「不溶解残渣廃液 廃ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「不溶解残渣廃液 廃ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-			
主配管(廃ガス冷却器)	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-			

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(191/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容
主配管(よう素追出し塔廃 ガス冷却器)	容器	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認 応答 解析 応力 解析		-	IV-2-2-3-1-1 (13)よう素追出し塔 A,B 廃ガス冷却器 の耐震計算書	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認 応答 解析 応力 解析		-	IV-2-2-3-1-1 (13)よう素追出し塔 A,B 廃ガス冷却器 の耐震計算書	-	-	-	-		
排風機 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 せ ん断処理・溶解廃ガス処 理設備「排風機」	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認 応答 解析 応力 解析		-	IV-2-2-3-1-1 (11)排風機A,B,C の耐 震計算書	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認 応答 解析 応力 解析		-	IV-2-2-3-1-1 (11)排風機A,B,C の耐 震計算書	-	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(195/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例											
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)								
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容														
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容													
グローブボックス・セル排風機C	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-2-1 (3)グローブボックス・セル排風機A, B,C, の 耐震計算書	-	-	-	-										
		○	今回設工認 応答解析 応力解析	○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-															
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-						第6回設工認 IV-2-2-3-1-2-1 (3)グローブボックス・セル排風機A, B,C, の 耐震計算書	-	-	-	-					
		○	今回設工認 応答解析 応力解析	○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-															
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-											第6回設工認 IV-2-2-3-1-2-1 (3)グローブボックス・セル排風機A, B,C, の 耐震計算書	-	-	-	-
		○	今回設工認 応答解析 応力解析	○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-															
冷却水循環ポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (3)冷却水循環ポンプA, B, C, D の耐震計算書	-	-	-	-										
		○	今回設工認 応答解析 応力解析	○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-															
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-						第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (3)冷却水循環ポンプA, B, C, D の耐震計算書	-	-	-	-					
		○	今回設工認 応答解析 応力解析	○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-															
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-											第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (3)冷却水循環ポンプA, B, C, D の耐震計算書	-	-	-	-
		○	今回設工認 応答解析 応力解析	○	今回設工認 応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-															

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(196/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容		
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認
安全冷却水1A, 1Bポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)-	既設工認	応答解析	[Redacted]	(応答解析)-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (5)安全冷却水1Aポンプ A, B [Redacted] の耐震計算書	-	-	-	-
		(応力解析)○	今回設工認	応答解析		(応力解析)○	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (7)安全冷却水1Bポンプ A, B [Redacted] の耐震計算書	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)-	既設工認	応答解析		(応答解析)-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (5)安全冷却水1Aポンプ A, B [Redacted] の耐震計算書	-	-	-	-
		(応力解析)○	今回設工認	応答解析		(応力解析)○	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (7)安全冷却水1Bポンプ A, B [Redacted] の耐震計算書	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)-	既設工認	応答解析		(応答解析)-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (5)安全冷却水1Aポンプ A, B [Redacted] の耐震計算書	-	-	-	-
		(応力解析)○	今回設工認	応答解析		(応力解析)○	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-4-1-1-1 (7)安全冷却水1Bポンプ A, B [Redacted] の耐震計算書	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(198/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることの理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認		内容	設工認	内容	設工認	内容
排風機 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 精製 建屋塔槽類廃ガス処理設 備 塔槽類廃ガス処理系 (プルトニウム系) 「排 風機」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 -			○	既設工認 -	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	○	(その他) 動的地震力の組合せ: 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のあ る動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-
排風機 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 精製 建屋塔槽類廃ガス処理設 備 バルセータ廃ガス処理 系「排風機」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 -			○	既設工認 -	第7回設工認 添付書類 「バルセータ廃ガス 処理系の耐震性に関 する計算書」	-	-	-	-	-
第1排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 -			○	既設工認 -	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混 合脱硝建屋塔槽類廃ガス処 理設備の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-	-
第2排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 -			○	既設工認 -	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混 合脱硝建屋塔槽類廃ガス処 理設備の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-	-
グローブボックス・セル 排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 -			○	既設工認 -	第7回 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋換 気設備の耐震性に関 する計算書」	-	-	-	-	-
冷水移送ポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 -			○	既設工認 -	第8回 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(199/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
貯蔵室排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	-	既設工認	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-
貯蔵室排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	-	既設工認	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-
貯蔵室排気フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	-	既設工認	○	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(200/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 応答解析 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応答解析 応力解析	内容							既設工認	内容
排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 - 今回設工認 -		○	既設工認 - 今回設工認 -	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	-		
排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 - 今回設工認 -		○	既設工認 - 今回設工認 -	第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液 廃ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	-		
固化セル換気系排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 - 今回設工認 -		○	既設工認 - 今回設工認 -	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備の 耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		
セル排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 - 今回設工認 -		○	既設工認 - 今回設工認 -	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備の 耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(201/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容					
設工認	解析種別	内容	設工認	解析種別	内容	設工認	内容	設工認	内容	設工認	内容	設工認	内容				
第1排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 - -	○	既設工認 - -	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-		
第2排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 - -	○	既設工認 - -	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-		
安全冷水A,Bポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 - -	○	既設工認 - -	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-		
第1高レベル濃縮廃液貯槽 冷却水A,Bポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 - -	○	既設工認 - -	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-		
第2高レベル濃縮廃液貯槽 冷却水A,Bポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 - -	○	既設工認 - -	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-		
安全冷却水A系,B系ポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) - ○	既設工認 応答解析 応力解析		既設工認 - -	○	既設工認 - -	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(202/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
高レベル廃液共用貯槽冷却水A,Bポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-					
安全冷水冷凍機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-					
安全冷却水1A, 1Bポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(203/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
燃料油移送ポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「IV-2-2-6-1- 1-4(9)」	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「IV-2-2-6-1- 1-4(9)」	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認	-						
冷却水循環ポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「IV-2-2-6-2- 1-1(35)」	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「IV-2-2-6-2- 1-1(35)」	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認	-						
安全空気圧縮装置(空気圧縮機)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1- 1-1(3)」	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第4回設工認 添付書類 「IV-2-2-3-1- 1-1(3)」	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認	-						

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(204/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
安全冷却水循環ポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2-1-1」	-	-	-	-	
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析					今回設工認							
安全冷却水循環ポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2-1-1」	-	-	-	-	
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析					今回設工認							
安全蒸気ボイラ(送風機)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)-	既設工認 応答解析 応力解析	○	(応答解析)○ (応力解析)-	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2-1-1」	-	-	-	-	
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析					今回設工認							
安全蒸気ボイラ(送風機)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2-1-1」	-	-	-	-	
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析					今回設工認							
安全蒸気ボイラ(給水ポンプ)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類IV-2-2-4-2-1-1(2) 「安全冷却水A,B膨張槽」の耐震計算書	-	-	-	-	
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析					今回設工認							
安全蒸気ボイラ(給水ポンプ)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類IV-2-2-4-2-1-1(2) 「安全冷却水A,B膨張槽」の耐震計算書	-	-	-	-	
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析					今回設工認							

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(205/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
中央制御室送風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「制御建屋中央制御室換気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認									-
	今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-								
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-								
中央制御室排風機	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「制御建屋中央制御室換気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認									-
	今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-								
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-								
主配管(不溶解残渣回収槽Bポンプ)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B,3 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認									
	今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-								
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-								
主配管(不溶解残渣回収槽Bポンプ)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B,3 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認									
	今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-								
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-								

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(206/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
主配管(不溶解残渣回収槽A, Bポンプ1)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A, B ポンプ1, 2, 3 計量前中間貯槽A, Bポン プ1, 2A, 2B, 3 及び計量後中間貯槽 ポンプA, Bの耐震計算 書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A, B ポンプ1, 2, 3 計量前中間貯槽A, Bポン プ1, 2A, 2B, 3 及び計量後中間貯槽 ポンプA, Bの耐震計算 書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
計量前中間貯槽Aポンプ1	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A, B ポンプ1, 2, 3 計量前中間貯槽A, Bポン プ1, 2A, 2B, 3 及び計量後中間貯槽 ポンプA, Bの耐震計算 書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A, B ポンプ1, 2, 3 計量前中間貯槽A, Bポン プ1, 2A, 2B, 3 及び計量後中間貯槽 ポンプA, Bの耐震計算 書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
計量前中間貯槽Bポンプ1	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A, B ポンプ1, 2, 3 計量前中間貯槽A, Bポン プ1, 2A, 2B, 3 及び計量後中間貯槽 ポンプA, Bの耐震計算 書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A, B ポンプ1, 2, 3 計量前中間貯槽A, Bポン プ1, 2A, 2B, 3 及び計量後中間貯槽 ポンプA, Bの耐震計算 書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり: 規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(207/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容					
計量前中間貯槽Aポンプ2A	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B,3 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-				
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B,3 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-				
計量前中間貯槽A,Bポンプ 2B,2A	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B,3 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-				
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B,3 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-				
計量前中間貯槽Bポンプ2B	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B,3 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-				
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B,3 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-				

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(208/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容					
計量前中間貯槽Aポンプ3	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2, 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B, 計量前中間貯槽 ポンプA,B 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算 書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-				
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2, 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B, 計量前中間貯槽 ポンプA,B 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算 書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-				
計量前中間貯槽Bポンプ3	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2, 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B, 計量前中間貯槽 ポンプA,B 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算 書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-				
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2, 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B, 計量前中間貯槽 ポンプA,B 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算 書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-				

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(209/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容					
計量後中間貯槽ポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B,3 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (7)不溶解残渣回収槽A,B ポンプ1,2 計量前中間貯槽A,Bポン プ1,2A,2B,3 及び計量後中間貯槽 ポンプA,B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
主配管(バルブライザー A,B)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (8)バルブライザー A,B の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(210/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
溶解液中間貯槽ポンプA	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (2)溶解液中間貯槽 ポンプA, Bの耐震 計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-
	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-						
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-						
支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (2)溶解液中間貯槽 ポンプA, Bの耐震 計算書	-	-	-		
		今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-	
既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-							
今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(211/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容		
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認
溶解液中間貯槽ポンプB	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	-	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (2)溶解液中間貯槽 ポンプA, Bの耐震 計算書	-	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析											今回設工認
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	-	-	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (2)溶解液中間貯槽 ポンプA, Bの耐震 計算書	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析			今回設工認	応答解析 応力解析											

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(212/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応力解析	内容		既設工認	内容					
プルトニウム溶液中間貯槽ポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析		既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 IV-2-2-2-1-2 (14)プルトニウム溶液 中間貯槽ポンプA, Bの耐震 計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析		既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 IV-2-2-2-1-2 (14)プルトニウム溶液 中間貯槽ポンプA, Bの耐震 計算書	-	-	-	-	
プルトニウム濃縮液ポンプA	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析		既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-	
プルトニウム濃縮液ポンプB	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析		既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(213/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
プルトニウム濃縮液ポン プC,F	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-		
プルトニウム濃縮液ポン プE	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-		
プルトニウム濃縮液ポン プD	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-		
一時貯槽ポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		-	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	○	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-		
漏えい液移送ポンプ	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		-	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	○	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-		
ディーゼル機関	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「IV-2-2-6-1- 1-4(3)」	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(214/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
同期発電機	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「非常用電源建屋の 電気設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
セル排気フィルタユニ ット	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 今回設工 認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 今回設工 認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回設工 認	-	-	既設工認 今回設工 認	-	IV-2-2-3-1-3 -1 (1)セル排気フィル タユニットA~D の耐震計算書	-	-	-	-
溶解槽セルA,B排気フィル タユニット	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 今回設工 認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 今回設工 認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回設工 認	-	-	既設工認 今回設工 認	-	IV-2-2-3-1-3 -1 (3)溶解槽セルA排気 フィルタユニットA ~D の耐震計算書 溶解槽セルB排気 フィルタユニットA ~D の耐震計算書	-	-	-	-
グローブボックス・セル排 気フィルタユニットA	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)- (応力解 析)○	既設工認 今回設工 認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	(応答解 析)- (応力解 析)○	既設工認 今回設工 認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工 認	-	-	既設工認 今回設工 認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-2 -1 (1)グローブボック ス・セル排気フィル タユニットA の耐震計算書	-	-	-	-
グローブボックス・セル 排気フィルタユニット B,C,D,E,F,G,H,I,J,K	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)- (応力解 析)○	既設工認 今回設工 認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	(応答解 析)- (応力解 析)○	既設工認 今回設工 認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工 認	-	-	既設工認 今回設工 認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-2 -1 (2)グローブボック ス・セル排気フィル タユニットB~ J の耐震計算書	-	-	-	-
主配管(C4Mセル排気フィル タユニットA,B,C)	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 今回設工 認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 今回設工 認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	-	既設工認 今回設工 認	-	●	既設工認 今回設工 認	-	第6回設工認 添付書類 「精製建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(215/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容
グローブボックス排気 フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	●	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-		
セル排気フィルタユニ ット	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	●	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-		
主配管(プルトニウム濃縮 液ポンプE)グローブボッ クス排気フィルタA、E	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		
主配管(プルトニウム濃縮 液ポンプD)グローブボッ クス排気フィルタA、E	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		
主配管(プルトニウム濃縮 液ポンプB)グローブボッ クス排気フィルタA、E	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		
主配管(プルトニウム濃縮 液ポンプA)グローブボッ クス排気フィルタA、E	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(216/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
主配管(プルトニウム濃縮液ポンプAグローブボックス排気フィルタA, B)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「精製建屋換気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
第1高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認		○	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
第2高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認		○	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
グローブボックス・セル排気フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認		○	既設工認	-	第7回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(217/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
グローブボックス排気Aフィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混 合脱硝建屋換気設備の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
グローブボックス排気Bフィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混 合脱硝建屋換気設備の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
主配管(混合槽セル排気 フィルタユニットA,B)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混 合脱硝建屋換気設備の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
主配管(ダストフィルタ)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	
主配管(ダストフィルタ)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「不溶解残渣廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(218/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容					
固化セル換気系排気フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		
固化セル圧力放出系前置 フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		
固化セル圧力放出系排気 フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		
主配管(固化セル入気フィル タユニット)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		
セル排気フィルタユニッ ト	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		
セル排気フィルタユニッ ト	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(219/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
セル排気フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		
ルテニウム吸着塔	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-		
第3高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-		
中央制御室フィルタユニット	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「制御建屋中央制御 室換気設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	-		
中央制御室空調ユニット	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「制御建屋中央制御 室換気設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	-		
第1高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 前処 理建屋塔槽類廃ガス処理 設備「第1高性能粒子フィ ルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	IV-2-2-3-1-2- 1 (2)第1,第2高性能 粒子フィルタA の耐震計算書	-	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(220/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
第2高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 前処 理建屋塔槽類廃ガス処理 設備「第2高性能粒子フィ ルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-2-1 (2)第1,第2高性能 粒子フィルタA の耐震計算書	-	-	-	-
第1高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 前処 理建屋塔槽類廃ガス処理 設備「第1高性能粒子フィ ルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-2-1 (3)第1,第2高性能 粒子フィルタB,C の耐震計算書	-	-	-	-
第2高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 前処 理建屋塔槽類廃ガス処理 設備「第2高性能粒子フィ ルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	IV-2-2-3-1-2-1 (3)第1,第2高性能 粒子フィルタB,C の耐震計算書	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(221/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり(適用可能であることの理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容							
設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容		設工認	内容						
第1高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 前処 理建屋塔槽類廃ガス処理 設備「第1高性能粒子フ ィルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	○	既設工認	内容	○	既設工認	内容	-	IV-2-2-3-1-2-1 (4)第1,第2高性能 粒子フィルタD の耐震計算書	-	-	-	-
第2高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 前処 理建屋塔槽類廃ガス処理 設備「第2高性能粒子フ ィルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	○	既設工認	内容	○	既設工認	内容	-	IV-2-2-3-1-2-1 (4)第1,第2高性能 粒子フィルタD の耐震計算書	-	-	-	-
よう素フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 前処 理建屋塔槽類廃ガス処理 設備「よう素フィルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	○	既設工認	内容	○	既設工認	内容	-	IV-2-2-3-1-2-1 (7)よう素フィルタ Aの耐 震計算書	-	-	-	-
よう素フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 前処 理建屋塔槽類廃ガス処理 設備「よう素フィルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	○	既設工認	内容	○	既設工認	内容	-	IV-2-2-3-1-2-1 (8)よう素フィルタ B,Cの耐震計 算書	-	-	-	-
よう素フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 前処 理建屋塔槽類廃ガス処理 設備「よう素フィルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	○	既設工認	内容	○	既設工認	内容	-	IV-2-2-3-1-2-1 (9)よう素フィルタD の耐震 計算書	-	-	-	-
主配管(溶解槽Aセル排気 前置フィルタ)及びせん断 機・溶解槽A保守セル排気 前置フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	(応答解 析) ○	既設工認 応答 解析	内容	○	既設工認	内容	○	既設工認	内容	-	IV-2-2-3-1-3-1 (3)溶解槽Aセル排気前置フィルタ 溶解槽Bセル排気前置フィルタ せん断機・溶解槽A保守セル排気前置 フィルタ せん断機・溶解槽B保守セル排気前置 フィルタの耐震計 算書 (7)溶解槽Aセル排気前置フィルタE 溶解槽Bセル排気前置フィルタE せん断機・溶解槽A保守セル排気前置 フィルタ せん断機・溶解槽B保守セル排気前置 フィルタの耐震計 算書	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(222/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スベクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容					
主配管(溶解槽Bセル排気前置フィルタ及びせん断機・溶解槽B保守セル排気前置フィルタ)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	既設工認	○	既設工認	既設工認	IV-2-2-3-1-3-1 (5)溶解槽Aセル排気前置フィルタA 溶解槽Bセル排気前置フィルタA せん断機・溶解槽A保守セル排気前置 フィルタ せん断機・溶解槽B保守セル排気前置 フィルタの耐震計算書 (7)溶解槽Aセル排気前置フィルタE 溶解槽Bセル排気前置フィルタE せん断機・溶解槽A保守セル排気前置 フィルタ せん断機・溶解槽B保守セル排気前置 フィルタの耐震計算書	-	-	-	-		
主配管(溶解槽Aセル排気前置フィルタ及びせん断機・溶解槽A保守セル排気前置フィルタ)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	既設工認	○	既設工認	既設工認	IV-2-2-3-1-3-1 (6)溶解槽Aセル排気前置フィルタB 溶解槽Bセル排気前置フィルタB せん断機・溶解槽A保守セル排気前置 フィルタ せん断機・溶解槽B保守セル排気前置 フィルタの耐震計算書	-	-	-	-		
主配管(溶解槽Aセル排気前置フィルタ及びせん断機・溶解槽A保守セル排気前置フィルタ)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	既設工認	○	既設工認	既設工認	IV-2-2-3-1-3-1 (6)溶解槽Aセル排気前置フィルタB 溶解槽Bセル排気前置フィルタB せん断機・溶解槽A保守セル排気前置 フィルタ せん断機・溶解槽B保守セル排気前置 フィルタの耐震計算書	-	-	-	-		
第1高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (5)第1,第2高性能粒子フィルタAの耐震計算書	-	-	-	-		
第1高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (6)第1,第2高性能粒子フィルタBの耐震計算書	-	-	-	-		
第2高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (5)第1,第2高性能粒子フィルタAの耐震計算書	-	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(223/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
第2高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	-	既設工認 -	-	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (6)第1,第2高性能粒子フィルタB~ []の耐震計算書	-	-	-	-		
よう素フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	-	既設工認 -	-	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (9)よう素フィルタA, []の耐震計算書	-	-	-	-		
よう素フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	-	既設工認 -	-	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1 (9)よう素フィルタB, []の耐震計算書	-	-	-	-		
第1高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	-	既設工認 -	-	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-2 (2)第1,第2高性能粒子フィルタA~ []の耐震計算書	-	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(224/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容					
第1高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	-	既設工認 -	-	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-1-2 (3)第1,第2高性能粒子フィルタの耐震計算書	-	-	-	-		
第2高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	-	既設工認 -	-	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-2 (2)第1,第2高性能粒子フィルタA~の耐震計算書	-	-	-	-		
第2高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) - (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	-	既設工認 -	-	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-3-1-1-1-2 (3)第1,第2高性能粒子フィルタの耐震計算書	-	-	-	-		
第1高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔槽類 ガス処理設備 精製建屋塔槽類 ガス処理設備 塔槽類 ガス処理系(プルトニウム系)「第1高性能粒子フィルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	-	既設工認 -	●	既設工認 -	第7回設工認 添付書類「塔槽類 ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準 対応工認での共通適用例のある動的 地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
第1高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔槽類 ガス処理設備 精製建屋塔槽類 ガス処理設備 塔槽類 ガス処理系(プルトニウム系)「第1高性能粒子フィルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	-	既設工認 -	●	既設工認 -	第7回設工認 添付書類「塔槽類 ガス処理系(プルトニウム系)の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準 対応工認での共通適用例のある動的 地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(226/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○：共通適用例あり □：個別適用例あり ×：適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容							
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	解析種別						内容
よう素フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 精製 建屋塔槽類廃ガス処理設 備 塔槽類廃ガス処理系 (プルトニウム系)「よう 素フィルタ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	●	既設工認	第7回設工認 添付書類 「塔槽類廃ガス処理 系(プルトニウム 系)の耐震性に関する 計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ： 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-		
第1高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 精製 建屋塔槽類廃ガス処理設 備 パルセータ廃ガス処理 系「第1高性能粒子フィル タ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「パルセータ廃ガス 処理系の耐震性に関 する計算書」	-	-	-	-		
第1高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 精製 建屋塔槽類廃ガス処理設 備 パルセータ廃ガス処理 系「第1高性能粒子フィル タ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「パルセータ廃ガス 処理系の耐震性に関 する計算書」	-	-	-	-		
第1高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 精製 建屋塔槽類廃ガス処理設 備 パルセータ廃ガス処理 系「第1高性能粒子フィル タ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「パルセータ廃ガス 処理系の耐震性に関 する計算書」	-	-	-	-		
第2高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 精製 建屋塔槽類廃ガス処理設 備 パルセータ廃ガス処理 系「第2高性能粒子フィル タ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「パルセータ廃ガス 処理系の耐震性に関 する計算書」	-	-	-	-		
第2高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 精製 建屋塔槽類廃ガス処理設 備 パルセータ廃ガス処理 系「第2高性能粒子フィル タ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第7回設工認 添付書類 「パルセータ廃ガス 処理系の耐震性に関 する計算書」	-	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(227/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異な し ×:構造上の差異あ り (適用可能であるこ との理由)		
		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
第2高性能粒子フィルタ 放射性廃棄物の廃棄施設 気体廃棄物の廃棄施設 塔 槽類廃ガス処理設備 精製 建屋塔槽類廃ガス処理設 備 ハルセータ廃ガス処理 系「第2高性能粒子フィル タ」	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	- -	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	第7回設工認 添付書類 「ハルセータ廃ガス 処理系の耐震性に関 する計算書」	-	-	-	-		
第1高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	- -	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	-		
第2高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	- -	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	-		
第1高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	- -	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	-		
第2高性能粒子フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	- -	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	-		
よう素フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	- -	○ ○	既設工認 - 今回設工 認	第7回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(228/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
よう素フィルタ	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「不溶解残渣廃液 ガス処理系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
110V第2非常用蓄電池	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「前処理建屋の電気 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
110V非常用充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「前処理建屋の電気 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
110V非常用予備充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「前処理建屋の電気 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
110V非常用直流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「前処理建屋の電気 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(229/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
6.9kV非常用メタクラ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「前処理建屋の電気 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
460V非常用コントロール センタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「前処理建屋の電気 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
460V非常用パワーセンタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「前処理建屋の電気 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(230/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容					
105V非常用無停電電源装置	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「前処理建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
110V第2非常用蓄電池	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「分離建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
110V非常用充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「分離建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
110V非常用予備充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「分離建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
110V非常用直流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「分離建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(231/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることの理由)				
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容	○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						既設工認	内容	既設工認	内容
			既設工認	解析種別	内容		既設工認	解析種別	内容		既設工認		内容							既設工認		内容
460V非常用コントロールセンター	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	—	—	既設工認	応答解析	—	—	既設工認	—	既設工認	—	第7回工認申請 添付書類 「分離建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	—	—	—				
				応力解析	—			既設工認	—			既設工認		—								
460V非常用パワーセンター	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	—	—	既設工認	応答解析	—	—	既設工認	—	既設工認	—	第7回工認申請 添付書類 「分離建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	—	—	—				
				応力解析	—			既設工認	—			既設工認		—								
105V非常用無停電交流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	—	—	既設工認	応答解析	—	—	既設工認	—	既設工認	—	第7回工認申請 添付書類 「分離建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	—	—	—				
				応力解析	—			既設工認	—			既設工認		—								
105V非常用無停電電源装置	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	—	—	既設工認	応答解析	—	—	既設工認	—	既設工認	—	第7回工認申請 添付書類 「分離建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	—	—	—				
				応力解析	—			既設工認	—			既設工認		—								
105V非常用計測交流電源盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	—	—	既設工認	応答解析	—	—	既設工認	—	既設工認	—	第7回工認申請 添付書類 「精製建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	—	—	—				
				応力解析	—			既設工認	—			既設工認		—								

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(232/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1			※2 ○: 共通適用例あり □: 個別適用例あり ×: 適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし						相違内容		
設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容		設工認					内容		
110V第2非常用蓄電池	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	-	第7回設工認申請 添付書類 「精製建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-	-					
110V非常用充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	-	第7回設工認申請 添付書類 「精製建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-	-					
110V非常用予備充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	-	第7回設工認申請 添付書類 「精製建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-	-					
110V非常用直流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	-	第7回設工認申請 添付書類 「精製建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-	-					
460V非常用コントロールセンタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	-	第7回設工認申請 添付書類 「精製建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-	-					
460V非常用パワーセンタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	-	第7回設工認申請 添付書類 「精製建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(233/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
105V非常用無停電交流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「精製建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
105V非常用無停電電源装置	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「精製建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
105V非常用計測交流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
105V非常用計測交流電源盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
110V第2非常用蓄電池	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(234/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	内容					
110V非常用充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋の 電気設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
110V非常用予備充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋の 電気設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
110V非常用直流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋の 電気設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
6.9kV非常用メタクラ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋の 電気設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
460V非常用コントロール センタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋の 電気設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(235/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異な し ×:構造上の差異あ り (適用可能であるこ との理由)		
		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
460V非常用パワーセンタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋の 電気設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
105V非常用無停電交流主 分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋の 電気設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
105V非常用無停電電源装 置	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋の 電気設備の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
110V第2非常用蓄電池	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合酸化物質貯蔵 建屋の電気設備の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
110V非常用充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合酸化物質貯蔵 建屋の電気設備の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
110V非常用予備充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニ ウム混合酸化物質貯蔵 建屋の電気設備の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり: 規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(236/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
110V非常用直流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
460V非常用コントロールセンタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
460V非常用パワーセンタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
105V非常用無停電電源装置	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
105V非常用計測交流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「高レベル廃液ガラス固化建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(237/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
105V非常用計測交流電源 盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
110V第2非常用蓄電池	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
110V非常用充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
110V非常用予備充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
110V非常用直流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(238/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	内容					
460V非常用コントロール センタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
460V非常用パワーセンタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
105V非常用無停電交流主 分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
105V非常用無停電電源装 置	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					
110V第2非常用蓄電池	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工 認	応答 解析	-	今回設工 認	-	-	今回設工 認	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(239/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
220V第2非常用蓄電池	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
105V非常用計測交流主分 電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
105V非常用計測交流電源 盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
110V非常用充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
110V非常用予備充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(240/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
110V非常用直流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
6.9kV非常用メタクラ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
460V非常用コントロール センタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
460V非常用パワーセンタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					
105V非常用無停電交流主 分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
			今回設工認	応答 解析 応力 解析	-	今回設工認	応答 解析	-	今回設工認	-	-	今回設工認	-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(241/361)

別紙2-2 既設工認との手法の整理一覧表(機器・配管系の構造強度評価) 再処理施設

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容		設工認					内容	
105V非常用無停電電源装置	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	—	—	既設工認	—	第7回設工認申請 添付書類 「制御建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	—	—	—	—
110V第2非常用蓄電池	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	—	—	既設工認	—	第7回設工認申請 添付書類 「非常用電源建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	—	—	—	—
110V非常用充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	—	—	既設工認	—	第7回設工認申請 添付書類 「非常用電源建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	—	—	—	—
110V非常用予備充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	—	—	既設工認	—	第7回設工認申請 添付書類 「非常用電源建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	—	—	—	—
110V非常用直流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	—	—	既設工認	—	第7回設工認申請 添付書類 「非常用電源建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	—	—	—	—
6.9kV非常用メタクラ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	応答解析 応力解析	—	既設工認	—	—	既設工認	—	第7回設工認申請 添付書類 「非常用電源建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	—	—	—	—

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(242/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であることの理由)				
		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし					相違内容			
設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容		設工認	内容	設工認	内容				
460V非常用コントロールセンタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	-	-	-	第7回設工認申請添付書類「非常用電源建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-
非常用動力用変圧器	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	-	-	-	第7回設工認申請添付書類「非常用電源建屋の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-
よう素除去工程安全系A制御盤1 よう素除去工程安全系A制御盤2 よう素除去工程安全系A制御盤3	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	-	-	-	第5回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-
よう素除去工程C系統電源切替盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	-	-	-	第5回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-
よう素除去工程排風機A制御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	-	-	-	第5回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-
よう素除去工程廃ガス加熱器A制御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	-	-	-	第5回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(243/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
よう素除去工程ミストワイヤ A1, A2計器架台	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
安全系制御盤 (せん断工程A系列安全系A 制御盤(計器盤1), せん断工程B系列安全系A 制御盤(計器盤2))	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
せん断工程A, B系列安全系 Aせん断停止系電源しゃ断 箱	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
溶解設備 安全系No. 9計 装フック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
溶解設備 安全系No. 8計 装フック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
溶解設備 安全系No. 1計 装フック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(244/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○: 共通適用例あり □: 個別適用例あり ×: 適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であることの理由)	
		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容			○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別	内容		設工認	解析種別		内容	設工認		内容						設工認
安全系制御盤(2) (溶解工程A系列安全系A制御盤(計器盤3), 溶解工程A系列・ユーティリティ工程安全系A制御盤1(計器盤4), 溶解工程A系列・ユーティリティ工程安全系A制御盤2(計器盤5))	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
せん断工程A, B系列安全系A制御盤(リレー盤1)	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
安全圧縮空気系 安全系A No.2計装ツック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
溶解工程A, B系列安全系A溶解槽放射線レベル検出装置制御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
清澄・計量設備安全系A計装ツック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	
清澄・計量設備安全系A制御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり: 規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(245/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
ユーティリティ工程安全系A制御 盤3	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
ユーティリティ工程安全系A制御 盤1	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
塔槽類廃ガス処理設備安全 系A計器架台	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
建屋換気設備 安全系A制 御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
高レベル廃液濃縮設備 安 全系A No.1計器架台	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
高レベル廃液濃縮設備 安 全系A No.2計器架台	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(246/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
安全系制御盤(分離・分配 工程安全系A制御盤1, 2, 3)	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
中性子モニタ安全系A制御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
中性子モニタ安全系Aﾌﾟﾘｱﾝﾌﾞ 収納盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
分離設備 分配設備 安 全系A計装ﾌﾞｯｸ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
分離設備 分離建屋一時 貯留処理設備 安全系A計 装ﾌﾞｯｸ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
分離設備 安全系A No.2 計装ﾌﾞｯｸ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(248/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であることの理由)	
		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容			○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容	○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし					相違内容
			設工認	解析種別	内容		設工認	解析種別		内容						設工認
ブルーム精製設備 安全系 A No.1 計装パック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	-	既設工認	相違内容	-	第7回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-
				応力解析			既設工認				-					
ブルーム精製設備 安全系 A No.3 計装パック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	-	既設工認	相違内容	-	第7回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-
				応力解析			既設工認				-					
アルファモニタ計器架台	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	-	既設工認	相違内容	-	第7回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-
				応力解析			既設工認				-					
塔槽類廢ガス処理系(ブルーム系)安全系A計装パック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	-	既設工認	相違内容	-	第8回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-
				応力解析			既設工認				-					
建屋換気設備安全系A制御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	-	既設工認	相違内容	-	第8回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-
				応力解析			既設工認				-					
ユーティリティ工程安全系A制御盤(リレー盤)	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	-	既設工認	相違内容	-	第7回設工認申請添付書類「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-
				応力解析			既設工認				-					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり: 規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(249/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
ケレン・ホトニカ混合脱硝設備 安全系A制御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
溶液系安全系A計装ラック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
建屋換気設備安全系A制御 盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第5回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
建屋換気設備安全系A制御 盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	-
高レベル廃液貯蔵・ガラス化工 程安全系B制御盤1,2	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガラス処理系の計測 制御系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(250/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
高レベル廃液貯蔵・ガラス化工程 安全系B制御盤(3,4,5)	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の計測 制御系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
高レベル廃液貯蔵・ガラス化工程 安全系B制御盤(1階盤1)	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の計測 制御系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
塔槽類廃ガス処理設備 高レベル廃液ガラス固化設備 安全系A計装777	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系の計測 制御系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	-
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備 高レベル廃液ガラス固化設備 安全系A計装777	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化廃ガス処理設 備の計測制御系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備安全系A No.3計器架台	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化廃ガス処理設 備の計測制御系の耐 震性に関する計算 書」	-	-	-	-
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備 安全系A計装777	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化建屋換気設備 の計測制御系の耐震 性に関する計算書」	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(251/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○: 共通適用例あり □: 個別適用例あり ×: 適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○: 同じ ●: 異なる -: 該当 なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当 なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当 なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当 なし	相違内容							
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認						内容	設工認
ガラス固化体重量計安全系A 変換器収納盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	---	既設工認	応答 解析	---	既設工認	---	既設工認	---	既設工認	---	第8回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の計測制 御系の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
流下ノズル高周波加熱安全 系Aしゃ断器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	---	既設工認	応答 解析	---	既設工認	---	既設工認	---	既設工認	---	第8回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の計測制 御系の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
高レベル廃液ガラス固化設備 安全系A計装フック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	---	既設工認	応答 解析	---	既設工認	---	既設工認	---	既設工認	---	第8回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の計測制 御系の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
高レベル廃液ガラス固化設備 安全系A No.1計器架台	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	---	既設工認	応答 解析	---	既設工認	---	既設工認	---	既設工認	---	第8回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の計測制 御系の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
高レベル濃縮廃液貯蔵系 安全系A計装フック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	---	既設工認	応答 解析	---	既設工認	---	既設工認	---	既設工認	---	第8回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の計測制 御系の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-
不溶解残渣廃液貯蔵系 安全系A計装フック	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	---	既設工認	応答 解析	---	既設工認	---	既設工認	---	既設工認	---	第8回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の計測制 御系の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(252/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容
既設工認	解析種別	内容	既設工認	解析種別	内容	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容				
分離建屋安全系A監視制御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第5回工認申請 添付書類 「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
精製建屋安全系A監視制御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第5回工認申請 添付書類 「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋安全系A監視制御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第5回工認申請 添付書類 「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
前処理建屋安全系A監視制御盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第5回工認申請 添付書類 「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
放射線監視盤	取付ボルト	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第9回工認申請 添付書類 「放射線監視設備の耐震性に関する説明書」	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(253/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等) ※1				※2 ○: 共通適用例あり □: 個別適用例あり ×: 適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○: 構造上の差異なし ×: 構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容		○: 同じ ●: 異なる -: 該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容					
主排気筒ガスモニタ	取付ボルト	○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	-	既設工認 -	-	既設工認 -	-	既設工認 -	第9回工認申請 添付書類 「放射線監視設備の 耐震性に関する説明 書」	-	-	-	-		
排気サンプリング設備 (主排気筒)	取付ボルト	○	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	第9回工認申請 添付書類 「放射線監視設備の 耐震性に関する説明 書」	-	-	-	-		
燃料油サービスタンク	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	第7回工認 添付書類 「IV-2-2-6-1- 1-4(7)」	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析 今回工認 応答解析 応力解析	第7回工認 添付書類 「IV-2-2-6-1- 1-4(7)」	-	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり: 規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(254/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
溶解槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	○	○	○	○	○	○	○	IV-2-2-1-1-1 (1)溶解槽 A.E.■■■■■ の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	○	○	○	○	○	○	○	IV-2-2-1-1-1 (1)溶解槽 A.E.■■■■■ の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	○	○	○	○	○	○	○	IV-2-2-1-1-1 (1)溶解槽 A.E.■■■■■ の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備 (256/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異な し ×:構造上の差異あ り (適用可能であるこ との理由)			
		○:同じ ●:異な る 一:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る 一:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る 一:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異な る 一:該当 なし	相違内容									
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	解析 種別						内容	設工認	解析 種別
主配管(溶解槽Bデミスタ)	容器	○: 応答解析 ○: 応力解析	既設工認	応答解析	●: 応答解析 ○: 応力解析	既設工認	応答解析	○	既設工認	●	既設工認	●	IV-2-2-3-1-1 (3)溶解槽A,Bデミスタ の耐震計算書	○	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-			
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		応答解析										
		既設工認	応力解析	既設工認		応力解析	既設工認		応力解析		既設工認								応力解析	既設工認	応力解析
		今回設工認	応力解析	今回設工認		応力解析	今回設工認		応力解析		今回設工認								応力解析		
		既設工認	応答解析	既設工認		応答解析	既設工認		応答解析		既設工認								応答解析	既設工認	応答解析
		今回設工認	応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認		応答解析		今回設工認								応答解析		
	支持構造物(ボルト以外)	○: 応答解析 ○: 応力解析	既設工認	応答解析	○: 応答解析 ○: 応力解析	既設工認	応答解析	○	既設工認	●	既設工認	●	IV-2-2-3-1-1 (3)溶解槽A,Bデミスタ の耐震計算書	○	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-			
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		応答解析										
		既設工認	応力解析	既設工認		応力解析	既設工認		応力解析		既設工認								応力解析	既設工認	応力解析
支持構造物(ボルト等)	○: 応答解析 ○: 応力解析	既設工認	応答解析	○: 応答解析 ○: 応力解析	既設工認	応答解析	○	既設工認	●	既設工認	●	IV-2-2-3-1-1 (3)溶解槽A,Bデミスタ の耐震計算書	○	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-				
		今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		応答解析											

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(258/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容					
ハル洗浄槽	容器	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	○	IV-2-2-1-1-1 (7)ハル洗浄槽 A, E の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析							
	支持構造物(ボルト以外)	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	○	IV-2-2-1-1-1 (7)ハル洗浄槽 A, E の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析							
清澄機	容器	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	○	IV-2-2-1-2-2 (4)清澄機 A, E の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析							
	支持構造物(ボルト等)	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	○	IV-2-2-1-2-2 (4)清澄機 A, E の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析							
支持構造物(ボルト等)	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	○	IV-2-2-1-2-2 (4)清澄機 A, E の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-		
		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		応答解析 応力解析								

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(259/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認						内容
計量前中間貯槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (11)計量前中間貯槽 A,Eの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (11)計量前中間貯槽 A,Eの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (11)計量前中間貯槽 A,Eの耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認	●	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (11)計量前中間貯槽 A,Eの耐震計算書	(減衰定数) ○ (その他) 動的地震力の組合せ: ○	(減衰定数) 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある減衰定数 (その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	(減衰定数) 東海第二 使用済み燃料貯蔵ラックを参照 動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	× (剛な設備に対しての適用実績あり)		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (11)計量前中間貯槽 A,Eの耐震計算書	(解析モデル) 応答解析:○ (減衰定数) ○ (その他) 動的地震力の組合せ: ○	(解析モデル) 応答解析, 応力解析:東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある解析モデル。 (その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	(解析モデル) (減衰定数) 東海第二 使用済み燃料貯蔵ラックを参照 動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	× (剛な設備に対しての適用実績あり)		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(260/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし					
既設工認	解析種別	内容	既設工認	解析種別	内容	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容	既設工認	内容			
計量後中間貯槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (15)計量後中間貯槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (15)計量後中間貯槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (15)計量後中間貯槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (15)計量後中間貯槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (15)計量後中間貯槽 の耐震 計算書	(解析モデル) 応答解析:○ (その他) 動的地震力の組合せ: ○	(解析モデル) 応答解析:東海第二新規制基準対応工 認での共通適用例のある 解析モデル。 (その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	(解析モデル) 東海第二 使用済 み燃料貯蔵ラック を参照 動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(261/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容		既設工認	内容					
計量補助槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (17)計量補助槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (17)計量補助槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (17)計量補助槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (17)計量補助槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ●	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (17)計量補助槽 の耐震 計算書	(解析モデル) 応答解析:○ (その他) 動的地震力の組合せ: ○	(解析モデル) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 解析モデル。 (その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	(解析モデル) 東海第二 使用済 み燃料貯蔵ラック を参照 動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(262/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					備考 ※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容							
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認
溶解液供給槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (3)溶解液供給槽 [Redacted]の耐震 計算書	-	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-	
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (3)溶解液供給槽 [Redacted]の耐震 計算書	-	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							-
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認			第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (3)溶解液供給槽 [Redacted]の耐震 計算書	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(263/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容		
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容	設工認
溶解液供給槽 (つづき)	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	●	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (3)溶解液供給槽 の耐震 計算書	-	-	-	-	
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認		応力 解析								今回設工認
	支持構造物(ボルト以外)	既設工認	応答 解析	●	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	●		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (3)溶解液供給槽 の耐震 計算書	-	-	-	-
		今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認		応力 解析		今回設工認							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(264/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					備考 ※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容									
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	内容						設工認	内容	
抽出廃液受槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	[Redacted]	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (33)抽出廃液受槽 [Redacted]の耐震 計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-			
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		[Redacted]	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○		既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (33)抽出廃液受槽 [Redacted]の耐震 計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析				○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認		応答解析	今回設工認			-					今回設工認	-
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析			[Redacted]	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-		○		既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (33)抽出廃液受槽 [Redacted]の耐震 計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析					○(応答解析) ○(応力解析)	今回設工認		応答解析	今回設工認				-				

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(265/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容							
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認
抽出廃液受槽 (つづき)	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認	○	既設工認	[Redacted]	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (33)抽出廃液受槽 [Redacted]の耐震 計算書	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		今回設工認								
	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	既設工認	既設工認	既設工認	既設工認	既設工認									
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	今回設工認	今回設工認	今回設工認	今回設工認	今回設工認									
支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認	○	既設工認	[Redacted]	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (33)抽出廃液受槽 [Redacted]の耐震 計算書	-	-	-	-	
		今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		今回設工認									
既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	既設工認	既設工認	既設工認	既設工認	既設工認	既設工認									
今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	今回設工認	今回設工認	今回設工認	今回設工認	今回設工認	今回設工認									

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(266/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例								
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)					
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容				
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容	既設工認	内容	
第4一時貯留処理槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	[Redacted]	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	[Redacted]	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (14)第3一時貯留処 理槽[Redacted]の 耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認						-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	[Redacted]	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	[Redacted]					第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (14)第3一時貯留処 理槽[Redacted]の 耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認									
第4一時貯留処理槽 (つづき)	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	[Redacted]	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	[Redacted]	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (14)第3一時貯留処 理槽[Redacted]の 耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認									
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	[Redacted]	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	[Redacted]					第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (14)第3一時貯留処 理槽[Redacted]の 耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認									
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	[Redacted]	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	[Redacted]	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (14)第3一時貯留処 理槽[Redacted]の 耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認									

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(267/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 ※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
第3一時貯留処理槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (10)第3一時貯留処 理槽の 耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (10)第3一時貯留処 理槽の 耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (10)第3一時貯留処 理槽の 耐震計算書	-	-	-	-	
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (10)第3一時貯留処 理槽の 耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (10)第3一時貯留処 理槽の 耐震計算書	-	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(268/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容		既設工認	内容					
計量・調整槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (16)計量・調整槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (16)計量・調整槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (16)計量・調整槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (16)計量・調整槽 の耐震 計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ●	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		●	既設工認	IV-2-2-1-2-2 (16)計量・調整槽 の耐震 計算書	(解析モデル) 応答解析:○ (その他) 動的地震力の組合せ: ○	(解析モデル) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 解析モデル。 (その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 動的地震力の組合せ。	(解析モデル) 東海第二 使用済 み燃料貯蔵ラック を参照 動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(269/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容		既設工認	内容					
溶解液中間貯槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (1)溶解液中間貯槽 の耐震 計算書	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (1)溶解液中間貯槽 の耐震 計算書	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (1)溶解液中間貯槽 の耐震 計算書	-	-	-	-
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (1)溶解液中間貯槽 の耐震 計算書	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (1)溶解液中間貯槽 の耐震 計算書	-	-	-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(270/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容		既設工認	内容					
抽出廃液中間貯槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (34)抽出廃液中間貯 槽の耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (34)抽出廃液中間貯 槽の耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (34)抽出廃液中間貯 槽の耐震計算書	-	-	-	-	
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (34)抽出廃液中間貯 槽の耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (34)抽出廃液中間貯 槽の耐震計算書	-	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(271/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容
抽出廃液供給槽A	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (35)抽出廃液供給貯 槽Aの耐 震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (35)抽出廃液供給貯 槽Aの耐 震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (35)抽出廃液供給貯 槽Aの耐 震計算書	-	-	-		
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (35)抽出廃液供給貯 槽Aの耐 震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (35)抽出廃液供給貯 槽Aの耐 震計算書	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(272/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容		既設工認	内容					
抽出廃液供給槽B	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (36)抽出廃液供給貯 槽Bの耐 震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (36)抽出廃液供給貯 槽Bの耐 震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (36)抽出廃液供給貯 槽Bの耐 震計算書	-	-	-	-	
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (36)抽出廃液供給貯 槽Bの耐 震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (36)抽出廃液供給貯 槽Bの耐 震計算書	-	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(273/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	内容					
高レベル廃液供給槽A	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	[Redacted]	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (1)高レベル廃液 供給槽Aの耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認	-					第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (1)高レベル廃液 供給槽Bの耐震計算書
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	[Redacted]	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (1)高レベル廃液 供給槽Aの耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認	-					第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (1)高レベル廃液 供給槽Bの耐震計算書
支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	[Redacted]	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (1)高レベル廃液 供給槽Aの耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認	-					第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (1)高レベル廃液 供給槽Bの耐震計算書	
冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	[Redacted]	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (1)高レベル廃液 供給槽Aの耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認	-					第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (1)高レベル廃液 供給槽Bの耐震計算書	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(274/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容					
高レベル廃液供給槽B	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (1)高レベル廃液供給槽A の耐震計算書	-	-	-	
	今回設工認		応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認		-	今回設工認		-	第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (1)高レベル廃液供給槽B の耐震計算書					
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (1)高レベル廃液供給槽A の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (1)高レベル廃液供給槽B の耐震計算書
支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (1)高レベル廃液供給槽A の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (1)高レベル廃液供給槽B の耐震計算書	
冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (1)高レベル廃液供給槽A の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (1)高レベル廃液供給槽B の耐震計算書	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(275/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容		既設工認	内容					
高レベル廃液混合槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(276/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容		既設工認	内容					
供給液槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラ ス固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(277/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容					
供給槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(278/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容					
廃ガス洗浄器	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
			今回工認 応答解析 応力解析			今回工認 応答解析 応力解析		-	今回工認	-		今回工認	-					
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
			今回工認 応答解析 応力解析			今回工認 応答解析 応力解析		-	今回工認	-		今回工認	-					
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
		今回工認 応答解析 応力解析			今回工認 応答解析 応力解析		-	今回工認	-		今回工認	-						
冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-		
		今回工認 応答解析 応力解析			今回工認 応答解析 応力解析		-	今回工認	-		今回工認	-						
支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設 備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-		
		今回工認 応答解析 応力解析			今回工認 応答解析 応力解析		-	今回工認	-		今回工認	-						

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(279/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容							
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容						既設工認
第1高レベル濃縮廃液貯槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-		第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-			第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	-	○	既設工認	-				第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	-	○	既設工認	-			第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」		-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(280/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容									
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認	内容	
第2高レベル濃縮廃液貯槽	容器	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-					
		今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-	第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-				
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
	冷却コイル	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
	支持構造物(ボルト以外)	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-				
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(281/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容					
第1高レベル濃縮廃液一時貯槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-	
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(282/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)				
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容										
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容						既設工認	内容		
第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-					
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認	-									
		今回工認	応答解析	○	今回工認	応答解析	-	今回工認	-	○	今回工認	-	-					-				
			既設工認		応力解析	今回工認		応力解析	今回工認		-	今回工認							-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-	
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認	-									
		今回工認	応答解析	○	今回工認	応答解析	-	今回工認	-	○	今回工認	-	-									-
			既設工認		応力解析	今回工認		応力解析	今回工認		-	今回工認										
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-					
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認	-									
		今回工認	応答解析	○	今回工認	応答解析	-	今回工認	-	○	今回工認	-	-									-
			既設工認		応力解析	今回工認		応力解析	今回工認		-	今回工認										
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-	
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認	-									
		今回工認	応答解析	○	今回工認	応答解析	-	今回工認	-	○	今回工認	-	-									-
			既設工認		応力解析	今回工認		応力解析	今回工認		-	今回工認										
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液貯蔵系の耐震性に係る計算書」	-	-	-					
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認	-									
		今回工認	応答解析	○	今回工認	応答解析	-	今回工認	-	○	今回工認	-	-									-
			既設工認		応力解析	今回工認		応力解析	今回工認		-	今回工認										

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(283/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例								
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)					
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容				
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容							既設工認	内容	既設工認	内容	
高レベル廃液共用貯槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液 貯蔵系の耐震性に係 る計算書」	-	-	-			
			今回工認	応答解析			今回工認	応答解析					今回工認	-					今回工認	-	
		既設工認	応力解析	既設工認		応力解析	既設工認	応力解析		既設工認	-	既設工認	-	既設工認					-	既設工認	-
		今回工認	応力解析	今回工認		応力解析	今回工認	応力解析		今回工認	-	今回工認	-	今回工認					-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液 貯蔵系の耐震性に係 る計算書」	-	-	-			
			今回工認	応答解析			今回工認	応答解析					今回工認	-					今回工認	-	
		既設工認	応力解析	既設工認		応力解析	既設工認	応力解析		既設工認	-	既設工認	-	既設工認					-	既設工認	-
		今回工認	応力解析	今回工認		応力解析	今回工認	応力解析		今回工認	-	今回工認	-	今回工認					-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液 貯蔵系の耐震性に係 る計算書」	-	-	-			
			今回工認	応答解析			今回工認	応答解析					今回工認	-					今回工認	-	
		既設工認	応力解析	既設工認		応力解析	既設工認	応力解析		既設工認	-	既設工認	-	既設工認					-	既設工認	-
		今回工認	応力解析	今回工認		応力解析	今回工認	応力解析		今回工認	-	今回工認	-	今回工認					-		
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液 貯蔵系の耐震性に係 る計算書」	-	-	-			
			今回工認	応答解析			今回工認	応答解析					今回工認	-					今回工認	-	
		既設工認	応力解析	既設工認		応力解析	既設工認	応力解析		既設工認	-	既設工認	-	既設工認					-	既設工認	-
		今回工認	応力解析	今回工認		応力解析	今回工認	応力解析		今回工認	-	今回工認	-	今回工認					-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認申請 添付書類 「高レベル濃縮廃液 貯蔵系の耐震性に係 る計算書」	-	-	-			
			今回工認	応答解析			今回工認	応答解析					今回工認	-					今回工認	-	
		既設工認	応力解析	既設工認		応力解析	既設工認	応力解析		既設工認	-	既設工認	-	既設工認					-	既設工認	-
		今回工認	応力解析	今回工認		応力解析	今回工認	応力解析		今回工認	-	今回工認	-	今回工認					-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(284/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 応答解析 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応答解析 応力解析	内容							既設工認	内容
抽出塔	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (8)抽出塔 の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-					
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (8)抽出塔 の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-					
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (8)抽出塔 の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-					
	パルスレグ	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (8)抽出塔 の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-					

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(285/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容							既設工認	内容
抽出塔 (つづき)	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)(支持パイプ)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-		
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)(支持棒)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	×	-	-		
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(固定金具)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-		
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(取付ボルト)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(286/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)				
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容			
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認	内容
抽出塔 (つづき)	ほう素入りコンクリート被覆材補強リング	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-			
	ほう素入りコンクリートシャフト部被覆材	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-		
	ほう素入りコンクリートシャフト部緩衝材	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-			第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-	
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(固定金具)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-				第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(取付ボルト)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(287/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 応答解析 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応答解析 応力解析	内容							既設工認	内容
第1洗浄塔	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (16)第1洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-					
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (16)第1洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-					
支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (16)第1洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-						
パルスレグ	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (16)第1洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-						

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(288/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	内容					
第1洗浄塔 (つづき)	中性子吸収材固定部(ステン レス被覆ほう素入りコンクリ ート)(支持パイプ)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地 震時の臨界安全性の 評価	-	-	-	
	中性子吸収材固定部(ステン レス被覆ほう素入りコンクリ ート)(支持棒)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		●	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地 震時の臨界安全性の 評価	×	-	-	
	中性子吸収材固定部(ステン レス被覆カドミウム)(固定金具)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地 震時の臨界安全性の 評価	-	-	-	
	中性子吸収材固定部(ステン レス被覆カドミウム)(取付ボル ト)	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地 震時の臨界安全性の 評価	-	-	-	
	ほう素入りコンクリート被覆 材補強リング	(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析)○ (応力解 析)○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地 震時の臨界安全性の 評価	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(289/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容
第1洗浄塔 (つづき)	ほう素入りコンクリートシャ フト部被覆材	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地 震時の臨界安全性の 評価	-	-	-		
			今回設工 認 応答 解析 応力 解析			今回設工 認 応答 解析 応力 解析		○	今回設工 認		○	今回設工 認 -						
	ほう素入りコンクリートシャ フト部緩衝材	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認 -		第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地 震時の臨界安全性の 評価	-	-	-	
			今回設工 認 応答 解析 応力 解析			今回設工 認 応答 解析 応力 解析		○	今回設工 認		○	今回設工 認 -						
中性子吸収材固定部(ステンレ ス被覆カドミウム)(固定金具)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認 -	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地 震時の臨界安全性の 評価	-		-	-		
		今回設工 認 応答 解析 応力 解析			今回設工 認 応答 解析 応力 解析		○	今回設工 認		○	今回設工 認 -							
中性子吸収材固定部(ステンレ ス被覆カドミウム)(取付ボルト)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認 -		第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地 震時の臨界安全性の 評価	-	-	-		
		今回設工 認 応答 解析 応力 解析			今回設工 認 応答 解析 応力 解析		○	今回設工 認		○	今回設工 認 -							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(290/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 応答解析 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応答解析 応力解析	内容							既設工認	内容
TBP洗浄塔	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (27)TBP洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-					
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (27)TBP洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-					
支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (27)TBP洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-						
パルスレグ	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (27)TBP洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-		
		今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認 応答解析 応力解析			今回設工認			今回設工認	-						

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(291/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 応答解析 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応答解析 応力解析	内容							既設工認	内容
第2洗浄塔	容器	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (22)第2洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認		-							
		今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-									
		今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト以外)	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (22)第2洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認		-							
		今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-									
		今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (22)第2洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認		-							
		今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-									
		今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-									
	パルスレグ	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (22)第2洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認		-							
		今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-									
		今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-									

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(292/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容							既設工認	内容
第2洗浄塔 (つづき)	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)(支持パイプ)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-		
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)(支持棒)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	×	-	-		
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		黒塗り							
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(固定金具)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-		
今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-									
中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(取付ボルト)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-			
		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		-								

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(293/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例								
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)					
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容				
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認	内容	
第2洗浄塔 (つづき)	ほう素入りコンクリート被覆材補強リング	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	●(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-					
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認		-										
		今回設工認	応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-											
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析		今回設工認	-	今回設工認	-												
	ほう素入りコンクリートシャフト部被覆材	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認					-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-
			既設工認	応力解析			既設工認	応力解析		既設工認		-									
		今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析		今回設工認	-	今回設工認	-											
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認		-	今回設工認	-												
	ほう素入りコンクリートシャフト部緩衝材	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)		既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-				
既設工認			応力解析	既設工認			応力解析	既設工認		-											
今回設工認		応答解析	今回設工認	応答解析		今回設工認	-	今回設工認	-												
今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認		-	今回設工認	-													

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(294/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
ブルトニウム分配塔	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (1)ブルトニウム分配塔 の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (1)ブルトニウム分配塔 の耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-			第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (1)ブルトニウム分配塔 の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		-							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(295/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例													
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)										
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容									
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容							既設工認	内容	既設工認	内容						
プルトニウム分配塔 (つづき)	バルスレグ	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (1)プルトニウム分配塔 の耐震計算書	-	-	-									
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認									内容	今回設工認	内容						
		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析		既設工認	応答解析	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	○		既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の 臨界安全性の評価	-	-	-						
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析	今回設工認	内容		今回設工認										内容					
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)(支持棒)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析		[Redacted]	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	○	既設工認		-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の 臨界安全性の評価		-	-	-						
			今回設工認	応力解析			今回設工認	応力解析		今回設工認											内容	今回設工認	内容			
		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析			既設工認	応答解析	既設工認	応答解析	○	既設工認	-		○			既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の 臨界安全性の評価	-	-	-			
			今回設工認	応力解析			今回設工認	応力解析	今回設工認	内容		今回設工認												内容		
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(固定金具)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析			[Redacted]	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	○		既設工認			-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の 臨界安全性の評価		-	-	-			
			今回設工認	応力解析				今回設工認	応力解析		今回設工認													内容	今回設工認	内容
		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析				既設工認	応答解析	既設工認	応答解析	○	既設工認		-			○			既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の 臨界安全性の評価	-	-	-
			今回設工認	応力解析				今回設工認	応力解析	今回設工認	内容		今回設工認													
中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム)(取付ボルト)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認			応答解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の 臨界安全性の評価			-			-	-				
		今回設工認	応力解析		今回設工認			応力解析		今回設工認														内容	今回設工認	内容
	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析		既設工認			応答解析	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	○			既設工認	-			第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の 臨界安全性の評価	-		-	-	
		今回設工認	応力解析		今回設工認			応力解析	今回設工認	内容		今回設工認														内容

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(296/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
プルトニウム分配塔 (つづき)	ほう素入りコンクリート被覆材補強リング	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		今回設工認							-
	ほう素入りコンクリートシャフト部緩衝材	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		今回設工認							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(297/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例										
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)							
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容													
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認	内容					
抽出塔流量計測ポットA/ 抽出塔エアリフトポンプA バッファチューブ	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (9)抽出塔流量計測 ポットA/抽出塔エア リフトポンプA/バッ ファチューブ の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-						既設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (9)抽出塔流量計測 ポットA/抽出塔エア リフトポンプA/バッ ファチューブ の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認										-			
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-										既設工認	-		
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (9)抽出塔流量計測 ポットA/抽出塔エア リフトポンプA/バッ ファチューブ の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認	-													

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(298/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
第1洗浄塔流量計測ポットA/第1洗浄塔エアリフトポンプAパッファチューブ	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (17)第1洗浄塔流量計測ポットA/第1洗浄塔エアリフトポンプAパッファチューブ の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (17)第1洗浄塔流量計測ポットA/第1洗浄塔エアリフトポンプAパッファチューブ の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (17)第1洗浄塔流量計測ポットA/第1洗浄塔エアリフトポンプAパッファチューブ の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(299/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例									
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)						
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容					
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認	内容		
TBP洗浄塔エアリフトポンプAパuffァチューブ	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	[Redacted]	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	[Redacted]	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (28)TBP洗浄塔エア リフトポンプA パuffァチューブ [Redacted] の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-			
			応力解析			応力解析		応力解析			既設工認	-							既設工認	-		既設工認
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		[Redacted]	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認		[Redacted]	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (28)TBP洗浄塔エア リフトポンプA パuffァチューブ [Redacted] の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応答解析				今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							-	
			応力解析				応力解析		応力解析			既設工認	-								既設工認	-
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析			[Redacted]	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○		既設工認		[Redacted]	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (28)TBP洗浄塔エア リフトポンプA パuffァチューブ [Redacted] の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析					今回設工認	応答解析		今回設工認	-			今回設工認						
			応力解析					応力解析		応力解析			既設工認	-								

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(300/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
第2洗浄塔流量計測ポットA/第2洗浄塔エアリフトポンプAパッファチューブ	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (17)第2洗浄塔流量計測ポットA/第2洗浄塔エアリフトポンプAパッファチューブ の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (17)第2洗浄塔流量計測ポットA/第2洗浄塔エアリフトポンプAパッファチューブ の耐震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (17)第2洗浄塔流量計測ポットA/第2洗浄塔エアリフトポンプAパッファチューブ の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (17)第2洗浄塔流量計測ポットA/第2洗浄塔エアリフトポンプAパッファチューブ の耐震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (17)第2洗浄塔流量計測ポットA/第2洗浄塔エアリフトポンプAパッファチューブ の耐震計算書	-	-	-		
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-1 (17)第2洗浄塔流量計測ポットA/第2洗浄塔エアリフトポンプAパッファチューブ の耐震計算書	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(301/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容									
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認	内容	
ウラン洗浄塔流量計測 ポットA/ウラン洗浄塔エ アリフトポンプAバフファ チューブ	容器	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	● (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (6)ウラン洗浄塔流 量計測ポットA/ウラ ン洗浄塔エアリフト ポンプAバフファ チューブ の耐震計算書	-	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						-			
			応力解析			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析							応力解析		
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析		● (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○		既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (6)ウラン洗浄塔流 量計測ポットA/ウラ ン洗浄塔エアリフト ポンプAバフファ チューブ の耐震計算書	-	-	-	-		
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析		今回設工認	-			今回設工認						-	
			応力解析				応力解析		応力解析		応力解析			応力解析							応力解析
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析			● (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	-		○		既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (6)ウラン洗浄塔流 量計測ポットA/ウラ ン洗浄塔エアリフト ポンプAバフファ チューブ の耐震計算書	-	-	-	-
			今回設工認	応答解析				今回設工認	応答解析		今回設工認	-				今回設工認					
			応力解析					応力解析		応力解析		応力解析				応力解析					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(302/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 応答解析 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応答解析 応力解析	内容							既設工認	内容
ウラン洗浄塔	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	●	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回工認 IV-2-2-2-1-2 (5)ウラン洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	●	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回工認 IV-2-2-2-1-2 (5)ウラン洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	●	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回工認 IV-2-2-2-1-2 (5)ウラン洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-			
	パルスレグ	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	●	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第6回工認 IV-2-2-2-1-2 (5)ウラン洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-			

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(303/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
ウラン洗浄塔 (つづき)	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆ほう素入りコンクリート)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム) (取付ボルト)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					
	中性子吸収材固定部(ステンレス被覆カドミウム) (固定金具)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-4 再処理設備本体の地震時の臨界安全性の評価	-	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析					

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(304/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例											
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)								
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容							
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容	設工認	内容				
プルトニウム溶液TBP洗浄器	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (9)プルトニウム溶 液TBP洗浄器 の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認													
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (9)プルトニウム溶 液TBP洗浄器 の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認									-			
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認													
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認									第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (9)プルトニウム溶 液TBP洗浄器 の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認												
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認													
プルトニウム洗浄器	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (11)プルトニウム洗 浄器 の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認												
		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認														
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (11)プルトニウム洗 浄器 の耐震計算書	-	-	-				
今回設工認			応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認		-	今回設工認		-												
	応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		既設工認															

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(305/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
第1洗浄器	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-3-1-1-1(1) 第1洗浄器 の耐震計算書	(減衰定数) ○	(減衰定数) 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある減衰定数	(減衰定数) 東海第二 残留熱除去系熱交換器を参照	× (当該機器は東海第二と同様の溶接構造物であるため運用可能)		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-2-3-1-1-1(1) 第1洗浄器 の耐震計算書	(減衰定数) ○	(減衰定数) 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある減衰定数	(減衰定数) 東海第二 残留熱除去系熱交換器を参照	× (当該機器は東海第二と同様の溶接構造物であるため運用可能)		
TBP洗浄器	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(306/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容		
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認
ブルトニウム溶液受槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (12)ブルトニウム溶液受槽 の耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (12)ブルトニウム溶液受槽 の耐震計算書	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (12)ブルトニウム溶液受槽 の耐震計算書	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認			第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (12)ブルトニウム溶液受槽 の耐震計算書	-	-	-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(307/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容		
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認
ブルトニウム溶液中間貯槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (13)ブルトニウム溶液受槽 の耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (13)ブルトニウム溶液受槽 の耐震計算書	-	-	-	-
			今回設工認 応答解析 応力解析		今回設工認 応答解析 応力解析		-	今回設工認	-	○	今回設工認	-							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (13)ブルトニウム溶液受槽 の耐震計算書	-	-	-	-
	今回設工認 応答解析 応力解析		今回設工認 応答解析 応力解析		-	今回設工認	-	○	今回設工認	-									
支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-2 (13)ブルトニウム溶液受槽 の耐震計算書	-	-	-	-		
	今回設工認 応答解析 応力解析		今回設工認 応答解析 応力解析		-	今回設工認	-	○	今回設工認	-									

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(308/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容
第1一時貯留処理槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (2)第1一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-			
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (2)第1一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-			第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (2)第1一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-				第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (2)第1一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-			第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (2)第1一時貯留処理槽 の耐震計算書		-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(309/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容							
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認
第7一時貯留処理槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (4)第7一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (4)第7一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-			第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (4)第7一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-				第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (4)第7一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-			第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (4)第7一時貯留処理槽 の耐震計算書		-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(310/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例																				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)																	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容																
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容															
第8一時貯留処理槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (6)第8一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-																
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																				
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (6)第8一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-												
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																				
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (6)第8一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																				
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-													第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (6)第8一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																				
	冷却コイル	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-																	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (6)第8一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-																				

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(311/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容		
			既設工認	解析種別 応答解析 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応答解析 応力解析	内容							既設工認	内容	既設工認
第2一時貯留処理槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (8)第2一時貯留処理 槽の耐震計算書	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-		第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (8)第2一時貯留処理 槽の耐震計算書	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-			第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (8)第2一時貯留処理 槽の耐震計算書	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	-				第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (8)第2一時貯留処理 槽の耐震計算書	-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(312/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容									
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容								
第5一時貯留処理槽	容器	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (16)第5一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-								
	○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 IV-2-2-2-1-3 (16)第5一時貯留処理槽 の耐震計算書	-	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-								
	○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-								
今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-									
○		既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									
○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-										
第4一時貯留処理槽	容器	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性 に関する計算書」	×	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-								
	○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性 に関する計算書」	×	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-								
		○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-								
	○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-								
今回設工認			応答解析 応力解析	今回設工認		応答解析 応力解析	今回設工認		-	今回設工認		-									
○		既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									
○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	応答解析 応力解析	-	今回設工認	-	○	今回設工認	-										

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(313/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容							
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	内容						設工認
ブルトニウム溶液供給槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	[Redacted]	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	[Redacted]	第6回設工認 添付書類 「ブルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	[Redacted]		第6回設工認 添付書類 「ブルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	[Redacted]			第6回設工認 添付書類 「ブルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(314/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容					
第1一時貯留処理槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-	
		今回設工認	応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-					今回設工認	-
		今回設工認	応力解析	今回設工認		応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-					今回設工認	-
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-	
		今回設工認	応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-					今回設工認	-
		今回設工認	応力解析	今回設工認		応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-					今回設工認	-
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-	
		今回設工認	応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-					今回設工認	-
		今回設工認	応力解析	今回設工認		応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-					今回設工認	-
冷却コイル	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-			
		既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-		
	今回設工認	応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-					今回設工認	-	
	今回設工認	応力解析	今回設工認		応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-					今回設工認	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(315/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容					
第2一時貯留処理槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-	-				
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-	-				
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-	-				
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 -	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-	-				

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(316/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容					
第3一時貯留処理槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-	
		今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認					-	
		今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認					-	
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-	
		今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認					-	
		今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認					-	
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-	
		今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認					-	
		今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認					-	
冷却コイル	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「精製建屋一時貯留 処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-			
		既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-		
	今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認					-		
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認					-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(317/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応力解析	内容		既設工認	内容					
プルトニウム溶液受槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応力解析	○	既設工認 応力解析	○	-	既設工認	-	○	既設工認	○	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応力解析	○	既設工認 応力解析	○	-	既設工認	-	○	既設工認	○	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応力解析	○	既設工認 応力解析	○	-	既設工認	-	○	既設工認	○	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応力解析	○	既設工認 応力解析	○	-	既設工認	-	○	既設工認	○	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(318/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 応答解析 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応答解析 応力解析	内容		既設工認	内容					
油水分離槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(319/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容					
プルトニウム濃縮缶供給槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認						-
		今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-							
		今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-							
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認						-
		今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-							
		今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-							
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認						-
		今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-							
		今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-							
冷却コイル	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
		既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認						-	
	今回設工認	応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-								
	今回設工認	応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-	今回設工認	-								

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(320/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容							既設工認	内容
プルトニウム溶液一時貯槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-	
		今回工認	応答解析	今回工認	応答解析	今回工認	-	今回工認	-	今回工認	-							
		今回工認	応力解析	今回工認	応力解析	今回工認	-	今回工認	-	今回工認	-							
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-	
		今回工認	応答解析	今回工認	応答解析	今回工認	-	今回工認	-	今回工認	-							
		今回工認	応力解析	今回工認	応力解析	今回工認	-	今回工認	-	今回工認	-							
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-	
		今回工認	応答解析	今回工認	応答解析	今回工認	-	今回工認	-	今回工認	-							
		今回工認	応力解析	今回工認	応力解析	今回工認	-	今回工認	-	今回工認	-							
冷却コイル	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-			
		既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認	-		既設工認					-		
	今回工認	応答解析	今回工認	応答解析	今回工認	-	今回工認	-	今回工認	-								
	今回工認	応力解析	今回工認	応力解析	今回工認	-	今回工認	-	今回工認	-								

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(321/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容					
プルトニウム濃縮液受槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
	冷却コイル	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(322/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応力解析	内容		既設工認	内容					
リサイクル槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析	○	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析	○	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析	○	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析	○	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析	○	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析	○	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析	○	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応力解析	○	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(323/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)				
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容			
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容							既設工認	内容	既設工認	内容
希釈槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	[Redacted]	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-			
			今回設工認	応答解析			今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認							
		既設工認	応力解析	既設工認		応力解析	既設工認	-		既設工認	-	既設工認	-							
		今回設工認	応力解析	今回設工認		応力解析	今回設工認	-		今回設工認	-	今回設工認	-							
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		[Redacted]	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-		
			今回設工認	応答解析				今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-	
		既設工認	応力解析	既設工認			応力解析	既設工認	-		既設工認	-	既設工認	-						
		今回設工認	応力解析	今回設工認			応力解析	今回設工認	-		今回設工認	-	今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析			[Redacted]	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	
			今回設工認	応答解析					今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認					-
		既設工認	応力解析	既設工認				応力解析	既設工認	-		既設工認	-	既設工認	-					
		今回設工認	応力解析	今回設工認				応力解析	今回設工認	-		今回設工認	-	今回設工認	-					
	冷却コイル	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析				[Redacted]	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-
			今回設工認	応答解析						今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認				
		既設工認	応力解析	既設工認					応力解析	既設工認	-		既設工認	-	既設工認	-				
		今回設工認	応力解析	今回設工認					応力解析	今回設工認	-		今回設工認	-	今回設工認	-				

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(324/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)				
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容										
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容						既設工認	内容		
プルトニウム濃縮液一時貯槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-					
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-				
		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認						第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認										
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-					
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-				
		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認						第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認										
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-					
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-				
		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認						第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
			今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認										
冷却コイル	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-						
		今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-					
	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認						第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
		今回設工認	応力解析		今回設工認	応力解析		今回設工認	-		今回設工認											-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(325/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容							
			既設工認	解析種別 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応力解析	内容		既設工認	内容						既設工認
プルトニウム濃縮液計量槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-			
			今回工認	応力解析		今回工認	応力解析		今回工認	-		今回工認					-		
		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-	-	-
			今回工認	応力解析		今回工認	応力解析		今回工認	-		今回工認							
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-			
			今回工認	応力解析		今回工認	応力解析		今回工認	-		今回工認					-		
		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-	-	-
			今回工認	応力解析		今回工認	応力解析		今回工認	-		今回工認							
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-			
			今回工認	応力解析		今回工認	応力解析		今回工認	-		今回工認					-		
		○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-	-	-
			今回工認	応力解析		今回工認	応力解析		今回工認	-		今回工認							
冷却コイル	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-				
		今回工認	応力解析		今回工認	応力解析		今回工認	-		今回工認					-			
	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認					-	-	-	
		今回工認	応力解析		今回工認	応力解析		今回工認	-		今回工認								-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(326/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 応答解析 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応答解析 応力解析	内容		既設工認	内容					
プルトニウム濃縮液中間貯槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
	冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認		第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(327/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例										
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)							
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容													
			既設工認	解析種別		内容	既設工認		解析種別	内容		既設工認	内容						既設工認	内容					
補助油水分離槽	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-								
			今回工認	応答解析		今回工認	応答解析		今回工認	-		今回工認						-							
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-				
			今回工認	応答解析		今回工認	応答解析		今回工認	-		今回工認										-			
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-
			今回工認	応答解析		今回工認	応答解析		今回工認	-		今回工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
抽出塔流量計測ポット/ 抽出塔流量計測ポット バッファチューブ	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-								
			今回工認	応答解析		今回工認	応答解析		今回工認	-		今回工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-				
			今回工認	応答解析		今回工認	応答解析		今回工認	-		今回工認													
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析												

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(328/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	内容					
核分裂生成物洗浄塔流量計測ポット/核分裂生成物洗浄塔流量計測ポットパッファチューブ	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
ウラン洗浄塔流量計測ポットA/ウラン洗浄塔流量計測ポットAパッファチューブ	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
TBP洗浄器パッファチューブ	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
補助油水分離槽プライミングポット	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(329/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容								
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容							
第1酸化塔	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認					-			
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認								
第1脱ガス塔	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認								
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認								
第2酸化塔	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認								
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認								

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(330/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容									
			既設工認	解析種別 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応力解析	内容		既設工認	内容						既設工認	内容	
第2脱ガス塔	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析) ○(応力解析)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析) ○(応力解析)	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-				
			今回設工認	○(応答解析) ○(応力解析)		今回設工認	○(応答解析) ○(応力解析)		今回設工認	-		今回設工認						-			
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析) ○(応力解析)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析) ○(応力解析)	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-
			今回設工認	○(応答解析) ○(応力解析)		今回設工認	○(応答解析) ○(応力解析)		今回設工認	-		今回設工認									
プルトニウム濃縮缶	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析) ○(応力解析)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析) ○(応力解析)	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-				
			今回設工認	○(応答解析) ○(応力解析)		今回設工認	○(応答解析) ○(応力解析)		今回設工認	-		今回設工認									
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析) ○(応力解析)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	○(応答解析) ○(応力解析)	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-
			今回設工認	○(応答解析) ○(応力解析)		今回設工認	○(応答解析) ○(応力解析)		今回設工認	-		今回設工認									

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(331/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
抽出塔	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析	
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析	
	パルスレグ	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析	
核分裂生成物洗浄塔	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析	
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析	
	パルスレグ	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認	-		今回設工認						
			応力解析		応力解析		応力解析		応力解析		応力解析						応力解析	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(332/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容
逆抽出塔	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	パルスレグ	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
ウラン洗浄塔	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	パルスレグ	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		-	既設工認	-	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(333/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容								
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	内容						設工認	内容
プルトニウム濃縮液ボン プAグローブボックス	缶体	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認		応答 解析									
	支持構造物(ボルト以外)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認		第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認		応答 解析									
	支持構造物(ボルト等)	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析	○ (応答解 析) ○ (応力解 析)	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認			第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認		応答 解析									

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(334/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容					
プルトニウム濃縮液ポンプAグローブボックス(つづき)	アクリルパネル部	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
	ラージポート部	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
	スモールポート部	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
	給電端子部	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(335/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例												
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)									
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容								
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容							
プルトニウム濃縮液弁グ ロブボックス	缶体	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認						-							
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認										-			
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
プルトニウム濃縮液ボン ベグローブボックス	缶体	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-								
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-				
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認													
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-												

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(336/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容					
プルトニウム濃縮液ポンプグローブボックス(つづき)	アクリルパネル部	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
	ラージポート部	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
	スモールポート部	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
	給電端子部	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	○	既設工認 今回工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(337/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
プルトニウム濃縮液ボン ブDグローブボックス	缶体	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	アクリルパネル部	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	ラージポート部	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	スモールポート部	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回設工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(338/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容		既設工認	内容					
プルトニウム濃縮液ポンプDグローブボックス(つづき)	給電端子部	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
			今回工認 応答解析 応力解析		今回工認 応答解析 応力解析		今回工認		今回工認 応答解析 応力解析		今回工認							
プルトニウム濃縮液ポンプBグローブボックス	缶体	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
	アクリルパネル部	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		
	ラージポート部	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(339/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容
プルトニウム濃縮液ボン ブグループボックス (つづき)	スモールボルト部	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	給電端子部	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		○	既設工認		○	既設工認	第6回工認 添付書類 「プルトニウム精製 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
硝酸プルトニウム移送グ roupボックス	缶体	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ● (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		-	既設工認		-	既設工認	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ● (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		-	既設工認		-	既設工認	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ● (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		-	既設工認		-	既設工認	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	
	ステンレスパネル部	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		(応答解 析) ● (応力解 析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析		-	既設工認		-	既設工認	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(340/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容
硝酸プルトニウム移送グ ロープボックス (つづき)	ラージポート部	○(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	●(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認		-							
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-									
	スモールポート部	○(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	●(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認		-							
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-									
	給電端子部	○(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	●(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認		-							
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-									
一時貯槽第1グローブボッ クス	缶体	○(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	●(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認		-							
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-									
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	●(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認		-							
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	●(応答解 析) ○(応力解 析)	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
			今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認	応答 解析 応力 解析		今回設工 認		-							
		既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	応答 解析 応力 解析	既設工認	-	既設工認	-									

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(341/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
一時貯槽第1グローブボックス(つづき)	ステンレスパネル部	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	●(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第7回添付書類「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認		-							
		今回設工認	応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	今回設工認		応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-						
	ラージポート部	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		既設工認	応答解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第7回添付書類「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認		-							
		今回設工認	応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	今回設工認		応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-						
	スモールポート部	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		既設工認	応答解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第7回添付書類「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認		-							
		今回設工認	応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	今回設工認		応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-						
	給電端子部	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析		既設工認	応答解析	-	既設工認	-	既設工認	-	第7回添付書類「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-		
			既設工認	応力解析		既設工認	応力解析		既設工認		-							
		今回設工認	応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認	応答解析	今回設工認	-	今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	今回設工認		応力解析	今回設工認	応力解析	今回設工認	-	今回設工認	-						

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(342/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容
一時貯槽第2グローブボックス	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	● (応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 - 今回設工認 -	-	既設工認 - 今回設工認 -	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-				
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	● (応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 - 今回設工認 -	-	既設工認 - 今回設工認 -	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-				
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	● (応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 - 今回設工認 -	-	既設工認 - 今回設工認 -	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-				
	ステンレスパネル部	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	● (応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 - 今回設工認 -	-	既設工認 - 今回設工認 -	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-				
	ラージポート部	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	● (応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 - 今回設工認 -	-	既設工認 - 今回設工認 -	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-				
	給電端子部	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	● (応答解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 - 今回設工認 -	-	既設工認 - 今回設工認 -	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-				

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(343/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容
硝酸プルトニウム貯槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	-	-	-	
	カドミウム取付板	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	×	-	-	-
	カドミウム支持部材	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	×	-	-	-
	固定ボルト	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に 関する計算書」	×	-	-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(344/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容
一時貯槽	容器	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-		
	カドミウム取付板	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
	カドミウム支持部材	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
	固定ボルト	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(345/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容
混合槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	
	カドミウム取付板	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性 に関する計算書」	×	-	-	-
	カドミウム支持部材	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性 に関する計算書」	×	-	-	-
	固定ボルト	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		-	既設工認	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性 に関する計算書」	×	-	-	-

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(346/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
貯蔵ホール	ホール	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	-	第7回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝酸化物貯蔵設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認								内容	今回設工認
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	-	第7回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝酸化物貯蔵設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認								内容	今回設工認
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	-	第7回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝酸化物貯蔵設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
			今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認								内容	今回設工認
	よう素追出し塔	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	-	IV-2-2-3-1-1 (12)よう素追出し塔 A, E の耐震計算書	-	-	-	-	
				今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認								内容
		支持構造物(ボルト)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	○	既設工認	-	-	IV-2-2-3-1-1 (12)よう素追出し塔 A, E の耐震計算書	-	-	-	-	
今回設工認				応答解析	今回設工認		応答解析	今回設工認		内容								今回設工認

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(347/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容					
セル内クーラ	伝熱管	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備 の耐震性に関する計 算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
高レベル廃液濃縮缶A	容器	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1 -1-1 (5)高レベル廃液濃 縮缶Aの耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト以外)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1 -1-1 (5)高レベル廃液濃 縮缶Aの耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					
	支持構造物(ボルト等)	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○(応答解析) ○(応力解析)	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1 -1-1 (5)高レベル廃液濃 縮缶Aの耐震計算書	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	-		今回設工認	-					
		既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	応答解析 応力解析	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-					

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(348/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容					
高レベル廃液濃縮缶A (つづき)	加熱・冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (5)高レベル廃液濃縮缶Aの耐震計算書	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (5)高レベル廃液濃縮缶Aの耐震計算書	-	-	-	-		
高レベル廃液濃縮缶B	容器	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (4)高レベル廃液濃縮缶Bの耐震計算書	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (4)高レベル廃液濃縮缶Bの耐震計算書	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)- (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-3-1-1-1-1-1 (4)高レベル廃液濃縮缶Bの耐震計算書	-	-	-	-		
	加熱・冷却コイル	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	第6回設工認 IV-2-2-3-2-1-1-1 (5)高レベル廃液濃縮缶Bの耐震計算書	-	-	-	-		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(349/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 応答解析 応力解析		内容	既設工認		解析種別 応答解析 応力解析	内容							既設工認	内容
高レベル廃液濃縮缶B (つづき)	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	○	既設工認	応答解析	○	既設工認	○	既設工認	第6回工認 IV-2-2-3-2-1 -1-1 (5)高レベル廃液濃縮缶Bの耐震計算書	-	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回工認	応答解析		今回工認	応答解析		今回工認		今回工認							
ガラス溶融炉	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	○	既設工認	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回工認	応答解析		今回工認	応答解析		今回工認		今回工認							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	○	既設工認	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回工認	応答解析		今回工認	応答解析		今回工認		今回工認							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○	既設工認	応答解析	-	既設工認	応答解析	-	既設工認	○	既設工認	第7回工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	-	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回工認	応答解析		今回工認	応答解析		今回工認		今回工認							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(350/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
固化セル移送台車	フレーム	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	×	-	-	-
	転倒防止機構	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	×	-	-	-
	レール	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス 固化設備の耐震性 に関する計算書」	(その他) 評価部材の追加:○	(その他) 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のあ る評価部位。	評価部材の追加: 東海第二 新規制基 準対応工認での下 記についての耐震 計算書を参照。 ・燃料取替機 ・原子炉建屋ク レーン ・使用済燃料乾式 貯蔵建屋天井ク レーン ・チャンネル着脱 機	-
高レベル廃液ガラス固化 建屋の貯蔵ピット(収納 管/通風管)	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答解 析 ○ 応力解 析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答解 析 ○ 応力解 析	○	既設工認 ○ 今回設工 認	○	既設工認 ○ 今回設工 認	- -	第7回設工認 添付書類 「ガラス固化体貯蔵 設備の耐震性に関す る計算書」	-	-	-	-	
高レベル廃液固化建屋の 貯蔵ピット(収納管/通風 管)	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答解 析 ○ 応力解 析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答解 析 ○ 応力解 析	○	既設工認 ○ 今回設工 認	○	既設工認 ○ 今回設工 認	- -	第7回設工認 添付書類 「ガラス固化体貯蔵 設備の耐震性に関す る計算書」	-	-	-	-	
第1ガラス固化体貯蔵建屋 東棟の第1貯蔵ピット~第 4貯蔵ピット(収納管/通風 管)	支持構造物(ボルト以外)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答解 析 ○ 応力解 析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答解 析 ○ 応力解 析	○	既設工認 ○ 今回設工 認	○	既設工認 ○ 今回設工 認	- -	第8回設工認 添付書類 「ガラス固化体貯蔵 設備の耐震性に関す る計算書」	-	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(351/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
第1ガラス固化体貯蔵建屋 東棟の第1貯蔵ピット～第 4貯蔵ピット(取納管/通風 管)	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	○	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「ガラス固化体貯蔵 設備の耐震性に関する 計算書」	-	-	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認			今回設工認						今回設工認
トレンチ移送台車(ガラ ス固化体の移送機構/遮蔽 容器)	フレーム	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「ガラス固化体貯蔵 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	
			今回設工認			今回設工認			今回設工認	-		今回設工認						
	転倒防止機構	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「ガラス固化体貯蔵 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	
			今回設工認			今回設工認			今回設工認	-		今回設工認						
	レール	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「ガラス固化体貯蔵 設備の耐震性に関する 計算書」	(その他) 評価部材の追加:○	(その他) 評価部材の追加: 東海第二新規制基準 対応工認での共通適用 例のある評価部位。	-	-
			今回設工認			今回設工認			今回設工認	-		今回設工認						
	支持構造物(ボルト等)	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	-	既設工認	-	●	既設工認	-	第8回設工認 添付書類 「ガラス固化体貯蔵 設備の耐震性に関する 計算書」	×	-	-	-
			今回設工認			今回設工認			今回設工認	-		今回設工認						

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(352/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容
第1ガラス固化体貯蔵建屋 床面走行クレーン(ガラス 固化体の移送機構/遮蔽容 器)	フレーム	●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	応答 解析	○	既設工認	●	既設工認	-	西棟第2回設工認 添付書類 「設計及び工事の方 法の技術基準への適 合に関する説明書」	×	-	-	-	
	転倒防止機構	●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	応答 解析	○	既設工認	●	既設工認	-	西棟第2回設工認 添付書類 「設計及び工事の方 法の技術基準への適 合に関する説明書」	×	-	-	-	
	レール	●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	●	既設工認	-	西棟第2回設工認 添付書類 「設計及び工事の方 法の技術基準への適 合に関する説明書」	(その他) 評価部材の追加:○	(その他) 評価部材の追加: 東海第二新規制基準 対応工認での共通適 用例のある評価部位。	東海第二 新規制基 準対応工認での下 記についての耐震 計算書を参照。 ・燃料取替機 ・原子炉建屋ク レーン ・使用済燃料乾式 貯蔵建屋天井ク レーン ・チャンネル着脱 機	-	
	支持構造物(ボルト以外)	●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	応答 解析	○	既設工認	●	既設工認	-	西棟第2回設工認 添付書類 「設計及び工事の方 法の技術基準への適 合に関する説明書」	×	-	-	-	

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(353/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
第1ガラス固化体貯蔵建屋 床面走行クレーン(ガラス 固化体の移送機構/遮蔽容 器) (つづき)	支持構造物(ボルト等)	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	○	既設工認	●	既設工認	-	西棟第2回設工認 添付書類 「設計及び工事の 方法の技術基準への適 合に関する説明書」	×	-	-		
	吊具(ワイヤロープ等)	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	●	既設工認	-	西棟第2回設工認 添付書類 「設計及び工事の 方法の技術基準への適 合に関する説明書」	(その他) 評価部材の追加:○	(その他) 評価部材の追加: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のあ る評価部位。	・燃料取替機 ・原子炉建屋ク レーン ・使用済燃料乾式 貯蔵建屋天井ク レーン ・チャンネル着脱 機		
	吊具(先端金具)	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	応答解析	●	既設工認	●	既設工認	-	西棟第2回設工認 添付書類 「設計及び工事の 方法の技術基準への適 合に関する説明書」	(その他) 評価部材の追加:○	(その他) 評価部材の追加: 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のあ る評価部位。	・燃料取替機 ・原子炉建屋ク レーン ・使用済燃料乾式 貯蔵建屋天井ク レーン ・チャンネル着脱 機		
LPGボンベユニット	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ● (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ● (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2- 2-1(3)」	(解析手法) 応答解析, 応力解析: ○ (解析モデル) 応答解析, 応力解析: ○ (その他) 動的地震力の組合せ: ○	(解析手法) 応答解析, 応力解析:東海第二新 規制基準対応工認での共通適用例 のある解析手法。 (解析モデル) 応答解析, 応力解析:東海第二新 規制基準対応工認での共通適用例 のある解析モデル。 (その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での 共通適用例のある動的地震力の組 合せ。	(その他) 動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照 自然事象による荷 重: 東海第二 主排気 筒を参照		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ● (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	-	第5回設工認 添付書類 「IV-2-2-4-2- 2-1(3)」	(解析手法) 応答解析, 応力解析: ○ (解析モデル) 応答解析, 応力解析: ○ (その他) 動的地震力の組合せ: ○	(解析手法) 応答解析, 応力解析:東海第二新 規制基準対応工認での共通適用例 のある解析手法。 (解析モデル) 応答解析, 応力解析:東海第二新 規制基準対応工認での共通適用例 のある解析モデル。 (その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での 共通適用例のある動的地震力の組 合せ。	(その他) 動的地震力の組合 せ: 東海第二 原子炉再 循環系配管を参照 自然事象による荷 重: 東海第二 主排気 筒を参照		

※1 上記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(354/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容		設工認	内容					
安全冷却水冷却塔	伝熱管	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	○	第6回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○ 自然事象による荷重: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。 自然事象による荷重: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある自然現象による荷重。	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照 自然事象による荷重: 東海第二 主排気筒を参照	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		内容							今回設工認
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	○	第6回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○ 自然事象による荷重: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。 自然事象による荷重: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある自然現象による荷重。	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照 自然事象による荷重: 東海第二 主排気筒を参照	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		内容							今回設工認
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	○	第6回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 自然事象による荷重: ○	(その他) 自然事象による荷重: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある自然現象による荷重。	(その他) 自然事象による荷重: 東海第二 主排気筒を参照	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		内容							今回設工認
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	○	第6回設工認 添付書類 「安全冷却水系の耐震性に関する計算書」	(その他) 自然事象による荷重: ○	(その他) 自然事象による荷重: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある自然現象による荷重。	(その他) 自然事象による荷重: 東海第二 主排気筒を参照	-	
			今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		内容							今回設工認
	冷却塔	伝熱管	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	○	第7回設工認 添付書類 「冷却塔A、Bの耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○ 自然事象による荷重: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。 自然事象による荷重: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある自然現象による荷重。	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照 自然事象による荷重: 東海第二 主排気筒を参照	-
				今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		内容						
		支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	○	第7回設工認 添付書類 「冷却塔A、Bの耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○ 自然事象による荷重: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。 自然事象による荷重: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある自然現象による荷重。	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照 自然事象による荷重: 東海第二 主排気筒を参照	-
				今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認	応答解析 応力解析		今回設工認		内容						

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(355/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例									
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)						
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし						相違内容					
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容	設工認	内容		
冷却塔 (つづき)	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	第7回設工認 添付書類 「冷却塔A、Bの耐 震性に関する計算 書」	(その他) 自然事象による荷重: ○	(その他) 自然事象による荷重: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある自然現象による荷重。	(その他) 自然事象による荷 重: 東海第二 主排気 筒を参照	-				
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認		今回設工認								今回設工認			
	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	○	第7回設工認 添付書類 「冷却塔A、Bの耐 震性に関する計算 書」						(その他) 自然事象による荷重: ○	(その他) 自然事象による荷重: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある自然現象による荷重。	(その他) 自然事象による荷 重: 東海第二 主排気 筒を参照	-
	今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認		今回設工認		今回設工認											
標準支持間隔	配管 (標準支持間隔)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	添付書類IV-1-2- 8 「配管の耐震支持方 針」	(減衰定数) ○ (その他) 動的地震力の組合せ: ○	(減衰定数) 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例が ある減衰定数。 (その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気 系配管を参照	○				
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認		今回設工認								今回設工認			
標準支持間隔	ダクト (標準支持間隔)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	添付書類IV-1-2- 11 「ダクトの耐震支持 方針」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 中央制 御室換気系ダクト を参照	-				
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認		今回設工認								今回設工認			
	ダクト支持構造物	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	-	-	-	-				
			今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認		今回設工認		今回設工認						今回設工認			
廃ガス加熱器 ~第1高性能粒子フィル タ	配管 (多質点解析)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	添付書類「配管の耐 震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気 系配管を参照	-				

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(356/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	解析種別					
第1高性能粒子フィルタ(1142-F22)~第1よう素フィルタ	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 ○ 応答解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
第1よう素フィルタ()~第2よう素フィルタ()	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 ○ 応答解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
第1よう素フィルタ()~第2よう素フィルタ()	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 ○ 応答解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
第2よう素フィルタ() 第2高性能粒子フィルタ()	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 ○ 応答解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
第2高性能粒子フィルタ()~排風機	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 ○ 応答解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
第2高性能粒子フィルタ()~排風機	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 ○ 応答解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
よう素フィルタ第1, 第2加熱器()~よう素フィルタ()	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 ○ 応答解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
よう素フィルタ() 弁()	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 ○ 応答解析 ○	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	既設工認 ○ 今回設工認	○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 ○ 応答解析 ○	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	-	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(357/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容		設工認	内容					
よう素フィルタ第2加熱器 ~よう素フィ ルタ	配管 (多質点解析)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析 応答 解析 応力 解析	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	添付書類「配管の耐 震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気 系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	-	-	-	-	-
よう素フィルタ 排風機	配管 (多質点解析)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析 応答 解析 応力 解析	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	添付書類「配管の耐 震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気 系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	-	-	-	-	-
よう素フィルタ第1加熱器 ~よう素フィ ルタ第2加熱器	配管 (多質点解析)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析 応答 解析 応力 解析	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	添付書類「配管の耐 震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気 系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	-	-	-	-	-
よう素フィルタ第1加熱器 ~よう素フィ ルタ第2加熱器	配管 (多質点解析)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析 応答 解析 応力 解析	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	添付書類「配管の耐 震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気 系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	-	-	-	-	-
よう素フィルタ第2加熱器 ~よう素フィ ルタ	配管 (多質点解析)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析 応答 解析 応力 解析	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	○ ○ ○	添付書類「配管の耐 震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気 系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工 認	応答 解析 応力 解析	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	既設工認 ○ 今回設工 認	- ○ ○	-	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(358/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解 析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当 なし	相違内容						
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容		既設工認	解析 種別					
よう素フィルタ 弁	配管 (多質点解析)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設 工認	応答 解析 応力 解析 応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	添付書類「配管の耐 震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気 系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設 工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	-	-	-	-	-
高レベル廃液濃縮機 第1エジェクタ	配管 (多質点解析)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設 工認	応答 解析 応力 解析 応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	添付書類「配管の耐 震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気 系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設 工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	-	-	-	-	-
ガラス溶融炉 魔ガス洗浄器	配管 (多質点解析)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設 工認	応答 解析 応力 解析 応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	添付書類「配管の耐 震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気 系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設 工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	-	-	-	-	-
加熱器 よう素フィルタ	配管 (多質点解析)	(応答解 析) ○ (応力解 析) ○	既設工認 ○ 今回設 工認	応答 解析 応力 解析 応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設 工認	○ ○	添付書類「配管の耐 震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 応工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気 系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設 工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	既設工認 ○ 今回設 工認	-	-	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(359/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容
よう素フィルタ 第2高性能粒子フィルタ	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 内容	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	○ ○	○ ○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-		
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 内容	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
加熱器 よう素フィルタ	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 内容	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	○ ○	○ ○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-		
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 内容	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
よう素フィルタ 第2高性能粒子フィルタ	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 内容	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	○ ○	○ ○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-		
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 内容	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第1, 第2加熱器 よう素フィルタ	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 内容	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	○ ○	○ ○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-		
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 内容	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
デミスタ 第1, 第2高性能粒子フィルタ	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 内容	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	○ ○	○ ○	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-		
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 内容	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	既設工認 ○ 今回設工認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり: 規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(360/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数					その他(評価条件の変更等)※1							
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容				○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
			設工認	解析種別	内容		設工認	解析種別	内容		設工認	内容	設工認			内容	設工認	内容				
よう素フィルタ 排風機	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	- -	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	-	-	-	-	-
第1, 第2加熱器 よう素フィルタ	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	- -	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	-	-	-	-	-
デミスタ ～第1, 第2高性能粒子フィルタ	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	- -	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	-	-	-	-	-
よう素フィルタ 弁	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	- -	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	-	-	-	-	-
供給槽 ～ガラス溶融炉	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	○ ○	既設工認 ○ 今回設工認	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-
	配管支持構造物	-	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	- -	既設工認 ○ 今回設工認	応答解析 応力解析 応答解析 応力解析	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	- -	既設工認 ○ 今回設工認	-	-	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり: 規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり: プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(361/361)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	解析種別					
供給槽 ~ ガラス溶融炉	配管 (多質点解析)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	○	既設工認	添付書類「配管の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	東海第二 主蒸気系配管を参照	-	
	配管支持構造物	-	既設工認	応答解析 応力解析	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	既設工認	-	-	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例															
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析 他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 (左欄にて比較した 既設工認)	※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)											
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし							相違内容										
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容								既設工認	内容	既設工認	内容							
第5一時貯留処理槽	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回工認 添付書類 「精製建屋一時貯留処理設備の耐震 性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例のあ る動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-										
		今回工認	応答 解析 応力 解析	今回工認		応答 解析 応力 解析	今回工認		-	今回工認		-																
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-						第6回工認 添付書類 「精製建屋一時貯留処理設備の耐震 性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例のあ る動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-					
		今回工認	応答 解析 応力 解析	今回工認		応答 解析 応力 解析	今回工認		-	今回工認		-																
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-											第6回工認 添付書類 「精製建屋一時貯留処理設備の耐震 性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例のあ る動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-
		今回工認	応答 解析 応力 解析	今回工認		応答 解析 応力 解析	今回工認		-	今回工認		-																
極低レベル廃ガス洗浄塔	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-2-1-1-1 (1)極低レベル廃ガス洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-	-										
		今回工認	応答 解析 応力 解析	今回工認		応答 解析 応力 解析	今回工認		-	今回工認		-																
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-						IV-2-2-2-1-1-1 (1)極低レベル廃ガス洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-	-					
		今回工認	応答 解析 応力 解析	今回工認		応答 解析 応力 解析	今回工認		-	今回工認		-																
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-											IV-2-2-2-1-1-1 (1)極低レベル廃ガス洗浄塔 の耐震計算書	-	-	-	-
		今回工認	応答 解析 応力 解析	今回工認		応答 解析 応力 解析	今回工認		-	今回工認		-																

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし		相違内容						
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容			既設工認	内容					
ガラス固化体取扱ジブクレーン	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	-	第7回既設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス固化設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等) (ジブ取付ボルト)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	-	第7回既設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス固化設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-		
	支持構造物(ボルト等) (クレーン取付ボルト)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	-	第7回既設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス固化設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-		
	吊具(ワイヤロープ等)	●	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認 応答解析 応力解析	-	第7回既設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス固化設備の耐震性に関する計算書」	(その他) 評価部材の追加:○	(その他) 評価部材の追加: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある評価部位。	東海第二新規制基準対応工認での下記についての耐震計算書を参照。 ・燃料取扱機 ・原子炉建屋クレーン ・使用済燃料乾式貯蔵建屋天井クレーン ・チャンネル着脱機	-		
脱硝装置昇降機	吊具(先端金具)	●	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認 応答解析 応力解析	●	既設工認 応答解析 応力解析	-	第7回既設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス固化設備の耐震性に関する計算書」	(その他) 評価部材の追加:○	(その他) 評価部材の追加: 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある評価部位。	東海第二新規制基準対応工認での下記についての耐震計算書を参照。 ・燃料取扱機 ・原子炉建屋クレーン ・使用済燃料乾式貯蔵建屋天井クレーン ・チャンネル着脱機	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 応答解析 応力解析	-	既設工認 応答解析 応力解析	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
冷却空気出口ルーバ	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	-	第6回既設工認 添付書類 「設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書」 添付-2 「分離建屋、精製建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋のAs、Aクラス機器への波及的影響評価について」	-	-	-	-		
冷却空気出口ルーバ	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析)○ (応力解析)○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	○	既設工認 応答解析 応力解析	-	第6回既設工認 添付書類 「設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書」 添付-2 「分離建屋、精製建屋及び高レベル廃液ガラス固化建屋のAs、Aクラス機器への波及的影響評価について」	-	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例												
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモデル解析、時刻歴解析 他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)									
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容								
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容							設工認	内容	設工認	内容					
TBP洗浄塔	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-	第6回設工認 添付書類 「ブルトニウム精製設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-								
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認						-							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-					第6回設工認 添付書類 「ブルトニウム精製設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-				
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認										-			
	バルスレグ	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	-	既設工認	応答 解析	-	既設工認	-	○	既設工認	-									第6回設工認 添付書類 「ブルトニウム精製設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認	-		今回設工認													

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例									
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析 他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)						
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容					
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容				
ブルトニウム濃縮液ポンプグ ローボックス	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	○	第6回工認 添付書類 「ブルトニウム精製設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-	-					
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認		今回工認											
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	○						第6回工認 添付書類 「ブルトニウム精製設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-	-
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認		今回工認											

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スベクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし							相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容								既設工認	内容
定量ボットグローブボックスA	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	● (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
		今回設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認		応答 解析 応力 解析	今回設工認		内容									今回設工認	内容
支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	● (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	-	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認										内容	今回設工認
定量ボットグローブボックスB	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	● (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
		今回設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認		応答 解析 応力 解析	今回設工認		内容									今回設工認	内容
支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	● (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	-	-	第7回 添付書類 「溶液系の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認										内容	今回設工認
脱硝装置グローブボックス	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	● (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝系 の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
		今回設工認	応答 解析 応力 解析	今回設工認		応答 解析 応力 解析	今回設工認		内容									今回設工認	内容
支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	● (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	-	-	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝系 の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-		
		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認	応答 解析 応力 解析		今回設工認										内容	今回設工認

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較											備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例				
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析 他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容		既設工認						内容
廃ガス処理第1グローブボックス	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	● (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建 屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析		● (応力解析) ○	既設工認		応答 解析 応力 解析		○	既設工認					-	既設工認
廃ガス処理第2グローブボックス	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	● (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建 屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析		● (応力解析) ○	既設工認		応答 解析 応力 解析		○	既設工認					-	既設工認
廃ガス処理第3グローブボックス	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	● (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建 屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析		● (応力解析) ○	既設工認		応答 解析 応力 解析		○	既設工認					-	既設工認
脱硝廃ガス処理グローブボックス	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	● (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	-	既設工認	-	第8回 添付書類 「ウラン・プルトニウム混合脱硝建 屋塔槽類廃ガス処理設備の耐震性に 関する計算書」	×	-	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析		● (応力解析) ○	既設工認		応答 解析 応力 解析		○	既設工認					-	既設工認

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析 他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 (左欄にて比較した 既設工認)	※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異な し ×:構造上の差異あ り (適用可能であるこ との理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし							相違内容	
			既設工認	解析 種別 内容		既設工認	解析 種別 内容		既設工認	内容								既設工認	内容
燃料横転クレーン	フレーム	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	-	-	IV-2-2-1-1-1 (1)燃料横転クレーンA, B の耐震計算書	-	-	-	-	-		
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認									-	
	転倒防止機構	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	-	-	IV-2-2-1-1-1 (1)燃料横転クレーンA, B の耐震計算書	-	-	-	-	-		
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認									-	
	レール	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	-	-	IV-2-2-1-1-1 (1)燃料横転クレーンA, B の耐震計算書	□	(解析手法) (解析モデル) (減衰定数) 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例のあ る解析手法。	(解析手法) (解析モデル) (減衰定数) 東海第二 原子炉建屋クレーンを参照-	○	-		
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認									-	
	吊具(ワイヤロープ等) 吊具(先端金具)	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	-	-	IV-2-2-1-1-1 (1)燃料横転クレーンA, B の耐震計算書	○	(解析手法) (解析モデル) (減衰定数) 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例のあ る解析手法。	(解析手法) (解析モデル) (減衰定数) 東海第二 原子炉建屋クレーンを参照-	○	-		
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認									-	
	塔槽類廃ガス処理室フィルタ 保守用クレーン	フレーム	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	-	-	IV-2-2-3-1-2-1 (17)塔槽類廃ガス処理室フィルタ保 守用クレーンの耐震計算 書	○	(解析手法) (解析モデル) (減衰定数) 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例のあ る解析手法。	(解析手法) (解析モデル) (減衰定数) 東海第二 使用済み燃料貯蔵ラックを 参照) 東海第二 原子炉建屋クレーンを参照-	○	-	
				今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認									-
		転倒防止機構	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	-	-	IV-2-2-3-1-2-1 (17)塔槽類廃ガス処理室フィルタ保 守用クレーンの耐震計算 書	○	(解析手法) (解析モデル) (減衰定数) 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例のあ る解析手法。	(解析手法) (解析モデル) (減衰定数) 東海第二 使用済み燃料貯蔵ラックを 参照) 東海第二 原子炉建屋クレーンを参照-	○	-	
				今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認									-
レール		(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	-	-	IV-2-2-3-1-2-1 (17)塔槽類廃ガス処理室フィルタ保 守用クレーンの耐震計算 書	□	(解析手法) (解析モデル) (減衰定数) 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例のあ る解析手法。	(解析手法) (解析モデル) (減衰定数) 東海第二 原子炉建屋クレーンを参照-	○	-		
			今回設工認	応答 解析		今回設工認	応答 解析		今回設工認									-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1		※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析種別 内容		既設工認	解析種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容
バスケット取扱装置	フレーム	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ● (応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	-	IV-2-2-2-1-1 (1)バスケット取扱装置の耐震計算書	(解析モデル) 応答解析:○	(解析モデル) 応答解析、応力解析:東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある解析モデル。	東海第二 使用済み燃料貯蔵ラックを参照	-		
			今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認								-	
		転倒防止機構	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○ ● (応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	-	-	IV-2-2-2-1-1 (1)バスケット取扱装置の耐震計算書	(解析モデル) 応答解析:○	(解析モデル) 応答解析、応力解析:東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある解析モデル。	東海第二 使用済み燃料貯蔵ラックを参照	-	
				今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認								-
	レール		(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	○ ● (応答解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	●	既設工認	-	-	IV-2-2-2-1-1 (1)バスケット取扱装置の耐震計算書	□	(解析手法) (解析モデル) 東海第二新規制基準対応工認での個別適用例のある解析手法。	(解析手法) (解析モデル) 東海第二 燃料取扱機を参照。	× (フレーム評価と同じ減衰定数を適用)	
				今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認								-
		吊具(ワイヤロープ等) 吊具(先端金具)	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	○ ● (応答解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	●	既設工認	-	-	IV-2-2-2-1-1 (1)バスケット取扱装置の耐震計算書	○	(解析手法) (解析モデル) 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある解析手法。	(解析手法) (解析モデル) 東海第二 燃料取扱機を参照。	× (フレーム評価と同じ減衰定数を適用)	
				今回工認	応答解析 応力解析		今回工認	応答解析 応力解析		今回工認								-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例														
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析 他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)											
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容										
			既設工認	解析 種別 内容		既設工認	解析 種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容									
廃ガス処理第3室クレーン	フレーム	●	既設工認	応答 解析 応力	●	既設工認	応答 解析 応力	○	既設工認	●	既設工認	●	第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス固化建屋換気 設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-										
			今回設工認	応答 応力		今回設工認	応答 応力		今回設工認		応答 応力																
	転倒防止機構	●	既設工認	応答 解析 応力	●	既設工認	応答 解析 応力	○	既設工認	●	既設工認	●						第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス固化建屋換気 設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-					
			今回設工認	応答 応力		今回設工認	応答 応力		今回設工認		応答 応力																
	レール	●	既設工認	応答 解析 応力	●	既設工認	応答 解析 応力	○	既設工認	●	既設工認	●											第7回設工認 添付書類 「高レベル廃液ガラス固化建屋換気 設備の耐震性に関する計算書」	×	-	-	-
			今回設工認	応答 応力		今回設工認	応答 応力		今回設工認		応答 応力																

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析 他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 (左欄にて比較した 既設工認)	※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし							相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容								既設工認	内容
バスケット搬送機	フレーム	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-2-1-1 (2)バスケット搬送機A, B の耐震計算書	-	-	-	-	
			解析 種別	内容		解析 種別	内容		解析 種別										内容
		今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析								
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	今回工認	応力 解析	今回工認	応力 解析	今回工認	応力 解析								
	転倒防止機構	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○ (応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-2-1-1 (2)バスケット搬送機A, B の耐震計算書	-	-	-	-	
			解析 種別	内容		解析 種別	内容		解析 種別										内容
		今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析								
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	今回工認	応力 解析	今回工認	応力 解析	今回工認	応力 解析								
	レール	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	● (応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-2-1-1 (2)バスケット搬送機A, B の耐震計算書	□	(解析手法) 東海第二新規制基準対応 工認での個別適用例のあ る解析手法。	(解析手法) (解析モデル) 東海第二 燃料取替機を参照。	× (フレーム評価と同じ 減衰定数を適用)	
			解析 種別	内容		解析 種別	内容		解析 種別										内容
		今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析								
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	今回工認	応力 解析	今回工認	応力 解析	今回工認	応力 解析								
	吊具(ワイヤロープ等) 吊具(先端金具)	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	● (応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答 解析	●	既設工認	-	-	既設工認	-	IV-2-2-2-1-1 (2)バスケット搬送機A, B の耐震計算書	○	(解析手法) 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のあ る解析手法。	(解析手法) (解析モデル) 東海第二 燃料取替機を参照。	× (フレーム評価と同じ 減衰定数を適用)	
			解析 種別	内容		解析 種別	内容		解析 種別										内容
		今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析	今回工認	応答 解析								
		既設工認	応力 解析	既設工認	応力 解析	今回工認	応力 解析	今回工認	応力 解析	今回工認	応力 解析								

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スベクトルモデル解析、時刻歴解析 他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			既設工認	解析 種別		内容	既設工認		解析 種別	内容							既設工認	内容
主配管(燃料せん断片シュート)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 a,溶解槽A,B燃料せん断片シュート の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答 解析		今回工認	応答 解析		今回工認		今回工認							
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 a,溶解槽A,B燃料せん断片シュート の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認		今回工認							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 a,溶解槽A,B燃料せん断片シュート の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認		今回工認							
主配管(燃料せん断片シュート)	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	応答 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 a,溶解槽A,B燃料せん断片シュート の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答 解析		今回工認	応答 解析		今回工認		今回工認							
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 a,溶解槽A,B燃料せん断片シュート の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認		今回工認							
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 a,溶解槽A,B燃料せん断片シュート の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ: ○	(その他) 動的地震力の組合せ: 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ: 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認		今回工認							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例						
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析 他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 (左欄にて比較した 既設工認)	※2 ○：共通適用例あり □：個別適用例あり ×：適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし							相違内容	
			設工認	解析 種別		内容	設工認		解析 種別	内容								設工認	内容
主配管(エンドピースシュート [redacted])	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
		今回設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設工認	応答 解析 応力 解析	○	今回設工認	○	今回設工認	●	今回設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
		今回設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設工認	応答 解析 応力 解析	○	今回設工認	○	今回設工認	●	今回設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
		今回設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設工認	応答 解析 応力 解析	○	今回設工認	○	今回設工認	●	今回設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
主配管(エンドピースシュート [redacted])	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
		今回設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設工認	応答 解析 応力 解析	○	今回設工認	○	今回設工認	●	今回設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
		今回設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設工認	応答 解析 応力 解析	○	今回設工認	○	今回設工認	●	今回設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-	
		今回設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設工認	応答 解析 応力 解析	○	今回設工認	○	今回設工認	●	今回設工認	IV-2-2-1-1-1 (10)配管の耐震計算書 b.エンドピースシュート A.[redacted]の耐震計算書	(その他) 動的地震力の組合せ： ○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対 工認での共通適用例の ある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-		
第1チャンネルボックス切 断装置A	フレーム	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) -	既設工認	応答 解析 応力 解析	●	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	平成19年変更申請 IV-2-2-1-1-1 (1)第1チャンネルボックス切 断装置 置A (7115A-M11)の 耐震計算書	-	-	-	-	
		○	今回設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) -	今回設工認	応答 解析 応力 解析	○	今回設工認	○	今回設工認	○	今回設工認	平成19年変更申請 IV-2-2-1-1-1 (1)第1チャンネルボックス切 断装置 置A (7115A-M11)の 耐震計算書	-	-	-	-	
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) -	既設工認	応答 解析 応力 解析	●	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	平成19年変更申請 IV-2-2-1-1-1 (1)第1チャンネルボックス切 断装置 置A (7115A-M11)の 耐震計算書	-	-	-	-	
		○	今回設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) -	今回設工認	応答 解析 応力 解析	○	今回設工認	○	今回設工認	○	今回設工認	平成19年変更申請 IV-2-2-1-1-1 (1)第1チャンネルボックス切 断装置 置A (7115A-M11)の 耐震計算書	-	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スベクトルモーダル解析、時刻歴解析 他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			備考 ※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)				
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容			
			既設工認	解析 種別 内容		既設工認	解析 種別 内容		既設工認	内容							既設工認	内容		
第1チャンネルボックス切断 装置B	フレーム	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) -	既設工認	応答 解析 応力 解析	●	既設工認	●	既設工認	●	平成19年変更申請 IV-2-2-1-1-1 (1)第1チャンネルボックス切断装 置B (7115C-M11)の 耐震計算書	-	-	-				
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認		今回工認									
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) -	既設工認	応答 解析 応力 解析	●	既設工認	○	既設工認	○					平成19年変更申請 IV-2-2-1-1-1 (1)第1チャンネルボックス切断装 置B (7115C-M11)の 耐震計算書	-	-	-
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認		今回工認									
第1バーナブルボイズン切断 装置A,B	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	○	第2回設工認 添付書類 IV-2-2-1-1-1 「第1バーナブルボイズン切断装置 A,B (7115B,C-M12)の耐震計算書」	-	-	-				
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認		今回工認									
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	○					第2回設工認 添付書類 IV-2-2-1-1-1 「第1バーナブルボイズン切断装置 A,B (7115B,C-M12)の耐震計算書」	-	-	-
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認		今回工認									

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(1/6)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例								
		解析手法 (公式等による評価、スベクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)					
		相違内容			相違内容			相違内容		相違内容											
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	設工認	解析 種別 内容	○:同じ ●:異なる -:該当なし	設工認	解析 種別 内容	○:同じ ●:異なる -:該当なし	設工認	内容	○:同じ ●:異なる -:該当なし						設工認	内容			
空気だめ	容器	○ ○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ ○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	建設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (10)空気だめ (7991A,B-V02,V03)の耐震計算書	-	-	-				
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	-		今回工認	-								
	支持構造物 (ボルト以外)	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					建設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (10)空気だめ (7991A,B-V02,V03)の耐震計算書	-	-	-
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	-		今回工認	-								
	支持構造物 (ボルト等)	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	建設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (10)空気だめ (7991A,B-V02,V03)の耐震計算書	-	-	-				
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	-		今回工認	-								
重油タンク	容器	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					建設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (6)重油タンクA-1.2,B-1.2 (7991A,B-V07,V08)の耐震計算書	-	-	-
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	-		今回工認	-								
	支持構造物 (ボルト以外)	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	建設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (6)重油タンクA-1.2,B-1.2 (7991A,B-V07,V08)の耐震計算書	-	-	-				
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	-		今回工認	-								
	支持構造物 (ボルト等)	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					建設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (6)重油タンクA-1.2,B-1.2 (7991A,B-V07,V08)の耐震計算書	-	-	-
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	-		今回工認	-								
燃料移送ポンプ	支持構造物 (ボルト等)	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	建設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (8)燃料移送ポンプA,B (7991A,B-P07)の耐震計算書	-	-	-				
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	-		今回工認	-								
ディーゼル機関	支持構造物(ボルト等)	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					建設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (4)ディーゼル機関 (7991A,B-M01)の耐震計算書	-	-	-
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	-		今回工認	-								
	支持構造物(ボルト以外)	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	建設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (4)ディーゼル機関 (7991A,B-M01)の耐震計算書	-	-	-				
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	-		今回工認	-								
同期発電機	支持構造物(ボルト等)	○ ○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-					建設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (5)同期発電機 (7991A,B-M02)の耐震計算書	-	-	-
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	-		今回工認	-								
105V非常用計測交流電源盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	応答 解析 応力 解析	-	既設工認	-	-	既設工認	-	第3回工認申請 添付書類 「使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-				
			今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	応答 解析 応力 解析		今回工認	-		今回工認	-								

※1左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2共通適用例あり:規格・基準等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(2/6)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○：共通適用例あり □：個別適用例あり ×：適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であることの理由)
		相違内容			相違内容			相違内容		相違内容						
		○：同じ ●：異なる -：該当なし	設工認	解析 種別 内容	○：同じ ●：異なる -：該当なし	設工認	解析 種別 内容	○：同じ ●：異なる -：該当なし	設工認	内容	○：同じ ●：異なる -：該当なし					
110V第1非常用蓄電池	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	第3回工認申請 添付書類 「使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
110V非常用充電器盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	第3回工認申請 添付書類 「使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
110V非常用直流主分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	第3回工認申請 添付書類 「使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
6.9kV非常用メタルクラッド スイッチギヤ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	第3回工認申請 添付書類 「使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
460V非常用パワーセンタ	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	第3回工認申請 添付書類 「使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
105V非常用無停電交流分電盤	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	第3回工認申請 添付書類 「使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
105V非常用無停電電源装置	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	第3回工認申請 添付書類 「使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の電気設備の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
安全系監視制御盤2	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	第3回工認申請 添付書類 「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
ブル水冷却系ポンプA 計器 架台	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	第3回工認申請 添付書類 「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
キャスク冷却水入口流量A 計 器架台	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	第3回工認申請 添付書類 「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	
安全系監視制御盤1A	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	-	既設工認 応答 解析 応力 解析	第3回工認申請 添付書類 「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	

※1左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2共通適用例あり：規格・基準等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(3/6)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)					解析モデル						減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1		※2 ○：共通適用例あり □：個別適用例あり ×：適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績
		相違内容					相違内容						相違内容		相違内容					
		○：同じ ●：異なる -：該当なし	設工認	解析種別	内容	内容	○：同じ ●：異なる -：該当なし	設工認	解析種別	内容	内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	設工認	内容	内容				
安全系制御盤1A-1	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	---	○	既設工認	応答解析 応力解析	---	○	既設工認	---	○	既設工認	---	第3回既設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
安全系制御盤1A-2	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	---	○	既設工認	応答解析 応力解析	---	○	既設工認	---	○	既設工認	---	第3回既設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
安全冷却水系統張槽B 計器架台	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 応力解析	---	○	既設工認	応答解析 応力解析	---	○	既設工認	---	○	既設工認	---	第3回既設工認申請 添付書類 「計測制御系統施設の耐震性に関する計算書」	-	-	-	-
燃料デイトンク	容器	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	-	既設工認	---	-	既設工認	---	建設既設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (9)燃料デイトンク (7991A,B-V04)の耐震計算書	-	-	-	-
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	-	既設工認	---	-	既設工認	---	建設既設工認 第3回 添付書類IV-2-1-5-1-1-1 (9)燃料デイトンク (7991A,B-V04)の耐震計算書	-	-	-	-
燃焼度計測前燃料仮置きラック 燃焼度計測後燃料仮置きラック	支持構造物(ラック箱)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	○	既設工認	---	○	既設工認	---	第2回既設工認 添付書類 「IV-2-1-2-1-1」 「燃料仮置きラックA,B(7112A,B-M30,M31)の耐震計算書」	○	ラック箱を等分布質量梁にモデル化し公式を用いて応答解析を実施している。	軽水炉(PWR)プラントの使用済燃料ラック	○ (静解析を適用しており減衰定数は設計パラメータとしていない)
	支持構造物(支持部材)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	○	既設工認	---	○	既設工認	---	第2回既設工認 添付書類 「IV-2-1-2-1-1」 「燃料仮置きラックA,B(7112A,B-M30,M31)の耐震計算書」	○	ラック箱を等分布質量梁にモデル化し公式を用いて応答解析を実施し、支点反力をサポート板に作用する荷重としている。	軽水炉(PWR)プラントの使用済燃料ラック	○ (静解析を適用しており減衰定数は設計パラメータとしていない)
	支持構造物(固定部)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	○	既設工認	---	○	既設工認	---	第2回既設工認 添付書類 「IV-2-1-2-1-1」 「燃料仮置きラックA,B(7112A,B-M30,M31)の耐震計算書」	○	ラック箱を等分布質量梁にモデル化し公式を用いて応答解析を実施し、支点反力を保持金具溶接部に作用する荷重としている。	軽水炉(PWR)プラントの使用済燃料ラック	○ (静解析を適用しており減衰定数は設計パラメータとしていない)
高残留濃縮度BWR燃料貯蔵ラック	基礎構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	---	○	既設工認	---	○	既設工認	---	第2回既設工認 添付書類 IV-2-1-2-2-1 「(4)燃料貯蔵ラック(7114C-M0301,M0302)の耐震計算書」	(解析モデル) ・貯蔵物まででモデル化した詳細モデル：○ (その他) ・排除水体積質量減算：□	(解析モデル) ・貯蔵物まででモデル化した詳細モデル：大間1号等他プラントの既工認で適用例のあるモデル化手法 (その他) ・排除水体積質量減算：柏崎7号機新規制基準対応工認で個別適用例のある手法	(解析モデル) 大間1号 制御棒貯蔵ハンガ (その他) 柏崎7号機 制御棒・破損燃料貯蔵ラック	-
	基礎構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	---	(応答解析) ● (応力解析) -	既設工認	応答解析 応力解析	---	○	既設工認	---	○	既設工認	---	第2回既設工認 添付書類 IV-2-1-2-2-1 「(4)燃料貯蔵ラック(7114C-M0301,M0302)の耐震計算書」	(解析モデル) ・貯蔵物まででモデル化した詳細モデル：○ (その他) ・排除水体積質量減算：□	(解析モデル) ・貯蔵物まででモデル化した詳細モデル：大間1号等他プラントの既工認で適用例のあるモデル化手法 (その他) ・排除水体積質量減算：柏崎7号機新規制基準対応工認で個別適用例のある手法	(解析モデル) 大間1号 制御棒貯蔵ハンガ (その他) 柏崎7号機 制御棒・破損燃料貯蔵ラック	-

※1左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2共通適用例あり：規格・基準等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(5/6)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモード解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1					※2 ○：共通適用例あり □：個別適用例あり ×：適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であることの理由)				
		相違内容			相違内容			相違内容		相違内容												
		設工認	解析種別	内容	設工認	解析種別	内容	設工認	内容	設工認	内容	設工認	内容						設工認	内容		
プール水冷却系熱交換器	容器	○：同じ ●：異なる -：該当なし	既設工認	応答解析 ○	○：同じ ●：異なる -：該当なし	既設工認	応答解析 ○	○	既設工認	●	既設工認	○	既設工認	●	第2回設工認 添付書類 「プール水冷却系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ：○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-			
		○	既設工認	応答解析 ○		既設工認	応答解析 ○		既設工認		応答解析 ○		既設工認							応答解析 ○	既設工認	応答解析 ○
		○	今回設工認	応答解析 ○		今回設工認	応答解析 ○		今回設工認		応答解析 ○		今回設工認							応答解析 ○	今回設工認	応答解析 ○
	支持構造物(ボルト以外)	○	既設工認	応答解析 ○	○	既設工認	応答解析 ○	○	既設工認	●	既設工認	○	既設工認	●	第2回設工認 添付書類 「プール水冷却系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ：○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-			
		○	既設工認	応答解析 ○	○	既設工認	応答解析 ○	○	既設工認	●	既設工認	○	既設工認	●								
		○	今回設工認	応答解析 ○	○	今回設工認	応答解析 ○	○	今回設工認	●	今回設工認	○	今回設工認	●								
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	応答解析 ○	○	既設工認	応答解析 ○	○	既設工認	●	既設工認	○	既設工認	●	第2回設工認 添付書類 「プール水冷却系の耐震性に関する計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ：○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照	-			
		○	既設工認	応答解析 ○	○	既設工認	応答解析 ○	○	既設工認	●	既設工認	○	既設工認	●								
		○	今回設工認	応答解析 ○	○	今回設工認	応答解析 ○	○	今回設工認	●	今回設工認	○	今回設工認	●								
安全冷却水系冷却塔A,B	伝熱管	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	○	○	○	○	○	○	第2回設工認 添付書類 「安全冷却水系冷却塔A, B (7183-C74, C75) の耐震計算書」	-	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。 自然現象による荷重： 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある自然現象による荷重。	動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照 ・地震荷重と自然荷重の組合せ：考慮なし	-				
		○	今回設工認	○	今回設工認	○	今回設工認	○	○	○	○	○	○									
	支持架構	○	既設工認	○	○	既設工認	○	○	○	○	○	○	○	第2回設工認 添付書類 「安全冷却水系冷却塔A, B (7183-C74, C75) の耐震計算書」	(その他) 動的地震力の組合せ：○ 地震荷重と自然荷重の組合せ：○	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある動的地震力の組合せ。 自然現象による荷重： 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある自然現象による荷重。	(その他) 動的地震力の組合せ： 東海第二 原子炉再循環系配管を参照 自然現象による荷重： 東海第二 主排気筒を参照	-				
		○	今回設工認	○	今回設工認	○	今回設工認	○	○	○	○	○	○									
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	○	○	既設工認	○	○	○	○	○	○	○	第2回設工認 添付書類 「安全冷却水系冷却塔A, B (7183-C74, C75) の耐震計算書」	(その他) 地震荷重と自然荷重の組合せ：○	(その他) 自然現象による荷重： 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある自然現象による荷重。	(その他) 自然現象による荷重： 東海第二 主排気筒を参照	-				
		○	今回設工認	○	今回設工認	○	今回設工認	○	○	○	○	○	○									
	支持構造物(ボルト等)	○	既設工認	○	○	既設工認	○	○	○	○	○	○	○	第2回設工認 添付書類 「安全冷却水系冷却塔A, B (7183-C74, C75) の耐震計算書」	(その他) 自然現象による荷重：○	(その他) 自然現象による荷重： 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある自然現象による荷重。	(その他) 自然現象による荷重： 東海第二 主排気筒を参照	-				
		○	今回設工認	○	今回設工認	○	今回設工認	○	○	○	○	○	○									
	燃料取出し装置	フレーム	○	既設工認	○	既設工認	○	既設工認	○	○	○	○	○	第2回設工認 添付書類 IV-2-1-2-1-1 「燃料取り出し装置A,B (7112A,B-M20)の耐震計算書」	-	-	-	-				
			○	今回設工認	○	今回設工認	○	今回設工認	○	○	○	○	○									
		転倒防止機構	○	既設工認	○	○	既設工認	○	○	○	○	○	○	第2回設工認 添付書類 IV-2-1-2-1-1 「燃料取り出し装置A,B (7112A,B-M20)の耐震計算書」	-	-	-	-				
			○	今回設工認	○	今回設工認	○	今回設工認	○	○	○	○	○									
レール		○	既設工認	○	○	既設工認	○	○	○	○	○	○	第2回設工認 添付書類 IV-2-1-2-1-1 「燃料取り出し装置A,B (7112A,B-M20)の耐震計算書」	□	(解析手法) (解析モデル) 東海第二新規制基準対応工認での個別適用例のある解析手法。	(解析手法) (解析モデル) 東海第二 燃料取替機を参照。	× (フレーム評価と同じ減衰定数を適用)					
		○	今回設工認	○	今回設工認	○	今回設工認	○	○	○	○	○										
吊具 (ワイヤロープ、フック)		○	既設工認	○	○	既設工認	○	○	○	○	○	○	第2回設工認 添付書類 IV-2-1-2-1-1 「燃料取り出し装置A,B (7112A,B-M20)の耐震計算書」	○	(解析手法) (解析モデル) 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある解析手法。	(解析手法) (解析モデル) 東海第二 燃料取替機を参照。	× (フレーム評価と同じ減衰定数を適用)					
		○	今回設工認	○	今回設工認	○	今回設工認	○	○	○	○	○										

※1左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(6/6)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1			※2 ○：共通適用例あり □：個別適用例あり ×：適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であることの理由)
		相違内容			相違内容			相違内容		相違内容						
		○：同じ ●：異なる -：該当なし	設工認	内容	○：同じ ●：異なる -：該当なし	設工認	内容	○：同じ ●：異なる -：該当なし	設工認	内容	○：同じ ●：異なる -：該当なし					
-	配管 (標準支持間隔)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析 今回設工認 応答 解析 応力 解析	内容	○：同じ ●：異なる -：該当なし	既設工認 応答 解析 応力 解析 今回設工認 応答 解析 応力 解析	内容	○	既設工認 今回設工認	●	既設工認 今回設工認	内容	添付書類IV-1-2-8 「配管の耐震支持方針」	(減衰定数) ○ (その他) 動的地震力の組合せ：○	東海第二 主蒸気系配 管を参照	○
	配管支持構造物	-	既設工認 応答 解析 応力 解析 今回設工認 応答 解析 応力 解析	内容	-	既設工認 応答 解析 応力 解析 今回設工認 応答 解析 応力 解析	内容	-	既設工認 今回設工認	-	既設工認 今回設工認	内容	-	(解析手法) ○ (減衰定数) ○	東海第二 配管支持構 造物を参照	-

※1左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

波及的影響の設計対象施設(2/2)

設備名称	機械番号	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1				※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることこの理由)
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容						
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容		設工認	解析種別					
使用済燃料受入れ・貯蔵建屋天井クレーン	フレーム	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	第2回設工認 添付書類 IV-2-1-2-1-1 「使用済燃料受入れ・貯蔵建屋天井クレーンA,B(7112A,B-M10)の耐震計算書」	-	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認							
	転倒防止機構	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	第2回設工認 添付書類 IV-2-1-2-1-1 「使用済燃料受入れ・貯蔵建屋天井クレーンA,B(7112A,B-M10)の耐震計算書」	-	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認							
	レール	(応答解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	●	既設工認	○	既設工認	第2回設工認 添付書類 IV-2-1-2-1-1 「使用済燃料受入れ・貯蔵建屋天井クレーンA,B(7112A,B-M10)の耐震計算書」	□	(解析手法) (解析モデル) 東海第二新規制基準対応工認での個別適用例のある解析手法。	(解析手法) (解析モデル) 東海第二燃料取替機を参照。	× (フレーム評価と同じ減衰定数を適用)		
		(応力解析) ●	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ●	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認							
吊具 (ワイヤロープ、フック)	(応答解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	●	既設工認	○	既設工認	第2回設工認 添付書類 IV-2-1-2-1-1 「使用済燃料受入れ・貯蔵建屋天井クレーンA,B(7112A,B-M10)の耐震計算書」	○	(解析手法) (解析モデル) 東海第二新規制基準対応工認での共通適用例のある解析手法。	(解析手法) (解析モデル) 東海第二燃料取替機を参照。	× (フレーム評価と同じ減衰定数を適用)			
	(応力解析) ●	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) ●	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認								
燃料移送水中台車	フレーム	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ○	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	●	既設工認	第3回設工認 IV-2-1-2-1-1 (1)燃料移送水中台車(7113-M01,M02)の耐震計算書	×	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) -	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認							
	レール	(応答解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	第3回設工認 IV-2-1-2-1-1 (1)燃料移送水中台車(7113-M01,M02)の耐震計算書	×	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) -	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認							
	転倒防止金具	(応答解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	(応答解析) ●	既設工認	応答解析 応力解析	○	既設工認	○	既設工認	第3回設工認 IV-2-1-2-1-1 (1)燃料移送水中台車(7113-M01,M02)の耐震計算書	×	-	-	-		
		(応力解析) ○	今回設工認	応答解析 応力解析	(応力解析) -	今回設工認	応答解析 応力解析	○	今回設工認	○	今回設工認							

※1左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設(1/3)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例							
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数					その他(評価条件の変更等)※1							
		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容			相違内容		※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること理由)		
		設工認	解析種別	設工認	解析種別	設工認	解析種別	設工認	解析種別	設工認	解析種別	設工認	解析種別									
ガラス固化体貯蔵建屋の貯蔵ビット(収納管/通風管)	支持架構	○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	●	既設工認	第3回設工認 添付書類 「通風管の耐震計算書」	×	-	-	-		
				今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		今回設工認										
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし						既設工認	
	通風管	○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	●	既設工認	第3回設工認 添付書類 「通風管の耐震計算書」	×	-	-	-	-	
				今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		今回設工認										
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし							既設工認
	収納管	○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	●	既設工認	第3回設工認 添付書類 「収納管の耐震計算書」	×	-	-	-	-	-
				今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		今回設工認										
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし							
ガラス固化体貯蔵建屋B棟の貯蔵ビット(収納管/通風管)	支持架構	○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	●	既設工認	平成16・10・29原第1号 変更設工認 添付書類 「ガラス固化体 貯蔵建屋B棟の施設に 係る耐震性に関する計 算書」	×	-	-	-	-	
				今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		今回設工認										
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし							既設工認
	通風管	○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	●	既設工認	平成16・10・29原第1号 変更設工認 添付書類 「ガラス固化体 貯蔵建屋B棟の施設に 係る耐震性に関する計 算書」	×	-	-	-	-	-
				今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		今回設工認										
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし							
	収納管	○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	●	既設工認	平成16・10・29原第1号 変更設工認 添付書類 「ガラス固化体 貯蔵建屋B棟の施設に 係る耐震性に関する計 算書」	×	-	-	-	-	-
				今回設工認	応答解析		今回設工認	応答解析		今回設工認		今回設工認										
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	応答解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし							

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設(2/3)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数			その他(評価条件の変更等)※1		※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることの理由)
		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容								
		設工認	解析 種別	内容	設工認	解析 種別	内容	設工認	内容	設工認	内容							
ガラス固化体貯蔵建屋の床面 走行クレーン(遮蔽容器/ガラス 固化体の移送機構)	フレーム	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	平成18・10・18原第1号 変更設工認 添付書類 「貯蔵建屋床面走行ク レーンの耐震計算書」	×	-	-	-		
	転倒防止機構	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	既設工認	平成18・10・18原第1号 変更設工認 添付書類 「貯蔵建屋床面走行ク レーンの耐震計算書」	×	-	-	-		
	レール	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認 応答 解析 応力 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認 応答 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	●	既設工認	●	既設工認	○	○	平成18・10・18原第1号 変更設工認 添付書類 「貯蔵建屋床面走行ク レーンの耐震計算書」	□	(解析手法) (解析モデル) 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 解析手法。	(解析手法) (解析モデル) 東海第二 原子炉建 屋クレーンを参照	×	(当該クレーンは固定ピンにより固定され るため、溶接支持構造物と同等に設定)	
	吊具	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認 応答 解析 応力 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	(応答解析) ● (応力解析) ●	既設工認 応答 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	●	既設工認	●	既設工認	●	●	平成18・10・18原第1号 変更設工認 添付書類 「貯蔵建屋床面走行ク レーンの耐震計算書」	○	(解析手法) (解析モデル) 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 解析手法。	(解析手法) (解析モデル) 東海第二 原子炉建 屋クレーンを参照	×	(当該クレーンは固定ピンにより固定され るため、溶接支持構造物と同等に設定)	
	支持フレーム (しゃべい容器)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	●	平成18・10・18原第1号 変更設工認 添付書類 「貯蔵建屋床面走行ク レーンの耐震計算書」	×	-	-	-		
	取付ボルト	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答 解析 応力 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答 解析 今回設 工認 応答 解析 応力 解析	○	既設工認	○	既設工認	●	●	平成18・10・18原第1号 変更設工認 添付書類 「貯蔵建屋床面走行ク レーンの耐震計算書」	×	-	-	-		

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設(3/3)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較												備考 (左欄にて比較した 既設工認)	他プラントでの適用例			
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1			※2 ○:共通適用例あり □:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であることの理由)
		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容								
		設工認	解析種別	内容	設工認	解析種別	内容	設工認	内容	設工認	内容							
ガラス固化体貯蔵建屋B棟の床 面走行クレーン(ガラス固化体 の移送機構)	フレーム	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	既設工認	平成16・10・29原第1号 変更工認 添付書類 「ガラス固化体 貯蔵建屋B棟の施設に 係る耐震性に関する計 算書」	×	-	-	-	
	転倒防止機構	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	既設工認	平成16・10・29原第1号 変更工認 添付書類 「ガラス固化体 貯蔵建屋B棟の施設に 係る耐震性に関する計 算書」	×	-	-	-	
	レール	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	既設工認	平成16・10・29原第1号 変更工認 添付書類 「ガラス固化体 貯蔵建屋B棟の施設に 係る耐震性に関する計 算書」	×	-	-	-	
	吊具	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	既設工認	平成16・10・29原第1号 変更工認 添付書類 「ガラス固化体 貯蔵建屋B棟の施設に 係る耐震性に関する計 算書」	□	(解析手法) (解析モデル) 東海第二新規制基準対応 工認での共通適用例のある 解析手法。	(解析手法) (解析モデル) 東海第二、原子炉建 屋クレーンを参照	×	(当該クレーンは固定ピンにより固定され るため、溶接支持構造物と同等に設定)
	支持フレーム (しゃべい容器)	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	既設工認	平成16・10・29原第1号 変更工認 添付書類 「ガラス固化体 貯蔵建屋B棟の施設に 係る耐震性に関する計 算書」	×	-	-	-	
	取付ボルト	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認 応答解析 応力解析	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既設工認	既設工認	平成16・10・29原第1号 変更工認 添付書類 「ガラス固化体 貯蔵建屋B棟の施設に 係る耐震性に関する計 算書」	×	-	-	-	

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

波及的影響の設計対象施設(1/1)

設備名称	評価部位	既設工認と今回工認時の比較										備考 (左欄にて比較した既設工認)	他プラントでの適用例					
		解析手法 (公式等による評価、スペクトルモデル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等) ※1			※2 ○：共通適用例あり □：個別適用例あり ×：適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○：構造上の差異なし ×：構造上の差異あり (適用可能であることの理由)		
		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし	相違内容		○：同じ ●：異なる -：該当なし						相違内容	
		設工認	解析種別	内容	設工認	解析種別	内容	設工認	内容	設工認	内容						設工認	内容
冷却空気出口ルーバ (支持構造物)	ルーバ振れ止め 中央の上固定部	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		(応答解析) ○ (応力解析) ○	既設工認 応答解析 応力解析		○	既設工認		○	既設工認		平成17・6・27 変更工認 添付書類 「設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書」 添付-4 「ガラス固化体貯蔵 建屋B棟の冷却空気 出口ルーバの耐震計 算書」	×	-	-	-

※1 左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。

※2 共通適用例あり：規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法

個別適用例あり：プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(1/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
粉末一時保管装置 グローブボックス-1	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	—	—	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	—						
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	—						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認	—									
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	—	—	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	—						
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	—						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認	—									
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	—	—	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	—						
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	—						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認	—									
	窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	—	—	
			既工認	応力解析	—		既工認	応力解析	—		既工認	—						
		今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	—						
		今回設 工認	応力解析	—	今回設 工認	応力解析	—	今回設 工認	—									
	搬出入口(大)	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	—	—	
			既工認	応力解析	—		既工認	応力解析	—		既工認	—						
		今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	—						
		今回設 工認	応力解析	—	今回設 工認	応力解析	—	今回設 工認	—									
	搬出入口(小)	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	—	—	
			既工認	応力解析	—		既工認	応力解析	—		既工認	—						
		今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	—						
		今回設 工認	応力解析	—	今回設 工認	応力解析	—	今回設 工認	—									
コネクタ部(ハーメチックシールタ イプ、挟み込み型)	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	—	—		
		既工認	応力解析	—		既工認	応力解析	—		既工認	—							
	今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	—							
	今回設 工認	応力解析	—	今回設 工認	応力解析	—	今回設 工認	—										

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(2/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
粉末一時保管装置 グローブボックス-2	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-1 粉末一時保管装置 グローブボックス-2の耐震計算書	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	-						
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-1 粉末一時保管装置 グローブボックス-2の耐震計算書	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	-						
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-1 粉末一時保管装置 グローブボックス-2の耐震計算書	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	-						
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-1 粉末一時保管装置 グローブボックス-2の耐震計算書	-		
		既工認	応力解析	-		既工認	応力解析	-		既工認	-							
	今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-							
	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	-										
粉末一時保管装置 グローブボックス-3	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-2 粉末一時保管装置 グローブボックス-3の耐震計算書	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	-						
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-2 粉末一時保管装置 グローブボックス-3の耐震計算書	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	-						
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-2 粉末一時保管装置 グローブボックス-3の耐震計算書	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	-						
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
	窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-2 粉末一時保管装置 グローブボックス-3の耐震計算書	-	
			既工認	応力解析	-		既工認	応力解析	-		既工認	-						
		今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	-	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	-									
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ、挟み込み型)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-2 粉末一時保管装置 グローブボックス-3の耐震計算書	-	
			既工認	応力解析	-		既工認	応力解析	-		既工認	-						
		今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		今回設工認	応力解析	-	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	-									

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(3/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
粉末一時保管装置 グローブボックス-4	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-3 粉末一時保管装置 グローブボックス-4の耐震計算書	-	
			応力解析	公式等による評価	モデル無し		既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認		水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認	-					
		応力解析	公式等による評価	モデル無し	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-3 粉末一時保管装置 グローブボックス-4の耐震計算書	-	
			応力解析	公式等による評価	モデル無し		既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認		水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認	-					
		応力解析	公式等による評価	モデル無し	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-3 粉末一時保管装置 グローブボックス-4の耐震計算書	-	
			応力解析	公式等による評価	モデル無し		既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認		水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認	-					
		応力解析	公式等による評価	モデル無し	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-3 粉末一時保管装置 グローブボックス-4の耐震計算書	-		
		応力解析	-	モデル無し		既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%											
	今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認		水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認	-						
	応力解析	-	モデル無し	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	-										
粉末一時保管装置 グローブボックス-5	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-4 粉末一時保管装置 グローブボックス-5の耐震計算書	-	
			応力解析	公式等による評価	モデル無し		既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認		水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認	-					
		応力解析	公式等による評価	モデル無し	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-4 粉末一時保管装置 グローブボックス-5の耐震計算書	-	
			応力解析	公式等による評価	モデル無し		既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認		水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認	-					
		応力解析	公式等による評価	モデル無し	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-4 粉末一時保管装置 グローブボックス-5の耐震計算書	-	
			応力解析	公式等による評価	モデル無し		既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認		水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認	-					
		応力解析	公式等による評価	モデル無し	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	-									
窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-4 粉末一時保管装置 グローブボックス-5の耐震計算書	-		
		応力解析	-	モデル無し		既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%											
	今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認		水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認	-						
	応力解析	-	モデル無し	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	-										

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(4/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
粉末一時保管装置 グローブボックス-6	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	-	-	
			応力解析	公式等による評価	モデル無し		既工認	鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		応力解析	公式等による評価	モデル無し	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	鉛直:1.0%		今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	-	-	
			応力解析	公式等による評価	モデル無し		既工認	鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		応力解析	公式等による評価	モデル無し	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	鉛直:1.0%		今回設工認	-						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	-	-	
			応力解析	公式等による評価	モデル無し		既工認	鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		応力解析	公式等による評価	モデル無し	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	鉛直:1.0%		今回設工認	-						
	窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	-	-	
			応力解析	-	モデル無し		既工認	鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		応力解析	-	モデル無し	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	鉛直:1.0%		今回設工認	-						
	搬出入口(大)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	-	-	
			応力解析	-	モデル無し		既工認	鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		応力解析	-	モデル無し	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	鉛直:1.0%		今回設工認	-						
	搬出入口(小)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	-	-	
			応力解析	-	モデル無し		既工認	鉛直:1.0%										
		今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-						
		応力解析	-	モデル無し	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	鉛直:1.0%		今回設工認	-						
コネクタ部(ハーメチックシールタイプ、挟み込み型)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-1-5 粉末一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	-	-		
		応力解析	-	モデル無し		既工認	鉛直:1.0%											
	今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-							
	応力解析	-	モデル無し	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	鉛直:1.0%		今回設工認	-							

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(5/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)					
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容				
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容	設工認	内容	
ベレット一時保管棚 グローブボックス-1	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-1 ベレット一時保 管棚グローブ ボックス-1の耐 震計算書	-	-				
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し												
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-									
		今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し														
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-1 ベレット一時保 管棚グローブ ボックス-1の耐 震計算書	-	-				
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し												
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-									
		今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し														
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-1 ベレット一時保 管棚グローブ ボックス-1の耐 震計算書	-	-				
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し												
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-									
		今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し														
窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-1 ベレット一時保 管棚グローブ ボックス-1の耐 震計算書	-	-					
		既工認	応力解析	-		既工認	応力解析	-													
	今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-										
	今回設工認	応力解析	-	今回設工認	応力解析	-															
ベレット一時保管棚 グローブボックス-2	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-2 ベレット一時保 管棚グローブ ボックス-2の耐 震計算書	-	-				
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し												
		今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設工認	-									
		今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し														
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-2 ベレット一時保 管棚グローブ ボックス-2の耐 震計算書	-	-				
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し												
支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○		既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	-				第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-2 ベレット一時保 管棚グローブ ボックス-2の耐 震計算書	-	-	
		既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し													
ベレット一時保管棚 グローブボックス-2	窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析		3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-2 ベレット一時保 管棚グローブ ボックス-2の耐 震計算書	-				-
			既工認	応力解析	-		既工認	応力解析		-											
		今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認		-									
		今回設工認	応力解析	-	今回設工認	応力解析	-														

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(6/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容			○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別	内容		設工認	解析種別	内容		設工認	内容							設工認	内容
ペレット一時保管棚 グローブボックス-3	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-3 ペレット一時保 管棚グローブ ボックス-3の耐 震計算書	-	-	-		
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認									
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認			今回設 工認									
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-3 ペレット一時保 管棚グローブ ボックス-3の耐 震計算書	-	-	-		
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認									
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認			今回設 工認									
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-3 ペレット一時保 管棚グローブ ボックス-3の耐 震計算書	-	-	-		
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認									
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認			今回設 工認									
窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-3 ペレット一時保 管棚グローブ ボックス-3の耐 震計算書	×	-	-			
		既工認	応力解析	-		既工認	応力解析	-		既工認										
	今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認										
	今回設 工認	応力解析	-	今回設 工認	応力解析	-	今回設 工認			今回設 工認										
焼結ポート受渡装置 グローブボックス-1	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ペレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	-	-	-		
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認									
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認			今回設 工認									
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ペレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	-	-	-		
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認									
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認			今回設 工認									
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ペレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	-	-	-		
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認									
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認			今回設 工認									

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(7/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別 内容		設工認	解析種別 内容		設工認	内容							設工認	内容
焼結ポート受渡装置グローブボックス-1	窓板部	(応答解析)○ (応力解析)-	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価 応力解析 -	(応答解析)○ (応力解析)-	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル 応力解析 -	○	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, III-2-2-2-2-5 ペレット一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-	-					
	ステンレスパネル部	(応答解析)● (応力解析)-	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価 応力解析 -	(応答解析)● (応力解析)-	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル 応力解析 -	●	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, III-2-2-2-2-5 ペレット一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-	-					
	搬出入口(大)	(応答解析)○ (応力解析)-	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価 応力解析 -	(応答解析)○ (応力解析)-	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル 応力解析 -	○	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, III-2-2-2-2-5 ペレット一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-	-					
	搬出入口(小)	(応答解析)○ (応力解析)-	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価 応力解析 -	(応答解析)○ (応力解析)-	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル 応力解析 -	○	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, III-2-2-2-2-5 ペレット一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-	-					
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	(応答解析)○ (応力解析)-	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価 応力解析 -	(応答解析)○ (応力解析)-	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル 応力解析 -	○	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, III-2-2-2-2-5 ペレット一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-	-					
	磁性流体シール(グローブボックス貫通部)	(応答解析)○ (応力解析)-	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価 応力解析 -	(応答解析)○ (応力解析)-	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル 応力解析 -	○	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, III-2-2-2-2-5 ペレット一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-	-					
	メンテナンスポート	(応答解析)- (応力解析)-	既工認 応答解析 - 応力解析 -	(応答解析)- (応力解析)-	既工認 応答解析 - 応力解析 -	-	既工認 -	-	既工認 -	第1回工認, III-2-2-2-2-5 ペレット一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-	-					
	磁性流体シール(防火シャッター駆動軸貫通部)	(応答解析)- (応力解析)-	既工認 応答解析 - 応力解析 -	(応答解析)- (応力解析)-	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル 応力解析 -	-	既工認 -	-	既工認 -	第1回工認, III-2-2-2-2-5 ペレット一時保管設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-	-					

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(8/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)				
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容	○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容									
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別		内容						設工認	内容	設工認	内容
焼結ポート受渡装置 グローブボックス-2,-3	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-4 焼結ポート受渡 装置グローブ ボックス-2,-3の 耐震計算書		
				応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%								
	支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-4 焼結ポート受渡 装置グローブ ボックス-2,-3の 耐震計算書		
				応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%								
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-4 焼結ポート受渡 装置グローブ ボックス-2,-3の 耐震計算書		
				応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%								
	窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-4 焼結ポート受渡 装置グローブ ボックス-2,-3の 耐震計算書	
				応力解析	-			応力解析	-			鉛直:1.0%								
	ステンレスパネル部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-4 焼結ポート受渡 装置グローブ ボックス-2,-3の 耐震計算書	
				応力解析	-			応力解析	-			鉛直:1.0%								
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ、挟み込み型)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-4 焼結ポート受渡 装置グローブ ボックス-2,-3の 耐震計算書	
				応力解析	-			応力解析	-			鉛直:1.0%								
	焼結ポート受渡装置 グローブボックス-4	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ベレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	
					応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%							
		支持構造物(ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ベレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	
					応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%							
		支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ベレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書
					応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%							

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(9/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
焼結ポート受渡グローブボックス-4	窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル	既工認 応答解析 -	○	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ベレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	×	-	-	-			
	ステンレスパネル部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル	既工認 応答解析 -	○	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ベレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	×	-	-	-			
	搬出入口(大)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル	既工認 応答解析 -	○	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ベレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	×	-	-	-			
	搬出入口(小)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル	既工認 応答解析 -	○	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ベレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	×	-	-	-			
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ、挟み込み型)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル	既工認 応答解析 -	○	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ベレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	×	-	-	-			
	磁性流体シール(グローブボックス貫通部)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認 応答解析 3次元はり・シェルモデル	既工認 応答解析 -	○	既工認 水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認 -	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ベレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	×	-	-	-			
	メンテナンスポート	(応答解析) - (応力解析) -	既工認 応答解析 -	(応答解析) - (応力解析) -	既工認 応答解析 -	既工認 応答解析 -	-	既工認 -	-	既工認 -	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ベレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	×	-	-	-			
	磁性流体シール(防火シャッタ駆動軸貫通部)	(応答解析) - (応力解析) -	既工認 応答解析 -	(応答解析) - (応力解析) -	既工認 応答解析 -	既工認 応答解析 -	-	既工認 -	-	既工認 -	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-2-5 ベレット一時保 管設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書	×	-	-	-			

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(10/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-1	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-1 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -1の耐震計算書	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し											
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-1 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -1の耐震計算書	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し											
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-1 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -1の耐震計算書	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し											
窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-1 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -1の耐震計算書	×	-		
		既工認	応力解析	-		既工認	応力解析	-										
	今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-							
	今回設 工認	応力解析	-	今回設 工認	応力解析	-												
スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-2,-3,-4	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-2 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -2,-3,-4の耐震 計算書	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し											
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-2 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -2,-3,-4の耐震 計算書	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し											
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-2 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -2,-3,-4の耐震 計算書	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し											
窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-2 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -2,-3,-4の耐震 計算書	×	-		
		既工認	応力解析	-		既工認	応力解析	-										
	今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-							
	今回設 工認	応力解析	-	今回設 工認	応力解析	-												

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(11/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
スクラップ貯蔵棚 グローブボックス-5	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-3 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -5の耐震計算書	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	-						
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認	-									
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-3 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -5の耐震計算書	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	-						
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認	-									
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-3 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -5の耐震計算書	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認	-						
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-						
		今回設 工認	応力解析	公式等による評価	今回設 工認	応力解析	モデル無し	今回設 工認	-									
	窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-3 スクラップ貯蔵棚 グローブボックス -5の耐震計算書	×	
			既工認	応力解析	-		既工認	応力解析	-		既工認	-						
		今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%		今回設 工認	-						
		今回設 工認	応力解析	-	今回設 工認	応力解析	-	今回設 工認	-									

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(12/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
スクラップ保管容器受渡装置 グローブボックス-1	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設備のうちBクラス 設備の耐震性に関する計算書	
			今回設工認	応答解析	公式等による評価		今回設工認	応答解析	モデル無し		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設備のうちBクラス 設備の耐震性に関する計算書	
			今回設工認	応答解析	公式等による評価		今回設工認	応答解析	モデル無し		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設備のうちBクラス 設備の耐震性に関する計算書	
			今回設工認	応答解析	公式等による評価		今回設工認	応答解析	モデル無し		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設備のうちBクラス 設備の耐震性に関する計算書	
			今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価		今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
搬出入口(大)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設備のうちBクラス 設備の耐震性に関する計算書		
		今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価		今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%							
搬出入口(小)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設備のうちBクラス 設備の耐震性に関する計算書		
		今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価		今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%							
コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設備のうちBクラス 設備の耐震性に関する計算書		
		今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価		今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%							
磁性流体シール	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設備のうちBクラス 設備の耐震性に関する計算書		
		今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく 応答加速度による評価		今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%							

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(13/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
スクラップ保管容器受渡装置 グローブボックス-2	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	
			今回設 工認	応答解析	公式等による評価		今回設 工認	応答解析	モデル無し		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						今回設 工認
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	
			今回設 工認	応答解析	公式等による評価		今回設 工認	応答解析	モデル無し		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						今回設 工認
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	
			今回設 工認	応答解析	公式等による評価		今回設 工認	応答解析	モデル無し		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						今回設 工認
	窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	
			今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価		今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						今回設 工認
搬出入口(大)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書		
		今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価		今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						今回設 工認	-
搬出入口(小)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書		
		今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価		今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						今回設 工認	-
コネクタ部(ハーメチックシールタ イプ, 挟み込み型)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書		
		今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価		今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						今回設 工認	-
磁性流体シール	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-3-4 スクラップ貯蔵設 備のうちBクラス 設備の耐震性に 関する計算書		
		今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価		今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						今回設 工認	-

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(14/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)			
		相違内容		内容	相違内容		内容	相違内容		内容	相違内容		内容								
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	既工認		解析種別	○:同じ ●:異なる -:該当なし		既工認	解析種別		○:同じ ●:異なる -:該当なし	既工認							解析種別	○:同じ ●:異なる -:該当なし	既工認
製品ベレット貯蔵棚 グローブボックス-1	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-1 製品ベレット貯 蔵棚グローブ ボックス-1の耐 震計算書	—	—	—	—		
				応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認		水平:1.0%	今回設 工認	水平:1.0%	今回設 工認						鉛直:1.0%	—
			応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し													
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-1 製品ベレット貯 蔵棚グローブ ボックス-1の耐 震計算書	—	—	—	—		
				応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認		水平:1.0%	今回設 工認	水平:1.0%	今回設 工認						鉛直:1.0%	—
			応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し													
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-1 製品ベレット貯 蔵棚グローブ ボックス-1の耐 震計算書	—	—	—	—		
				応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認		水平:1.0%	今回設 工認	水平:1.0%	今回設 工認						鉛直:1.0%	—
			応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し													
窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-1 製品ベレット貯 蔵棚グローブ ボックス-1の耐 震計算書	×	—	—	—			
			応力解析	—			応力解析	—			鉛直:1.0%										
	今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) —	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認		水平:1.0%	今回設 工認	水平:1.0%	今回設 工認						鉛直:1.0%	—	
		応力解析	—			応力解析	—														
製品ベレット貯蔵棚 グローブボックス-2,-3,-4	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-2 製品ベレット貯 蔵棚グローブ ボックス-2,-3,-4 の耐震計算書	—	—	—	—		
				応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認		水平:1.0%	今回設 工認	水平:1.0%	今回設 工認						鉛直:1.0%	—
			応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し													
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-2 製品ベレット貯 蔵棚グローブ ボックス-2,-3,-4 の耐震計算書	—	—	—	—		
				応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認		水平:1.0%	今回設 工認	水平:1.0%	今回設 工認						鉛直:1.0%	—
			応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し													
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-2 製品ベレット貯 蔵棚グローブ ボックス-2,-3,-4 の耐震計算書	—	—	—	—		
				応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%									
		今回設 工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認		水平:1.0%	今回設 工認	水平:1.0%	今回設 工認						鉛直:1.0%	—
			応力解析	公式等による評価			応力解析	モデル無し													
窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) —	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	—	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-2 製品ベレット貯 蔵棚グローブ ボックス-2,-3,-4 の耐震計算書	×	—	—	—			
			応力解析	—			応力解析	—			鉛直:1.0%										
	今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) —	今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	今回設 工認		水平:1.0%	今回設 工認	水平:1.0%	今回設 工認						鉛直:1.0%	—	
		応力解析	—			応力解析	—														

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(15/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)				解析モデル				減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)	
		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容		相違内容									
		設工認	解析種別	内容	設工認	解析種別	内容	設工認	内容	設工認	内容	設工認	内容						
製品ベレット貯蔵棚 グローブボックス-5	缶体	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-3 製品ベレット貯蔵棚グローブボックス-5の耐震計算書	-	-	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%							
		今回設工認	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0%	今回設工認						鉛直:1.0%
			今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	鉛直:1.0%										
	支持構造物 (ボルト以外)	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-3 製品ベレット貯蔵棚グローブボックス-5の耐震計算書	-	-	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%							
		今回設工認	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0%	今回設工認						鉛直:1.0%
			今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	鉛直:1.0%										
	支持構造物(ボルト等)	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-3 製品ベレット貯蔵棚グローブボックス-5の耐震計算書	-	-	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%							
		今回設工認	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0%	今回設工認						鉛直:1.0%
			今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	鉛直:1.0%										
窓板部	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-3 製品ベレット貯蔵棚グローブボックス-5の耐震計算書	-	-	-	×		
		既工認	応力解析	-		既工認	応力解析	-			鉛直:1.0%								
	今回設工認	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	今回設工認	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0%	今回設工認						鉛直:1.0%	
		今回設工認	応力解析	-	今回設工認	応力解析	-	鉛直:1.0%											
ベレット保管容器受渡装置 グローブボックス-1	缶体	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ベレット貯蔵設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	-	-	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%							
		今回設工認	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0%	今回設工認						鉛直:1.0%
			今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	鉛直:1.0%										
	支持構造物 (ボルト以外)	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ベレット貯蔵設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	-	-	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%							
		今回設工認	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0%	今回設工認						鉛直:1.0%
			今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	鉛直:1.0%										
	支持構造物(ボルト等)	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	既工認 (応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0%	既工認	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ベレット貯蔵設備のうちBクラス設備の耐震性に関する計算書	-	-	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し			鉛直:1.0%							
		今回設工認	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0%	今回設工認						鉛直:1.0%
			今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	鉛直:1.0%										

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(16/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
ペレット保管容器受渡装置グループボックス-1	窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, III-2-2-2-4-4 製品ペレット貯蔵設備のBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-
			今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	ステンレスパネル部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, III-2-2-2-4-4 製品ペレット貯蔵設備のBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-
			今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	搬出入口(大)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, III-2-2-2-4-4 製品ペレット貯蔵設備のBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-
			今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	搬出入口(小)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, III-2-2-2-4-4 製品ペレット貯蔵設備のBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-
			今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	コネクタ部(ハーメチックシールタイプ, 挟み込み型)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, III-2-2-2-4-4 製品ペレット貯蔵設備のBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-
			今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	磁性流体シール	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	第1回工認, III-2-2-2-4-4 製品ペレット貯蔵設備のBクラス設備の耐震性に関する計算書	×	-
			今回設工認	応答解析	各設備の固有周期に基づく応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	今回設工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(17/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
ペレット保管容器受渡装置 グループボックス-2	缶体	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ペレット貯 蔵設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書
			今回設 工認	応答解析	公式等による評価		今回設 工認	応答解析	モデル無し		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ペレット貯 蔵設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書
			今回設 工認	応答解析	公式等による評価		今回設 工認	応答解析	モデル無し		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	支持構造物(ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ペレット貯 蔵設備のうちBク ラス設備の耐震 性に関する計算 書
			今回設 工認	応答解析	公式等による評価		今回設 工認	応答解析	モデル無し		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	窓板部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ペレット貯 蔵設備のBクラス 設備の耐震性に 関する計算書
			今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価		今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	ステンレスパネル部	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ペレット貯 蔵設備のBクラス 設備の耐震性に 関する計算書
			今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価		今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	搬出入口(大)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ペレット貯 蔵設備のBクラス 設備の耐震性に 関する計算書
			今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価		今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
	搬出入口(小)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ペレット貯 蔵設備のBクラス 設備の耐震性に 関する計算書
			今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価		今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%						
コネクタ部(ハーメチックシールタ イプ、挟み込み型)	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ペレット貯 蔵設備のBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	
		今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価		今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%							今回設 工認
磁性流体シール	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価	(応答解析) ○ (応力解析) -	既工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	-	既工認	-	-	-	第1回工認, Ⅲ-2-2-2-4-4 製品ペレット貯 蔵設備のBクラス 設備の耐震性に 関する計算書	
		今回設 工認	応答解析	各設備の固有周期に基づ く応答加速度による評価		今回設 工認	応答解析	3次元はり・シェルモデル		今回設 工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%							今回設 工認

安全機能を有する施設及び常設耐震重要重大事故等対処設備(18/18)

設備名称	評価部位	解析手法 (公式等による評価、スペクトルモーダル解析、時刻歴解析他)			解析モデル			減衰定数		その他(評価条件の変更等)※1		備考 (左欄にて比較した既設工認)	※2 ○:共通適用例あり △:個別適用例あり ×:適用例なし	内容	参照した設備名称	減衰定数の実績 ○:構造上の差異なし ×:構造上の差異あり (適用可能であること の理由)		
		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし	相違内容		○:同じ ●:異なる -:該当なし						相違内容	
			設工認	解析種別		内容	設工認		解析種別	内容							設工認	内容
一時保管ピット	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はりモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	第2回設工認, Ⅲ-2-2-4-1-1 一時保管ピットの耐震性に関する計算書	-	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認							
	今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はりモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認									
	今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認									
一時保管ピット	支持構造物 (ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はりモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	第2回設工認, Ⅲ-2-2-4-1-1 一時保管ピットの耐震性に関する計算書	-	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認							
	今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	今回設工認	応答解析	3次元はりモデル	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認									
	今回設工認	応力解析	公式等による評価	今回設工認	応力解析	モデル無し	今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認									
燃料棒貯蔵棚-1, -2	支持構造物 (ボルト以外)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はりモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	第2回設工認 Ⅲ-2-2-4-2-1 燃料棒貯蔵棚-1の耐震計算書 Ⅲ-2-2-4-2-2 燃料棒貯蔵棚-2の耐震計算書	-	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認							
			今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析		今回設工認	応答解析	3次元はりモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認					
			今回設工認	応力解析	公式等による評価		今回設工認	応力解析	モデル無し		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認					
	支持構造物 (ボルト等)	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	スペクトルモーダル解析	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	3次元はりモデル	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	第2回設工認 Ⅲ-2-2-4-2-1 燃料棒貯蔵棚-1の耐震計算書 Ⅲ-2-2-4-2-2 燃料棒貯蔵棚-2の耐震計算書	-	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認							
			今回設工認	応答解析	スペクトルモーダル解析		今回設工認	応答解析	3次元はりモデル		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認					
			今回設工認	応力解析	公式等による評価		今回設工認	応力解析	モデル無し		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認					
	ガイドローラ軸	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	-	(応答解析) ○ (応力解析) ○	既工認	応答解析	-	○	既工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	既工認	第2回設工認 Ⅲ-2-2-4-2-1 燃料棒貯蔵棚-1の耐震計算書 Ⅲ-2-2-4-2-2 燃料棒貯蔵棚-2の耐震計算書	-	-	-	
			既工認	応力解析	公式等による評価		既工認	応力解析	モデル無し		既工認							
			今回設工認	応答解析	-		今回設工認	応答解析	-		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認					
			今回設工認	応力解析	公式等による評価		今回設工認	応力解析	モデル無し		今回設工認	水平:1.0% 鉛直:1.0%	今回設工認					

※1左記の項目以外で評価条件の変更等を行ったものを示す。
 ※2共通適用例あり:規格・基準類等に基づきプラント共通の適用例がある手法
 個別適用例あり:プラント個別に適用例が確認されたプラント個別の適用例がある手法